

令和2年度

第10回市民意識調査



大町市

目次

I. 調査の概要	3
1 調査の目的	3
2 調査内容	3
3 調査項目	3
4 調査方法	3
5 集計結果	3
6 集計上の留意点	4
II. 調査結果	5
問1 最初にあなたの住んでいる地区、性別、年齢、職業等についてお尋ねします。	5
問2 あなたは、現在の大町市にどのようなイメージをお持ちですか。	12
問3 大町市は、あなたにとって住みよいところだと思われませんか。	14
問4 あなたは、これからもずっと大町市に住んでいたいと思われませんか。	15
問5 あなたは、大町市がこれからどのような「まち」になることを期待されますか。	17
問6 生活基盤整備等について、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。	19
問7 将来（10年後くらい）の大町市の人口についてどのようにお考えですか。	21
問8 あなたは、現在の生活環境についてどのように評価されていますか。	22
問9 今後も施設整備が必要だと思われる公共施設はどれですか。	24
問10 市が行っている施策や事業などについて、現在どの程度満足されていますか。 また、その事業がどの程度重要だと思われませんか。	26
問11 大町市の今後の商業のあり方について、あなたのお考えをお尋ねします。	41
問12 大町市の今後の観光のあり方について、あなたのお考えをお尋ねします。	42
問13 大町市の今後の工業のあり方について、あなたのお考えをお尋ねします。	43
問14 大町市の今後の農業のあり方について、あなたのお考えをお尋ねします。	44
問15 大町市では適正な森林施業が推進されていると思われませんか。	45
問16 大町市のブランド力は向上していると思われませんか。	46
問17 大町市では地域福祉に対する市民意識は高まっていると思われませんか。	50
問18 高齢化社会に対応し安心して住めるまちづくりを進めるためには、何に力を入れて取り 組む必要があるとお考えですか。	51
問19 子育てに関する支援策として特に必要と思われる施策を選んでください。	53
問20 大町市では調和のとれた秩序ある市街地の形成が進められていると思われませんか。	55
問21 あなたは、どのような情報の発信を希望されますか。	56
問22 生活環境を保全するために、行政が今後どのようなことに力を入れていく必要があると お考えですか。	58
問23 地震等の自然災害に備えての防災、減災対策についてどのようにお考えですか。	59

問 24	合併後、大町市の一体性は形成できたと思われませんか。	61
問 25	あなたが特に重要だと思われる行政改革を選んでください。	62
問 26	市政運営に市民が参画し、共にまちづくりを進めることが必要だと思われませんか。	64
問 27	大町市では市民参加による協働のまちづくりが進んでいると思われませんか。	65
問 28	市民の皆様の参画による、協働のまちづくりの実現には何が必要とお考えですか。	66
問 29	大町市では自治会等の地域コミュニティ活動が強化されていると思われませんか。	68
問 30	大町市では人権尊重や男女共同参画の意識が高まっていると思われませんか。	69
問 31	男女共同参画社会づくりを進めるために、重要だと思われるものを選んでください。	71
問 32	大町市で山岳文化都市づくりを進めていることをご存知ですか。	73
問 33	芸術文化によるまちづくりへの取り組みについてどのようにお考えですか。	74
問 34	都市と農村等の地域間交流が促進されていると思われませんか。	78
問 35	「広報おおまち」で知りたい事や、取り上げてほしい事はどのようなことですか。	79
問 36	市民の意見・要望（アンケートの調査結果など）は市政に反映されていますか。	81
問 37	新型コロナウイルス感染症で、お困りや心配に思われていることを選んでください。	82
問 38	5つのまちづくりのテーマへのご意見、ご要望、ご提案等、自由にお書きください。	85
III.	まちづくりへの提言	116
問 39	市の施策全般に対するご意見、ご要望、ご提案等、ご自由にお書きください。	197
IV.	クロス集計結果	212

I. 調査の概要

1 調査の目的

平成29年度に策定した「大町市第5次総合計画」の基本構想に基づき、産業をはじめ、教育、福祉、環境など様々な分野で活躍し、大町市の発展を支えるひとを育むまちづくりを推進しており、前期計画の評価や社会情勢の変化などを踏まえ、市民参加の市政を実現するため、市民の市政に対する意識を調査し、今後の行政運営の参考資料とするとともに、後期計画策定に向けての基礎資料とします。

2 調査内容

市民の生活意識、市に対する要望などを調査します。設問ごとに意見欄を設けてあります。市民の意識の変化を比較するために前回の調査内容を参考とし、ほぼ同じ内容としています。

ただし、第5次総合計画に掲げた5つのまちづくりのテーマについて、及び芸術文化によるまちづくりと新型コロナウイルス感染症に伴う影響についての調査項目を追加しました。

3 調査項目

回答者自身に関する項目、将来の大町市への期待、生活環境の評価、市の施策・事業の満足度・重要度、産業のあり方、市政に対する要望の項目など、選択式の設問37項目にまちづくりの5つのテーマについての意見、要望と市の施策に全般に対する意見、要望を自由記載する設問2項目を加え、計39項目としました。

4 調査方法

- 1) 調査地域 市全域
- 2) 調査対象 市内に住む20歳以上の男女2,200人
- 3) 抽出方法 住民基本台帳マスターファイルから等間隔無作為抽出
- 4) 調査方法 郵送方式（配布・回収とも）
- 5) 調査期間 令和2年9月28日～10月15日

5 集計結果

	大町	平	常盤	社	八坂	美麻	不明	計
対象者	1,029	363	494	176	70	68	—	2,200
回収数	465	145	186	77	38	35	2	948
未回収	564	218	308	99	32	33	—	1,252
回収率	45.2%	39.9%	37.7%	43.8%	54.3%	51.5%	—	43.1%

	発送数	回収数	男	女	不明	回収率
20歳代	204	52	28	23	1	25.5%
30歳代	235	75	40	35	—	31.9%
40歳代	330	108	58	50	—	32.7%
50歳代	351	157	80	77	—	44.7%
60歳代	366	200	92	107	1	54.6%
70歳以上	714	354	154	196	4	49.6%
不明	—	2	2	—	—	—
合計	2,200	948	454	488	6	43.1%

6 集計上の留意点

- 1) 構成比（割合（%））は、小数点第2位を四捨五入して、小数点第1位までを表記しました。このため、合計が100%にならない場合があります。
- 2) 複数回答方式（マルチ回答）の設問では、構成比（割合（%））は回答者総数に対する回答数の割合を示しています。したがって、構成比の合計は100になりません。同様に、回答数の合計は回答者総数とは一致しません。
- 3) クロス集計は、「居住地区別」「男女別」「年代別・男女別」のみを記載しました。
- 4) 本調査は回答を集計し調査結果を数値で示すものですが、最後の問39で多くの回答者が述べているようにあまりにも広い分野に対して質問されているため、よく理解できずに回答している方が多いと思われます。また、本来は選択肢のひとつとして回答・記述すべき「その他」の選択肢を選び、自由回答をされた方も多くおられます。そのため集計・グラフ化されている数値のみに注目せず、熱心に記述されている自由回答にも注目することが必要です。
- 5) 自由回答の中で判読できなかった文字は「●●」と表示してあります。

II. 調査結果

問1 最初にあなたの住んでいる地区、性別、年齢、職業等についてお尋ねします。該当する()に○を記入してください。

① あなたのお住まいの地区

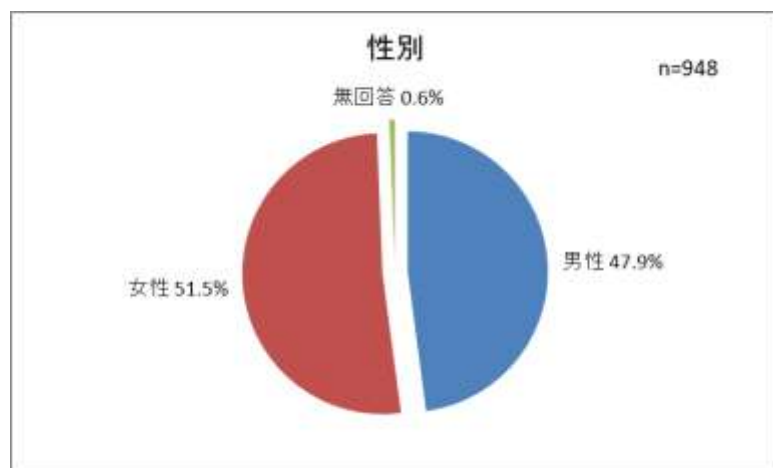
	回答数	構成比	第9回	前回比
大町	465	49.1%	46.1%	3.0
平	145	15.3%	15.3%	0.0
常盤	186	19.6%	23.2%	-3.6
社	77	8.1%	9.1%	-1.0
八坂	38	4.0%	2.9%	1.1
美麻	35	3.7%	2.8%	0.9
無回答	2	0.2%	0.6%	-0.4
回答者総数	948	100.0%	100.0%	-



回答者の居住地区別の割合は、地区別の人口比とほぼ一致しており、回答者の居住地区の偏りはみられない。

② あなたの性別は

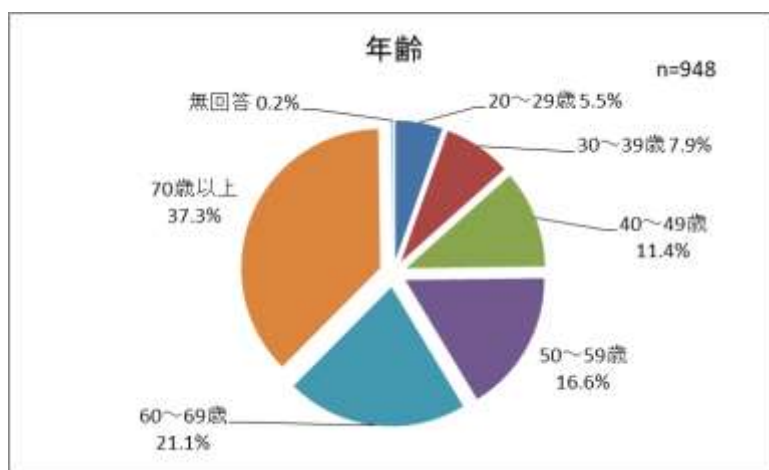
	回答数	構成比	第9回	前回比
男性	454	47.9%	43.5%	4.4
女性	488	51.5%	55.2%	-3.7
無回答	6	0.6%	1.3%	-0.7
回答者総数	948	100.0%	100.0%	0.0



回答者の男女比は、ほぼ半々。なお回答率は 43.1% と前回調査 (37.4%) より 5.7 ポイント 高くなっており、人数としては前回調査より 100 名以上多くの方に回答をいただいている。

③ あなたの年齢は（令和2年4月1日現在）

	回答数	構成比	第9回	前回比
20～29歳	52	5.5%	5.7%	-0.2
30～39歳	75	7.9%	8.0%	-0.1
40～49歳	108	11.4%	11.9%	-0.5
50～59歳	157	16.6%	15.2%	1.4
60～69歳	200	21.1%	23.0%	-1.9
70歳以上	354	37.3%	35.5%	1.9
無回答	2	0.2%	0.7%	-0.5
回答者総数	948	100.0%	100.0%	-

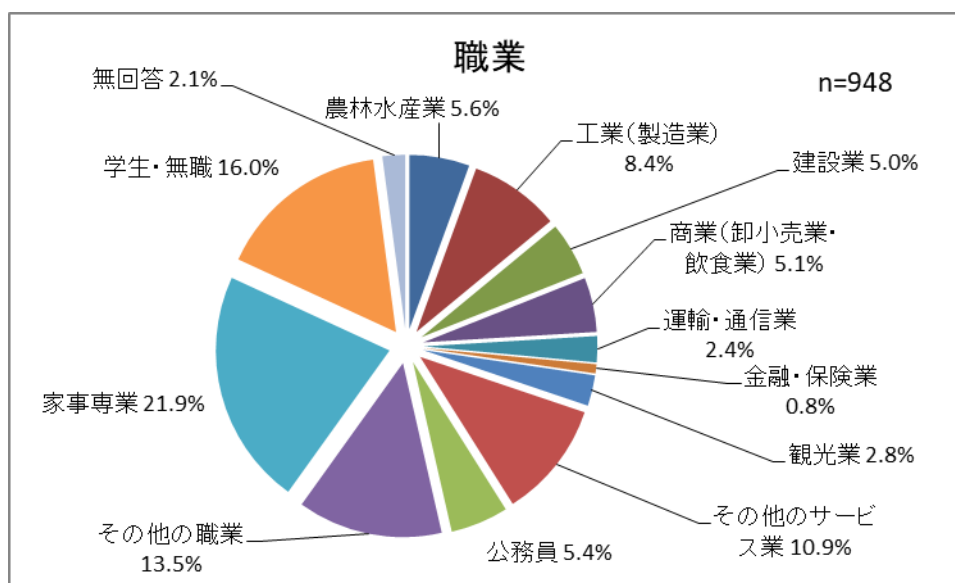


大町市の年代別人口割合から考えると、本調査の回答者は若干60代以上に偏っているといえる。前回調査でも同様に回答者の約6割が60歳以上だった。

※ 大町市の高齢化率（高齢化率（%）＝65歳以上人口÷総人口）は37.7%（大町市HP）

④ あなたの職業（お勤め先）は

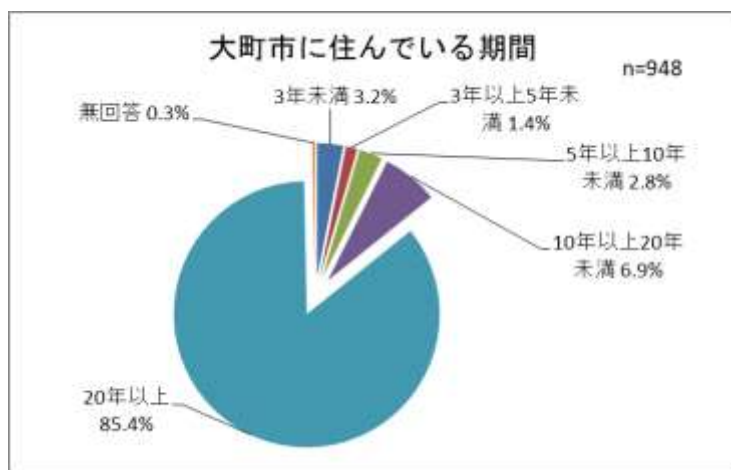
	回答数	構成比	第9回	前回比
農林水産業	53	5.6%	6.6%	-1.0
工業（製造業）	80	8.4%	8.3%	0.2
建設業	47	5.0%	4.4%	0.6
商業（卸小売業・飲食業）	48	5.1%	5.6%	-0.5
運輸・通信業	23	2.4%	1.2%	1.2
金融・保険業	8	0.8%	0.6%	0.2
観光業	27	2.8%	1.0%	1.9
その他のサービス業	103	10.9%	9.4%	1.5
公務員	51	5.4%	5.0%	0.4
その他の職業	128	13.5%	14.2%	-0.7
家事専業	208	21.9%	23.9%	-2.0
学生・無職	152	16.0%	17.1%	-1.1
無回答	20	2.1%	2.8%	-0.7
回答者総数	948	100.0%	100.0%	-



「家事専業」と「学生・無職」が回答者全体の4割弱を占めている。

⑤ あなたが大町市内にお住まいの期間（旧八坂村・旧美麻村を含む）を通算して（ ）に○を記入してください。

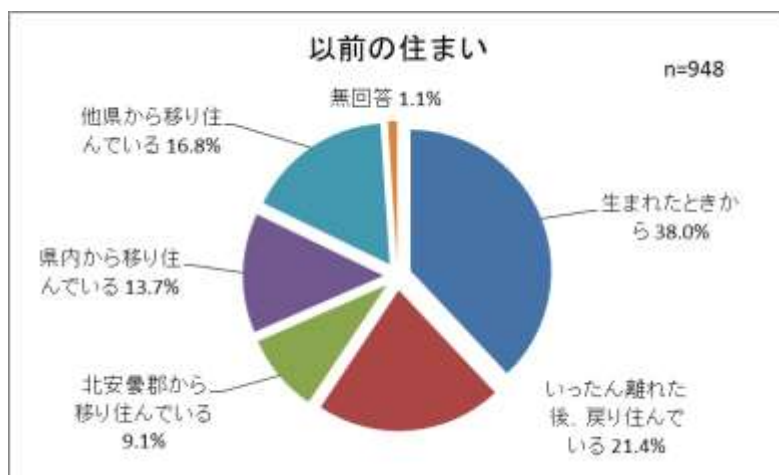
	回答数	構成比	第9回	前回比
3年未満	30	3.2%	3.4%	-0.2
3年以上5年未満	13	1.4%	1.9%	-0.6
5年以上10年未満	27	2.8%	4.0%	-1.2
10年以上20年未満	65	6.9%	6.9%	-0.1
20年以上	810	85.4%	82.6%	2.8
無回答	3	0.3%	1.1%	-0.8
回答者総数	948	100.0%	100.0%	-



大町市に住んでいる期間には前回調査と大きな違いはみられない。

⑥ 大町市（旧八坂村・旧美麻村を含む）に住む前のあなたのお住まいについて、（ ）に○を記入してください。

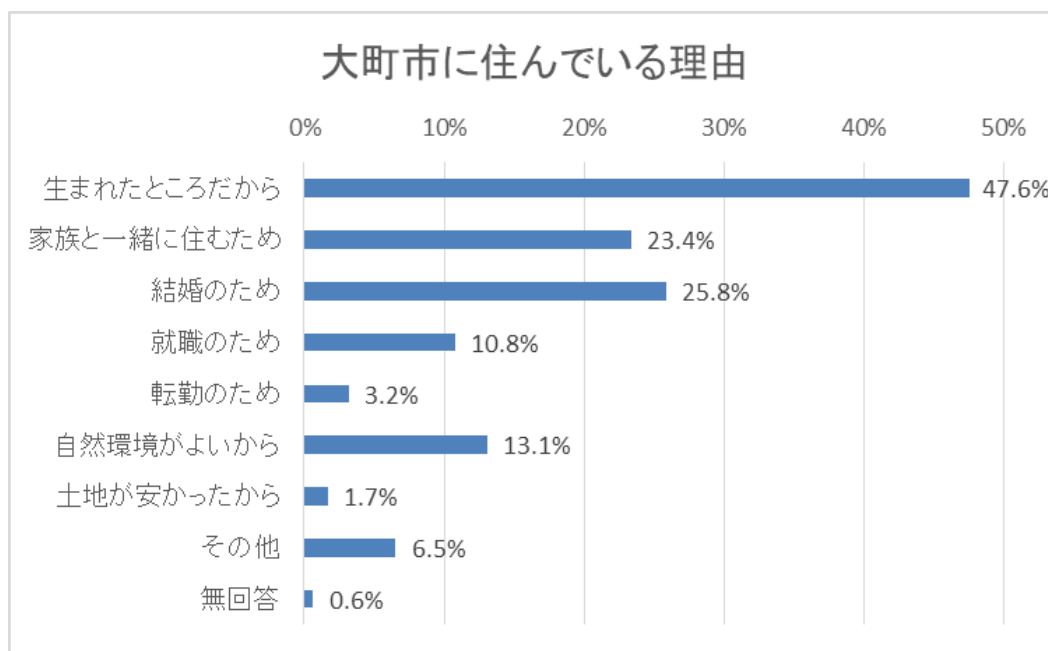
	回答数	構成比	第9回	前回比
生まれたときから	360	38.0%	37.7%	0.3
いったん離れた後、戻り住んでいる	203	21.4%	18.3%	3.1
北安曇郡から移り住んでいる	86	9.1%	10.7%	-1.6
県内から移り住んでいる	130	13.7%	16.5%	-2.8
他県から移り住んでいる	159	16.8%	14.9%	1.8
無回答	10	1.1%	1.8%	-0.8
回答者総数	948	100.0%	100.0%	-



大町市に住む前の居住地についても前回調査と大きな変化はみられない。

⑦ あなたが大町市にお住まいになった主な理由について、該当するすべての（ ）に○を記入してください。

	回答数	構成比	第9回	前回比
生まれたところだから	451	47.6%	45.0%	2.6
家族と一緒に住むため	222	23.4%	25.5%	-2.1
結婚のため	245	25.8%	28.4%	-2.6
就職のため	102	10.8%	9.7%	1.0
転勤のため	30	3.2%	3.9%	-0.7
自然環境がよいから	124	13.1%	13.4%	-0.3
土地が安かったから	16	1.7%	1.8%	-0.1
その他	62	6.5%	7.3%	-0.8
無回答	6	0.6%	0.9%	-0.2
回答者総数	948	100.0%	100.0%	-

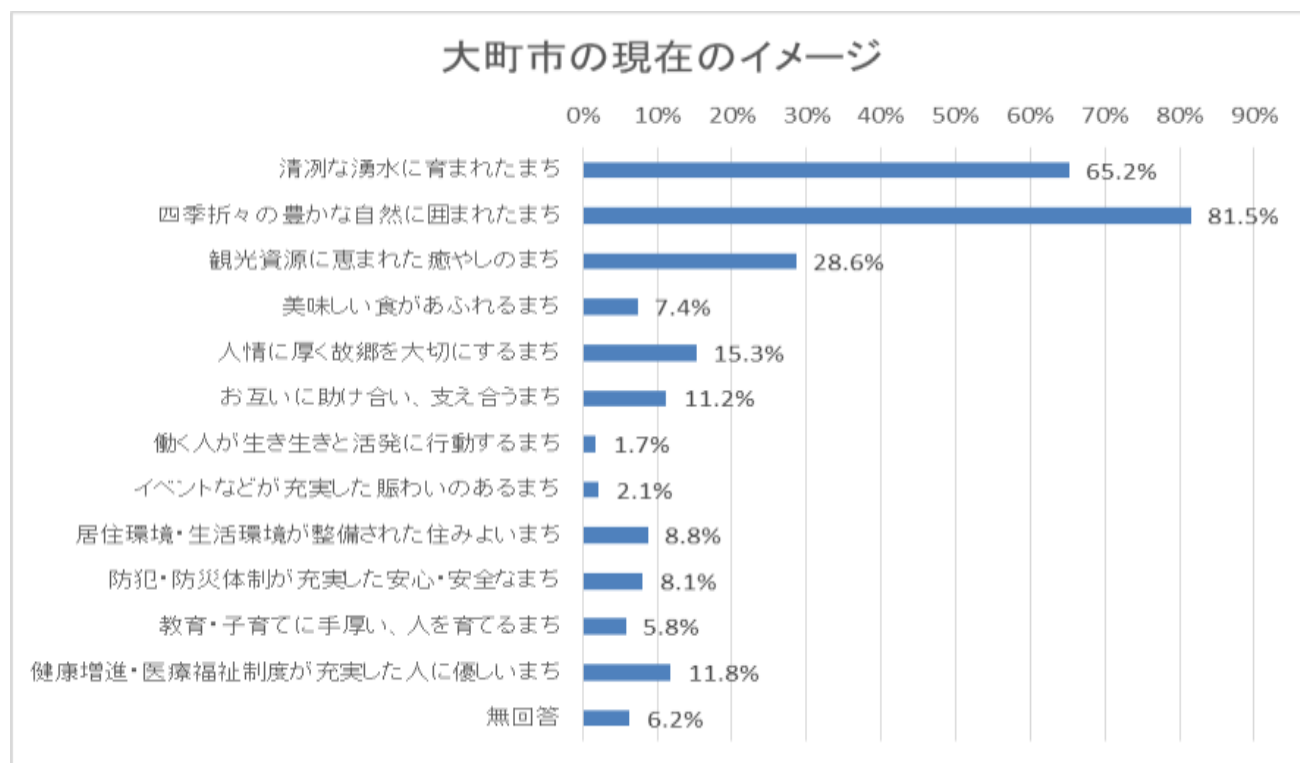


回答者の約5割が大町市に住んでいる理由として「生まれたところだから」をあげている。

問2 あなたは、現在の大町市にどのようなイメージをお持ちですか。また、望ましい未来のイメージはどのような「まち」とお考えですか。次の中から3つ選んで、その欄に○を記入してください。

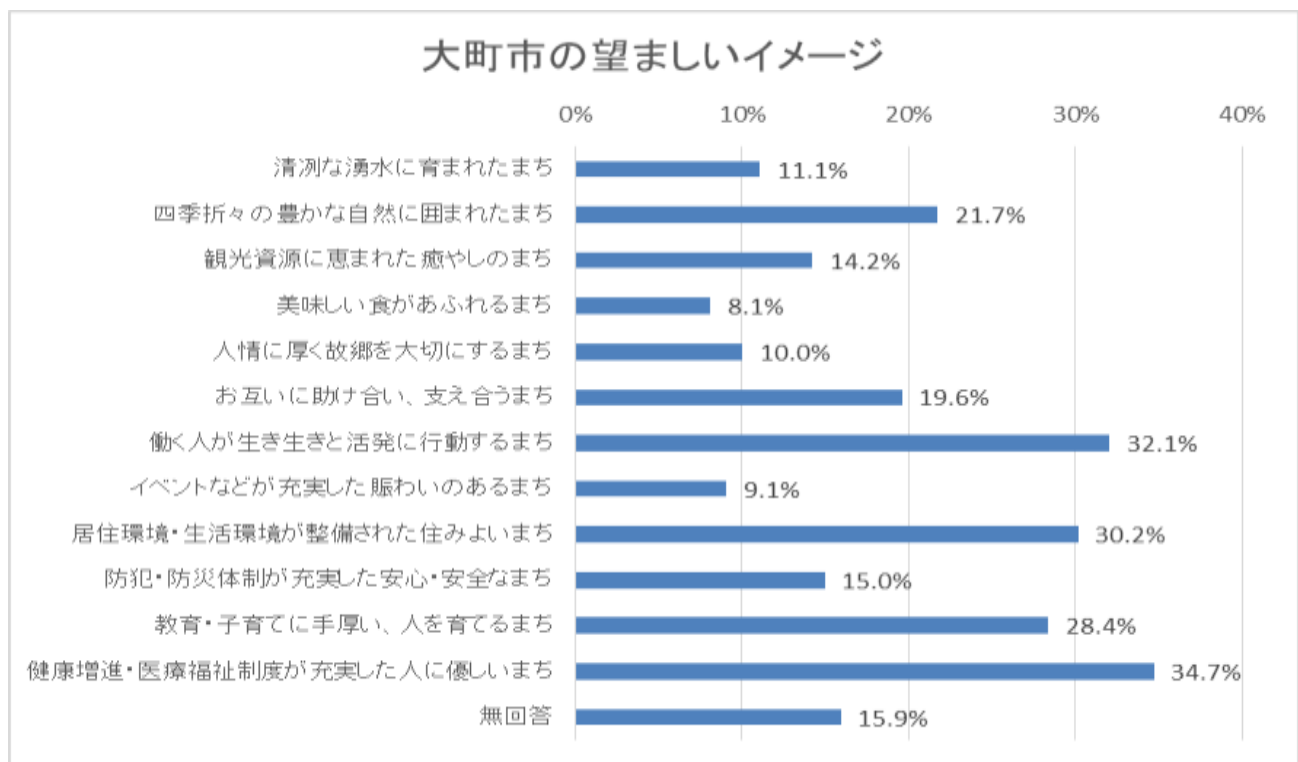
現在のイメージ

	回答数	構成比
清冽な湧水に育まれたまち	618	65.2%
四季折々の豊かな自然に囲まれたまち	773	81.5%
観光資源に恵まれた癒やしのまち	271	28.6%
美味しい食があふれるまち	70	7.4%
人情に厚く故郷を大切にするまち	145	15.3%
お互いに助け合い、支え合うまち	106	11.2%
働く人が生き生きと活発に行動するまち	16	1.7%
イベントなどが充実した賑わいのあるまち	20	2.1%
居住環境・生活環境が整備された住みよいまち	83	8.8%
防犯・防災体制が充実した安心・安全なまち	77	8.1%
教育・子育てに手厚い、人を育てるまち	55	5.8%
健康増進・医療福祉制度が充実した人に優しいまち	112	11.8%
無回答	59	6.2%
回答者総数	948	100.0%



望ましいイメージ

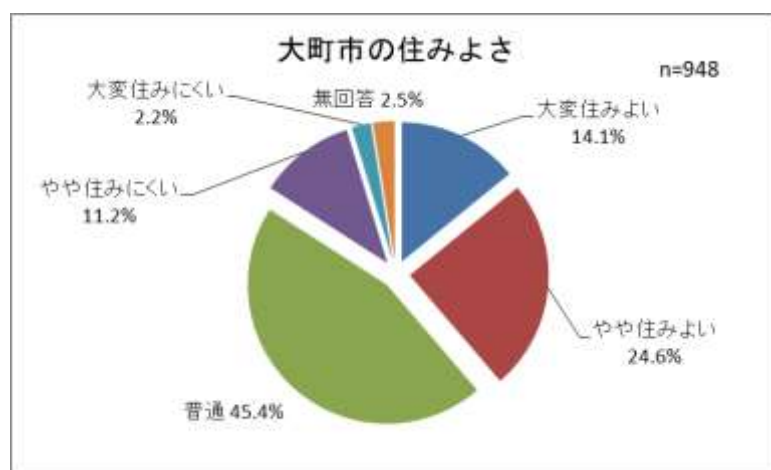
	回答数	構成比
清冽な湧水に育まれたまち	105	11.1%
四季折々の豊かな自然に囲まれたまち	206	21.7%
観光資源に恵まれた癒やしのまち	135	14.2%
美味しい食があふれるまち	77	8.1%
人情に厚く故郷を大切にするまち	95	10.0%
お互いに助け合い、支え合うまち	186	19.6%
働く人が生き生きと活発に行動するまち	304	32.1%
イベントなどが充実した賑わいのあるまち	86	9.1%
居住環境・生活環境が整備された住みよいまち	286	30.2%
防犯・防災体制が充実した安心・安全なまち	142	15.0%
教育・子育てに手厚い、人を育てるまち	269	28.4%
健康増進・医療福祉制度が充実した人に優しいまち	329	34.7%
無回答	151	15.9%
回答者総数	948	100.0%



大町市の現在のイメージと望ましいイメージには大きな差がある。現在は「清冽な湧水に育まれたまち」や「四季折々の豊かな自然に囲まれたまち」など”自然に恵まれたまち”というイメージが飛び抜けて多いが、望ましいイメージとしては、「健康増進・医療福祉制度が充実した人に優しいまち」、「働く人が生き生きと活発に行動するまち」等があげられ、変化が望まれている。

問 3 大町市は、あなたにとって住みよいところだと思いますか。次の中から該当する項目を1つ選んで、その（ ）に○を記入してください。

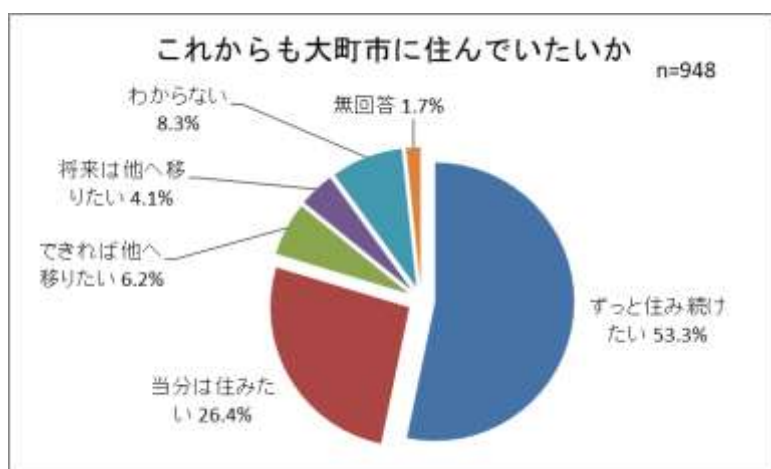
	回答数	構成比	第9回	前回比
大変住みよい	134	14.1%	11.9%	2.2
やや住みよい	233	24.6%	20.5%	4.0
普通	430	45.4%	45.0%	0.4
やや住みにくい	106	11.2%	17.9%	-6.7
大変住みにくい	21	2.2%	3.4%	-1.2
無回答	24	2.5%	1.3%	1.2
回答者総数	948	100.0%	100.0%	-



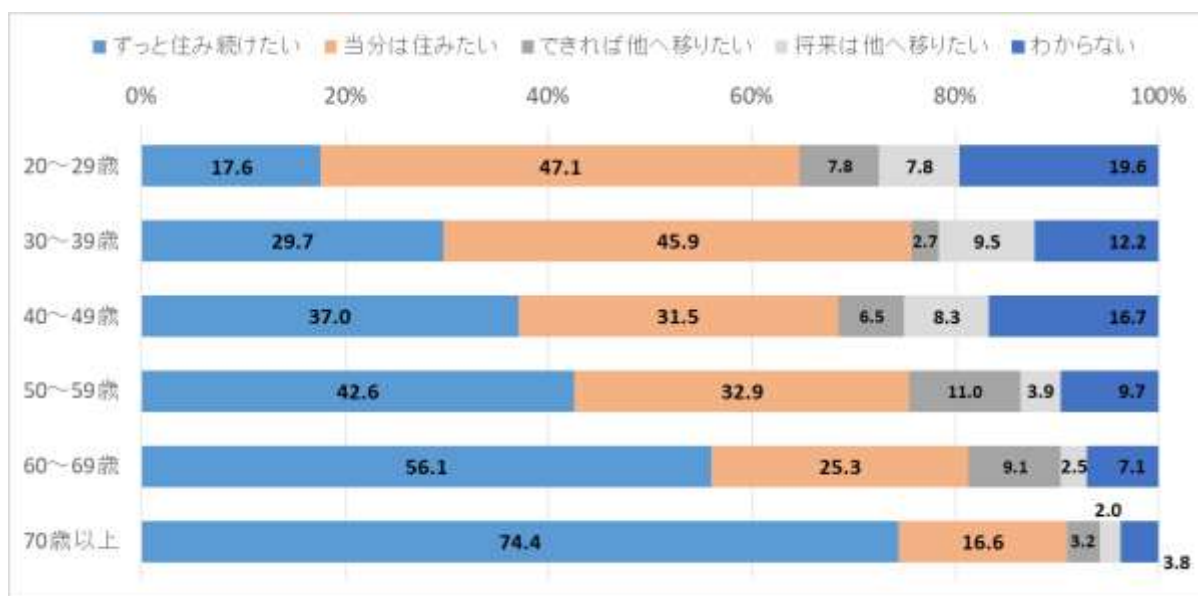
「やや住みにくい」、「大変住みにくい」との回答は合わせても約13%程度。約4割の回答者は「大変住みよい」、「やや住みよい」と感じており、大町市の住みよさについては評価が高い。

問 4 あなたは、これからもずっと大町市に住んでいたいと思われませんか。次の中から該当するものを1つ選んで、その()に○を記入してください。また、3・4を選んだ人は、その理由を記入してください。

	回答数	構成比	第9回	前回比
ずっと住み続けたい	505	53.3%	49.7%	3.6
当分は住みたい	250	26.4%	20.8%	5.6
できれば他へ移りたい	59	6.2%	12.9%	-6.7
将来は他へ移りたい	39	4.1%	2.9%	1.2
わからない	79	8.3%	12.3%	-3.9
無回答	16	1.7%	1.5%	0.2
回答者総数	948	100.0%	100.0%	-



問 4 「居留意向」年代別クロス集計

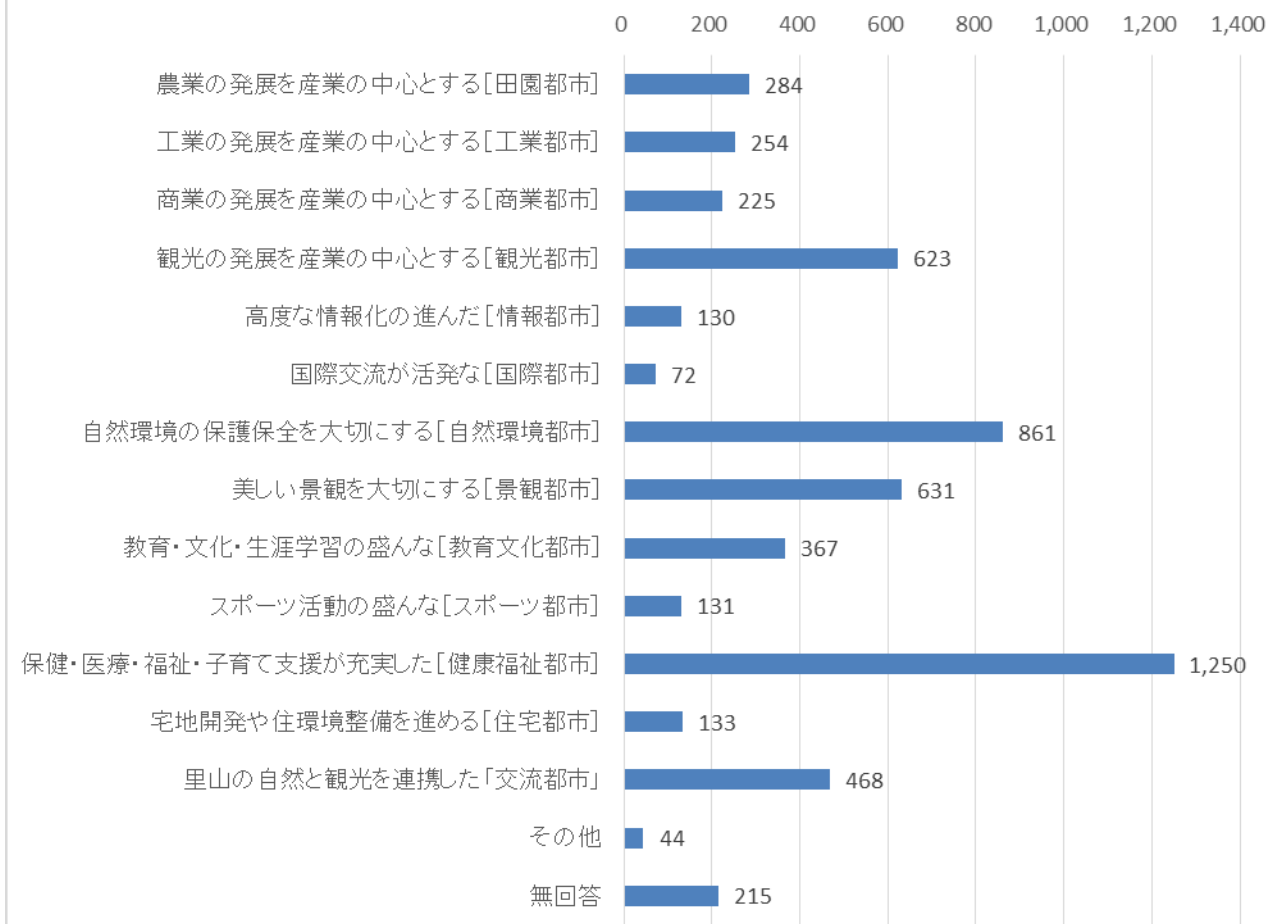


問4の居住意向についての世代別のクロス集計グラフは上記のようになっており、年上の世代ほど居住意向が強い。若い世代は10年、20年先のことについて「わからない」との回答が増えるのは当然と言えるが、「できれば他に移りたい」、「将来は他へ移りたい」との回答は、年上の世代と比べても極端に多くはない。

問 5 あなたは、大町市がこれからどのような「まち」になることを期待されますか。次の項目の中から、あなたが最も期待する将来の大町市の姿を優先順に3つ選んで、その番号を（ ）に記入してください。

	1位		2位		3位	合計点	構成比	第9回	前回比
	回答数	×3= ①	回答数	×2= ②	回答数 =③	①+② +③			
農業の発展を産業の中心とする [田園都市]	49	147	44	88	49	284	5.0%	5.5%	-0.5
工業の発展を産業の中心とする [工業都市]	62	186	24	48	20	254	4.5%	5.7%	-1.2
商業の発展を産業の中心とする [商業都市]	37	111	42	84	30	225	4.0%	4.1%	-0.1
観光の発展を産業の中心とする [観光都市]	118	354	91	182	87	623	11.0%	13.9%	-2.9
高度な情報化の進んだ [情報都市]	17	51	24	48	31	130	2.3%	0.8%	1.5
国際交流が活発な [国際都市]	3	9	17	34	29	72	1.3%	1.4%	-0.2
自然環境の保護保全を大切にする [自然環境都市]	158	474	144	288	99	861	15.1%	13.2%	1.9
美しい景観を大切にする [景観都市]	80	240	138	276	115	631	11.1%	12.0%	-0.9
教育・文化・生涯学習の盛んな [教育文化都市]	33	99	101	202	66	367	6.5%	4.3%	2.2
スポーツ活動の盛んな [スポーツ都市]	10	30	34	68	33	131	2.3%	2.6%	-0.3
保健・医療・福祉・子育て支援が充実した [健康福祉都市]	271	813	132	264	173	1,250	22.0%	20.1%	1.8
宅地開発や住環境整備を進める [住宅都市]	14	42	29	58	33	133	2.3%	1.9%	0.4
里山の自然と観光を連携した「交流都市」	60	180	83	166	122	468	8.2%	9.8%	-1.6
その他	9	27	3	6	11	44	0.8%	0.4%	0.3
無回答	27	81	42	84	50	215	3.8%	4.3%	-0.5
回答者総数	948	2,844	948	1,896	948	5,688	100.0%	100.0%	-

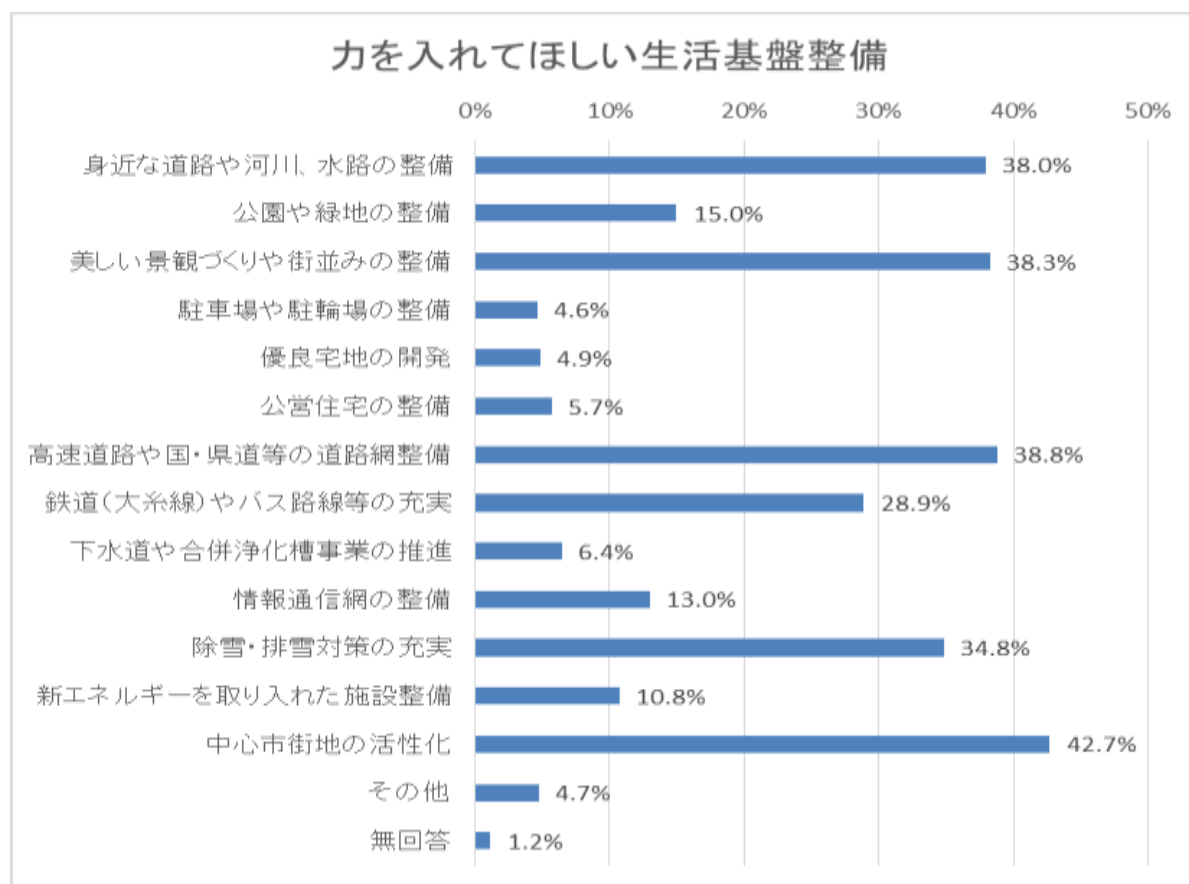
期待する将来の大町市の姿



「保健・医療・福祉・子育て支援が充実した [健康福祉都市]」、「自然環境の保護保全を大切にする [自然環境都市]」、「観光の発展を産業の中心とする [観光都市]」が上位となり、前回調査と大きな違いはみられない。

問6 生活基盤整備等について、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。次の中から3つ選んで、その（ ）に○を記入してください。

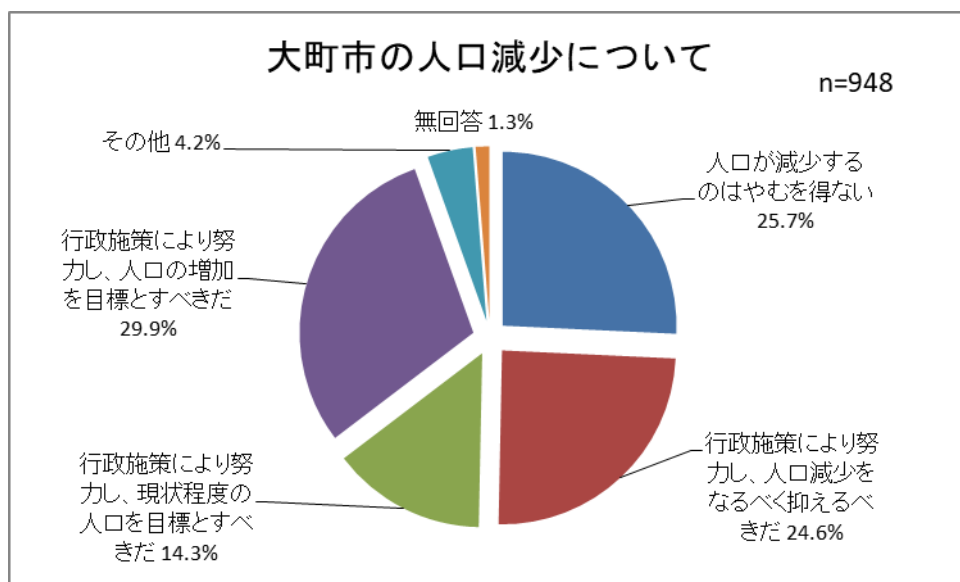
	回答数	構成比	第9回	前回比
身近な道路や河川、水路の整備	360	38.0%	24.3%	13.7
公園や緑地の整備	142	15.0%	10.6%	4.4
美しい景観づくりや街並みの整備	363	38.3%	36.5%	1.8
駐車場や駐輪場の整備	44	4.6%	3.9%	0.8
優良宅地の開発	46	4.9%	5.8%	-1.0
公営住宅の整備	54	5.7%	5.0%	0.7
高速道路や国・県道等の道路網整備	368	38.8%	46.1%	-7.2
鉄道（大系線）やバス路線等の充実	274	28.9%	32.1%	-3.2
下水道や合併浄化槽事業の推進	61	6.4%	4.4%	2.1
情報通信網の整備	123	13.0%	5.8%	7.1
除雪・排雪対策の充実	330	34.8%	49.1%	-14.3
新エネルギーを取り入れた施設整備	102	10.8%	9.1%	1.6
中心市街地の活性化	405	42.7%	50.8%	-8.1
その他	45	4.7%	5.1%	-0.4
無回答	11	1.2%	0.9%	0.3
回答者総数	948	100.0%	100.0%	-



前回調査に比べ「身近な道路や河川、水路の整備」が 13.7 ポイント 増加し、「除雪・排雪対策の充実」は 14.3 ポイント 減少している。ただ「除雪・排雪対策の充実」については、前々回の第 8 回調査では 37.6%であり、今回と大差はない。「身近な道路や河川、水路の整備」については第 8 回調査では 24.1%であったので、今回調査では明らかにこれまでとは違い増加している。

問7 大町市の人口は、令和2年4月1日現在で27,006人（住民基本台帳）です。国全体でも人口が減少しており、大町市においても、今後さらに人口減少が進むことが予想されます。あなたは、将来（10年後くらい）の大町市の人口についてどのようにお考えですか。あなたのお考えに最も近いものを1つ選んで、その（ ）に○を記入してください。

	回答数	構成比	第9回	前回比
人口が減少するのはやむを得ない	244	25.7%	19.8%	5.9
行政施策により努力し、人口減少をなるべく抑えるべきだ	233	24.6%	24.4%	0.2
行政施策により努力し、現状程度の人口を目標とすべきだ	136	14.3%	19.1%	-4.7
行政施策により努力し、人口の増加を目標とすべきだ	283	29.9%	31.7%	-1.9
その他	40	4.2%	2.6%	1.7
無回答	12	1.3%	2.4%	-1.2
回答者総数	948	100.0%	100.0%	-

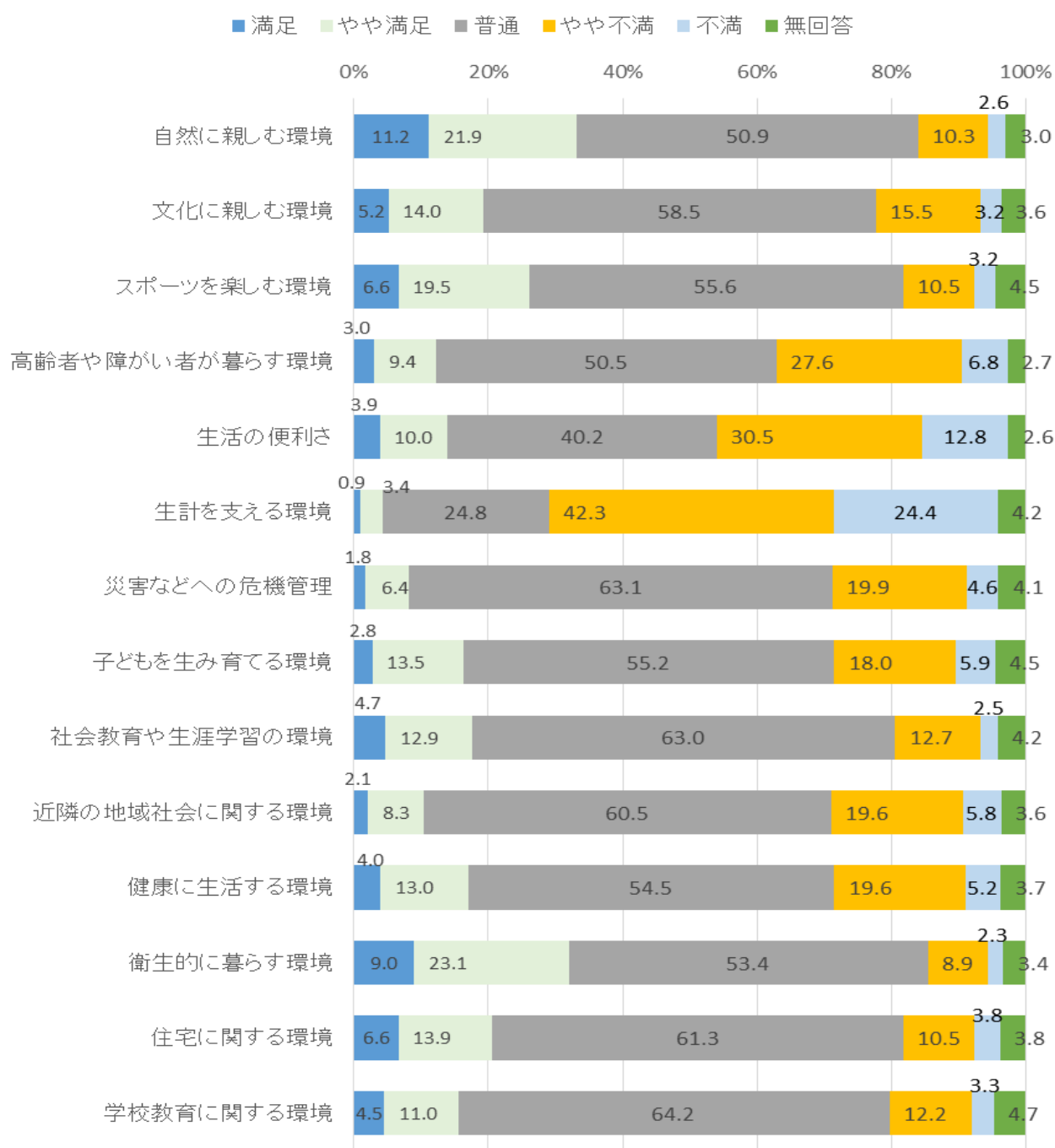


前回調査に比べ若干ではあるが、「現状程度の維持」や「増加」との意見が減少し、「やむを得ない」との意見が増加している。

問 8 あなたは、現在の生活環境についてどのように評価されていますか。それぞれの項目ごとに、右の欄の「満足・やや満足・普通・やや不満・不満」の中から、あなたのお考えに最も近いものを1から5の番号から1つ選んで○をしてください。

		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答
自然に親しむ環境	回答数	106	208	483	98	25	28
	構成比	11.2%	21.9%	50.9%	10.3%	2.6%	3.0%
	第9回構成比	12.0%	21.1%	51.0%	9.0%	2.4%	4.4%
文化に親しむ環境	回答数	49	133	555	147	30	34
	構成比	5.2%	14.0%	58.5%	15.5%	3.2%	3.6%
	第9回構成比	5.0%	14.1%	58.3%	12.9%	4.1%	5.6%
スポーツを楽しむ環境	回答数	63	185	527	100	30	43
	構成比	6.6%	19.5%	55.6%	10.5%	3.2%	4.5%
	第9回構成比	8.5%	18.0%	55.4%	10.0%	1.9%	6.2%
高齢者や障がい者が暮らす環境	回答数	28	89	479	262	64	26
	構成比	3.0%	9.4%	50.5%	27.6%	6.8%	2.7%
	第9回構成比	2.6%	10.0%	48.6%	26.6%	8.0%	4.3%
生活の便利さ	回答数	37	95	381	289	121	25
	構成比	3.9%	10.0%	40.2%	30.5%	12.8%	2.6%
	第9回構成比	2.9%	8.9%	35.4%	33.5%	15.6%	3.8%
生計を支える環境	回答数	9	32	235	401	231	40
	構成比	0.9%	3.4%	24.8%	42.3%	24.4%	4.2%
	第9回構成比	1.0%	2.6%	21.3%	33.7%	35.7%	5.8%
災害などへの危機管理	回答数	17	61	598	189	44	39
	構成比	1.8%	6.4%	63.1%	19.9%	4.6%	4.1%
	第9回構成比	2.3%	10.1%	55.4%	21.5%	5.2%	5.5%
子どもを生き育てる環境	回答数	27	128	523	171	56	43
	構成比	2.8%	13.5%	55.2%	18.0%	5.9%	4.5%
	第9回構成比	3.3%	12.8%	49.9%	18.8%	8.9%	6.3%
社会教育や生涯学習の環境	回答数	45	122	597	120	24	40
	構成比	4.7%	12.9%	63.0%	12.7%	2.5%	4.2%
	第9回構成比	4.3%	13.1%	62.5%	11.9%	3.2%	5.1%
近隣の地域社会に関する環境	回答数	20	79	574	186	55	34
	構成比	2.1%	8.3%	60.5%	19.6%	5.8%	3.6%
	第9回構成比	2.8%	11.5%	62.2%	11.7%	7.0%	4.7%
健康に生活する環境	回答数	38	123	517	186	49	35
	構成比	4.0%	13.0%	54.5%	19.6%	5.2%	3.7%
	第9回構成比	3.2%	15.2%	47.5%	21.5%	7.7%	5.0%
衛生的に暮らす環境	回答数	85	219	506	84	22	32
	構成比	9.0%	23.1%	53.4%	8.9%	2.3%	3.4%
	第9回構成比	8.5%	22.6%	50.5%	10.2%	3.2%	5.0%
住宅に関する環境	回答数	63	132	581	100	36	36
	構成比	6.6%	13.9%	61.3%	10.5%	3.8%	3.8%
	第9回構成比	7.0%	13.2%	58.6%	11.7%	3.9%	5.6%
学校教育に関する環境	回答数	43	104	609	116	31	45
	構成比	4.5%	11.0%	64.2%	12.2%	3.3%	4.7%
	第9回構成比	5.8%	12.9%	62.7%	9.0%	3.2%	6.4%

現在の生活環境の評価

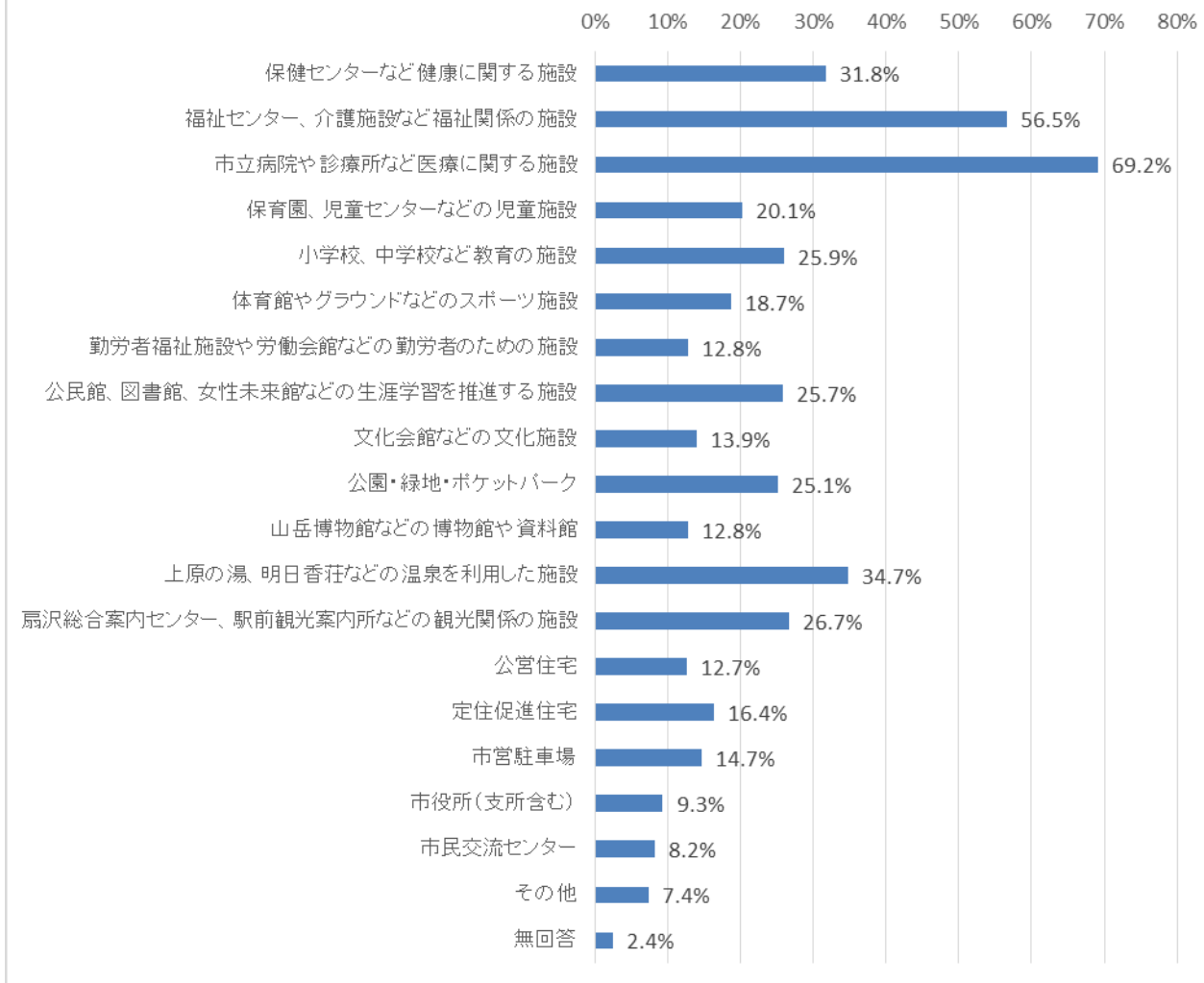


全体的には“不満”（「やや不満」＋「不満」）は少ないが、「生計を支える環境」、「生活の便利さ」、「高齢者や障がい者が暮らす環境」については、前回調査と同様に不満が多い。

問9 今後も施設整備が必要だと思われる公共施設はどれですか。次の中から5つ選んで、その()に○を記入してください。

	回答数	構成比	第9回	前回比
保健センターなど健康に関する施設	301	31.8%	35.2%	-3.5
福祉センター、介護施設など福祉関係の施設	536	56.5%	69.4%	-12.8
市立病院や診療所など医療に関する施設	656	69.2%	67.3%	1.9
保育園、児童センターなどの児童施設	191	20.1%	22.8%	-2.7
小学校、中学校など教育の施設	246	25.9%	24.2%	1.8
体育館やグラウンドなどのスポーツ施設	177	18.7%	19.4%	-0.8
勤労者福祉施設や労働会館などの勤労者のための施設	121	12.8%	14.2%	-1.5
公民館、図書館、女性未来館などの生涯学習を推進する施設	244	25.7%	19.4%	6.3
文化会館などの文化施設	132	13.9%	15.6%	-1.6
公園・緑地・ポケットパーク	238	25.1%	25.5%	-0.4
山岳博物館などの博物館や資料館	121	12.8%	10.2%	2.6
上原の湯や温水プール、明日香荘、ぽかぽかランド美麻などの温泉を利用した施設	329	34.7%	39.5%	-4.8
扇沢総合案内センター、駅前観光案内所、明日香荘、ぽかぽかランド美麻、公衆トイレなどの観光関係の施設	253	26.7%	32.0%	-5.3
公営住宅	120	12.7%	13.9%	-1.2
定住促進住宅	155	16.4%	—	—
市営駐車場	139	14.7%	19.9%	-5.3
市役所（支所含む）	88	9.3%	9.4%	-0.1
市民交流センター	78	8.2%	—	—
その他	70	7.4%	7.8%	-0.4
無回答	23	2.4%	2.8%	-0.4
回答者総数	948	100.0%	100.0%	—

施設整備が必要と思う公共施設



「福祉センター、介護施設など福祉関係の施設」との回答が前回調査に比べ **-12.8 ポイント** と大きく減少している。(前々回の第8回調査では **65.9%**)

問 10 あなたは、市が行っている施策や事業などについて、現在どの程度満足されていますか。また、大町市がより住みやすく、さらに発展していくためには、その事業がどの程度重要だと思われますか。次の施策・事業の項目ごと、「現在の満足度」と「今後の重要度」について、それぞれ1から6の番号から1つ選んで○をしてください。

【現在の満足度】

		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	無回答
健康診断など保健サービス	回答数	111	126	558	52	18	55	28
	構成比	11.7%	13.3%	58.9%	5.5%	1.9%	5.8%	3.0%
	第9回構成比	12.8%	16.9%	52.1%	6.2%	1.9%	4.9%	5.2%
医療提供体制の充実	回答数	36	80	446	193	94	53	46
	構成比	3.8%	8.4%	47.0%	20.4%	9.9%	5.6%	4.9%
	第9回構成比	4.1%	10.3%	39.7%	21.0%	11.7%	6.1%	7.0%
高齢者福祉・介護保険サービス	回答数	40	56	467	157	58	128	42
	構成比	4.2%	5.9%	49.3%	16.6%	6.1%	13.5%	4.4%
	第9回構成比	3.5%	7.8%	45.9%	15.1%	7.2%	14.1%	6.4%
自立支援などの障がい者福祉サービス	回答数	23	45	469	85	39	231	56
	構成比	2.4%	4.7%	49.5%	9.0%	4.1%	24.4%	5.9%
	第9回構成比	1.5%	4.4%	47.1%	9.1%	5.1%	23.8%	9.0%
ユニバーサルデザインの導入	回答数	10	17	382	72	47	355	65
	構成比	1.1%	1.8%	40.3%	7.6%	5.0%	37.4%	6.9%
	第9回構成比	0.9%	1.9%	37.9%	8.4%	2.4%	36.8%	11.7%
保育などの子育て支援サービス	回答数	25	69	501	89	28	182	54
	構成比	2.6%	7.3%	52.8%	9.4%	3.0%	19.2%	5.7%
	第9回構成比	3.9%	7.7%	46.1%	9.6%	4.7%	19.1%	9.0%
生活困窮者への生活援護	回答数	15	21	429	68	39	325	51
	構成比	1.6%	2.2%	45.3%	7.2%	4.1%	34.3%	5.4%
	第9回構成比	2.1%	3.3%	41.7%	9.5%	4.1%	29.9%	9.5%
生涯学習の場や機会の充実	回答数	16	33	567	61	26	188	57
	構成比	1.7%	3.5%	59.8%	6.4%	2.7%	19.8%	6.0%
	第9回構成比	2.3%	5.2%	55.8%	8.3%	2.7%	17.5%	8.3%
身近な学びと情報の拠点としての図書館事業	回答数	26	62	573	63	30	142	52
	構成比	2.7%	6.5%	60.4%	6.6%	3.2%	15.0%	5.5%
	第9回構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
公民館活動	回答数	20	45	603	58	25	149	48
	構成比	2.1%	4.7%	63.6%	6.1%	2.6%	15.7%	5.1%
	第9回構成比	3.2%	6.1%	63.7%	5.3%	1.9%	12.3%	7.5%
スポーツの振興	回答数	20	72	578	53	30	148	47
	構成比	2.1%	7.6%	61.0%	5.6%	3.2%	15.6%	5.0%
	第9回構成比	3.0%	8.3%	58.3%	7.9%	1.7%	12.6%	8.1%

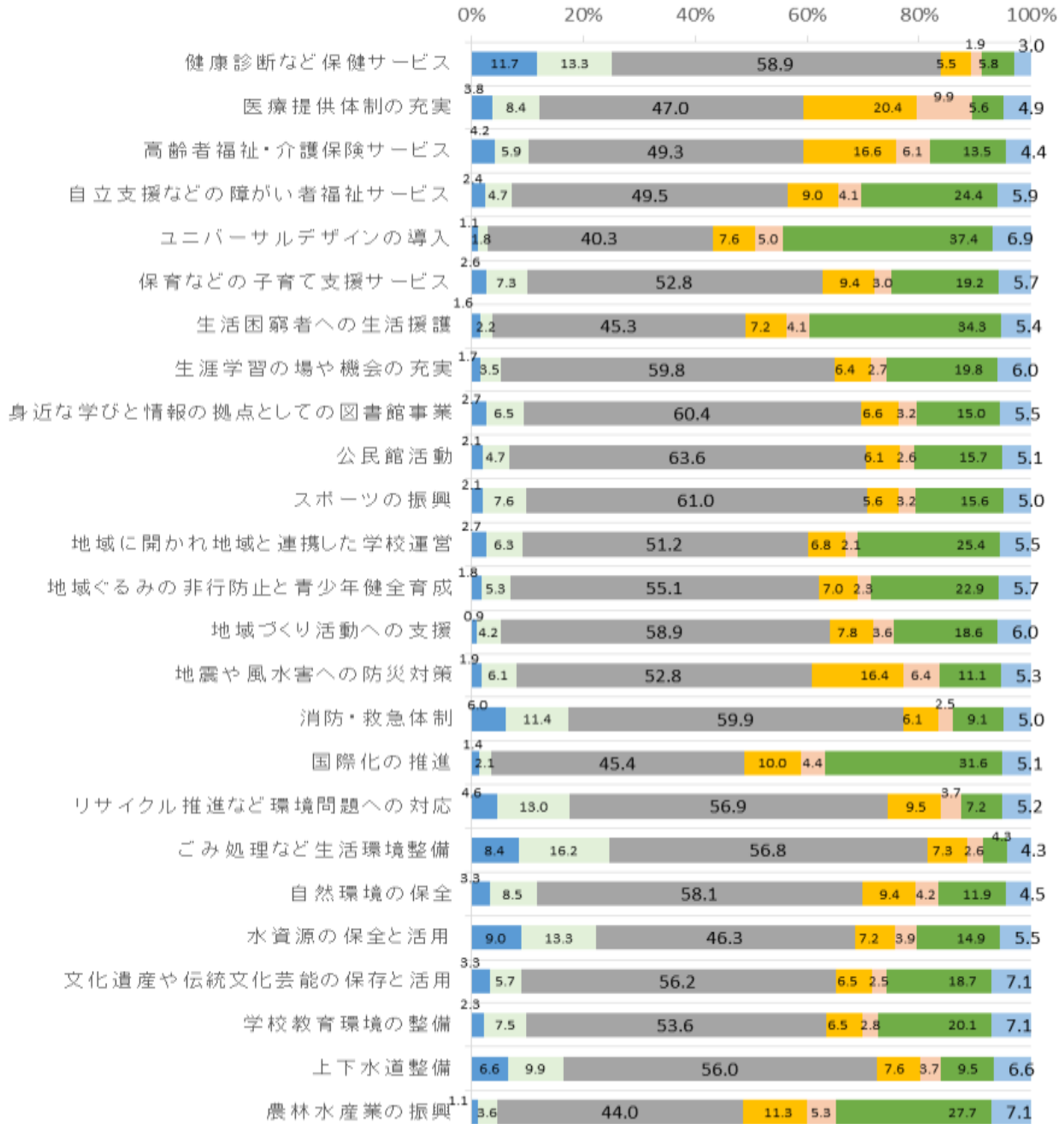
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	無回答
地域に開かれ地域と連携した学校運営	回答数	26	60	485	64	20	241	52
	構成比	2.7%	6.3%	51.2%	6.8%	2.1%	25.4%	5.5%
	第9回構成比	2.6%	6.3%	52.1%	5.6%	2.4%	22.1%	8.9%
地域ぐるみの非行防止と青少年健全育成	回答数	17	50	522	66	22	217	54
	構成比	1.8%	5.3%	55.1%	7.0%	2.3%	22.9%	5.7%
	第9回構成比	2.2%	5.5%	55.9%	7.7%	2.8%	16.5%	9.5%
地域づくり活動への支援	回答数	9	40	558	74	34	176	57
	構成比	0.9%	4.2%	58.9%	7.8%	3.6%	18.6%	6.0%
	第9回構成比	2.6%	6.2%	55.5%	7.9%	4.0%	14.5%	9.4%
地震や風水害への防災対策	回答数	18	58	501	155	61	105	50
	構成比	1.9%	6.1%	52.8%	16.4%	6.4%	11.1%	5.3%
	第9回構成比	1.8%	6.7%	47.1%	16.3%	8.5%	10.6%	9.0%
消防・救急体制	回答数	57	108	568	58	24	86	47
	構成比	6.0%	11.4%	59.9%	6.1%	2.5%	9.1%	5.0%
	第9回構成比	6.1%	13.1%	53.8%	7.7%	2.9%	8.0%	8.4%
国際化の推進	回答数	13	20	430	95	42	300	48
	構成比	1.4%	2.1%	45.4%	10.0%	4.4%	31.6%	5.1%
	第9回構成比	0.5%	1.8%	40.5%	8.0%	5.2%	33.4%	10.6%
リサイクル推進など環境問題への対応	回答数	44	123	539	90	35	68	49
	構成比	4.6%	13.0%	56.9%	9.5%	3.7%	7.2%	5.2%
	第9回構成比	3.9%	11.5%	56.5%	8.9%	3.8%	7.7%	7.8%
ごみ処理など生活環境整備	回答数	80	154	538	69	25	41	41
	構成比	8.4%	16.2%	56.8%	7.3%	2.6%	4.3%	4.3%
	第9回構成比	6.3%	14.9%	54.2%	10.0%	4.4%	2.9%	7.3%
自然環境の保全	回答数	31	81	551	89	40	113	43
	構成比	3.3%	8.5%	58.1%	9.4%	4.2%	11.9%	4.5%
	第9回構成比	4.1%	9.5%	56.0%	9.5%	3.6%	9.7%	7.5%
水資源の保全と活用	回答数	85	126	439	68	37	141	52
	構成比	9.0%	13.3%	46.3%	7.2%	3.9%	14.9%	5.5%
	第9回構成比	10.4%	12.3%	45.9%	7.0%	3.0%	13.4%	7.9%
文化遺産や伝統文化芸能の保存と活用	回答数	31	54	533	62	24	177	67
	構成比	3.3%	5.7%	56.2%	6.5%	2.5%	18.7%	7.1%
	第9回構成比	3.4%	8.4%	53.7%	6.9%	1.7%	16.8%	9.1%
学校教育環境の整備	回答数	22	71	508	62	27	191	67
	構成比	2.3%	7.5%	53.6%	6.5%	2.8%	20.1%	7.1%
	第9回構成比	4.3%	6.9%	51.8%	7.4%	1.7%	18.8%	9.1%
上下水道整備	回答数	63	94	531	72	35	90	63
	構成比	6.6%	9.9%	56.0%	7.6%	3.7%	9.5%	6.6%
	第9回構成比	9.6%	10.7%	53.5%	7.2%	4.5%	7.0%	7.5%
農林水産業の振興	回答数	10	34	417	107	50	263	67
	構成比	1.1%	3.6%	44.0%	11.3%	5.3%	27.7%	7.1%
	第9回構成比	1.7%	2.2%	41.9%	13.6%	5.7%	25.3%	9.6%
農地、林地の環境保全対策	回答数	10	28	381	146	58	255	70
	構成比	1.1%	3.0%	40.2%	15.4%	6.1%	26.9%	7.4%
	第9回構成比	1.7%	2.1%	40.0%	15.1%	7.5%	24.5%	9.1%

		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	無回答
商工業の振興	回答数	6	28	318	234	110	182	70
	構成比	0.6%	3.0%	33.5%	24.7%	11.6%	19.2%	7.4%
	第9回構成比	1.1%	2.4%	30.0%	26.1%	15.3%	16.2%	8.9%
中心市街地の活性化	回答数	9	21	224	273	268	90	63
	構成比	0.9%	2.2%	23.6%	28.8%	28.3%	9.5%	6.6%
	第9回構成比	0.5%	2.2%	21.4%	28.3%	32.0%	6.4%	9.2%
働く場や機会の充実	回答数	7	25	238	269	277	69	63
	構成比	0.7%	2.6%	25.1%	28.4%	29.2%	7.3%	6.6%
	第9回構成比	0.5%	2.3%	17.9%	24.3%	39.0%	6.1%	10.0%
企業の育成・誘致等産業の活性化	回答数	10	35	292	192	201	153	65
	構成比	1.1%	3.7%	30.8%	20.3%	21.2%	16.1%	6.9%
	第9回構成比	0.4%	2.8%	22.2%	25.0%	25.5%	14.2%	9.8%
観光の振興	回答数	13	54	420	167	126	97	71
	構成比	1.4%	5.7%	44.3%	17.6%	13.3%	10.2%	7.5%
	第9回構成比	1.5%	4.3%	41.7%	20.4%	13.2%	9.2%	9.7%
国営公園の有効的な活用	回答数	28	47	486	131	64	130	62
	構成比	3.0%	5.0%	51.3%	13.8%	6.8%	13.7%	6.5%
	第9回構成比	2.2%	7.5%	45.6%	14.9%	7.8%	13.1%	8.9%
身近な公園の整備	回答数	21	44	527	125	73	100	58
	構成比	2.2%	4.6%	55.6%	13.2%	7.7%	10.5%	6.1%
	第9回構成比	1.1%	4.1%	56.0%	12.8%	6.2%	10.2%	9.6%
総合的・計画的な土地利用	回答数	6	11	367	141	94	258	71
	構成比	0.6%	1.2%	38.7%	14.9%	9.9%	27.2%	7.5%
	第9回構成比	0.5%	1.8%	35.6%	16.3%	11.2%	24.9%	9.7%
自然と調和した景観整備	回答数	22	45	494	121	65	134	67
	構成比	2.3%	4.7%	52.1%	12.8%	6.9%	14.1%	7.1%
	第9回構成比	1.3%	7.5%	49.6%	13.2%	6.8%	11.5%	10.0%
住宅や宅地の供給	回答数	15	24	479	109	41	216	64
	構成比	1.6%	2.5%	50.5%	11.5%	4.3%	22.8%	6.8%
	第9回構成比	1.2%	3.2%	50.7%	10.0%	3.8%	21.5%	9.7%
Iターン・Uターン等の移住対策	回答数	12	61	401	150	79	183	62
	構成比	1.3%	6.4%	42.3%	15.8%	8.3%	19.3%	6.5%
	第9回構成比	0.9%	5.1%	35.6%	17.6%	9.7%	20.7%	10.4%
道路・水路の整備	回答数	16	44	477	201	86	63	61
	構成比	1.7%	4.6%	50.3%	21.2%	9.1%	6.6%	6.4%
	第9回構成比	1.3%	7.5%	45.3%	19.4%	11.3%	6.0%	9.1%
広域的な交通網の整備	回答数	15	37	381	197	157	88	73
	構成比	1.6%	3.9%	40.2%	20.8%	16.6%	9.3%	7.7%
	第9回構成比	0.7%	3.8%	37.3%	21.0%	20.2%	7.0%	10.0%
鉄道・バスなどの公共交通対策	回答数	12	38	409	209	145	76	59
	構成比	1.3%	4.0%	43.1%	22.0%	15.3%	8.0%	6.2%
	第9回構成比	0.7%	4.5%	40.8%	22.1%	16.4%	6.3%	9.1%
ITを活用した情報化施策	回答数	5	12	368	108	53	326	76
	構成比	0.5%	1.3%	38.8%	11.4%	5.6%	34.4%	8.0%
	第9回構成比	0.7%	2.7%	44.8%	9.8%	5.0%	28.1%	8.9%

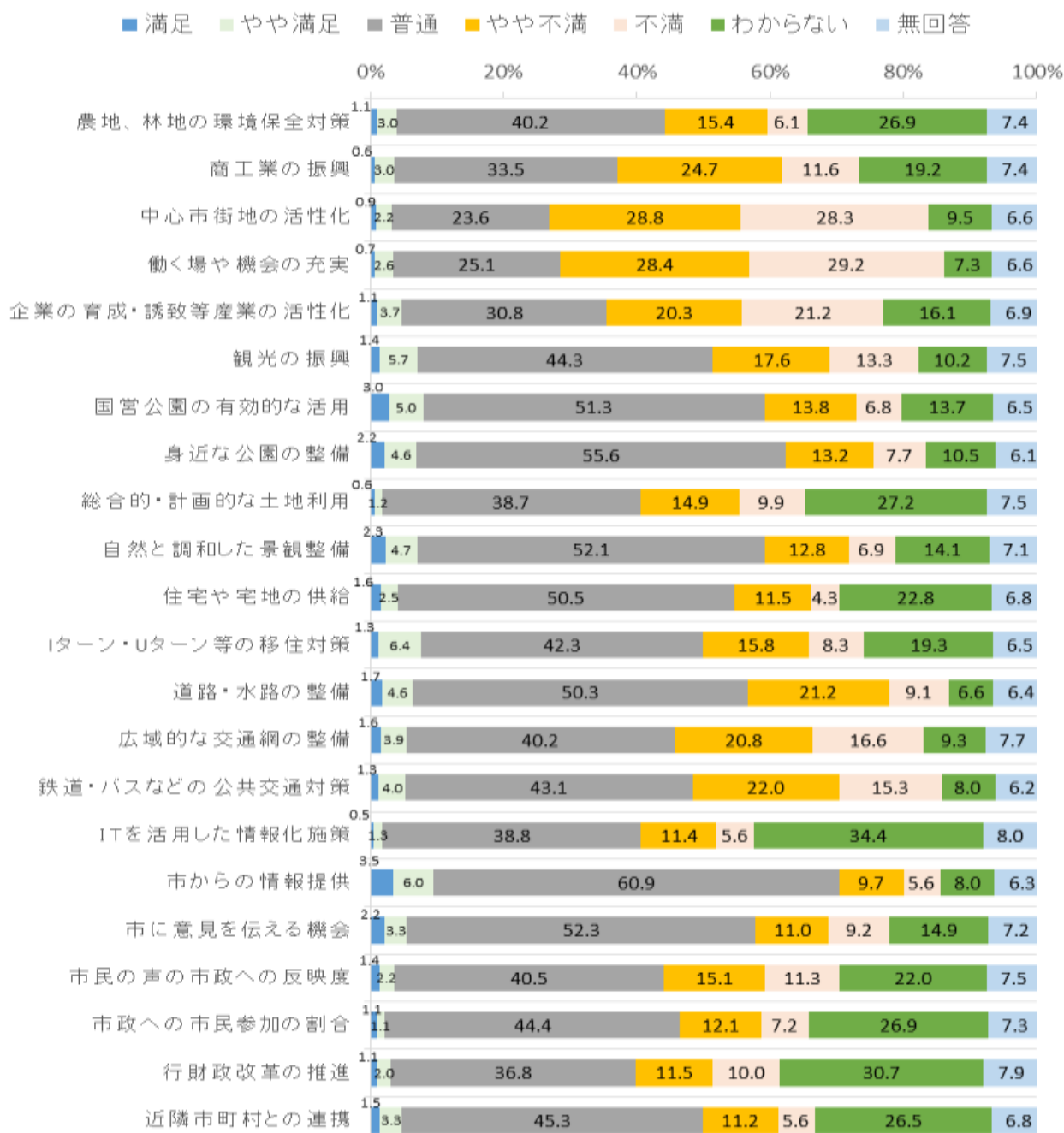
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	無回答
市からの情報提供	回答数	33	57	577	92	53	76	60
	構成比	3.5%	6.0%	60.9%	9.7%	5.6%	8.0%	6.3%
	第9回構成比	4.3%	7.8%	55.0%	11.7%	6.2%	6.1%	9.0%
市に意見を伝える機会	回答数	21	31	496	104	87	141	68
	構成比	2.2%	3.3%	52.3%	11.0%	9.2%	14.9%	7.2%
	第9回構成比	2.9%	5.3%	47.6%	12.8%	9.4%	11.8%	10.2%
市民の声の市政への反映度	回答数	13	21	384	143	107	209	71
	構成比	1.4%	2.2%	40.5%	15.1%	11.3%	22.0%	7.5%
	第9回構成比	1.3%	4.1%	39.1%	15.1%	12.5%	18.6%	9.2%
市政への市民参加の割合	回答数	10	10	421	115	68	255	69
	構成比	1.1%	1.1%	44.4%	12.1%	7.2%	26.9%	7.3%
	第9回構成比	1.1%	3.4%	42.0%	13.5%	7.8%	23.1%	9.1%
行財政改革の推進	回答数	10	19	349	109	95	291	75
	構成比	1.1%	2.0%	36.8%	11.5%	10.0%	30.7%	7.9%
	第9回構成比	0.9%	3.6%	38.5%	12.8%	9.8%	25.2%	9.2%
近隣市町村との連携	回答数	14	31	429	106	53	251	64
	構成比	1.5%	3.3%	45.3%	11.2%	5.6%	26.5%	6.8%
	第9回構成比	1.5%	3.8%	46.4%	12.9%	5.8%	20.8%	8.9%

市の施策・事業に対する現在の満足度

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない ■ 無回答



市の施策・事業に対する現在の満足度



ほとんどの項目で「普通」以上の評価が多いが、「中心市街地の活性化」、「働く場や機会の充実」については「やや不満」と「不満」の合計が5割を超えている。また回答者に高齢者が多いせいかわからない」といった回答が全体的に多い。

【今後の重要度】

		力を入 れたい	やいや 力を入 れたい	今のま まです よい	必要に 応じて 入れる	必要に 応じて 入れる	わから ない	無回 答
健康診断など保健サービス	回答数	164	221	416	6	3	33	105
	構成比	17.3%	23.3%	43.9%	0.6%	0.3%	3.5%	11.1%
	第9回構成比	21.0%	23.3%	35.0%	1.1%	1.1%	2.2%	16.3%
医療提供体制の充実	回答数	306	295	193	2	5	33	114
	構成比	32.3%	31.1%	20.4%	0.2%	0.5%	3.5%	12.0%
	第9回構成比	34.9%	27.8%	15.8%	0.4%	0.5%	3.6%	17.0%
高齢者福祉・介護保険サービス	回答数	269	287	192	4	1	83	112
	構成比	28.4%	30.3%	20.3%	0.4%	0.1%	8.8%	11.8%
	第9回構成比	30.9%	30.1%	14.9%	0.7%	0.6%	7.2%	15.6%
自立支援などの障がい者福祉サービス	回答数	156	244	259	4	4	158	123
	構成比	16.5%	25.7%	27.3%	0.4%	0.4%	16.7%	13.0%
	第9回構成比	21.6%	23.7%	22.7%	0.5%	0.4%	14.9%	16.2%
ユニバーサルデザインの導入	回答数	47	150	275	26	14	306	130
	構成比	5.0%	15.8%	29.0%	2.7%	1.5%	32.3%	13.7%
	第9回構成比	7.0%	16.4%	24.5%	1.8%	1.2%	29.6%	19.3%
保育などの子育て支援サービス	回答数	170	252	280	4	3	120	119
	構成比	17.9%	26.6%	29.5%	0.4%	0.3%	12.7%	12.6%
	第9回構成比	20.5%	25.4%	24.4%	0.7%	0.4%	13.1%	15.4%
生活困窮者への生活援護	回答数	117	194	283	13	10	219	112
	構成比	12.3%	20.5%	29.9%	1.4%	1.1%	23.1%	11.8%
	第9回構成比	15.3%	19.6%	25.6%	2.1%	1.9%	19.8%	15.7%
生涯学習の場や機会の充実	回答数	75	185	396	10	5	151	126
	構成比	7.9%	19.5%	41.8%	1.1%	0.5%	15.9%	13.3%
	第9回構成比	10.0%	18.7%	40.0%	1.6%	0.9%	11.5%	17.4%
身近な学びと情報の拠点としての図書館事業	回答数	75	167	466	9	3	115	113
	構成比	7.9%	17.6%	49.2%	0.9%	0.3%	12.1%	11.9%
	第9回構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
公民館活動	回答数	39	135	466	43	23	122	120
	構成比	4.1%	14.2%	49.2%	4.5%	2.4%	12.9%	12.7%
	第9回構成比	5.8%	12.0%	51.0%	3.8%	2.6%	8.6%	16.2%
スポーツの振興	回答数	75	175	435	14	13	117	119
	構成比	7.9%	18.5%	45.9%	1.5%	1.4%	12.3%	12.6%
	第9回構成比	8.6%	18.8%	44.7%	1.7%	1.3%	8.6%	16.2%
地域に開かれ地域と連携した学校運営	回答数	87	180	367	11	7	172	124
	構成比	9.2%	19.0%	38.7%	1.2%	0.7%	18.1%	13.1%
	第9回構成比	10.1%	20.3%	36.7%	0.7%	1.1%	14.7%	16.4%
地域ぐるみの非行防止と青少年健全育成	回答数	109	191	364	13	6	148	117
	構成比	11.5%	20.1%	38.4%	1.4%	0.6%	15.6%	12.3%
	第9回構成比	16.9%	24.3%	32.8%	0.7%	0.4%	9.4%	15.6%

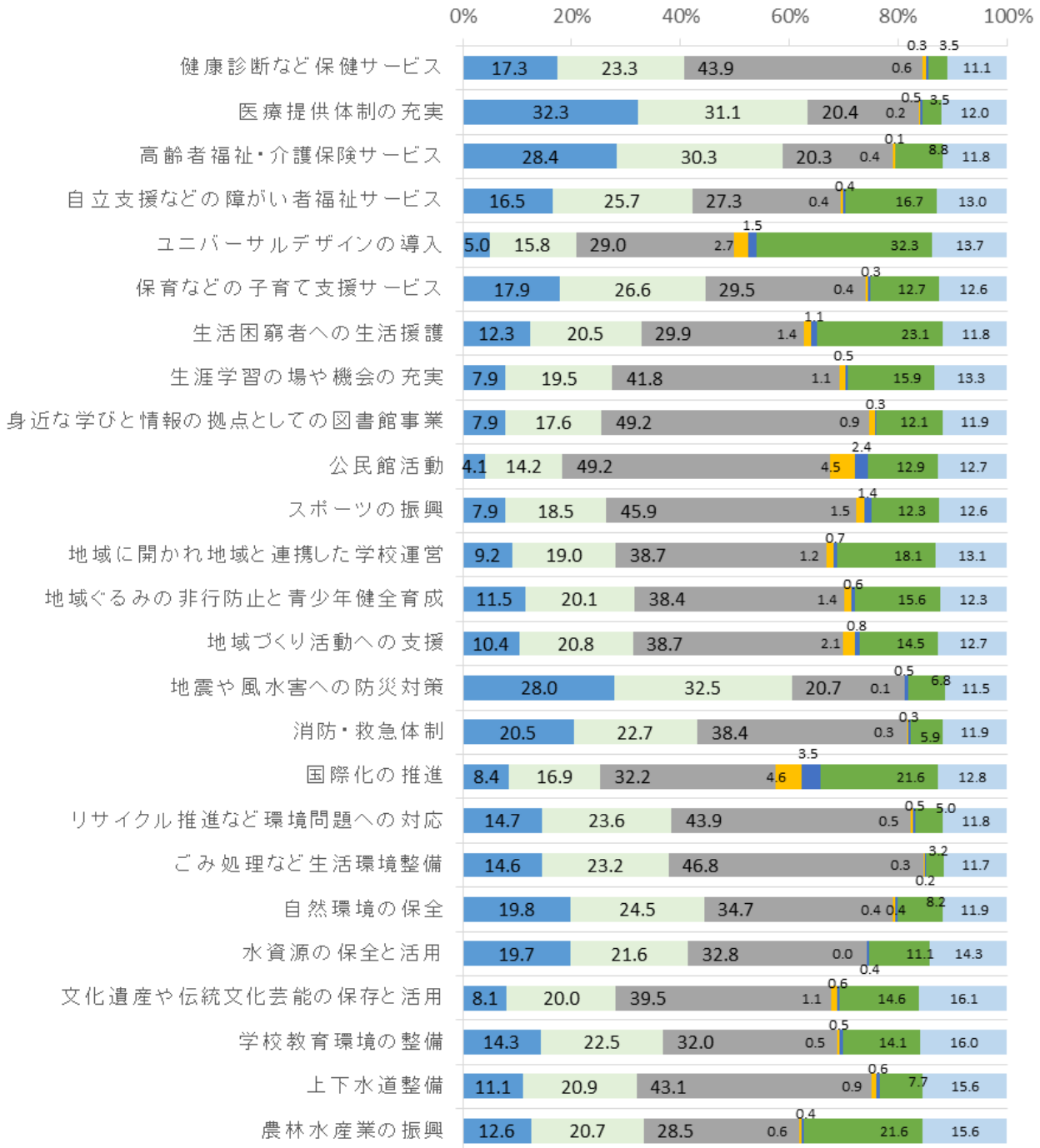
		力を入 れたい	や り たい	よ い ま ま	入 れ る 必 要 な い	あ ま り 力 を 入 れ る 必 要 な い	力 を 入 れ る 必 要 な い	わ か ら な い	無 回 答
地域づくり活動への支援	回答数	99	197	367	20	8	137	120	
	構成比	10.4%	20.8%	38.7%	2.1%	0.8%	14.5%	12.7%	
	第9回構成比	13.5%	22.5%	35.8%	1.6%	0.6%	9.5%	16.5%	
地震や風水害への防災対策	回答数	265	308	196	1	5	64	109	
	構成比	28.0%	32.5%	20.7%	0.1%	0.5%	6.8%	11.5%	
	第9回構成比	33.4%	30.0%	17.5%	0.2%	0.0%	3.9%	14.9%	
消防・救急体制	回答数	194	215	364	3	3	56	113	
	構成比	20.5%	22.7%	38.4%	0.3%	0.3%	5.9%	11.9%	
	第9回構成比	23.1%	22.0%	35.4%	0.2%	0.0%	3.8%	15.6%	
国際化の推進	回答数	80	160	305	44	33	205	121	
	構成比	8.4%	16.9%	32.2%	4.6%	3.5%	21.6%	12.8%	
	第9回構成比	9.4%	17.5%	28.8%	3.3%	1.6%	21.9%	17.6%	
リサイクル推進など環境問題への対応	回答数	139	224	416	5	5	47	112	
	構成比	14.7%	23.6%	43.9%	0.5%	0.5%	5.0%	11.8%	
	第9回構成比	14.9%	23.7%	39.4%	0.9%	0.1%	5.6%	15.4%	
ごみ処理など生活環境整備	回答数	138	220	444	3	2	30	111	
	構成比	14.6%	23.2%	46.8%	0.3%	0.2%	3.2%	11.7%	
	第9回構成比	16.6%	25.9%	39.2%	0.6%	0.2%	2.2%	15.2%	
自然環境の保全	回答数	188	232	329	4	4	78	113	
	構成比	19.8%	24.5%	34.7%	0.4%	0.4%	8.2%	11.9%	
	第9回構成比	18.5%	25.2%	35.2%	0.5%	0.1%	5.6%	14.9%	
水資源の保全と活用	回答数	187	205	311	0	4	105	136	
	構成比	19.7%	21.6%	32.8%	0.0%	0.4%	11.1%	14.3%	
	第9回構成比	18.1%	20.8%	35.2%	0.2%	0.2%	8.6%	16.8%	
文化遺産や伝統文化芸能の保存と活用	回答数	77	190	374	10	6	138	153	
	構成比	8.1%	20.0%	39.5%	1.1%	0.6%	14.6%	16.1%	
	第9回構成比	9.7%	19.8%	40.5%	1.3%	0.9%	10.9%	16.9%	
学校教育環境の整備	回答数	136	213	303	5	5	134	152	
	構成比	14.3%	22.5%	32.0%	0.5%	0.5%	14.1%	16.0%	
	第9回構成比	14.1%	21.5%	32.9%	0.2%	0.5%	12.8%	18.0%	
上下水道整備	回答数	105	198	409	9	6	73	148	
	構成比	11.1%	20.9%	43.1%	0.9%	0.6%	7.7%	15.6%	
	第9回構成比	12.4%	18.7%	44.7%	1.1%	0.7%	5.7%	16.6%	
農林水産業の振興	回答数	119	196	270	6	4	205	148	
	構成比	12.6%	20.7%	28.5%	0.6%	0.4%	21.6%	15.6%	
	第9回構成比	14.8%	20.2%	27.2%	0.7%	0.5%	19.6%	17.0%	
農地、林地の環境保全対策	回答数	126	233	243	7	5	192	142	
	構成比	13.3%	24.6%	25.6%	0.7%	0.5%	20.3%	15.0%	
	第9回構成比	15.9%	21.9%	26.7%	1.0%	0.4%	17.6%	16.5%	
商工業の振興	回答数	204	266	189	11	6	129	143	
	構成比	21.5%	28.1%	19.9%	1.2%	0.6%	13.6%	15.1%	
	第9回構成比	26.0%	30.1%	15.3%	0.7%	0.7%	10.3%	16.8%	
中心市街地の活性化	回答数	339	277	107	20	18	53	134	
	構成比	35.8%	29.2%	11.3%	2.1%	1.9%	5.6%	14.1%	
	第9回構成比	38.9%	27.5%	9.1%	2.7%	2.6%	4.7%	14.6%	

		力を 入れて 欲しい	や や 入れて 欲しい	今 の ま ま で よ い	あ ま り 力 を 入 れ る 必 要 は な い	必 要 は な い 力 を 入 れ る	わ か ら な い	無 回 答
働く場や機会の充実	回答数	389	275	99	4	3	46	132
	構成比	41.0%	29.0%	10.4%	0.4%	0.3%	4.9%	13.9%
	第9回構成比	51.0%	23.2%	7.4%	0.0%	0.5%	3.6%	14.2%
企業の育成・誘致等産業の活性化	回答数	289	249	141	5	8	113	143
	構成比	30.5%	26.3%	14.9%	0.5%	0.8%	11.9%	15.1%
	第9回構成比	40.6%	23.6%	10.8%	0.5%	0.7%	8.4%	15.4%
観光の振興	回答数	242	264	225	9	7	61	140
	構成比	25.5%	27.8%	23.7%	0.9%	0.7%	6.4%	14.8%
	第9回構成比	33.7%	26.2%	18.7%	0.5%	0.7%	5.3%	14.8%
国営公園の有効的な活用	回答数	131	217	333	20	15	96	136
	構成比	13.8%	22.9%	35.1%	2.1%	1.6%	10.1%	14.3%
	第9回構成比	15.7%	24.2%	32.0%	2.4%	1.7%	8.6%	15.4%
身近な公園の整備	回答数	100	225	382	17	12	70	142
	構成比	10.5%	23.7%	40.3%	1.8%	1.3%	7.4%	15.0%
	第9回構成比	11.7%	21.4%	41.2%	1.8%	1.2%	6.3%	16.4%
総合的・計画的な土地利用	回答数	133	228	235	12	3	184	153
	構成比	14.0%	24.1%	24.8%	1.3%	0.3%	19.4%	16.1%
	第9回構成比	19.2%	23.3%	21.7%	0.7%	1.1%	18.7%	15.2%
自然と調和した景観整備	回答数	166	248	280	11	11	89	143
	構成比	17.5%	26.2%	29.5%	1.2%	1.2%	9.4%	15.1%
	第9回構成比	16.5%	25.0%	32.4%	1.0%	0.7%	8.7%	15.6%
住宅や宅地の供給	回答数	78	184	336	13	15	168	154
	構成比	8.2%	19.4%	35.4%	1.4%	1.6%	17.7%	16.2%
	第9回構成比	8.6%	18.1%	38.2%	1.7%	1.5%	14.9%	17.0%
Iターン・Uターン等の移住対策	回答数	195	261	214	15	7	118	138
	構成比	20.6%	27.5%	22.6%	1.6%	0.7%	12.4%	14.6%
	第9回構成比	24.1%	26.1%	20.0%	1.0%	1.1%	12.2%	15.6%
道路・水路の整備	回答数	191	309	256	10	3	42	137
	構成比	20.1%	32.6%	27.0%	1.1%	0.3%	4.4%	14.5%
	第9回構成比	24.1%	29.5%	25.5%	0.9%	0.4%	3.6%	16.0%
広域的な交通網の整備	回答数	260	264	196	10	6	65	147
	構成比	27.4%	27.8%	20.7%	1.1%	0.6%	6.9%	15.5%
	第9回構成比	31.6%	25.2%	20.4%	0.9%	0.4%	4.7%	16.9%
鉄道・バスなどの公共交通対策	回答数	219	291	244	5	6	53	130
	構成比	23.1%	30.7%	25.7%	0.5%	0.6%	5.6%	13.7%
	第9回構成比	26.1%	27.0%	26.5%	0.4%	0.7%	4.4%	14.9%
ITを活用した情報化施策	回答数	107	180	236	6	7	257	155
	構成比	11.3%	19.0%	24.9%	0.6%	0.7%	27.1%	16.4%
	第9回構成比	9.4%	18.3%	31.8%	2.4%	1.0%	20.0%	17.0%
市からの情報提供	回答数	94	181	468	8	5	55	137
	構成比	9.9%	19.1%	49.4%	0.8%	0.5%	5.8%	14.5%
	第9回構成比	12.3%	20.3%	44.5%	1.6%	1.0%	4.0%	16.4%

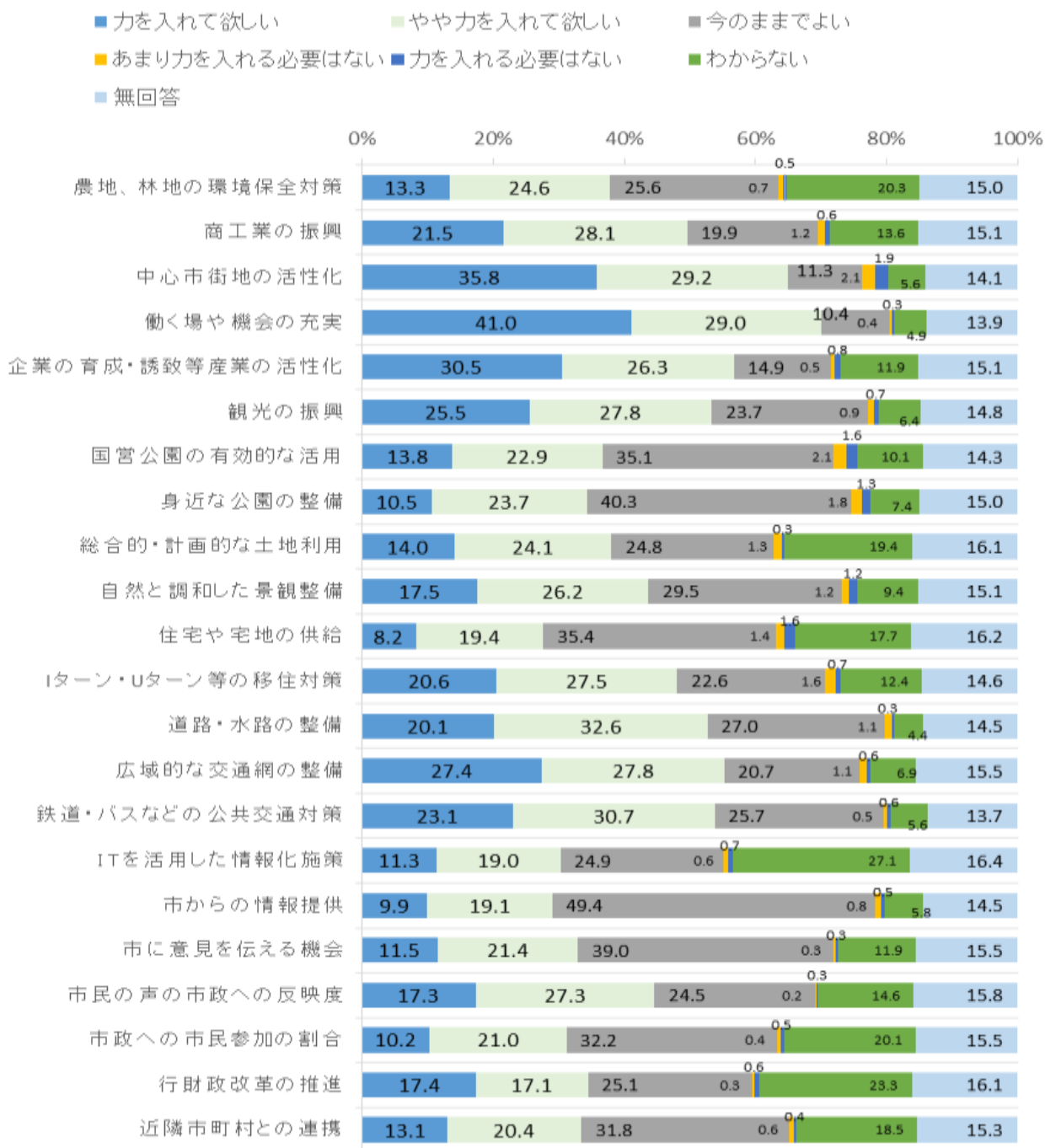
		力を入れて 欲しい	やや力を入 れて欲しい	今のま までよい	あまり力 を入 れる必要 はない	力を入 れる 必要 はない	わ か ら な い	無 回 答
市に意見を伝える機会	回答数	109	203	370	3	3	113	147
	構成比	11.5%	21.4%	39.0%	0.3%	0.3%	11.9%	15.5%
	第9回構成比	14.5%	20.5%	39.7%	0.7%	0.7%	7.0%	16.8%
市民の声の市政への反映度	回答数	164	259	232	2	3	138	150
	構成比	17.3%	27.3%	24.5%	0.2%	0.3%	14.6%	15.8%
	第9回構成比	18.7%	23.6%	27.8%	0.7%	0.5%	12.2%	16.5%
市政への市民参加の割合	回答数	97	199	305	4	5	191	147
	構成比	10.2%	21.0%	32.2%	0.4%	0.5%	20.1%	15.5%
	第9回構成比	12.3%	20.8%	33.2%	0.6%	0.6%	15.7%	16.9%
行財政改革の推進	回答数	165	162	238	3	6	221	153
	構成比	17.4%	17.1%	25.1%	0.3%	0.6%	23.3%	16.1%
	第9回構成比	17.9%	21.9%	25.3%	0.4%	0.4%	18.1%	16.2%
近隣市町村との連携	回答数	124	193	301	6	4	175	145
	構成比	13.1%	20.4%	31.8%	0.6%	0.4%	18.5%	15.3%
	第9回構成比	14.3%	23.8%	31.1%	0.9%	0.6%	13.7%	15.6%

市の施策・事業の今後の重要度

- 力を入れて欲しい
- やや力を入れて欲しい
- 今のままでよい
- あまり力を入れる必要はない
- 力を入れる必要はない
- わからない
- 無回答



市の施策・事業の今後の重要度



「現在の満足度」が低かった「中心市街地の活性化」、「働く場や機会の充実」に加え「医療提供体制の充実」、「地震や風水害への防災対策」などの項目に対しては「力を入れて欲しい」と「やや力を入れて欲しい」の合計が6割を超えている。その他「高齢者福祉・介護保険サービス」、「企業の育成・誘致等産業の活性化」などへの要望も多い。

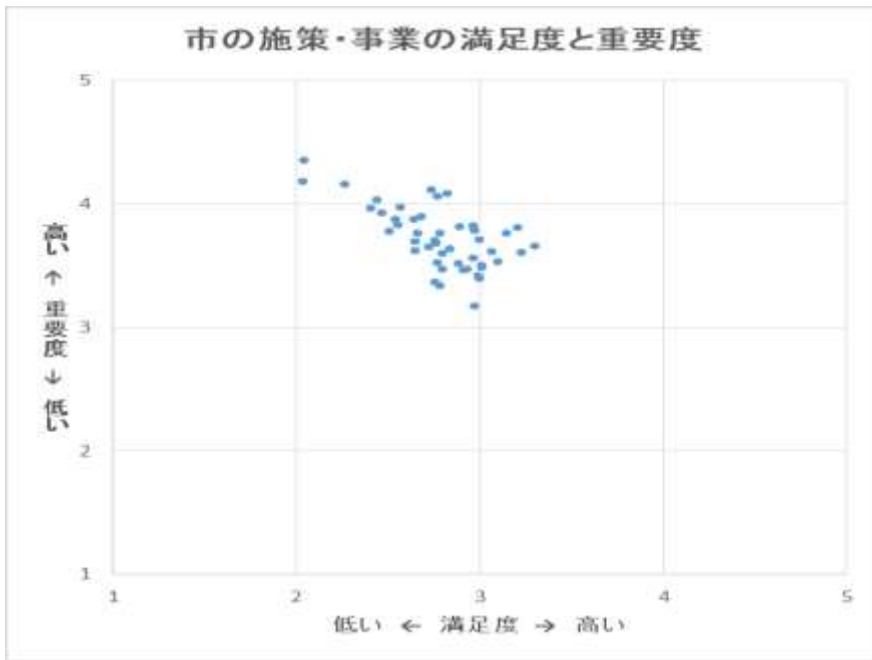
市の施策・事業の「現在の満足度」と「今後の重要度」の回答にそれぞれ下記の表のように重み付けを行い数値化し、各設問の回答者全員の平均値を算出して（選択肢「わからない」と無回答は除く）一つのグラフにプロットしたものがグラフ「市の施策・事業の満足度と重要度」である。

数値化の方法

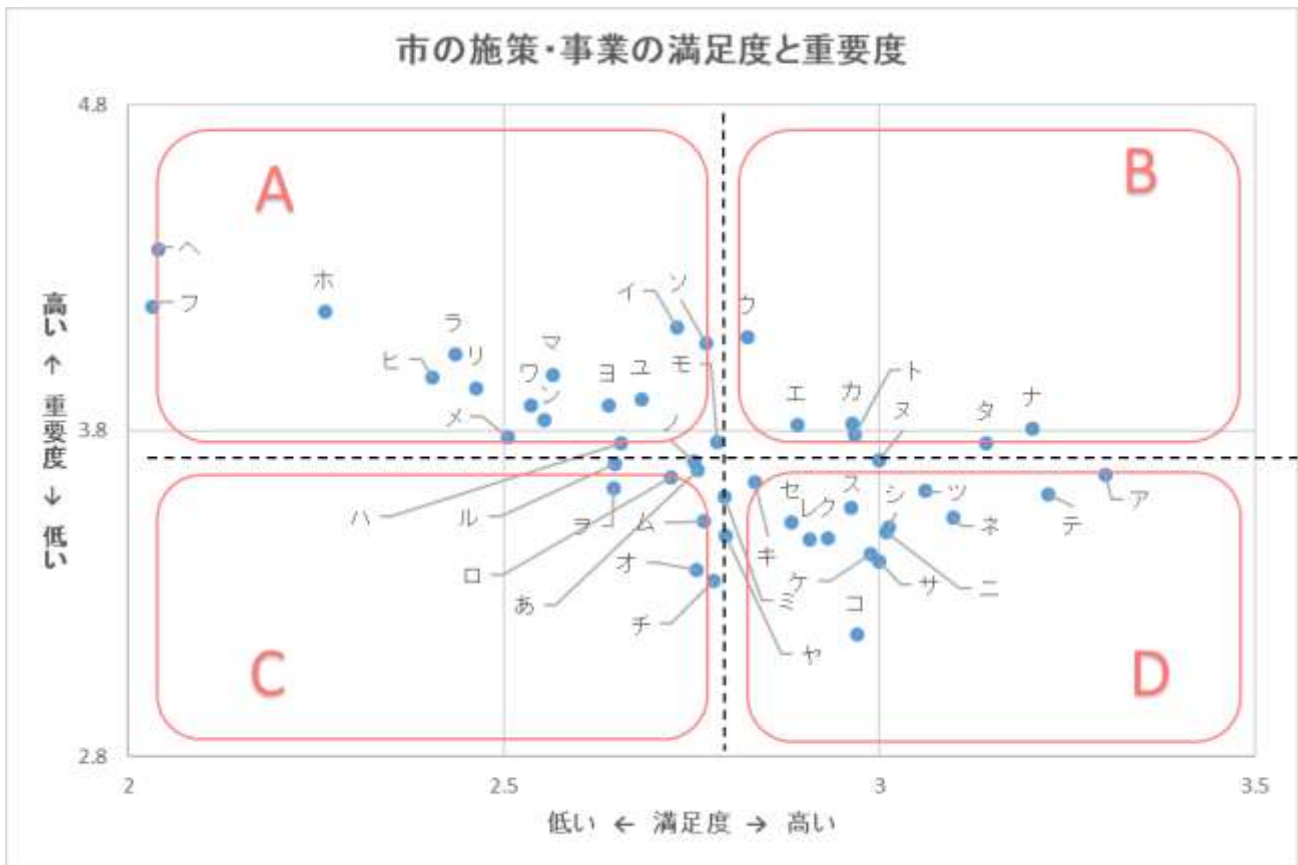
満足度評価	配点	重要度評価	配点
満足	5	力を入れて欲しい	5
やや満足	4	やや力を入れて欲しい	4
普通	3	今のままでよい	3
やや不満	2	あまり力を入れる必要はない	2
不満	1	力を入れる必要はない	1
わからない	-	わからない	-
無回答	-	無回答	-

各施策・事業の平均値

	施策・事業	満足度	重要度		施策・事業	満足度	重要度
ア	健康診断など保健サービス	3.3	3.7	ノ	農林水産業の振興	2.8	3.7
イ	医療提供体制の充実	2.7	4.1	ハ	農地、林地の環境保全対策	2.7	3.8
ウ	高齢者福祉・介護保険サービス	2.8	4.1	ヒ	商工業の振興	2.4	4.0
エ	自立支援などの障がい者福祉サービス	2.9	3.8	フ	中心市街地の活性化	2.0	4.2
オ	ユニバーサルデザインの導入	2.8	3.4	ヘ	働く場や機会の充実	2.0	4.4
カ	保育などの子育て支援サービス	3.0	3.8	ホ	企業の育成・誘致等産業の活性化	2.3	4.2
キ	生活困窮者への生活援護	2.8	3.6	マ	観光の振興	2.6	4.0
ク	生涯学習の場や機会の充実	2.9	3.5	ミ	国営公園の有効的な活用	2.8	3.6
ケ	身近な学びと情報の拠点としての図書館事業	3.0	3.4	ム	身近な公園の整備	2.8	3.5
コ	公民館活動	3.0	3.2	メ	総合的・計画的な土地利用	2.5	3.8
サ	スポーツの振興	3.0	3.4	モ	自然と調和した景観整備	2.8	3.8
シ	地域に開かれ地域と連携した学校運営	3.0	3.5	ヤ	住宅や宅地の供給	2.8	3.5
ス	地域ぐるみの非行防止と青少年健全育成	3.0	3.6	ユ	Iターン・Uターン等の移住対策	2.7	3.9
セ	地域づくり活動への支援	2.9	3.5	ヨ	道路・水路の整備	2.6	3.9
ソ	地震や風水害への防災対策	2.8	4.1	ラ	広域的な交通網の整備	2.4	4.0
タ	消防・救急体制	3.1	3.8	リ	鉄道・バスなどの公共交通対策	2.5	3.9
チ	国際化の推進	2.8	3.3	ル	I Tを活用した情報化施策	2.6	3.7
ツ	リサイクル推進など環境問題への対応	3.1	3.6	レ	市からの情報提供	2.9	3.5
テ	ごみ処理など生活環境整備	3.2	3.6	ロ	市に意見を伝える機会	2.7	3.7
ト	自然環境の保全	3.0	3.8	ワ	市民の声の市政への反映度	2.5	3.9
ナ	水資源の保全と活用	3.2	3.8	ヲ	市政への市民参加の割合	2.6	3.6
ニ	文化遺産や伝統文化芸能の保存と活用	3.0	3.5	ン	行財政改革の推進	2.6	3.8
ヌ	学校教育環境の整備	3.0	3.7	あ	近隣市町村との連携	2.8	3.7
ネ	上下水道整備	3.1	3.5				



上記のグラフを拡大し、現在の満足度全体の平均値=2.8、今後の重要度全体の平均値=3.7 を基準として4つのエリアに分類したものが次のグラフとなる。



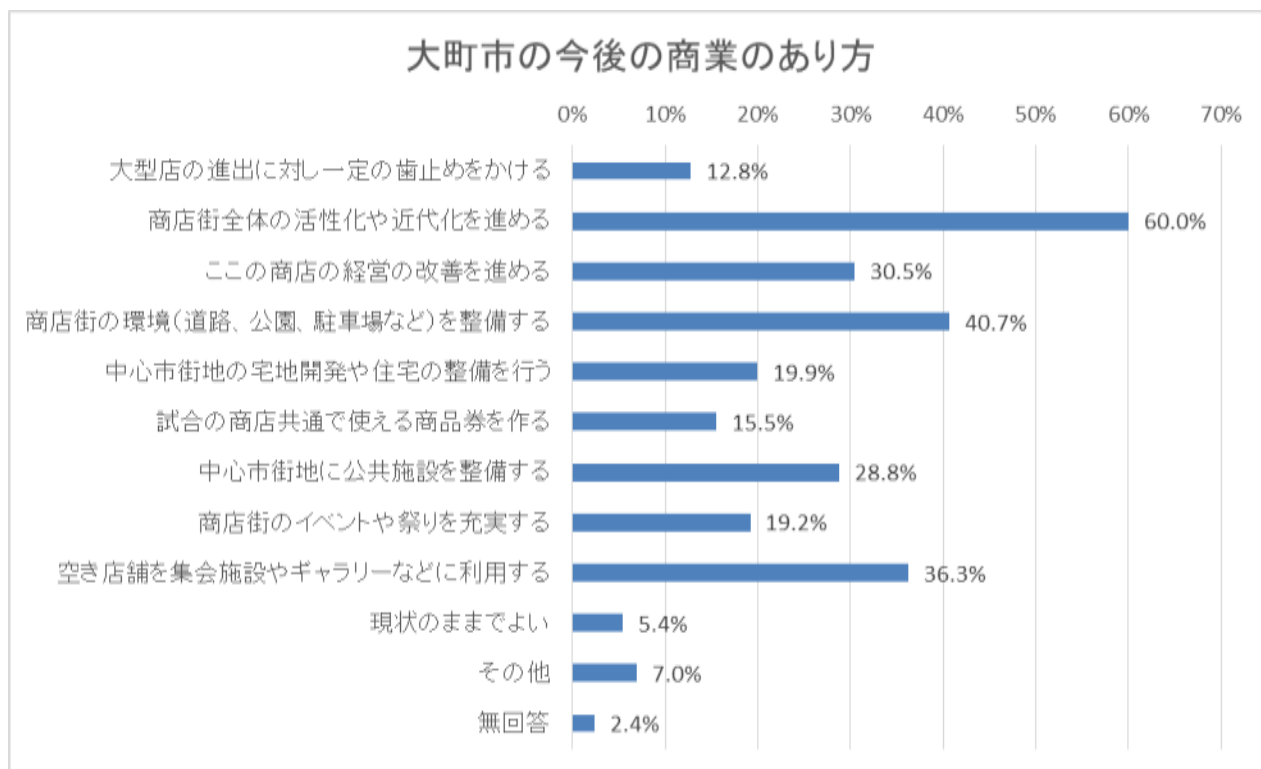
各施策・事業の平均値（エリア別）

	エリア		施策・事業	満足度	重要度
イ	A	満足度＝低い 重要度＝高い	医療提供体制の充実	2.7	4.1
ソ	A		地震や風水害への防災対策	2.8	4.1
ハ	A		農地、林地の環境保全対策	2.7	3.8
ヒ	A		商工業の振興	2.4	4.0
フ	A		中心市街地の活性化	2.0	4.2
へ	A		働く場や機会の充実	2.0	4.4
ホ	A		企業の育成・誘致等産業の活性化	2.3	4.2
マ	A		観光の振興	2.6	4.0
メ	A		総合的・計画的な土地利用	2.5	3.8
モ	A		自然と調和した景観整備	2.8	3.8
ユ	A		Iターン・Uターン等の移住対策	2.7	3.9
ヨ	A		道路・水路の整備	2.6	3.9
ラ	A		広域的な交通網の整備	2.4	4.0
リ	A		鉄道・バスなどの公共交通対策	2.5	3.9
ワ	A		市民の声の市政への反映度	2.5	3.9
ン	A		行財政改革の推進	2.6	3.8
ウ	B		満足度＝高い 重要度＝高い	高齢者福祉・介護保険サービス	2.8
エ	B	自立支援などの障がい者福祉サービス		2.9	3.8
カ	B	保育などの子育て支援サービス		3.0	3.8
タ	B	消防・救急体制		3.1	3.8
ト	B	自然環境の保全		3.0	3.8
ナ	B	水資源の保全と活用	3.2	3.8	
オ	C	満足度＝低い 重要度＝低い	ユニバーサルデザインの導入	2.8	3.4
チ	C		国際化の推進	2.8	3.3
ノ	C		農林水産業の振興	2.8	3.7
ム	C		身近な公園の整備	2.8	3.5
ル	C		I Tを活用した情報化施策	2.6	3.7
ロ	C		市に意見を伝える機会	2.7	3.7
ヲ	C		市政への市民参加の割合	2.6	3.6
あ	C		近隣市町村との連携	2.8	3.7
ア	D	満足度＝高い 重要度＝低い	健康診断など保健サービス	3.3	3.7
キ	D		生活困窮者への生活援護	2.8	3.6
ク	D		生涯学習の場や機会の充実	2.9	3.5
ケ	D		身近な学びと情報の拠点としての図書館事業	3.0	3.4
コ	D		公民館活動	3.0	3.2
サ	D		スポーツの振興	3.0	3.4
シ	D		地域に開かれ地域と連携した学校運営	3.0	3.5
ス	D		地域ぐるみの非行防止と青少年健全育成	3.0	3.6
セ	D		地域づくり活動への支援	2.9	3.5
ツ	D		リサイクル推進など環境問題への対応	3.1	3.6
テ	D		ごみ処理など生活環境整備	3.2	3.6
ニ	D		文化遺産や伝統文化芸能の保存と活用	3.0	3.5
ヌ	D		学校教育環境の整備	3.0	3.7
ネ	D		上下水道整備	3.1	3.5
ミ	D		国営公園の有効的な活用	2.8	3.6
ヤ	D		住宅や宅地の供給	2.8	3.5
レ	D		市からの情報提供	2.9	3.5

行政に対する期待からか全体的に「今後の重要度」は高めの数値となっているが、フ「中心市街地の活性化」、へ「働く場や機会の充実」、ホ「企業の育成・誘致等産業の活性化」の3項目はグラフ上で他に比べ大きく左上によっており（満足度は低く、重要度は高い）、明らかに対応が望まれているといえる。

問 11 大町市の今後の商業のあり方について、あなたのお考えをお尋ねします。市の商業振興について、あなたのお考えに近いものを次の中から3つ選んで、その（ ）に○を記入してください。

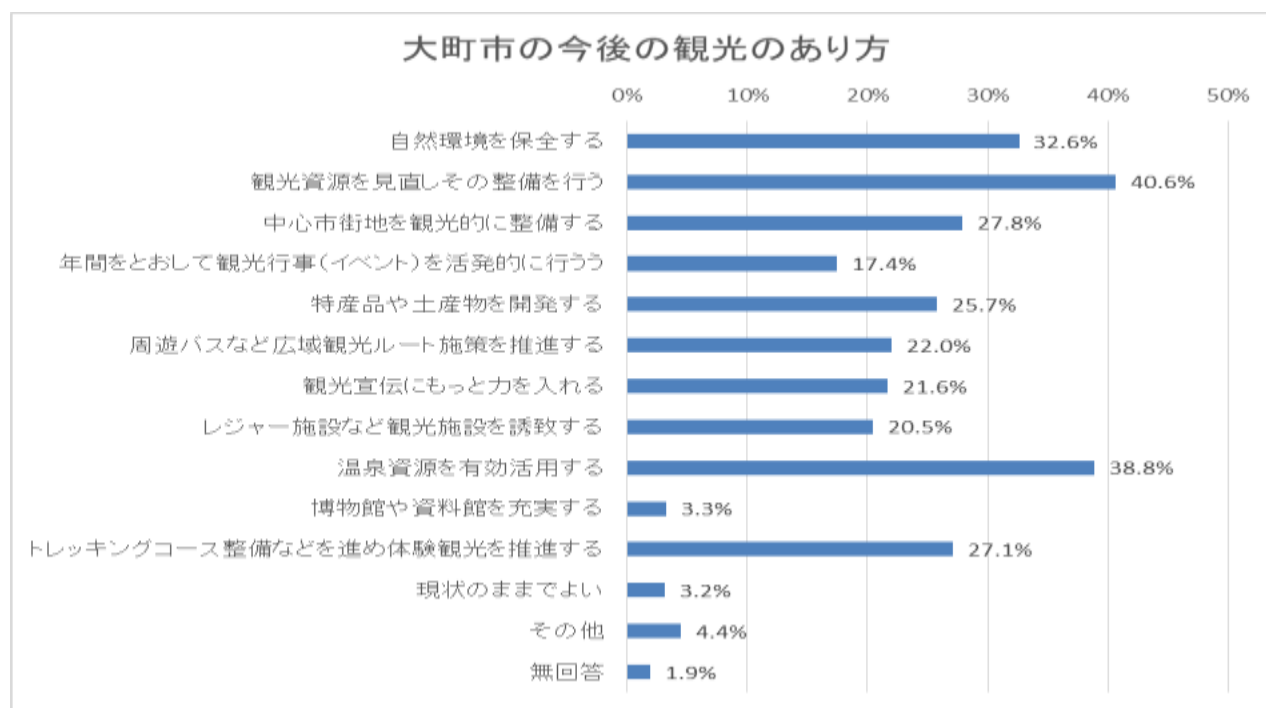
	回答数	構成比	第9回	前回比
大型店の進出に対し一定の歯止めをかける	121	12.8%	12.8%	0.0
商店街全体の活性化や近代化を進める	569	60.0%	50.9%	9.1
個々の商店の経営の改善を進める	289	30.5%	28.4%	2.1
商店街の環境（道路、公園、駐車場など）を整備する	386	40.7%	37.1%	3.7
中心市街地の宅地開発や住宅の整備を行う	189	19.9%	16.5%	3.4
市内の商店共通で使える商品券を作る	147	15.5%	13.6%	1.9
中心市街地に公共施設を整備する	273	28.8%	25.9%	2.9
商店街のイベントや祭りを充実する	182	19.2%	20.8%	-1.6
空き店舗を集会施設やギャラリーなどに利用する	344	36.3%	36.2%	0.1
現状のままでよい	51	5.4%	0.5%	4.9
その他	66	7.0%	4.5%	2.5
無回答	23	2.4%	2.3%	0.1
回答者総数	948	100.0%	100.0%	0.0



「商店街全体の活性化や近代化を進める」との回答が前回調査に比べ 9.1 ポイントと他に比べて大きく増加している。「現状のままでよい」との回答は 5.4%と 4.9 ポイント増加しているが、前々回の第 8 回調査では 4.0%であった。

問 12 大町市の今後の観光のあり方について、あなたのお考えをお尋ねします。あなたは、市の観光振興のためには何に力を入れていけばよいと思われますか。あなたのお考えに近いものを次の中から3つ選んで、その（ ）に○を記入してください。

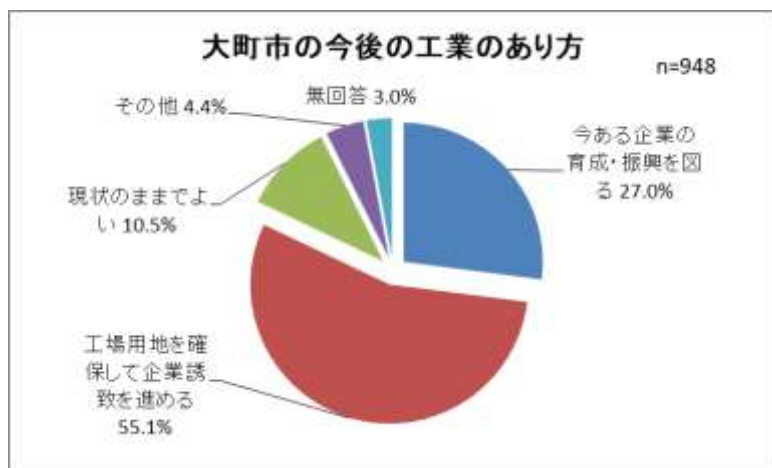
	回答数	構成比	第9回	前回比
自然環境を保全する	309	32.6%	30.3%	2.3
観光資源を見直しその整備を行う	385	40.6%	35.0%	5.6
中心市街地を観光的に整備する	264	27.8%	26.7%	1.1
年間をとおして観光行事（イベント）を活発的に行う	165	17.4%	22.2%	-4.8
特産品や土産物を開発する	244	25.7%	31.0%	-5.2
周遊バスなど広域観光ルート施策を推進する	209	22.0%	24.7%	-2.6
観光宣伝にもっと力を入れる	205	21.6%	21.0%	0.6
レジャー施設など観光施設を誘致する	194	20.5%	24.3%	-3.8
温泉資源を有効に活用する	368	38.8%	36.8%	2.0
博物館や資料館を充実する	31	3.3%	4.4%	-1.1
トレッキングコース整備などを進め体験観光を推進する	257	27.1%	23.2%	3.9
現状のままでよい	30	3.2%	0.5%	2.7
その他	42	4.4%	3.8%	0.7
無回答	18	1.9%	2.4%	-0.5
回答者総数	948	100.0%	100.0%	—



前回二番目に多かった「観光資源を見直しその整備を行う」が今回は 5.6 ポイント増え一番多くなったが、全体的に前回調査と比べそれほど大きな変化はない。

問 13 大町市の今後の工業のあり方について、あなたのお考えをお尋ねします。あなたは、市の工業振興のためには何に力を入れていけばよいと思われますか。あなたのお考えに最も近いものを次の中から1つ選んで、その（ ）に○を記入してください。

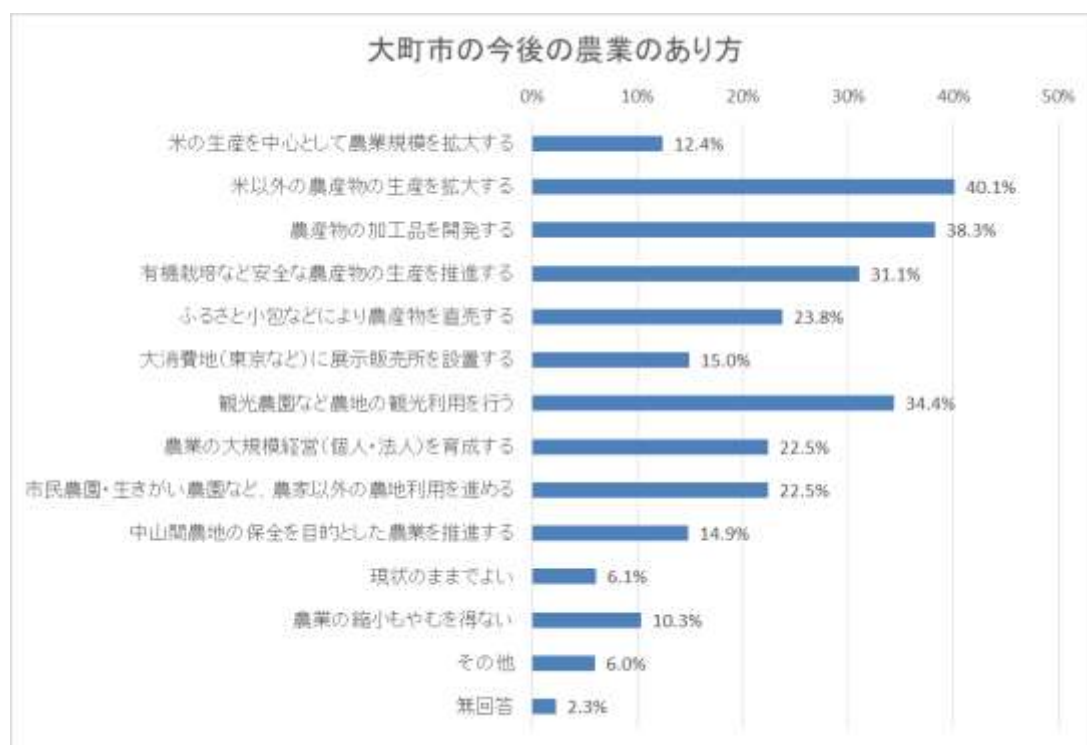
	回答数	構成比	第9回	前回比
今ある企業の育成・振興を図る	256	27.0%	27.3%	-0.3
工場用地を確保して企業誘致を進める	522	55.1%	59.1%	-4.0
現状のままでよい	100	10.5%	7.3%	3.3
その他	42	4.4%	1.9%	2.5
無回答	28	3.0%	4.4%	-1.4
回答者総数	948	100.0%	100.0%	—



前回調査と比べ、それほど大きな変化はない。なお今回の調査回答者で「工業（製造業）」に従事する方は8.4%であった。

問 14 大町市の今後の農業のあり方について、あなたのお考えをお尋ねします。非農家の人も消費者の立場でお答えください。将来の農業についてどのようにお考えですか。あなたのお考えに近いものを次の中から3つ選んで、その（ ）に○を記入してください。

	回答数	構成比	第9回	前回比
米の生産を中心として農業規模を拡大する	118	12.4%	16.9%	-4.4
米以外の農産物の生産を拡大する	380	40.1%	38.3%	1.8
農産物の加工品を開発する	363	38.3%	36.9%	1.4
有機栽培など安全な農産物の生産を推進する	295	31.1%	35.5%	-4.4
ふるさと小包などにより農産物を直売する	226	23.8%	29.9%	-6.1
大消費地（東京など）に展示販売所を設置する	142	15.0%	13.6%	1.4
観光農園など農地の観光利用を行う	326	34.4%	33.2%	1.2
農業の大規模経営（個人・法人）を育成する	213	22.5%	22.7%	-0.3
市民農園・生きがい農園など、農家以外の農地利用を進める	213	22.5%	25.6%	-3.2
中山間農地の保全を目的とした農業を推進する	141	14.9%	12.5%	2.4
現状のままでよい	58	6.1%	0.7%	5.4
農業の縮小もやむを得ない	98	10.3%	9.5%	0.9
その他	57	6.0%	2.9%	3.1
無回答	22	2.3%	2.7%	-0.4
回答者総数	948	100.0%	100.0%	-

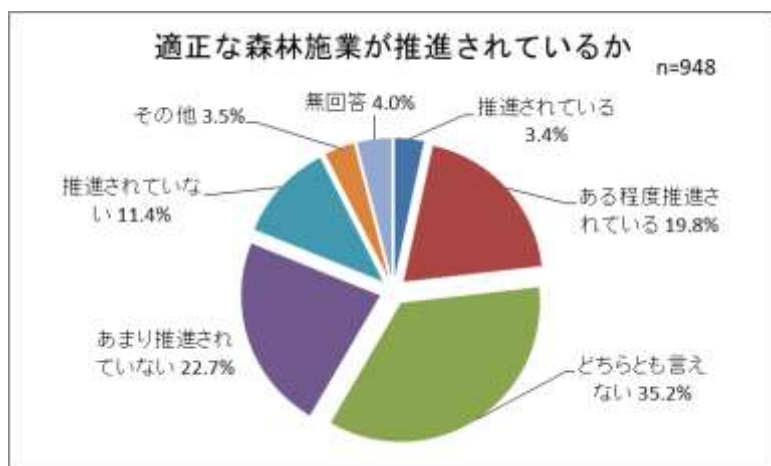


「米以外の農産物の生産を拡大する」との回答が前回、前々回の数値から増加し今回も一番多かったが、今回の調査の回答者で農業従事者（農林水産業）は5.6%。大部分が農業で生計を立てていない者としての回答ということになる。

問 15 市では、林業の経営安定や林業後継者の確保のため、森林の持つ公益性、多面的機能が発揮できるように、長期的・広域的な展望に立った森林整備や、間伐等への支援を行っていますが、適正な森林施業が推進されていると思われますか。次の中から1つ選んで、その（ ）に○を記入してください。

	回答数	構成比
推進されている	32	3.4%
ある程度推進されている	188	19.8%
どちらとも言えない	334	35.2%
あまり推進されていない	215	22.7%
推進されていない	108	11.4%
その他	33	3.5%
無回答	38	4.0%
回答者総数	948	100.0%

※ 第9回調査とは選択肢が異なっている為、前回との構成比の比較は省略。



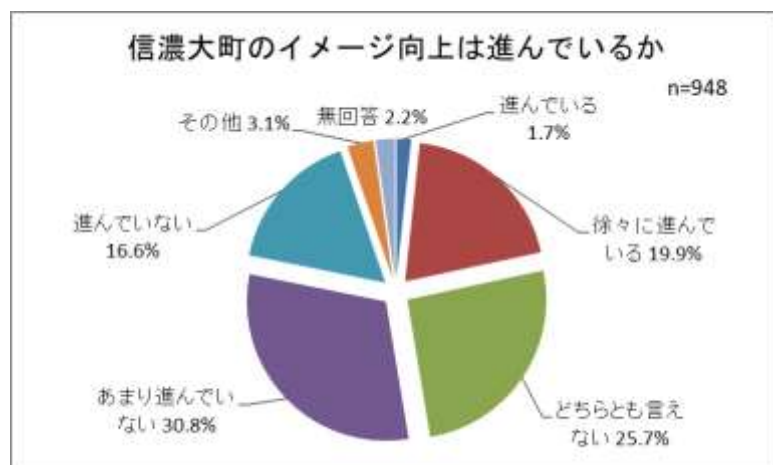
今回の調査では前回にはなかった「どちらとも言えない」という選択肢が追加されており、「どちらとも言えない」が35.2%で一番多い。

問 16 大町市では、平成 28 年 4 月に「信濃大町ブランド戦略」を策定し、信濃大町のまちのイメージ向上を図ることを目的に、信濃大町の魅力を磨き、ブランド化への取り組みを推進しています。

【 1 】 信濃大町のイメージ向上は進んでいると思いますか。

	回答数	構成比
進んでいる	16	1.7%
徐々に進んでいる	189	19.9%
どちらとも言えない	244	25.7%
あまり進んでいない	292	30.8%
進んでいない	157	16.6%
その他	29	3.1%
無回答	21	2.2%
回答者総数	948	97.8%

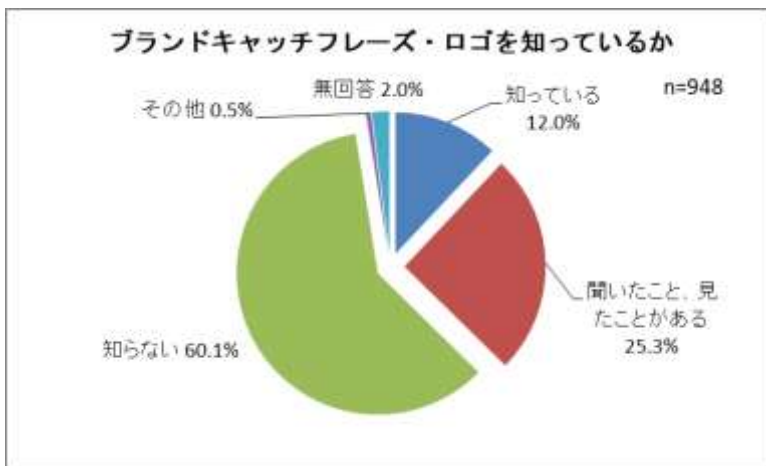
※ 第 9 回調査とは質問、選択肢が異なっている為、前回との構成比の比較は省略。



「進んでいない」と「あまり進んでいない」との回答の合計が 47.4%と半数近くになっている。

【 2 】信濃大町ブランド戦略の統一的な発信のため、信濃大町ブランドキャッチフレーズ及びロゴマークを制定していますが、ご存知ですか。次の中から1つ選んで、その（ ）に○を記入してください。

	回答数	構成比
知っている	114	12.0%
聞いたこと、見たことがある	240	25.3%
知らない	570	60.1%
その他	5	0.5%
無回答	19	2.0%
回答者総数	948	100.0%

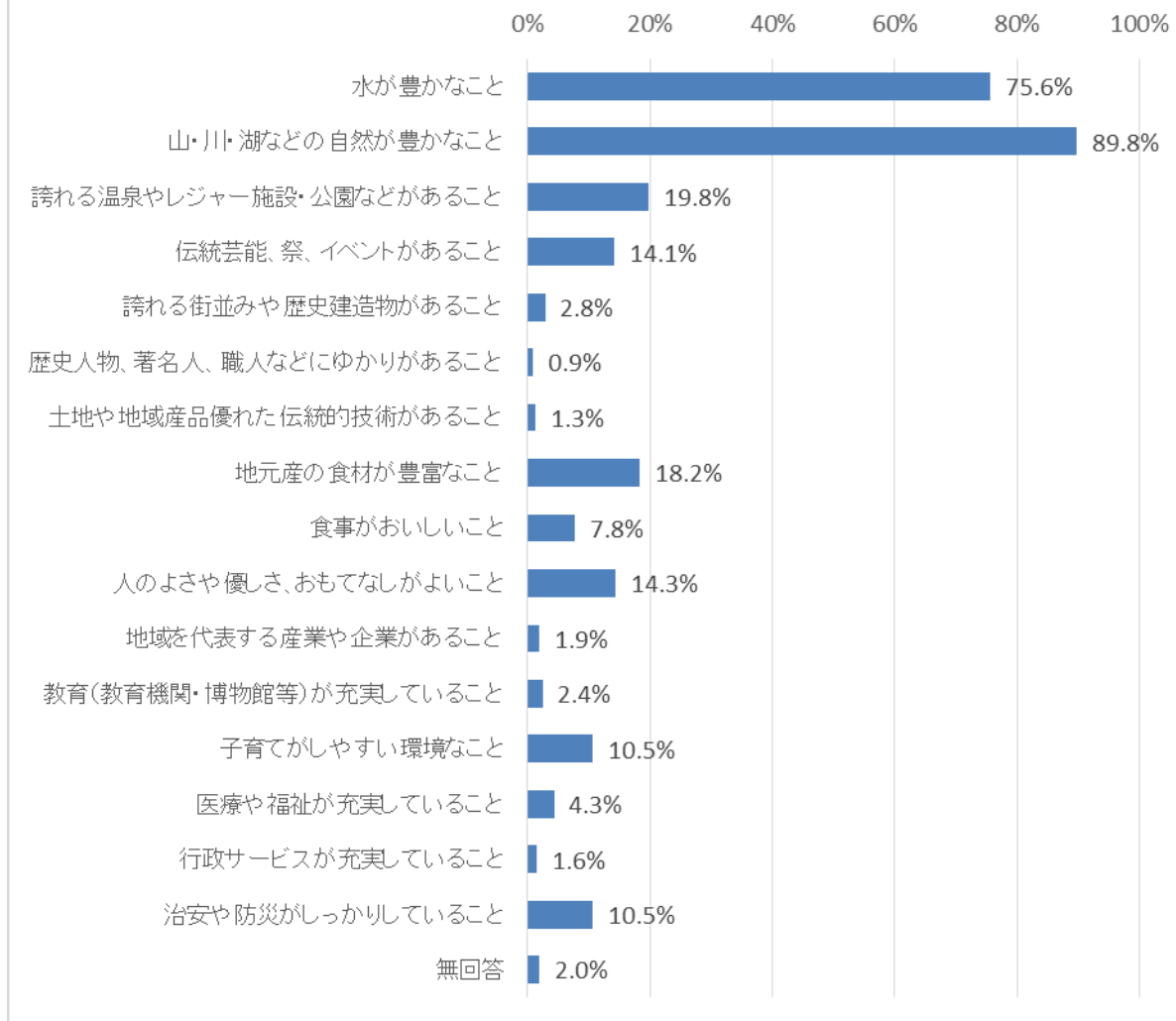


「知らない」との回答が6割を占めている。

【3】 大町市を自慢に思うところはどんなことですか。次の中から3つ選んで、その（ ）に○を記入してください。

	回答数	構成比
水が豊かなこと	717	75.6%
山・川・湖などの自然が豊かなこと	851	89.8%
誇れる温泉やレジャー施設・公園などがあること	188	19.8%
伝統芸能、祭、イベントがあること	134	14.1%
誇れる街並みや歴史建造物があること	27	2.8%
歴史人物、著名人、職人などにゆかりがあること	9	0.9%
土地や地域産品、優れた伝統的技術があること	12	1.3%
地元産の食材が豊富なこと	173	18.2%
食事がおいしいこと	74	7.8%
人のよさや優しさ、おもてなしがよいこと	136	14.3%
地域を代表する産業や企業があること	18	1.9%
教育（教育機関・博物館等）が充実していること	23	2.4%
子育てがしやすい環境なこと	100	10.5%
医療や福祉が充実していること	41	4.3%
行政サービスが充実していること	15	1.6%
治安や防災がしっかりしていること	100	10.5%
無回答	19	2.0%
回答者総数	948	

大町市の自慢に思うところ

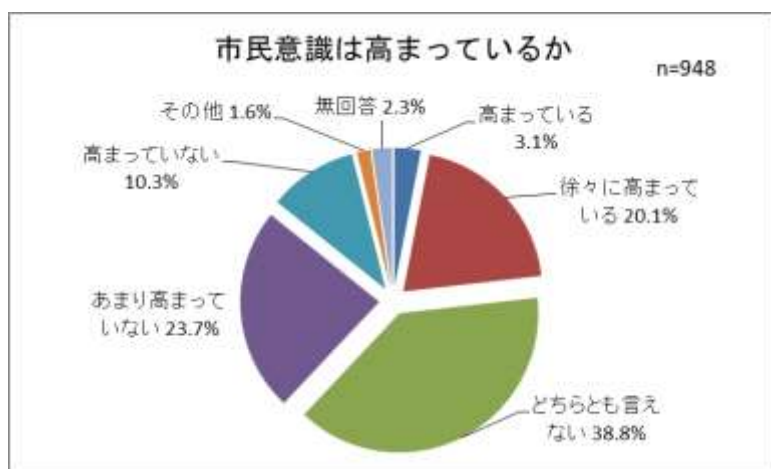


「水が豊かなこと」、「山・川・湖などの自然が豊かなこと」が他の項目に比べ圧倒的に多い。

問 17 高齢化社会において、住みなれた地域で、健康で安心して安全に暮らすには、社会福祉法人等の育成や支援、ボランティア活動の育成など、公的なサービス以外に、地域特性やニーズに対応した地域福祉が必要です。地域福祉は、お互いが地域で支え合い、助け合うという意識が大切ですが、市民意識は高まっていると思われますか。次の中から1つ選んで、その（ ）に○を記入してください。

	回答数	構成比
高まっている	29	3.1%
徐々に高まっている	191	20.1%
どちらとも言えない	368	38.8%
あまり高まっていない	225	23.7%
高まっていない	98	10.3%
その他	15	1.6%
無回答	22	2.3%
回答者総数	948	100.0%

※ 第9回調査とは選択肢が異なっている為、前回との構成比の比較は省略。

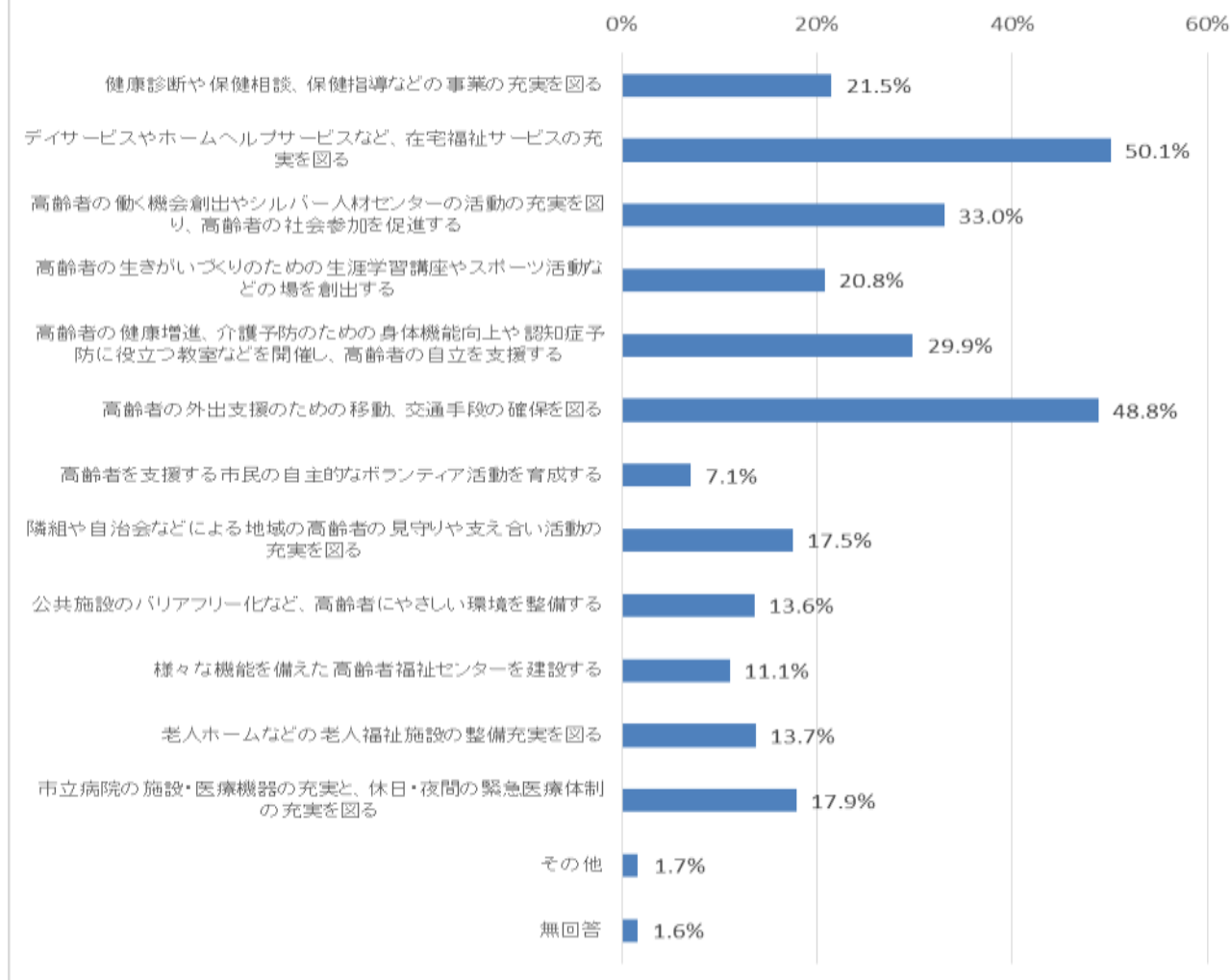


前回調査では「あまり高まっていない」が 54.1%で最も多かったが、今回は前回調査にはなかった選択肢「どちらとも言えない」が 38.8%で最も多い。

問 18 高齢化社会に対応し安心して住めるまちづくりを進めるためには、何に力を入れて取り組む必要があるとお考えですか。あなたが必要と思われることを次の中から3つ選んで、その()に○を記入してください。

	回答数	構成比	第9回	前回比
健康診断や保健相談、保健指導などの事業の充実を図る	204	21.5%	17.6%	3.9
デイサービスやホームヘルプサービスなど、在宅福祉サービスの充実を図る	475	50.1%	42.2%	7.9
高齢者の働く機会の創出やシルバー人材センターの活動の充実を図り、高齢者の社会参加を促進する	313	33.0%	35.1%	-2.1
高齢者の生きがいづくりのための生涯学習講座やスポーツ活動などの場を創出する	197	20.8%	17.1%	3.6
高齢者の健康増進、介護予防のための身体機能向上や認知症予防に役立つ教室などを開催し、高齢者の自立を支援する	283	29.9%	33.5%	-3.7
高齢者の外出支援のための移動、交通手段の確保を図る	463	48.8%	34.1%	14.7
高齢者を支援する市民の自主的なボランティア活動を育成する	67	7.1%	7.9%	-0.8
隣組や自治会などによる地域の高齢者の見守りや支え合い活動の充実を図る	166	17.5%	21.6%	-4.1
公共施設のバリアフリー化など、高齢者にやさしい環境を整備する	129	13.6%	8.1%	5.5
様々な機能を備えた高齢者福祉センターを建設する	105	11.1%	14.6%	-3.5
老人ホームなどの老人福祉施設の整備充実を図る	130	13.7%	22.1%	-8.4
市立病院の施設・医療機器の充実と、休日・夜間の緊急医療体制の充実を図る	170	17.9%	32.7%	-14.8
その他	16	1.7%	1.9%	-0.3
無回答	15	1.6%	1.3%	0.2
回答者総数	948	100.0%	100.0%	-

高齢化社会に対応するため力を入れるべきこと

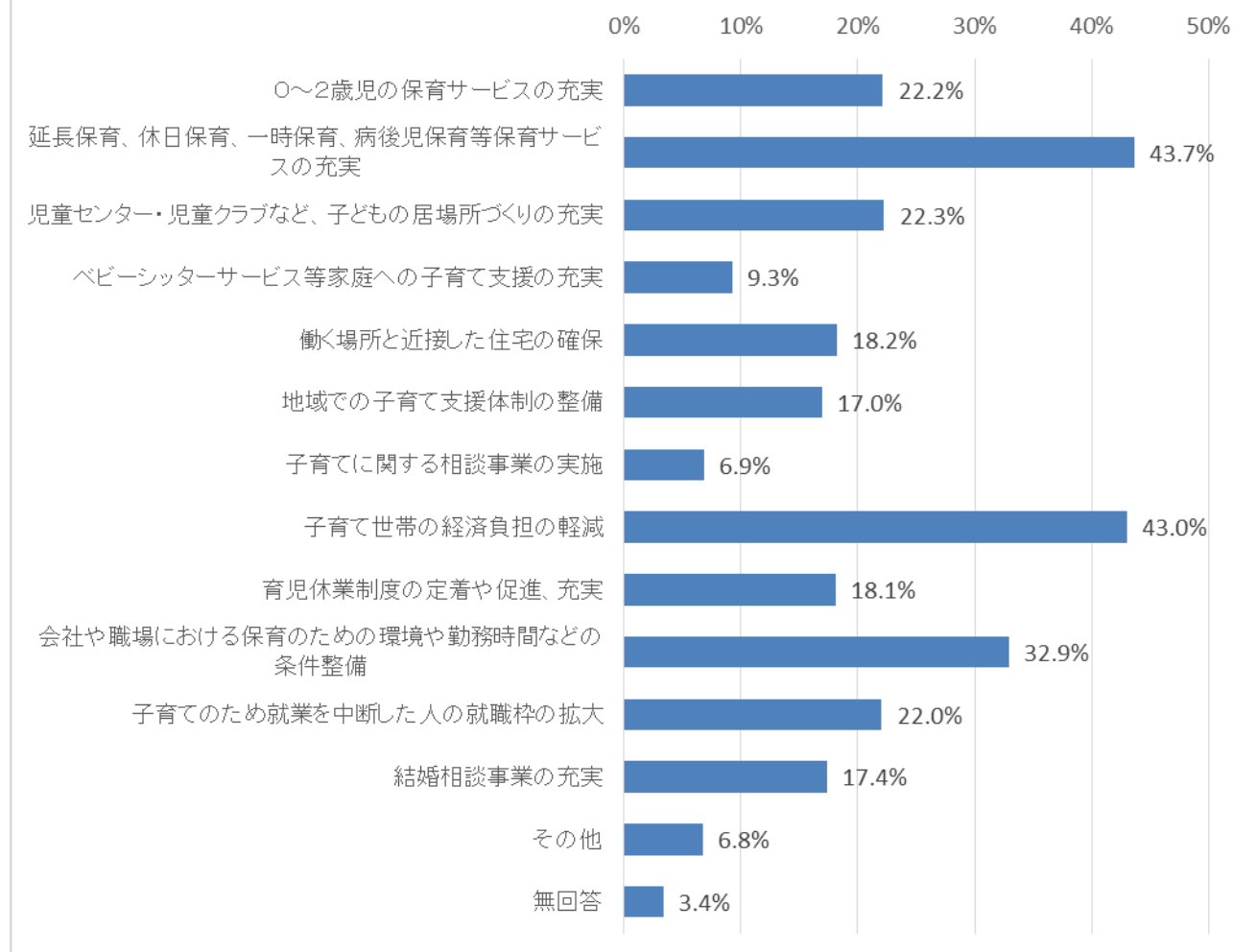


前回調査に比べ「高齢者の外出支援のための移動、交通手段の確保を図る」との回答が大きく増加している。また、「市立病院の施設・医療機器の充実と、休日・夜間の緊急医療体制の充実を図る」は大きく減少している。「市立病院の施設・医療機器の充実と、休日・夜間の緊急医療体制の充実を図る」は第8回調査では 47.0%。第9回調査でも第8回調査から 14.3 ポイント減少している。

問 19 近年出生率が低下しています。この少子化傾向は将来に向け大きな問題です。市では、子どもを
 生み育てる環境づくりのための施策を検討しています。子育てに関する支援策として特に必要と
 思われる施策を次の中から3つ選んで、その（ ）に○を記入してください。

	回答数	構成比	第9回	前回比
0～2歳児の保育サービスの充実	210	22.2%	19.8%	2.3
延長保育、休日保育、一時保育、病後児保育等保育サービスの充実	414	43.7%	43.0%	0.7
児童センター・児童クラブなど、子どもの居場所づくりの充実	211	22.3%	22.6%	-0.3
ベビーシッターサービス等家庭への子育て支援の充実	88	9.3%	8.9%	0.4
働く場所と近接した住宅の確保	173	18.2%	16.9%	1.4
地域での子育て支援体制の整備	161	17.0%	20.5%	-3.6
子育てに関する相談事業の実施	65	6.9%	7.0%	-0.2
子育て世帯の経済負担の軽減	408	43.0%	43.4%	-0.3
育児休業制度の定着や促進、充実	172	18.1%	19.8%	-1.7
会社や職場における保育のための環境や勤務時間などの条件整備	312	32.9%	31.8%	1.1
子育てのため就業を中断した人の就職枠の拡大	209	22.0%	24.9%	-2.9
結婚相談事業の充実	165	17.4%	19.2%	-1.8
その他	64	6.8%	4.1%	2.6
無回答	32	3.4%	3.4%	0.0
回答者総数	948	100%	100%	-

子育て支援策として必要と思うこと

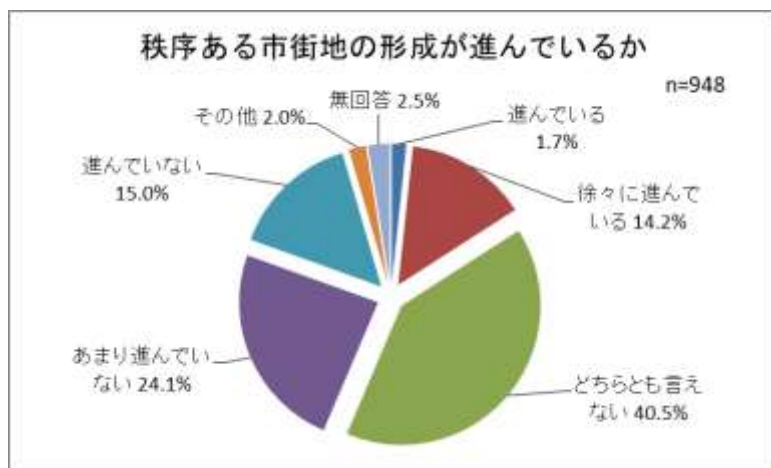


前回調査と大きな変化はなく、「延長保育、休日保育、一時保育、病後児保育等保育サービスの充実」が43.7%と最も多い。

問 20 市では、都市計画に基づき、市街地では地域資源を活かした住環境の整備を推進していますが、調和のとれた秩序ある市街地の形成が進められていると思われますか。次の中から1つ選んで、その（ ）に○を記入してください。

	回答数	構成比
進んでいる	16	1.7%
徐々に進んでいる	135	14.2%
どちらとも言えない	384	40.5%
あまり進んでいない	228	24.1%
進んでいない	142	15.0%
その他	19	2.0%
無回答	24	2.5%
回答者総数	948	100.0%

※ 第9回調査とは選択肢が異なっている為、前回との構成比の比較は省略。

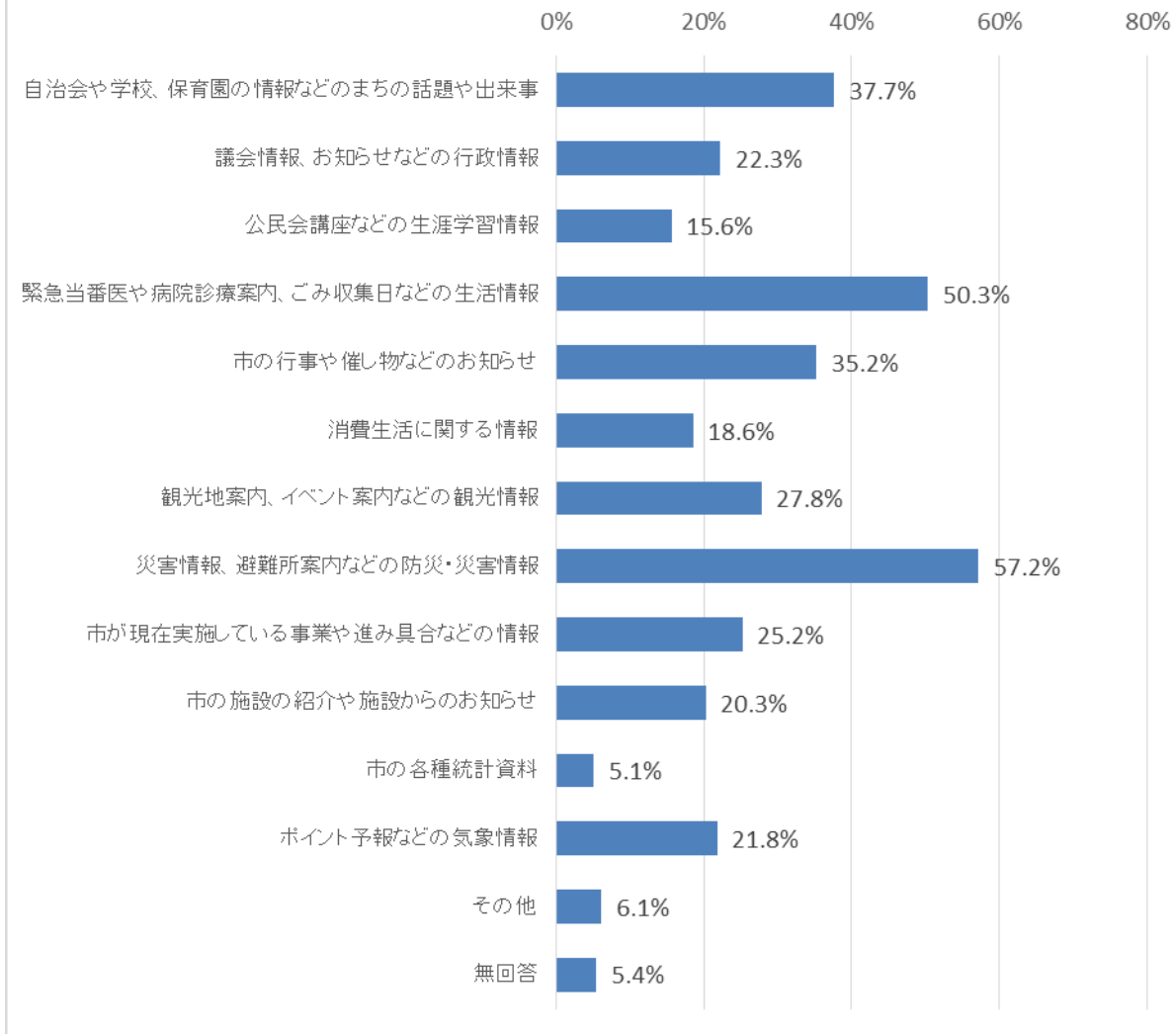


前回調査では「あまり進められていないと思う」が 56.0%で最も多かったが、今回は前回調査ではなかった選択肢「どちらとも言えない」が 40.5%で最も多くなっている。

問 21 市では、地上デジタル放送が受信できない地域の解消と、すべての市民がテレビを使って情報を得ることができる環境を整えるためケーブルテレビ網を整備し、自主チャンネル放送により地域の情報を発信しています。あなたは、どのような情報の発信を希望されますか。いくつでも結構です。次の中から選んで、その（ ）に○を記入してください。

	回答数	構成比	第 9 回	前回比
自治会や学校、保育園の情報などのまちの話題や出来事	357	37.7%	38.4%	-0.7
議会情報、お知らせなどの行政情報	211	22.3%	19.6%	2.7
公民会講座などの生涯学習情報	148	15.6%	11.1%	4.6
緊急当番医や病院診療案内、ごみ収集日などの生活情報	477	50.3%	40.6%	9.7
市の行事や催し物などのお知らせ	334	35.2%	32.3%	2.9
消費生活に関する情報	176	18.6%	13.9%	4.7
観光地案内、イベント案内などの観光情報	264	27.8%	24.7%	3.2
災害情報、避難所案内などの防災・災害情報	542	57.2%	53.2%	4.0
市が現在実施している事業や進み具合などの情報	239	25.2%	21.9%	3.3
市の施設の紹介や施設からのお知らせ	192	20.3%	15.3%	4.9
市の各種統計資料	48	5.1%	3.0%	2.0
ポイント予報などの気象情報	207	21.8%	27.2%	-5.4
その他	58	6.1%	4.6%	1.5
無回答	51	5.4%	7.2%	-1.8
回答者総数	948	100.0%	100.0%	-

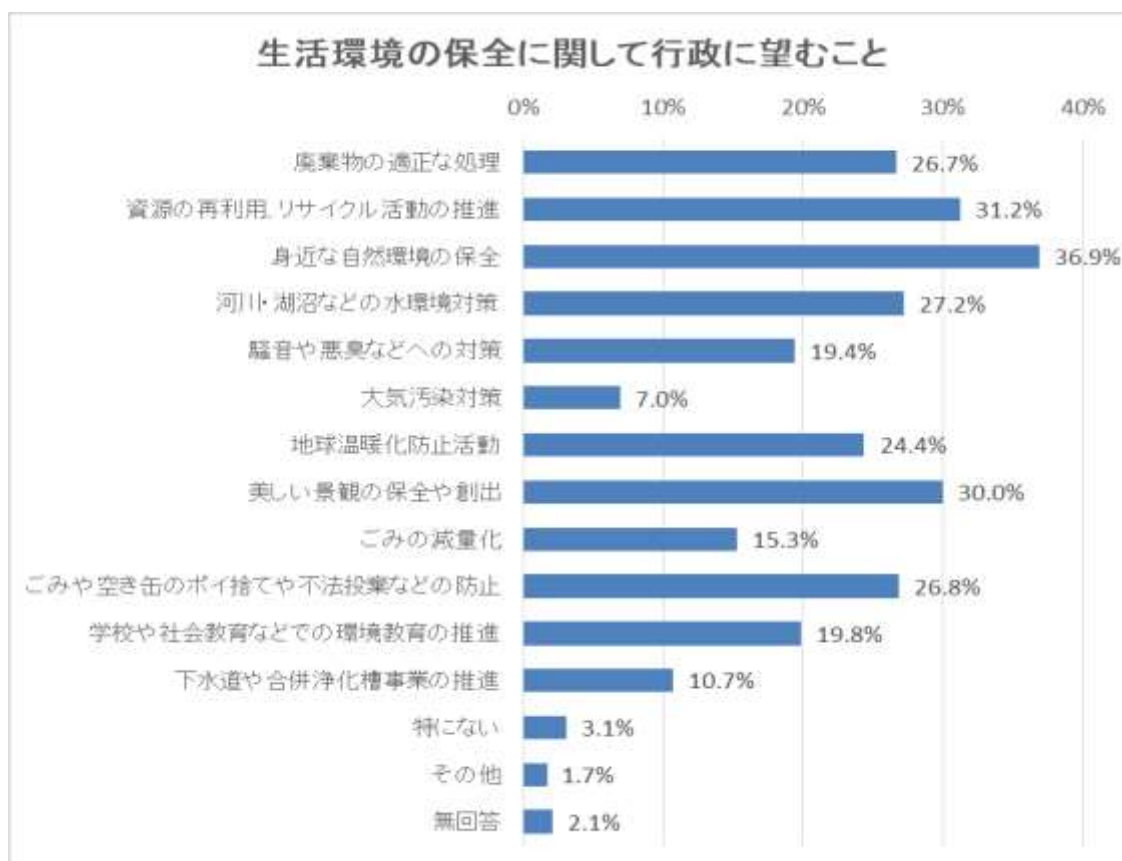
ケーブルテレビで希望する情報



「緊急当番医や病院診療案内、ごみ収集日などの生活情報」は前回調査に比べ 9.7 ポイント増加している。

問 22 生活環境を保全するために、行政が今後どのようなことに力を入れていく必要があるとお考えですか。あなたが、行政に望むことを次の中から3つ選んで、その（ ）に○を記入してください。

	回答数	構成比	第9回	前回比
廃棄物の適正な処理	253	26.7%	31.0%	-4.3
資源の再利用、リサイクル活動の推進	296	31.2%	33.2%	-1.9
身近な自然環境の保全	350	36.9%	31.6%	5.3
河川・湖沼などの水環境対策	258	27.2%	25.3%	1.9
騒音や悪臭などへの対策	184	19.4%	15.9%	3.5
大気汚染対策	66	7.0%	10.3%	-3.4
地球温暖化防止活動	231	24.4%	16.3%	8.1
美しい景観の保全や創出	284	30.0%	30.9%	-0.9
ごみの減量化	145	15.3%	19.0%	-3.7
ごみや空き缶のポイ捨てや不法投棄などの防止	254	26.8%	32.1%	-5.3
学校や社会教育などでの環境教育の推進	188	19.8%	17.5%	2.3
下水道や合併浄化槽事業の推進	101	10.7%	10.0%	0.7
特にない	29	3.1%	1.8%	1.2
その他	16	1.7%	2.4%	-0.7
無回答	20	2.1%	3.5%	-1.4
回答者総数	948	100.0%	100.0%	-

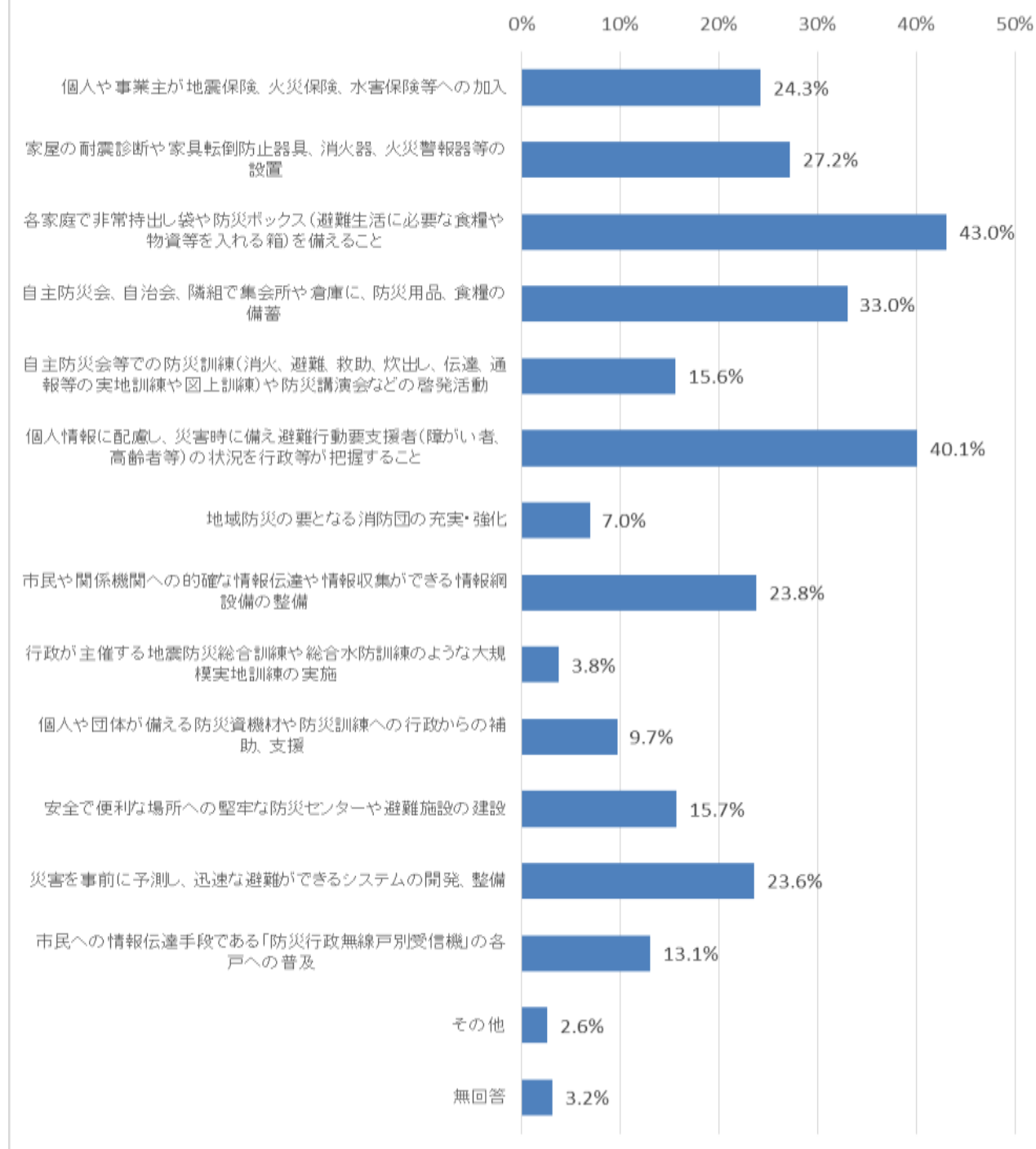


前回調査より「地球温暖化防止活動」との回答が8.1ポイント、「身近な自然環境の保全」は5.3ポイント増加している。他は全体的にそれほど大きな変化はみられない。

問 23 大町市の直下を南北に走る「糸魚川-静岡構造線断層帯」による内陸直下型地震が、近い将来高い確率で発生すると言われております。地震を始めとする自然災害に備えての防災、減災対策についてどのようにお考えですか。重要であると思われるものを、次の中から3つ選んで、その（ ）に○を記入してください。

	回答数	構成比	第9回	前回比
個人や事業主が地震保険、火災保険、水害保険等への加入	230	24.3%	19.2%	5.1
家屋の耐震診断や家具転倒防止器具、消火器、火災警報器等の設置	258	27.2%	26.9%	0.4
各家庭で非常持出し袋や防災ボックス（避難生活に必要な食糧や物資等を入れる箱）を備えること	408	43.0%	35.6%	7.4
自主防災会、自治会、隣組で集会所や倉庫に、防災用品、食糧の備蓄	313	33.0%	29.8%	3.2
自主防災会等での防災訓練（消火、避難、救助、炊出し、伝達、通報等の実地訓練や図上訓練）や防災講演会などの啓発活動	148	15.6%	17.9%	-2.2
個人情報に配慮し、災害時に備え避難行動要支援者（障がい者、高齢者等）の状況を行政等が把握すること	380	40.1%	32.4%	7.6
地域防災の要となる消防団の充実・強化	66	7.0%	-	-
市民や関係機関への的確な情報伝達や情報収集ができる情報網設備の整備	226	23.8%	32.6%	-8.7
行政が主催する地震防災総合訓練や総合水防訓練のような大規模実地訓練の実施	36	3.8%	5.8%	-2.0
個人や団体が備える防災資機材や防災訓練への行政からの補助、支援	92	9.7%	11.8%	-2.1
安全で便利な場所への堅牢な防災センターや避難施設の建設	149	15.7%	17.9%	-2.1
災害を事前に予測し、迅速な避難ができるシステムの開発、整備	224	23.6%	28.3%	-4.7
市民への情報伝達手段である「防災行政無線戸別受信機」の各戸への普及	124	13.1%	20.3%	-7.2
その他	25	2.6%	1.5%	1.2
無回答	30	3.2%	4.0%	-0.8
回答者総数	948	100.0%	100.0%	-

自然災害に備えるため重要なこと

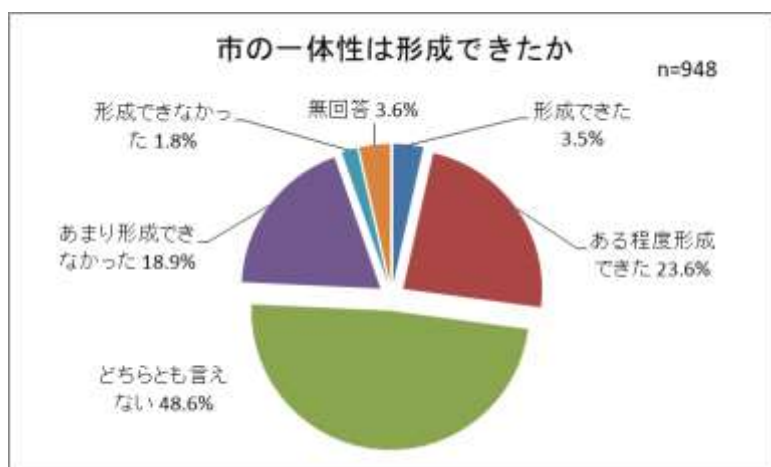


「個人情報に配慮し、災害時に備え避難行動要支援者（障がい者、高齢者等）の状況を行政等が把握すること」との回答が 40.1%と前回調査に比べ 7.6 ポイント 増加している。（第 8 回調査では 39.2%）
 また「市民への情報伝達手段である「防災行政無線戸別受信機」の各戸への普及」は 7.2 ポイント減っており、前々回の第 8 回調査では 17.9%であった。

問 24 合併後の新市の一体性を形成するため、地域のまちづくり活動や文化などの地域情報を紹介すると共に、交流事業を展開して市民の相互理解を図ってきましたが、新市の一体性は形成できたと思われませんか。次の中から1つ選んで、その（ ）に○を記入してください。

	回答数	構成比
形成できた	33	3.5%
ある程度形成できた	224	23.6%
どちらとも言えない	461	48.6%
あまり形成できなかった	179	18.9%
形成できなかった	17	1.8%
無回答	34	3.6%
回答者総数	948	100.0%

※ 第9回調査とは選択肢が異なっている為、前回との構成比の比較は省略。

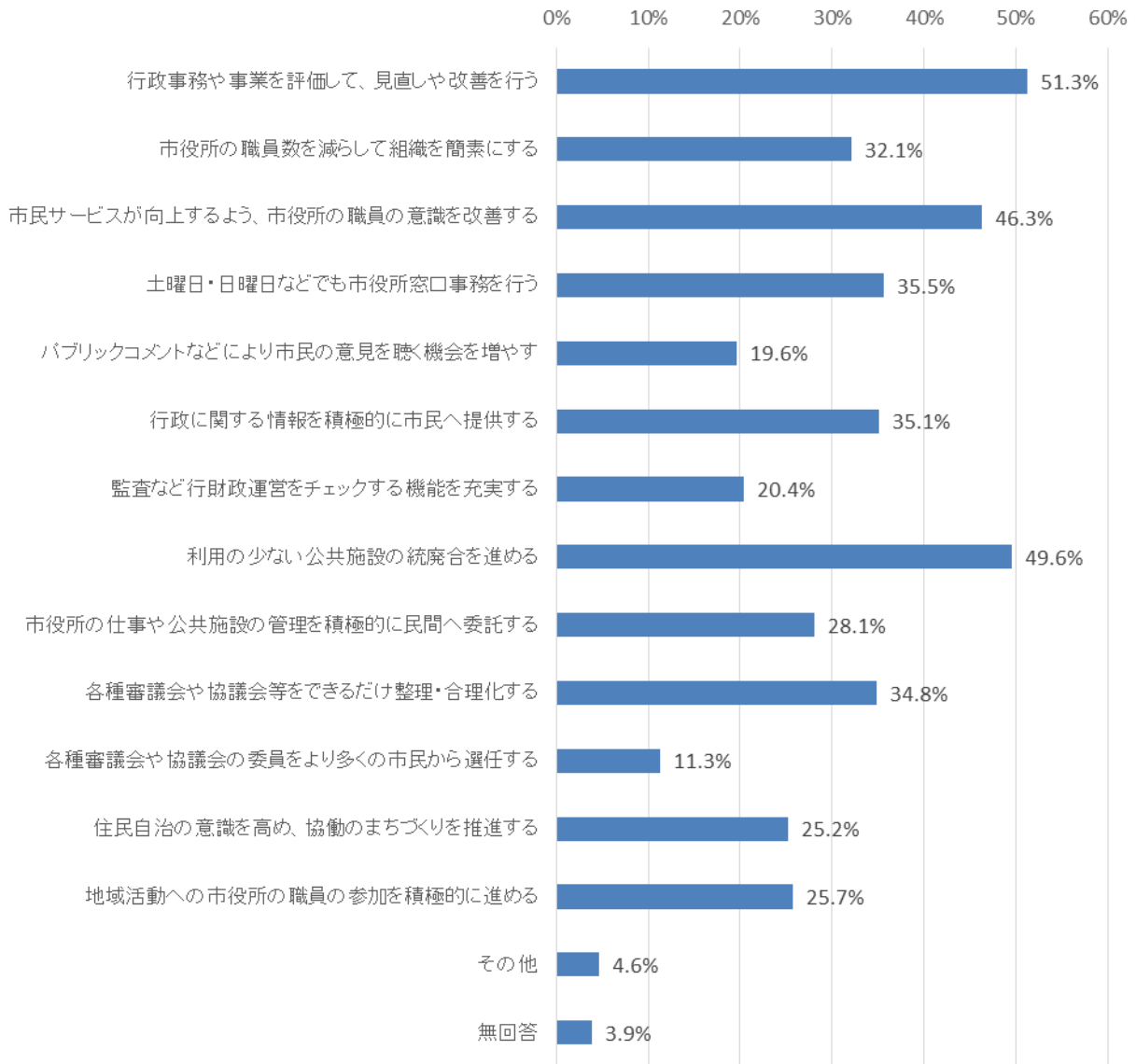


今回調査とは選択肢が異なっているが、前回は「おおむね形成することができたと思う」が 72.2%と他に比べてかなり多かった。今回調査では「どちらとも言えない」が約半数を占めている。

問 25 人口減少や少子化、高齢化など様々な課題に対応するとともに、市民のための効率的な行政運営をしていくために、市の行財政改革が重要な課題となっています。あなたが特に重要だと思われる改革について、次の中から5つ選んで、その（ ）に○を記入してください。

	回答数	構成比	第9回	前回比
行政事務や事業を評価して、見直しや改善を行う	486	51.3%	49.5%	1.8
市役所の職員数を減らして組織を簡素にする	304	32.1%	42.0%	-10.0
市民サービスが向上するよう、市役所の職員の意識を改善する	439	46.3%	51.3%	-5.0
土曜日・日曜日などでも市役所窓口事務を行う	337	35.5%	40.6%	-5.0
パブリックコメントなどにより市民の意見を聴く機会を増やす	186	19.6%	16.5%	3.1
行政に関する情報を積極的に市民へ提供する	333	35.1%	32.0%	3.2
監査など行財政運営をチェックする機能を充実する	193	20.4%	21.0%	-0.7
利用の少ない公共施設の統廃合を進める	470	49.6%	50.2%	-0.6
市役所の仕事や公共施設の管理を積極的に民間へ委託する	266	28.1%	28.1%	0.0
各種審議会や協議会等をできるだけ整理・合理化する	330	34.8%	31.2%	3.6
各種審議会や協議会の委員をより多くの市民から選任する	107	11.3%	11.4%	-0.1
住民自治の意識を高め、協働のまちづくりを推進する	239	25.2%	28.2%	-3.0
地域活動への市役所の職員の参加を積極的に進める	244	25.7%	27.5%	-1.7
その他	44	4.6%	3.2%	1.5
無回答	37	3.9%	2.7%	1.2
回答者総数	948	100.0%	100.0%	-

特に重要だと思う行財政改革

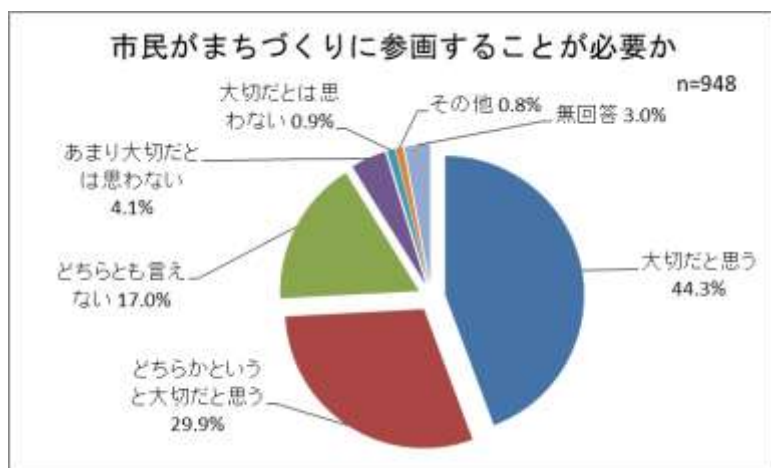


「市役所の職員数を減らして組織を簡素にする」との回答は10ポイント減少している。

問 26 市では、市民、団体、企業、行政が一体となった「市民参加と協働のまちづくり」を推進していますが、今後の市政運営に市民が参画し、共にまちづくりを進めていくことが必要だと思われますか。次の中から1つ選んで、その（ ）に○を記入してください。

	回答数	構成比
大切だと思う	420	44.3%
どちらかという大切だと思う	283	29.9%
どちらとも言えない	161	17.0%
あまり大切だとは思わない	39	4.1%
大切だとは思わない	9	0.9%
その他	8	0.8%
無回答	28	3.0%
回答者総数	948	100.0%

※ 第9回調査とは選択肢が異なっている為、前回との構成比の比較は省略。

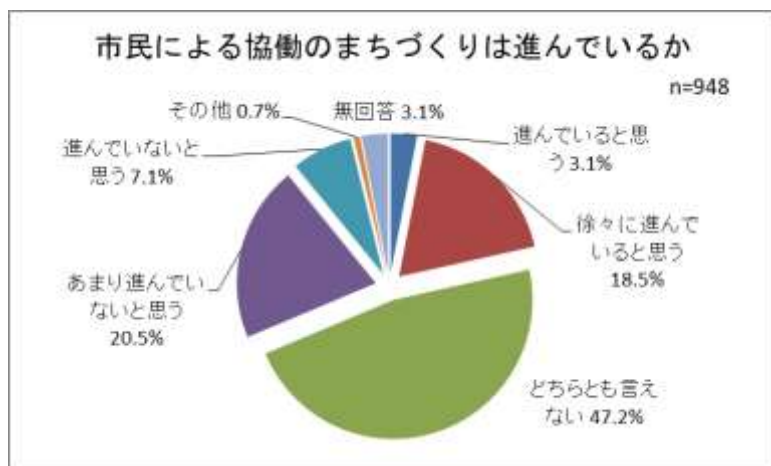


「大切だと思う」、「どちらかという大切だと思う」を合わせると70%以上の回答者が大切だと感じており、「大切だとは思わない」、「あまり大切だとは思わない」との回答の合計は5%にとどまる。

問 27 市では、市民によるまちづくり活動促進のための支援をしていますが、市民参加による協働のまちづくりが進んでいると思われますか。次の中から1つ選んで、その（ ）に○を記入してください。

	回答数	構成比
進んでいると思う	29	3.1%
徐々に進んでいると思う	175	18.5%
どちらとも言えない	447	47.2%
あまり進んでいないと思う	194	20.5%
進んでいないと思う	67	7.1%
その他	7	0.7%
無回答	29	3.1%
回答者総数	948	100.0%

※ 第9回調査とは選択肢が異なっている為、前回との構成比の比較は省略。

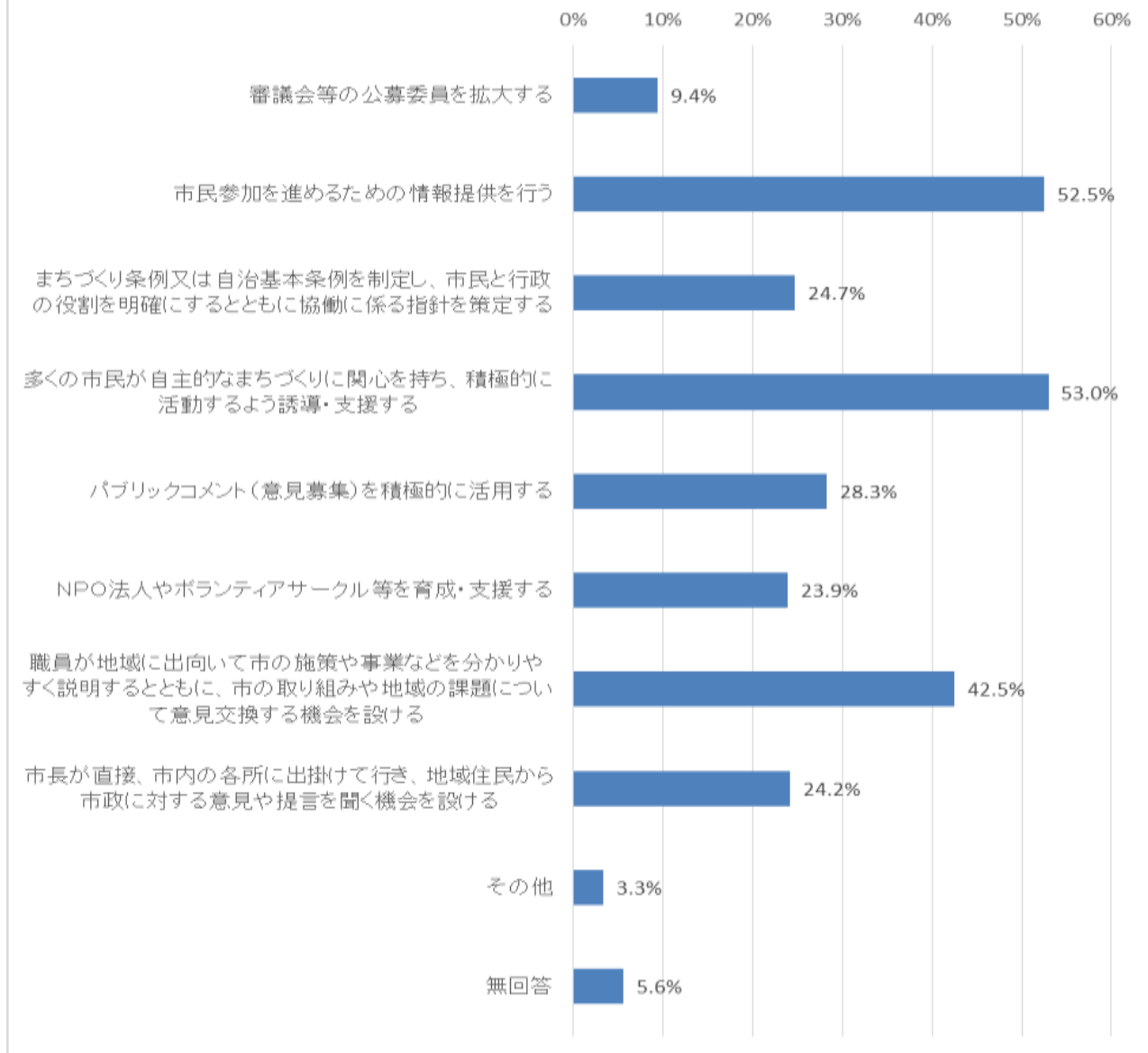


「どちらとも言えない」との回答が約半数を占め、「進んでいる」、「徐々に進んでいる」との回答の合計は約2割となっている。

問 28 これからの地方自治は、市民の皆様と行政が相互理解と共通認識のうえに立って、多くの皆様の参画による、協働のまちづくりの推進が必要です。それを実現するためには何が必要とお考えですか。特に必要と思われるものを次の中から3つ選んで、その（ ）に○を記入してください。

	回答数	構成比	第9回	前回比
審議会等の公募委員を拡大する	89	9.4%	9.7%	-0.3
市民参加を進めるための情報提供を行う	498	52.5%	55.3%	-2.8
まちづくり条例又は自治基本条例を制定し、市民と行政の役割を明確にするとともに協働に係る指針を策定する	234	24.7%	23.0%	1.7
多くの市民が自主的なまちづくりに関心を持ち、積極的に活動するよう誘導・支援する	502	53.0%	58.7%	-5.7
パブリックコメント（意見募集）を積極的に活用する	268	28.3%	27.3%	0.9
NPO法人やボランティアサークル等を育成・支援する	227	23.9%	21.6%	2.3
職員が地域に出向いて市の施策や事業などを分かりやすく説明するとともに、市の取り組みや地域の課題について意見交換する機会を設ける	403	42.5%	47.3%	-4.8
市長が直接、市内の各所に出掛けて行き、地域住民から市政に対する意見や提言を聞く機会を設ける	229	24.2%	27.8%	-3.7
その他	31	3.3%	2.9%	0.4
無回答	53	5.6%	4.4%	1.2
回答者総数	948	100.0%	100.0%	-

協働のまちづくり推進に必要と思うもの

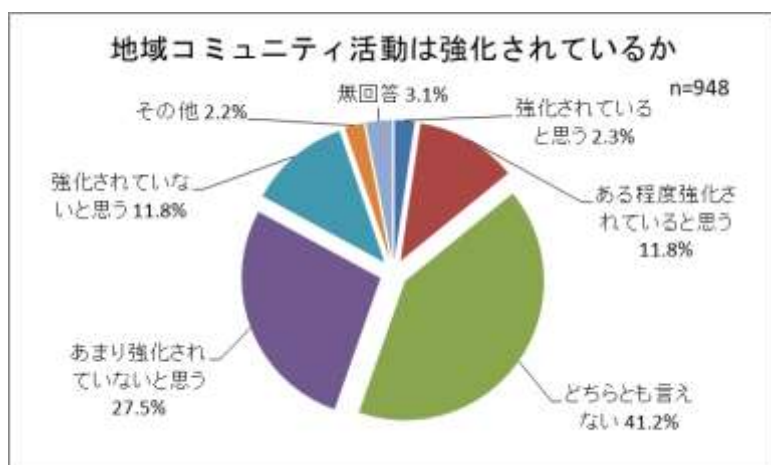


「多くの市民が自主的なまちづくりに関心を持ち、積極的に活動するよう誘導・支援する」が 53.0%で最も多く、他についても前回調査と大きな違いはない。

問 29 価値観の多様化により、地域の「つながり」が希薄になって市民生活に影響が出ないよう、地域コミュニティの必要性や機能の周知を行うとともに、活動の支援をしています。自治会等の地域コミュニティ活動が強化されていると思われますか。次の中から1つ選んで、その（ ）に○を記入してください。

	回答数	構成比
強化されていると思う	22	2.3%
ある程度強化されていると思う	112	11.8%
どちらとも言えない	391	41.2%
あまり強化されていないと思う	261	27.5%
強化されていないと思う	112	11.8%
その他	21	2.2%
無回答	29	3.1%
回答者総数	948	100.0%

※ 第9回調査とは選択肢が異なっている為、前回との構成比の比較は省略。



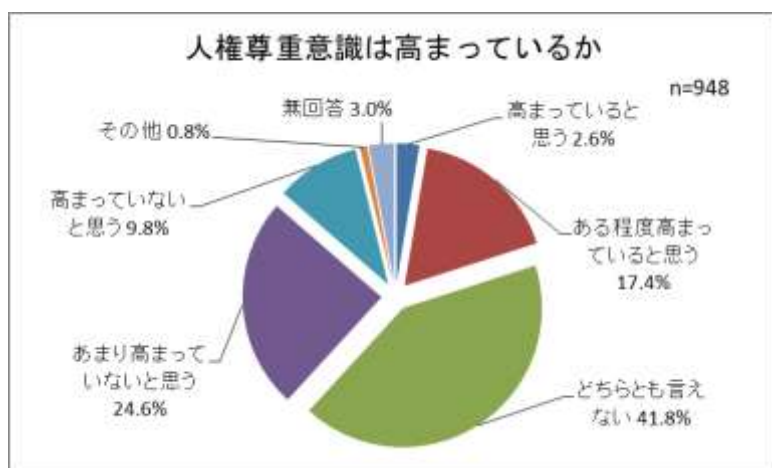
前回調査では「あまり強化されていないと思う」が 58.9%で最も多かったが、今回は前回調査にはなかった選択肢「どちらとも言えない」が 41.2%と最も多い。

問 30 市では、個性と能力が十分発揮される社会の実現に向け、人権の啓発や男女があらゆる分野において協働して参画しあう意識の啓発に取り組んでいますが、人権尊重や男女共同参画の意識が高まっていると思われますか。質問ごとに1つ選んで、その（ ）に○を記入してください。

【1】人権を尊重する意識が高まっていると思われますか。

	回答数	構成比
高まっていると思う	25	2.6%
ある程度高まっていると思う	165	17.4%
どちらとも言えない	396	41.8%
あまり高まっていないと思う	233	24.6%
高まっていないと思う	93	9.8%
その他	8	0.8%
無回答	28	3.0%
回答者総数	948	100.0%

※ 第9回調査とは選択肢が異なっている為、前回との構成比の比較は省略。

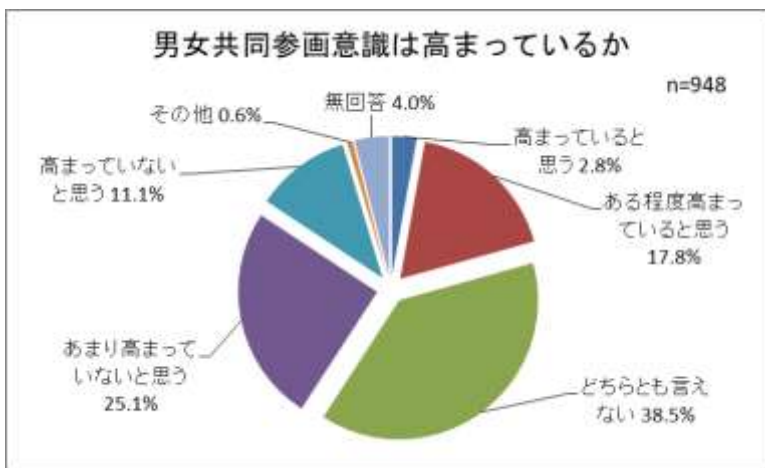


前回調査では「ある程度高まっていると思う」が34.3%で最も多く、ついで「わからない」が21.4%であった。今回は「わからない」との選択肢はなく、前回調査ではなかった選択肢「どちらとも言えない」が41.8%と最も多くなっている。

【2】男女共同参画意識が高まっていると思えますか。

	回答数	構成比
高まっていると思う	27	2.8%
ある程度高まっていると	169	17.8%
どちらとも言えない	365	38.5%
あまり高まっていないと思う	238	25.1%
高まっていないと思う	105	11.1%
その他	6	0.6%
無回答	38	4.0%
回答者総数	948	100.0%

※ 第9回調査とは選択肢が異なっている為、前回との構成比の比較は省略。

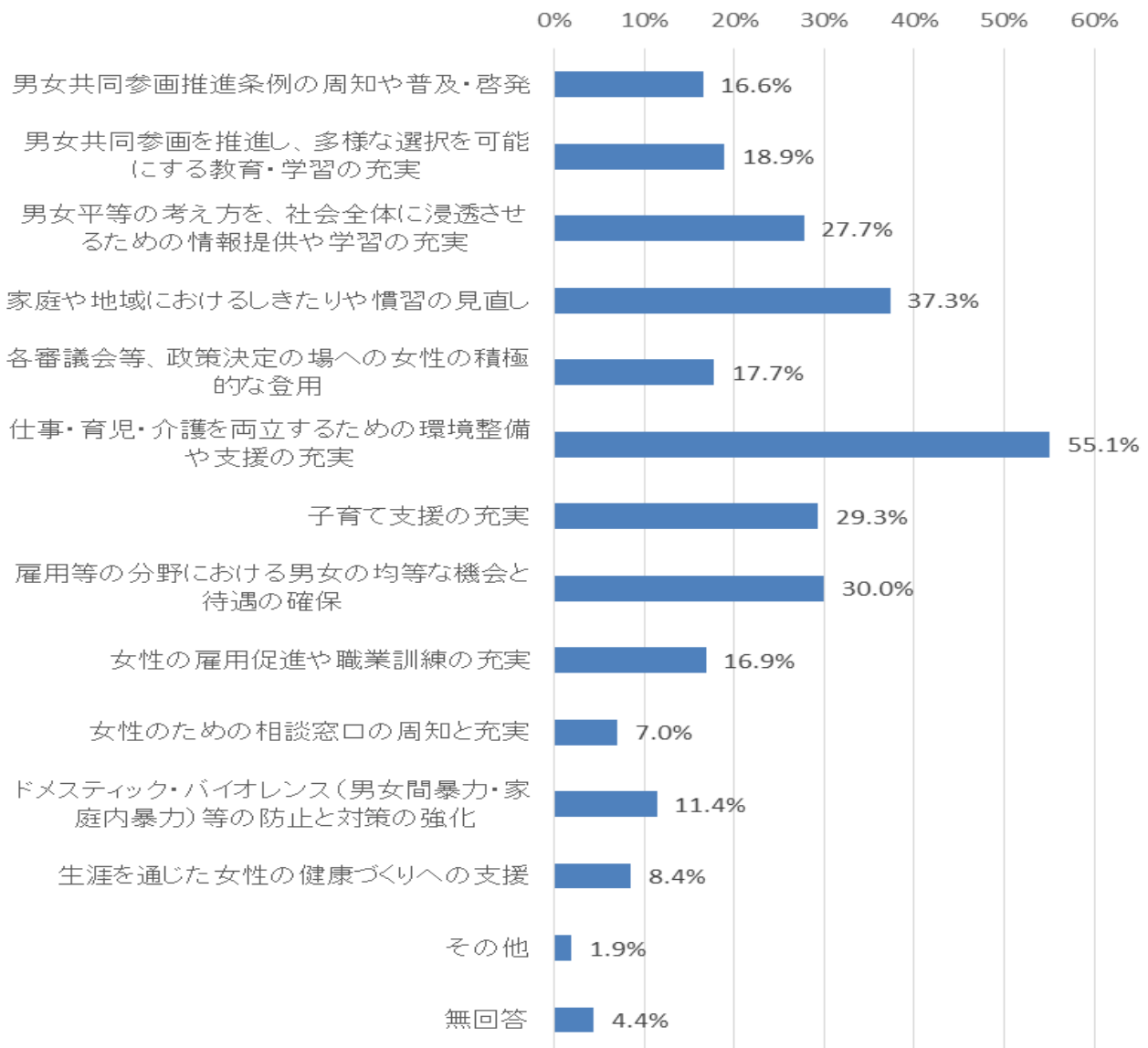


前回調査では「高まっていると思う」が3.6%、「ある程度高まっていると思う」が34.9%であった。前回とは選択肢「わからない」がなくなり、「どちらとも言えない」が加わったという違いがあるが、「高まっている」と「ある程度高まっていると思う」の合計は少なくなっている。

問 31 男女が互いに尊重し、個性と能力を十分に発揮することのできる男女共同参画社会づくりを進めるために、特に重要だと思われるものを3つ選んで、その（ ）に○を記入してください。

	回答数	構成比	第9回	前回比
男女共同参画推進条例の周知や普及・啓発	157	16.6%	15.2%	1.4
男女共同参画を推進し、多様な選択を可能にする教育・学習の充実	179	18.9%	19.1%	-0.2
男女平等の考え方を、社会全体に浸透させるための情報提供や学習の充実	263	27.7%	28.8%	-1.1
家庭や地域におけるしきたりや慣習の見直し	354	37.3%	33.5%	3.8
各審議会等、政策決定の場への女性の積極的な登用	168	17.7%	16.9%	0.8
仕事・育児・介護を両立するための環境整備や支援の充実	522	55.1%	59.4%	-4.4
子育て支援の充実	278	29.3%	30.9%	-1.5
雇用等の分野における男女の均等な機会と待遇の確保	284	30.0%	27.1%	2.9
女性の雇用促進や職業訓練の充実	160	16.9%	17.0%	-0.1
女性のための相談窓口の周知と充実	66	7.0%	5.2%	1.7
ドメスティック・バイオレンス（男女間暴力・家庭内暴力）等の防止と対策の強化	108	11.4%	10.4%	0.9
生涯を通じた女性の健康づくりへの支援	80	8.4%	9.7%	-1.3
その他	18	1.9%	1.6%	0.3
無回答	42	4.4%	5.5%	-1.0
回答者総数	948	100.0%	100.0%	-

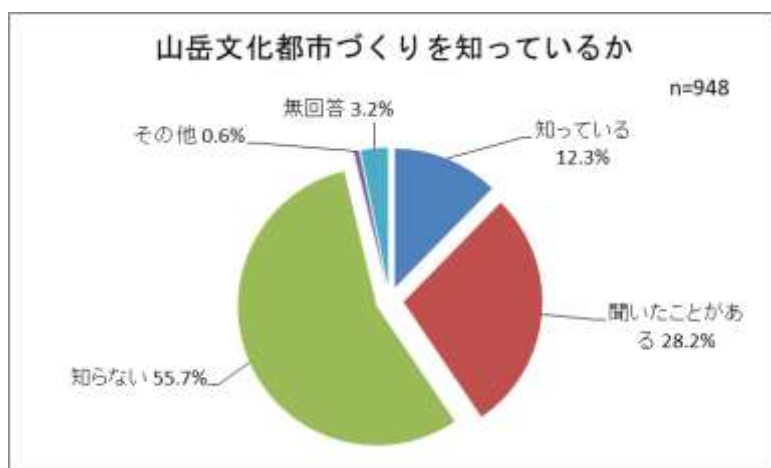
男女協働参画社会に重要だと思うもの



前回調査同様、「仕事・育児・介護を両立するための環境整備や支援の充実」が 55.1%と最も多く、他も前回調査に比べ特に大きな変化はみられない。

問 32 市では、平成 14 年 3 月に山岳がもたらす豊かな自然環境と、共生する独自の山岳文化を受け継ぎ次の世代に伝えていくため、山岳文化都市宣言をしました。市民の山岳文化への関心を高め、協働による登山道の整備や山岳景観ビューポイントの設定等を行い、山岳文化都市づくりを進めていることをご存知ですか。次の中から 1 つ選んで、その () に○を記入してください

	回答数	構成比	第 9 回	前回比
知っている	117	12.3%	13.0%	-0.7
聞いたことがある	267	28.2%	28.3%	-0.1
知らない	528	55.7%	54.4%	1.3
その他	6	0.6%	0.1%	0.5
無回答	30	3.2%	4.1%	-1.0
回答者総数	948	100.0%	100.0%	-

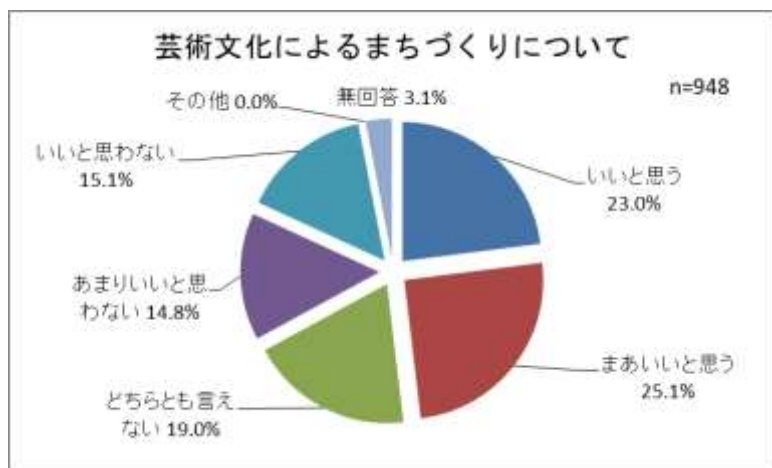


前回調査同様「知らない」との回答が 5 割を超えている。「知っている」、および「聞いたことがある」との回答割合も前回調査とほぼ同じであり、認知度は向上していない。

問 33 市では、地域消費を増加させて大町市を元気にし、持続可能な市を構築するため、芸術文化によるまちづくりに取り組んでいます。その一つとして、北アルプス国際芸術祭を2017年に開催した結果、市内外から5万4千人の観客にお越しいただき、市内の観光消費額は4億7千万円と推計されました。そこで、芸術文化によるまちづくりへの取り組みについてご意見をお聞きます。

【1】 あなたは、芸術文化によるまちづくりの取り組みについてどうお考えですか。

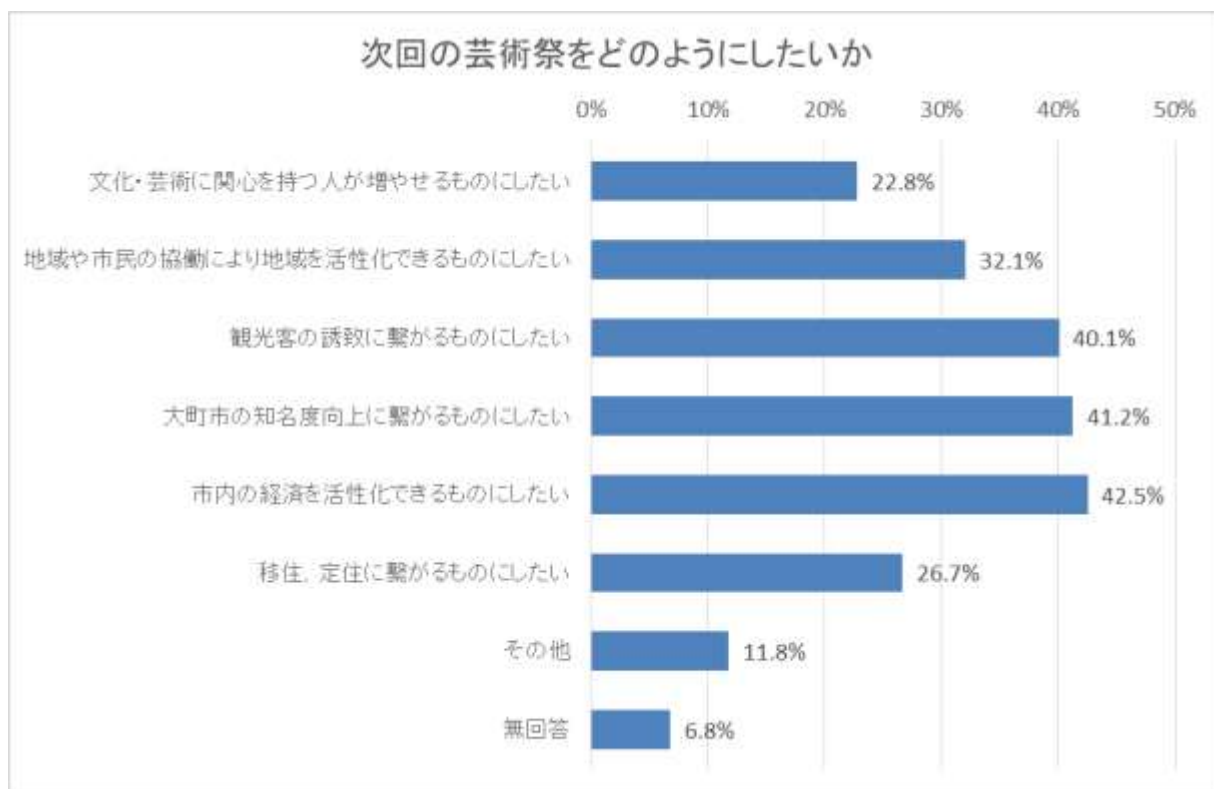
	回答数	構成比
いいと思う	218	23.0%
まあいいと思う	238	25.1%
どちらとも言えない	180	19.0%
あまりいいと思わない	140	14.8%
いいと思わない	143	15.1%
その他	0	0.0%
無回答	29	3.1%
回答者総数	948	100.0%



「いいと思う」、「まあいいと思う」という肯定的な回答が約5割となっており、「いいと思わない」、「あまりいいと思わない」という否定的な回答は約3割。

【2】 あなたは、次回の芸術祭をどのような芸術祭にしたいと思いますか。いくつでも結構ですので、次の中から選んで、その（ ）に○を記入してください。

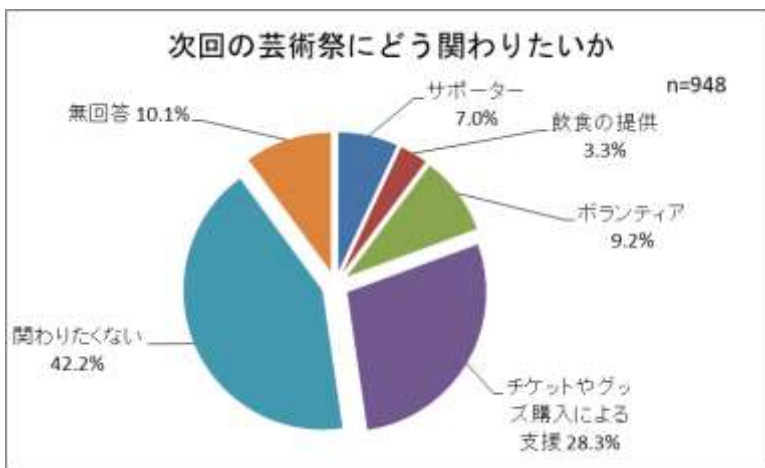
	回答数	構成比
文化・芸術に関心を持つ人が増やせるものになりたい	216	22.8%
地域や市民の協働により地域を活性化できるものになりたい	304	32.1%
観光客の誘致に繋がるものになりたい	380	40.1%
大町市の知名度向上に繋がるものになりたい	391	41.2%
市内の経済を活性化できるものになりたい	403	42.5%
移住、定住に繋がるものになりたい	253	26.7%
その他	112	11.8%
無回答	64	6.8%
回答者総数	948	100.0%



「市内の経済を活性化できるものになりたい」が42.5%と最も多く、次いで市の知名度向上と観光客の誘客への要望が4割を超えている。「その他」の内容では、次回に向けての提案や開催に否定的な意見などがあった。

【3】 あなたは、次回の芸術祭にどのように関わりたいですか。次の中から1つ選んで、その（ ）に○を記入してください。

	回答数	構成比
サポーター	66	7.0%
飲食の提供	31	3.3%
ボランティア	87	9.2%
チケットやグッズ購入による支援	268	28.3%
関わりたくない	400	42.2%
無回答	96	10.1%
回答者総数	948	100.0%



チケットやグッズ購入による支援など約 5 割の回答者が何らかの形で関わりたいと回答している。

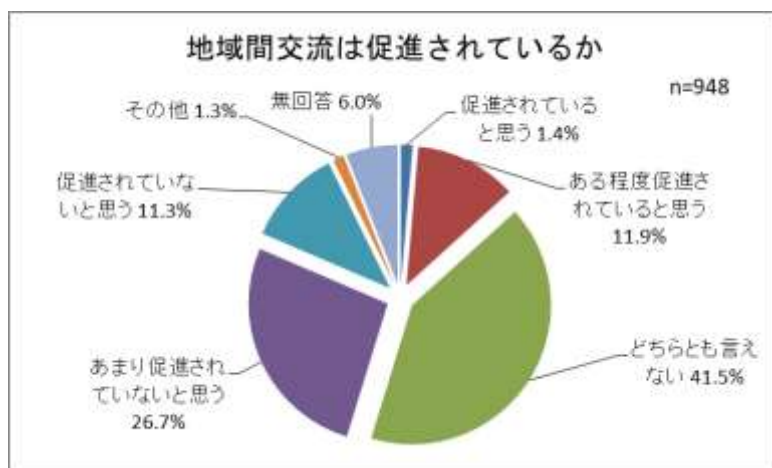
【4】あなたが芸術文化によるまちづくりについて、気がついたことがありましたら具体的にお書きください。

※ P174 参照

問 34 市では、さまざまな地域や外国との交流を通じて、広い視野と感覚を身につけるとともに、地域の活性化を図るための事業を推進していますが、交流事業の一つでもある都市と農村等の地域間交流が促進されていると思われますか。次の中から1つ選んで、その（ ）に○を記入してください。

	回答数	構成比
促進されていると思う	13	1.4%
ある程度促進されていると思う	113	11.9%
どちらとも言えないと思う	393	41.5%
あまり促進されていないと思う	253	26.7%
促進されていないと思う	107	11.3%
その他	12	1.3%
無回答	57	6.0%
回答者総数	948	100.0%

※ 第9回調査とは選択肢が異なっている為、前回との構成比の比較は省略。

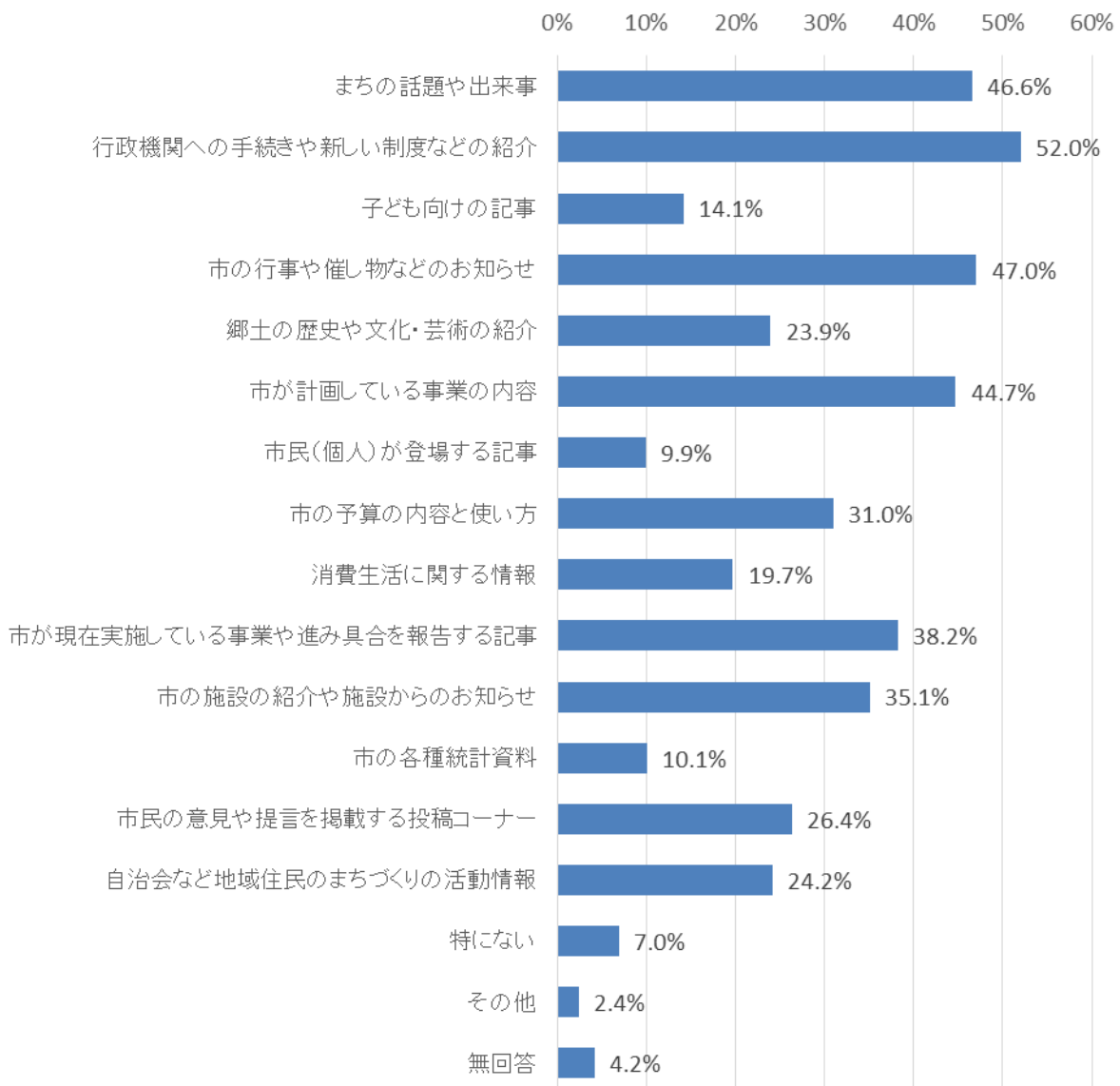


前回調査では「あまり促進されていないと思う」が 55.9%で最も多かったが、今回は前回にはなかった選択肢「どちらとも言えない」が 41.5%で最も多い。

問 35 あなたが、「広報おおまち」で特に知りたいと思われることや、取り上げてほしいと思われることはどのようなことですか。いくつでも結構ですので、次の中から選んで、その（ ）に○を記入してください。

	回答数	構成比	第 9 回	前回比
まちの話題や出来事	442	46.6%	48.0%	-1.4
行政機関への手続きや新しい制度などの紹介	493	52.0%	50.8%	1.2
子ども向けの記事	134	14.1%	13.7%	0.4
市の行事や催し物などのお知らせ	446	47.0%	48.7%	-1.7
郷土の歴史や文化・芸術の紹介	227	23.9%	26.6%	-2.7
市が計画している事業の内容	424	44.7%	51.3%	-6.6
市民（個人）が登場する記事	94	9.9%	9.5%	0.4
市の予算の内容と使い方	294	31.0%	34.9%	-3.9
消費生活に関する情報	187	19.7%	20.7%	-0.9
市が現在実施している事業や進み具合を報告する記事	362	38.2%	40.1%	-1.9
市の施設の紹介や施設からのお知らせ	333	35.1%	31.8%	3.3
市の各種統計資料	96	10.1%	6.9%	3.2
市民の意見や提言を掲載する投稿コーナー	250	26.4%	29.4%	-3.0
自治会など地域住民のまちづくりの活動情報	229	24.2%	24.7%	-0.5
特にない	66	7.0%	4.5%	2.5
その他	23	2.4%	2.9%	-0.5
無回答	40	4.2%	2.1%	2.2
回答者総数	948	100.0%	100.0%	-

「広報おおまち」で知りたいこと

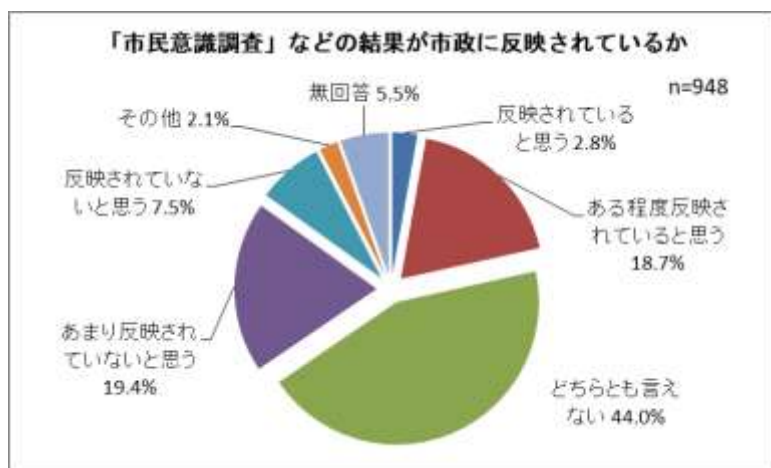


「行政機関への手続きや新しい制度などの紹介」が 52.0%で最も多く、ついで「市の行事や催し物などのお知らせ」が 47.0%となっている。「まちの話題や出来事」や「市が計画している事業の内容」も前回同様高い数値となっている。

問 36 市では、市民の意見・要望を市政に反映するため「市民意識調査」や「市長への手紙」、「地域懇談会」などを行っていますが、その結果が市政に反映されていると思われませんか。次の中から1つ選んで、その（ ）に○を記入してください。

	回答数	構成比
反映されていると思う	27	2.8%
ある程度反映されていると思う	177	18.7%
どちらとも言えない	417	44.0%
あまり反映されていないと思う	184	19.4%
反映されていないと思う	71	7.5%
その他	20	2.1%
無回答	52	5.5%
回答者総数	948	100.0%

※ 第9回調査とは選択肢が異なっている為、前回との構成比の比較は省略。

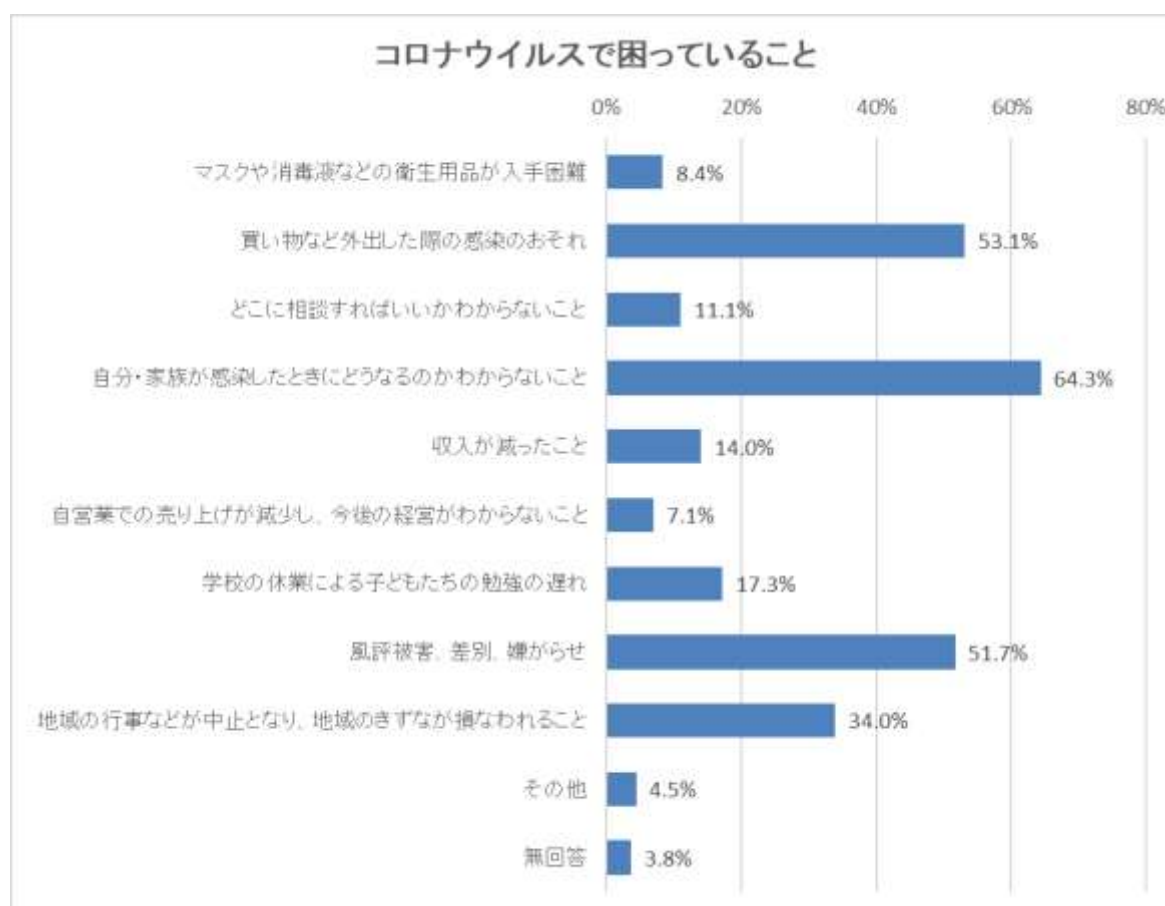


前回調査では「あまり反映されているとは思わない」が 53.2%で最も多かったが、今回は前回調査ではなかった選択肢「どちらとも言えない」が 44.0%で最も多い。

問 37 新型コロナウイルス感染症に伴う影響についてお聞きします。

【1】 新型コロナウイルス感染症について、あなたが困っていること、心配に思われていることを次の中から3つ選んで、その（ ）に○を記入してください。

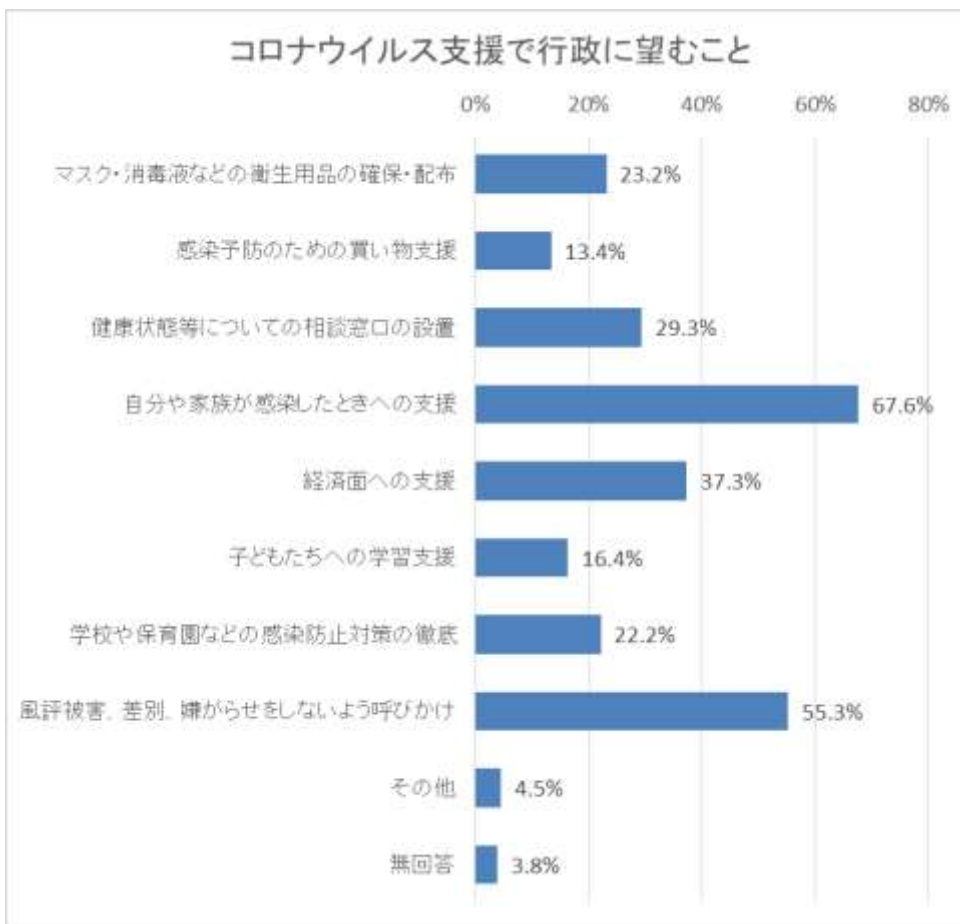
	回答数	構成比
マスクや消毒液などの衛生用品が入手困難	80	8.4%
買い物など外出した際の感染のおそれ	503	53.1%
どこに相談すればいいかわからないこと	105	11.1%
自分・家族が感染したときにどうなるのかわからないこと	610	64.3%
収入が減ったこと	133	14.0%
自営業での売上げが減少し、今後の経営がわからないこと	67	7.1%
学校の休業による子どもたちの勉強の遅れ	164	17.3%
風評被害、差別、嫌がらせ	490	51.7%
地域の行事などが中止となり、地域のきずなが損なわれること	322	34.0%
その他	43	4.5%
無回答	36	3.8%
回答者総数	948	100.0%



「自分・家族が感染したときにどうなるのかわからないこと」が64.3%で最も多い。

【2】 新型コロナウイルス感染症に関する支援策として、あなたが行政に望むことを次の中から3つ選んで、その（ ）に○を記入してください。

	回答数	構成比
マスク・消毒液などの衛生用品の確保・配布	220	23.2%
感染予防のための買い物支援	127	13.4%
健康状態等についての相談窓口の設置	278	29.3%
自分や家族が感染したときへの支援	641	67.6%
経済面への支援	354	37.3%
子どもたちへの学習支援	155	16.4%
学校や保育園などの感染防止対策の徹底	210	22.2%
風評被害、差別、嫌がらせをしないよう呼びかけ	524	55.3%
その他	43	4.5%
無回答	36	3.8%
回答者総数	948	100.0%



「自分や家族が感染したときへの支援」が 67.6%、「風評被害、差別、嫌がらせをしないよう呼びかけ」が 55.3%と他の項目に比べて目立って多い。

【3】 あなたが、新型コロナウイルス感染症の拡大などについて、気がついたことがありましたら具体的にお書きください。

※ P188 参照

問 38 大町市では、平成 29 年度を初年度とした「大町市第 5 次総合計画」を策定し、5 つのまちづくりのテーマ掲げ、前期基本計画に沿ったさまざまな事業を推進しています。令和 4 年度からの後期基本計画を策定するにあたり、あなたのご意見、ご要望、ご提案等がありましたら、テーマごとに、ご自由にお書きください。

テーマ① ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

常盤	女	70 歳以上	家事専業	市でこの事業について努力されていることは感じているが、郷土への誇り、愛着を持つ面についての生涯学習が市民の中に広まっていないことを残念に思う。
平	女	40～49 歳	その他の職業	子どもたちが学校で学んでいましたが、将来それが何かに繋がるのかは疑問。何もしないよりは良いと思うが。
平	女	30～39 歳	農林水産業	子ども達の人生が楽しく豊かであるようにいっぱい遊んでほしいと思う。自然とも友達とも豊かな時間を過ごして大人になってもらいたい。
大町	男	30～39 歳	公務員	聞いたことがない。もっと市民にわかるように呼びかけ広めるべきだと思う。
常盤	女	20～29 歳	その他の職業	保育園から中学までにもっと地域に愛着を持てるように学校などとの連携も大事なかもしれない。探究心があるときに提供出来ればよいのではないか。
大町	女	40～49 歳	観光業	個性や能力を伸ばせる学校、個に合わせた指導なんて無理、理想論。学校教育は団体主義。うちの子は担任から酷い扱いをされた。
大町	女	70 歳以上	家事専業	大町には沢山良い所があるので、どんどんアピールし多くの子どもたちが興味を持てるように。
常盤	男	60～69 歳	公務員	学校統合でなく、各校の個性豊かな教育を充実させること。各校の魅力ある教育が他地域からの移住を促進するような市としての取り組みが大切だと思う。
常盤	女	40～49 歳	—	脱落者が多く、「生きる」を学べる場所がない。一人で生きていける力をつける事が大人の使命。
常盤	女	50～59 歳	商業（卸小売業・飲食業）	結婚して 30 年大町市に住んでいるが、郷土の事、地域の事をよくわからない人が少なくないと思う。
平	男	70 歳以上	農林水産業	先ず 30 人以下のクラスの実現。生徒一人ひとりに合わせた教育を。
大町	女	60～69 歳	観光業	毎日見ている北アルプス。子どもの頃は山の名前さえ知らなかった。登山などの行事を通じて（子どもは）実感していくものだと思う。
社	女	40～49 歳	その他のサービス業	学校単位で地域活動に参加し、大町市全体の繋がりや不足していることは何かを知ってほしい。
大町	女	70 歳以上	家事専業	住み良い町にして、人口を増やして欲しい。
大町	男	40～49 歳	その他のサービス業	生涯ずっと学び続ける場所や機会を提供する。
平	男	40～49 歳	運輸・通信業	大学がないので、若者がいない。若者を惹きつけるものが何もない。
平	男	50～59 歳	運輸・通信業	自然・水を大切に作る。
大町	女	70 歳以上	農林水産業	学校教育の中で、地域の担い手の教育はもちろん、大町の自然の素晴らしさをわかってほしい。
美麻	女	40～49 歳	学生・無職	大町の恵まれた自然を保全していくことが、ふるさとの誇りにつながると思う。

平	男	70歳以上	観光業	大学進学等で県外に出た後、仕事をする場所がないため地元に戻らず、そのまま県外に生活基盤をつくってしまう。もう少し、地元に戻って生活ができるような仕組みをつくってほしい。
常盤	女	60～69歳	家事専業	知識としての学習だけではなく、体験を通して実感としてふるさと大町の良さを感じられる活動を望む。
大町	女	60～69歳	家事専業	少子化で子どもが少ないことや、若い世代がなかなか結婚しないことは心配。
常盤	男	70歳以上	学生・無職	山の美しさをもっと活かした取り組みができないものか。市民が皆で取り組めるようなことを提案してほしい。
平	男	30～39歳	その他の職業	子ども達にとって、輝いている大人の存在がこのテーマには不可欠。様々な取り組みを行う大人達との交流事業、体験型の学習機会があってほしい。
大町	男	70歳以上	公務員	郷土の誇りを持つひとを。「広報おおまち」の活用、郷土の偉人をテーマに早くから伝記になる人を載せる。大町のかつての話題の人物像を、幼少期に植えつける。
平	女	50～59歳	公務員	地域で育ち地域で働く子ども達（成人していても）を応援し、多くの人材が帰ってこられる市にしてほしい。そのためには、親世代が大町を良い所だと思って暮らすことが大切。
社	女	70歳以上	学生・無職	北アルプス山河の絵画を描いたり写真撮影に来る人も大勢いるが、その方たちの作品発表の場をつくってほしい。美術館・芸術館、市民が気軽に発表の場を。
常盤	男	60～69歳	学生・無職	コロナウイルスの影響がある中、展開しづらいと思われるが、引き続きの展開を望む。
美麻	男	40～49歳	工業（製造業）	子ども達が、地元の自然や文化（SDGsなどこれからあるべき姿に沿ったものが望まれる）に触れ、体験する機会を増やしてほしい。
大町	男	30～39歳	その他の職業	地域の担い手が外へ出ていくのでは、意味がない。
大町	男	50～59歳	学生・無職	郷土料理を家庭科の授業に取り入れる、おやき・そば等も良い（コミュニティ・スクール利用も可）。
常盤	男	60～69歳	学生・無職	教育は重要事項だと思う。
常盤	男	30～39歳	学生・無職	育まなくては育たないような誇り・愛着など偽りだと思う。
常盤	男	70歳以上	学生・無職	各地区の祭りに関する文化・芸術活動への子ども達の参加について、学校でも取り組んでほしい。
八坂	女	50～59歳	農林水産業	子ども時代に大町市で楽しく幸せに生活できれば、自然と郷土への誇りや愛着は生まれる。逆に、つらく嫌な生活なら、大嫌いになる。楽しく生活できるサポートを望む。
大町	男	70歳以上	学生・無職	「継続は力」の言葉通り、次世代を背負う子ども達の健全なる発育が大切。子どもへの教育・人間形成に力を入れるような施策を講じてほしい。
大町	男	70歳以上	その他の職業	是非進めてほしい。
大町	女	40～49歳	その他のサービス業	田舎ののびのびした活動ではなく、これからの世の中の流れに合った取り組みを。子どもたちにもっと大町の良さを提供してほしい。
常盤	男	60～69歳	運輸・通信業	具体的に市が何をしているのか施策が伝わってこない。もっとアピールするべき。
常盤	女	30～39歳	家事専業	長野県は登山をすると聞いてそれはいいと思う。地域での担い手が不足するであろう事とかも学校で少しやればいいと思う。（他県ではお祭りの笛や踊りなど入れているところもある）
大町	女	50～59歳	観光業	偏らない教育をして欲しい。自然を大切にする事もよい。
常盤	女	30～39歳	その他の職業	若い人が外に出ていき高齢化が進んでいる、残った人たちの負担が大きい。もっと若い人の意見を取り入れるべき。
平	女	60～69歳	その他のサービス業	今まで通りこれからも続けてほしい。

大町	男	70歳以上	その他の職業	大町ならではのものを考える。
美麻	男	70歳以上	農林水産業	大卒のUターンが30%以下という現状では人口増の見込みがない。
平	女	50～59歳	家事専業	いままでもそんな取り組みがあったと思うが、子どもたちが成長してそのようなことを言っているのか。
大町	女	70歳以上	家事専業	賛成。
大町	男	70歳以上	その他の職業	ごみの分別、再利用等中学校で学習活動の機会を多く持って欲しい。
社	女	60～69歳	その他の職業	個性や能力を伸ばすのもとても大切。田舎はのんびりしているので、競争心が足りない。大人になってから乗り越えていかれるような教育が必要。
大町	女	60～69歳	家事専業	とてもいいと思う。こちらに来て知らない人たちでも挨拶するので。
美麻	男	60～69歳	公務員	子どもたちの今の環境及び生活と大人たちが今まで生活してきた人生経験を互いに知る機会を少しでも多くして互いにいい面と悪い面を知ることができることは大切な事だと思う。
常盤	女	70歳以上	学生・無職	老人達の活動が積極的に行われるように、中高年の活動を促して欲しい。
大町	女	70歳以上	家事専業	一人ひとり子どもたちも大人も気持ちよく挨拶ができればいいと思う。下校時、スピーカーでの連絡の見回りの放送はとてもいいと思う。
平	女	70歳以上	農林水産業	ふるさとにある良い所、悪い所、残したい所、削りたい所を子供たちが歩いて知ってほしい。
大町	女	70歳以上	学生・無職	コミュニケーションが薄い。
平	男	30～39歳	観光業	自分は郷土への愛着と誇りを持っているが若い子はそうとは限らない。魅力ある人物が大町に来訪して頂かないとなかなか厳しいと思う。
平	男	60～69歳	観光業	子どもたちに教える人を子どもたち目線で教えられる人を育ててほしい。
大町	男	70歳以上	家事専業	具体的に小中高でどのような郷土教育をしているのかを明確にして欲しい。方針の指示だけで具体的な動きと内容を把握しないと実際には前に進まない。
大町	女	60～69歳	家事専業	奥原さんの活躍や松澤さんのバレエレッスンの進出など大町も存在感を示している。やれば田舎でも出来ることを証明していると思う。希望を失わずに未来を考えていけばいいのでは。
大町	男	60～69歳	商業（卸小売業・飲食業）	経済的に苦勞されている子育て世代を持つ家庭への支援・援助を積極的にお願いしたい。
大町	男	40～49歳	運輸・通信業	自治会の活動に子どもたちも参加してもらいたい。資源ごみの回収、一斉清掃、町内祭りなど準備段階から関わってほしい。
大町	男	50～59歳	家事専業	子どもと高齢者が共に連動して生活できる仕組みが何かあればいい。
八坂	男	60～69歳	建設業	大変努力を、工夫をして進歩しているのでこのまま続くように。
大町	男	70歳以上	その他の職業	アルプスの名前を全部言える市民に全員がなればいいと思う。
社	男	50～59歳	公務員	子どもたちが大町の歴史や自然文化を実際に知らなければ何も始まらない。
大町	男	20～29歳	工業（製造業）	子どもが大町から出ていかないように将来住んでもらえるようにしてほしい。
社	男	60～69歳	農林水産業	教師の自由度を上げるべき。
平	女	50～59歳	その他のサービス業	大町の人が大町の良さを知らなすぎる。子どもたちが大きくなり大町で仕事をし、子どもを育ててくれるようになればと思う。
八坂	女	20～29歳	その他のサービス業	高齢化で地域のことを熟知した人が少なくなっている。継承する人もないことが多いので記録として残しておくべき。

常盤	男	40～49歳	工業（製造業）	バトミントンの奥原さんのようなオリンピックに参加できる人が大町出身者であることに誇りを持っている。音楽、芸術においても優れた人が大町出身者で沢山いると思う。そういう人たちをどんどん発表して欲しい。目標になる人がいると思う。
常盤	男	60～69歳	学生・無職	芸能、伝統文化を継承して欲しい。
大町	男	30～39歳	金融・保険業	学校の再編成を行い一人ひとりの教育が充実するようにしてほしい。通学等で困る人ができないように。
大町	女	70歳以上	家事専業	新しい時代に合った教育推進のための学校教育支援は惜しむことなく県の先導していくようなものが必要。
大町	女	70歳以上	その他のサービス業	大町はどこよりも良い所と思える魅力がある。まちづくりには先輩である大人がそういう思いを子どもに伝える学習を。
社	男	70歳以上	農林水産業	少子化に歯止め対策を具体的に実施する事。未婚の方の交流会とか。
大町	女	40～49歳	その他の職業	子どもたちが誇りを持つにはまず、大人が大町を好きに。
大町	男	30～39歳	運輸・通信業	地元の良い所と比較しても胸を張って自慢できるというところを小さいころから沢山伝えて欲しいと思う。
大町	女	40～49歳	その他のサービス業	美麻小中学校の取り組みはとても素晴らしいと思う。
美麻	女	60～69歳	家事専業	夕方のチャイム（早春賦）が季節感なく、真夏に流れる事に違和感があります。早春賦は春を待つ心の歌であるので、早春の（2～3月）だけ、流してはいいでしょうか？4～6月は夕焼け小焼け、7～8月は夏の歌、9～11月は夕焼け小焼け、12～1月は冬の歌、2～3月は早春賦というように変化をつけてもいい。
常盤	男	70歳以上	学生・無職	若い人の農業離れが心配なので、担い手を育ててほしい。
常盤	男	50～59歳	公務員	コミュニティ・スクールの深化や拡充。
美麻	男	60～69歳	家事専業	個性や能力が十人十色ではなく、十人一色になっている傾向がみられる。
大町	男	70歳以上	その他のサービス業	少子高齢化も踏まえ、基本計画に基づいて取り組まれている事は大変評価している。ふるさとに誇りを持つという観点から、更なる情操教育が不可欠と思う。お互いが助け合う、心を養う教育もお願いしたい。
平	男	50～59歳	建設業	校外学習活動の充実（地域の自然環境の体験や地元企業等との交流等）。
平	女	60～69歳	家事専業	子ども達に地域の行事参加や、神社、仏閣の清掃等、ボランティアや学校等で大切にしている心を育てる。
大町	女	70歳以上	学生・無職	子供達の学習した内容を市民へも広げてほしい。
大町	男	40～49歳	運輸・通信業	5年後どうなっているか、結果をみないと分からない。やってみて駄目だったら改善を。
平	男	60～69歳	学生・無職	地域への誇りを持つには、大町市から出ていき、日本や世界を知る事が重要。市外との交流を充実する。
平	女	60～69歳	家事専業	ボランティアによる学習指導員や各得意分野の講師などのコースを多くする。
常盤	女	70歳以上	家事専業	郷土への愛着を持てるには、地域の人達との交わりが大切。今は学校への行き帰りの子ども達に気楽に声掛けが出来ません。地域の人と会話出来る子供になってもらいたい。（その為の教育）
大町	女	40～49歳	運輸・通信業	先生たちが誇り、愛着を持っているかをまず見直してほしい。教えられる方がどれほどいるか。誰の助けがあればそこをサポートできるか、昔はできていたのか、比較した上での取組が必要と思う。
八坂	女	70歳以上	家事専業	子どもたちに大町が大好きと言ってもらえるような環境作り。家の近くで子ども達が集って遊べる場所作り。
大町	女	70歳以上	家事専業	大変良いと思う。

大町	女	40～49歳	その他のサービス業	図書館をもっと充実してほしい。学ぶスペースや憩いの場をつくってほしい。
平	男	70歳以上	建設業	山岳、神社、農作物、四季のはっきりしている事。大町に沢山の学ぶ物があると思います。自然の中で豊かな知識を伝えて行う事も大切。
平	男	30～39歳	工業（製造業）	地域の教育環境をのこしたりしている自治会をやっている人の負担が大きい。
大町	男	70歳以上	その他の職業	もう一度、大町市は「アルプス一番街である」という誇りを掲げて目に見えるように積極的に。
大町	男	70歳以上	農林水産業	テーマ実現の為、大町市として幼・保・小・中・高一貫した教育指針的なものの位置づけが必要ではないか。
大町	女	20～29歳	工業（製造業）	学校の授業や課外授業で例えば大町市の郷土料理などを学べるようにというような行事があれば子供たちが喜ぶと思う。
常盤	女	70歳以上	—	昔の人の知恵を教わる。
社	男	60～69歳	商業（卸小売業・飲食業）	子どもと高齢者との関係が上手くいくと良い。
平	男	50～59歳	商業（卸小売業・飲食業）	子どもたちへの地域の歴史、文化の学習充実。
常盤	女	70歳以上	家事専業	子ども達が個性や能力を伸ばせるよう地域全体で充実を図ったらいいと思う。
大町	男	30～39歳	公務員	子ども達が大人になったときに「子供の頃、あんなことしたよな」と思い出して、大町市に帰ってきたくなる体験や教育活動を体感させてあげたい。
平	男	40～49歳	その他の職業	郷土のことを学習する機会が少なすぎる。知ることにより、誇りや愛着を持ち、世界に自慢できる。世界の郷土への学習方法を取り入れる。
常盤	男	70歳以上	農林水産業	人口減少のスピードが早く施策が追いついていかない点を解明し施策に反映してほしい。
平	女	60～69歳	その他のサービス業	美麻・八坂の合併にも関わらず、人口が減少しているのは若者が魅力を感じていないからだと思う。夕張市のののまいにしたくない。子どもたちや孫の世代が生き生きと楽しく暮らせるまちづくりを早急に進める必要がある。
平	女	30～39歳	家事専業	子どもが大きくなり、一度大町を離れても、戻りたいと思えるよう幅広い世代での交流、地元の祭りへの小学生からの積極的な参加、地域の歴史や環境の学習を取り入れてもらいたい。
大町	女	60～69歳	その他の職業	大町の子ども達の学校生活は、屋外授業は他県から来た者にすればとても新鮮でこれからも続けてほしいと思う。
社	女	40～49歳	建設業	子ども達に大町が一番な項目を考えて発表してもらうような授業があったら良いと思う。逆に大町が一番なものを集めた冊子等の配布でもよい。
常盤	男	60～69歳	工業（製造業）	大町（王町）の歴史等郷土の成り立ち等も理解し学べることができれば良い。
社	女	40～49歳	その他のサービス業	教室での授業だけでなく、地域に出て行って学ぶ場が必要。子どもが少なくなり、地区の行事も少なく寂しく思う。
大町	女	70歳以上	家事専業	子ども達への取り組みはよくわからないので、子どものいない家庭にも広く知らせてほしい。大人にとっての様々な学習の機会は提供されていると思う。
大町	男	70歳以上	その他の職業	故郷に誇りを持つ教育を子ども達の年代から学ぶことは大変大切なことだ。進めてほしい。
社	男	70歳以上	工業（製造業）	少子化により学校を地域のコミュニティの中心にすることが難しくなっている。歴史や風土を掘り起こし、地域の良さを再発見できるような活動をしてほしい。
常盤	男	40～49歳	工業（製造業）	子ども達に地域のイベント事に参加させられるような協力をお願いしたい。

常盤	男	40～49歳	その他のサービス業	最も大切なことだと思う。歴史教育を充実させるべきだと思う。
常盤	男	30～39歳	公務員	スポーツの力が必要だと思う。負けず嫌いな子が増えてほしい。
常盤	女	20～29歳	学生・無職	大学の関係で県外に行く市民が多い。そこでUターンしたい人のための支援の紹介をもっと大々的にしてほしい。メールや郵便などを活用してほしい。
社	男	40～49歳	工業（製造業）	留学（他県の大学も）助成など資金援助（貸付）など進学率を高め、優秀な人材を育てる。大町にUターンしたら返済免除等。市内に優秀な高校、大学がないのは問題。
社	女	30～39歳	その他の職業	具体的に何をしているのかわからない。伝統的で歴史的な場所をもっと活用してほしい。
八坂	男	50～59歳	建設業	まず親を含めた市民が故郷に誇りを持つよう心掛ける取り組みをしなければその子どもも愛着は持てない。
常盤	女	20～29歳	家事専業	自分の興味のあるものを掘り下げて学習したり、体験できるものは大切だと思う。
大町	女	70歳以上	その他の職業	個性や能力を持った子どもは大勢いる。また皆で会う機会を作れたらよい。伝統技術の灯を学ぶ。
大町	女	70歳以上	学生・無職	できるだけ知・技・人格・感性豊かな人間育成を進めて実行力を持ち、他者を理解できる人に育ててほしい。
美麻	男	40～49歳	その他のサービス業	「地域の担い手を育てる」というのが大人の都合であり、子どものことを思えば、必ずしもこの文言はいい。
平	男	20～29歳	その他の職業	その割に大町から離れていく若者は後を絶たない。私も実家があるから住んでいるだけで愛着ではなく、旨味があるかないかだけ。
平	男	70歳以上	商業（卸小売業・飲食業）	大町に誇りを持つことはなにもない。これでは人口は減少する一方だ。
八坂	男	60～69歳	その他の職業	地域の行事や和太鼓の活動を通じ、地域への愛着を持った子ども達が地域外へ出た後、帰って来る例が沢山ある。その子たちが就職できるような企業誘致や支援を充実してほしい。
常盤	女	50～59歳	その他の職業	取組の内容や結果が分かる機会の検討。地域の職場を知る活動積極的に行ってほしい。
常盤	男	70歳以上	農林水産業	なぜ「まち」なのか、常盤は「まち」ではない「むら」だ。常盤という地域に誇りを持つ子どもを育てるには南小の合併には反対である。
大町	男	30～39歳	工業（製造業）	学校外でのコミュニティの形成をできる機会や施設を充実させ、学友以外の広い繋がりを作る。
大町	男	60～69歳	公務員	市の人々の「いとなみ」に共感する教育活動をしていく必要がある。
常盤	男	40～49歳	建設業	子どもたちが大町のことを知ることが出来るよう体験・体感できるような小さな時から大町の特色に触れるようなことができる教育。
平	男	50～59歳	公務員	担い手を育成する前提として、子ども達が住みたくなる、勤めたくなる会社、事業の確保。
大町	男	50～59歳	その他の職業	祭りなどを生かして頂きたい。
大町	男	40～49歳	その他のサービス業	年々少子化もあり、祭りの存続を考える事も増えた。もっと大町市として神社側と一緒に盛り上げるような事はできないか。
大町	女	30～39歳	家事専業	子ども達が自然の中で遊んで育てるような環境であってほしい。
八坂	女	50～59歳	その他のサービス業	小規模校の存続、少人数学級の実現により、地域学習にとりくみやすくなると思う。
平	女	30～39歳	その他のサービス業	子ども達の前に大人が「ふるさとに誇りを持つひと」になる必要があり、個人の能力や行動を促すような支援策で地域活性化を進めてほしい。
常盤	男	70歳以上	家事専業	引き続き力を入れて推進してほしい。

テーマ② 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち

常盤	女	70歳以上	家事専業	最近、南部地区で新しい産業が始まっていることを嬉しく思う。大町の住民が増加し、それぞれの市民が能力を発揮して働いて（生活する）社会になればと思う。
社	女	60～69歳	家事専業	休んでいる農地などもっと利用して働く場所や観光にあててほしい。
平	女	40～49歳	その他の職業	自営業です。「創業の支援や後継者の育成等」については実感した事がない。こちらから何かアクションが必要なのか。
平	女	30～39歳	農林水産業	今は、大町市はどこかへ行く時の通過点になっていると思う。足を止めてもらう場所と努力が必要。
大町	男	30～39歳	公務員	聞いたことがない。もっと市民にわかるように呼びかけ広めるべきだと思う。
平	女	60～69歳	家事専業	これ以上人口が減少しないよう、働く場の確保が重要。
大町	女	40～49歳	観光業	働く場が少ない。地域資源とは何か、ブランド力とは何か。
平	女	50～59歳	その他のサービス業	駅前の本通りは、とても静かすぎて、せっかくホテルができたのに駅を降りてみると何もないイメージしか残らない。若い人が少ないので仕方ないと諦めているところもあるが。
常盤	女	40～49歳	-	賑わいがない。やりっぱなしではなく、PDCAを繰り返し行うべき。
平	男	70歳以上	農林水産業	観光、文化資源の見直し。今はワイン生産、ぶどう作りが大町の風土に合っている。もっと田園都市としての存在を高める。
大町	女	70歳以上	家事専業	大町市を代表する土産物がない。
常盤	男	60～69歳	建設業	どこの地域を中心にするのが問題だと思う。
常盤	男	40～49歳	農林水産業	住まいと働き口があり、その情報が伝われば人は増えると思う。
大町	女	60～69歳	観光業	商店街の活性化が大事。（今のままでは）寂しすぎる。
社	女	40～49歳	その他のサービス業	水を活用し、地ビール、酒、飲料水などを作り、黒部ダムカレー以外にも名物を作る。商店街を中心とした店舗展開をし、市民の日、県外の日などのキャンペーンを実施して欲しい。
大町	男	40～49歳	その他のサービス業	中心市街地を歩きながら、落ち着いてクラシックの名曲が流れているような雰囲気を味わいながら食べたり、見たり、楽しめる絵巻物のようなまち。皆外国語を身に着け、国際色豊かな国際都市。
平	男	40～49歳	運輸・通信業	人口が増えて、ショッピングモールなどがほしい。
大町	女	70歳以上	農林水産業	産業発展の第一条件・交通網の整備（道路）。
美麻	女	40～49歳	学生・無職	コワーキングスペースの充実など、大町で働く魅力をつくる。
常盤	女	60～69歳	家事専業	市としての様々な取り組みが素晴らしい。経済的基盤をしっかりさせていくことが重要。若い世代の、働きたくても働く場所がない、帰りたくても帰れない、という話もよく聞く。
平	男	30～39歳	その他の職業	大企業の誘致や土木関連の存続だけに注力する、など月並みな政策ではなく、いま一度大町の魅力・長所・資源は何なのかを検討し、それらを活かす振り切れた施策が求められる。大町市の持つポテンシャル・時代の変化を考えると、十分に勝負できるはずである。
大町	男	70歳以上	公務員	新産業の誘致育成、人手がいらない水の会社、地元の雇用がない、若い世代の働く場所をいかにつくるか。地域資源、これといった資源がない「水」。ブランド品難しい。人のU・Iターン、外国語スクール開校できる程の人口が集まればよいが。
大町	男	20～29歳	その他のサービス業	ブランド力等より、普通の街でいいので、若者が住んで市外や遠くに行かなくても楽しめるようにしてほしい。

社	女	70歳以上	学生・無職	鷹狩山にトンネルをつくり19号線や長野道との交通網の充実。温泉郷・運動公園～大町ダム・七倉ダム・高瀬ダム・ウルトラマラソン大会・仁科三湖・スノーハープ・トライアスロン大会。
美麻	男	40～49歳	工業（製造業）	他県の企業の支社や工場を誘致するよりも、大町ならではの会社が数多く創業できる環境をつくってほしい。既存企業においては、フレックスタイムの導入など柔軟な働き方ができる制度の整備を希望する。
大町	男	30～39歳	その他の職業	良いと思う。
大町	男	50～59歳	学生・無職	若者が働く場所が少ないため、市外へ流れていることを把握したらどうか。
大町	女	60～69歳	-	にぎわいを感じられない。
常盤	男	60～69歳	学生・無職	雇用を生み出す社会の実現を望む。
常盤	女	70歳以上	家事専業	若者が働く場所がとにかく少ないため、人口も増えるはずがないと思う。
常盤	男	30～39歳	学生・無職	賑わっていることと、「つながり」があることは違う。
大町	男	60～69歳	建設業	地域の不便さを解消する対応が必要。通り一遍の対策では、他の利便性の良い地域に負ける。
社	男	70歳以上	学生・無職	松糸道路の早期完成を望む。
大町	男	70歳以上	学生・無職	若者が働く場所がなく、どんどん流出していることを思うと、新しい産業・工場誘致を考えなければどんどん人が減っていくと思う。
常盤	男	70歳以上	学生・無職	当地の豊かな水資源を有効に活用する産業は、大きな柱となる。水に関する一層のブランド化を進め、全国的な知名度を高めることが必要だと思う。ただし、ある程度の規制が必要で、水資源を大切にしていけることが重要。
八坂	女	50～59歳	農林水産業	頑張ってもらいたい。
大町	男	70歳以上	学生・無職	交わりの中での発展を。人間（他国民）を尊重しあい、切磋琢磨していく。
大町	女	40～49歳	公務員	新産業の誘致も必要とは思いますが、里山の景観が損なわれないように留意してほしい。
八坂	女	50～59歳	その他の職業	企業誘致の努力は認めるが、地元市民の正社員での採用人数がとてもなく、意味がないと思う。だから若者が減る。
大町	男	70歳以上	その他の職業	是非進めてほしい。
大町	女	40～49歳	その他のサービス業	大型店、会社を受け入れ市民の働く場所の確保に力を入れてほしい。
常盤	男	60～69歳	運輸・通信業	産業誘致の為には町の活性化が重要。現在は元気もなく、日曜日も閉店。市を上げて元気にするべき。
大町	女	60～69歳	その他のサービス業	シャッター通りが無くなること。
大町	男	40～49歳	その他のサービス業	市職員が教養を深め誘致などに力を入れる。（ちひろ美術館誘致の時、観光課の職員がちひろって誰ですか？と聞き返すような職員はどうかと思う。
常盤	女	30～39歳	家事専業	力を入れている「水」くらいしか知らないけど水なら美味しい所はほかにもたくさんある。
大町	女	50～59歳	観光業	人の意見を取り上げること。所得の多い人や大学卒の人の意見を聞いたり、議員の人の意見ばかりでは地域発展はない。
常盤	女	30～39歳	その他の職業	市外から来たが地域の人との交流がなく、昔から住んでいる人は知ったことと思っているが住みにくい。
大町	男	70歳以上	その他の職業	大町ブランドを考える。土産品を作る。

美麻	男	70歳以上	農林水産業	働く場所の確保のため、企業誘致をして欲しい。
平	女	50～59歳	家事専業	市から人が流れていく中働く場の確保。今ある職場の満足度、働く人を大事にした会社の実現。それを魅力に感じるようにして人を集めていくようにできると未来の提案などするより足元を固める方が大切。
大町	女	70歳以上	家事専業	賛成。
大町	男	70歳以上	その他の職業	地熱資源利用の発電が利用できないか調査活用を検討して欲しい。
社	女	60～69歳	その他の職業	産業も難しい現在、刑務所などの国の施設の誘致もいいと思う。軽犯罪も増えていくと思うのでそういった施設も必要。
平	男	20～29歳	その他のサービス業	他の市町村ではできないような大町特有の産業やブランド開発ができればいいと思う。
常盤	女	70歳以上	学生・無職	ぜひ大きく動かしてほしい。
大町	女	70歳以上	家事専業	大町駅前がとっても寂しいと感じる。雨や雪で濡れないように大きなアーチ形の屋根になっているといいと思った。
平	女	70歳以上	農林水産業	マンネリ化を防ぐために、外部の人から関心を持ってもらうことも大事。
大町	女	70歳以上	学生・無職	積極的な行動が少ない。他人事である。
平	男	70歳以上	建設業	地域神社の維持も困難になっている。文化財としての維持、何とか行政からの協力は得られないのか。
平	男	30～39歳	観光業	天然水の誘致やルートイン開業は素晴らしいが地元の雇用はどうなっているのか分からないので人の流れがあるかは微妙。地元民を大量雇用してこそ地域の魅力を上げられると思う。
平	男	60～69歳	観光業	自然が豊かで四季に合う観光施設作りを利用して欲しい。人口増加を。
大町	女	60～69歳	家事専業	コロナが終息してから新しい取り組みを考えるべき。
大町	女	70歳以上	家事専業	学校を卒業して大町に戻ろうとしても働く場所がない。企業の誘致をして働く場所の確保をして欲しい。
大町	男	60～69歳	商業（卸小売業・飲食業）	ワイナリーの話他。
大町	男	40～49歳	運輸・通信業	企業誘致をしても直接雇用には繋がっていないと感じる。商店街の後継者を作り、事業継続を望む方も少ないと思われる。スポット的に出店している方も多いが短期で終わってしまうため、前者のようなやる気のある商店をフォローできる仕組みがあればと思う。
常盤	男	60～69歳	公務員	地元を離れて進学し、そのあと戻ってきても知識を活かして働く場所がなく、それが一つの流出になっている。生まれ育った大町に戻って暮らせる働ける場所をさらに進めてほしい。
大町	男	60～69歳	その他のサービス業	長年続く活動の成果が見えない。
平	女	30～39歳	家事専業	商店街をもっとおしゃれに便利にすれば人が来ると思う。建物は古いし車で行きにくいし美味しい物や良いお店もあるのにもったいない。
大町	男	70歳以上	その他の職業	重要な問題、一つとして解決していないシャッター通りはなくなるのか。
社	男	50～59歳	公務員	これという目玉になるものがない。施設でも食でも場所でもいいので思い切った目玉作りを。大町は白馬への通過点となってしまっている。
大町	男	20～29歳	工業（製造業）	サントリー水の誘致は良かったと思う。今後も誘致して欲しい。
社	男	60～69歳	農林水産業	中心地を作る。
平	女	50～59歳	その他のサービス業	近くにインターチェンジがないことがネック。交通の便が悪いことが企業を呼び込めない一つの原因だと思う。

常盤	男	40～49歳	工業（製造業）	若い人がこの場所にずっと住みたいというところになるようお願いしたい。
常盤	男	60～69歳	学生・無職	海外の人たちとの交流を増やす。地域差別がある中それができるのか。
大町	女	60～69歳	その他の職業	ブランドというよりもう少し人を引き付けるモールを考えるべき。コストコとは言わないがものに魅力があると遠くからでも人は来てくれる。
大町	男	30～39歳	金融・保険業	働く場の確保は大企業の誘致が必要。同世代は働く場所さえあれば大町に帰ってきたいと言っている。
大町	女	50～59歳	その他の職業	働く場の確保ができていない。市内に働くところがないので結局遠い松本へ通勤することになる。もっと充実できないか。
大町	男	50～59歳	工業（製造業）	継続が必要だと思う。
大町	女	70歳以上	家事専業	工場誘致に全力を。人口増加→活性化に繋がる。
大町	男	70歳以上	学生・無職	働く場がなく帰ってこないといった地元の若者の為に、新産業の誘致を希望する。
社	男	70歳以上	農林水産業	大町に進出する企業などはないのか。なければ市で進めて大学の施設とか。
大町	男	30～39歳	運輸・通信業	明確なビジョンと方向性は常に意識して行ってほしい。1度決めたらそのまま進めるのではなく、定期的に立ち止まって状況確認、見直しを柔軟に行っていただきたい。
大町	女	40～49歳	その他のサービス業	大町にはどこの市町村よりも誇れる北アルプスの絶景とその恵みの水があると思う。ぜひ、そのすばらしい環境をもっと大切に町づくりをして欲しいです。いろいろな分野に可能性を広げるよりも、シンプルに個性をのばす方が財政の分散にならないと思う。
美麻	女	60～69歳	その他の職業	子供達が大学等で県外に出てしまっても卒業したら、また大町に戻りたいと思う様に働く場所等を考えてほしい。
大町	女	70歳以上	商業（卸小売業・飲食業）	ブランド名を考え、マスコミにも取り上げてもらう。一番でない話題性にも欠けて意味がない。市の東側の開発や鷹狩山への道路や観光道路の拡張等をしてほしい。今ある環境を活かせる様にしてほしい。
平	女	70歳以上	商業（卸小売業・飲食業）	「松糸道路」の開通を是非ともお願いしたい。
常盤	男	50～59歳	公務員	他の市町村がやっていない事をやらないと市の存続が心配。
大町	男	50～59歳	その他のサービス業	お願いしたい。
美麻	男	60～69歳	家事専業	施策を展開しているはずなのに、よくなっているようには思えない。
大町	男	70歳以上	その他のサービス業	コロナウイルスの拡大により、施策の見直しが重要項目だと思います。今日まで培ってきた中央とのパイプ、人脈をフルに生かして行政が一丸となって邁進してほしい。
平	男	50～59歳	建設業	自然の中でのスポーツ体験場所の充実（ランニングコース、サイクリングコース等）
大町	女	70歳以上	学生・無職	地域の魅力について市民への周知が低い。
大町	男	40～49歳	運輸・通信業	5年後どうなっているか、結果をみないと分からない。やってみて駄目だったら改善してほしい。
常盤	男	40～49歳	工業（製造業）	流通、交通の整備が重要、不可欠になってくると思うので、早急に対応する必要がある。
大町	女	30～39歳	商業（卸小売業・飲食業）	商店街の空き店舗に新しい人たちが入ってくれるような工夫（賃貸料の補助等）。木崎湖南側エリアの温泉宿も復活したらおもしろいと思う。
平	男	60～69歳	学生・無職	観光資源を活用した産業の発展が重要だと思う。余暇利用を市民から積極的に行う。
平	女	60～69歳	家事専業	施設、公民館を個人で利用できるようにする。

大町	女	40～49歳	運輸・通信業	失業中、ハローワークへ足を運びましたが希望の勤務を見つけられなかった（土日休みを求めていたわけではない）。様々な形での就職の場、形を確保してほしい。今の職場は他からの紹介で見つけたが、ハローワークなどには求人を出していなかった。
八坂	女	70歳以上	家事専業	大町市を活性化させたいという大町大好き人間づくりを。教育の中に大町が大好きという子ども達の考えを聞いたり「市民アンケート」などをいろいろな型で作ってみる。
大町	女	40～49歳	学生・無職	もう少し企業誘致に力を入れてほしい。必然と人口も増えて活気のある町になるかと思う。
平	女	40～49歳	学生・無職	スタバやパン屋等話題になるようなお店を誘致して欲しい。
常盤社	男	40～49歳	公務員	仁科三湖の活用。松本山雅のサテライトチームの試合を大町で開催。
社	女	40～49歳	観光業	働く場はもちろんだが、場があっても賃金が低ければ、家計が厳しく家計や精神的な安定につながらないので、地域の事へ目を向ける気持ちの余裕を持ってない。まず、賃上げをして物価に釣り合う様にし、生活の安定を望む。
社	女	70歳以上	学生・無職	湖など宝物がたくさんあるので、車で乗り付けるのではなく、遊歩道等を整備してゆっくり散歩できる事を願う。
大町	女	70歳以上	家事専業	良いと思う。
社	女	60～69歳	家事専業	他の市に比べ、道の駅が少ない気がする。国道沿いに大きな道の駅とカフェを併設し、市民や旅行者がお金を落としてもらおう場所を造るのはどうか。空地も結構ある気がする。
大町	女	40～49歳	その他のサービス業	大町は山と水の町だと思うのでもっと特化すべき。休耕田をグラウンドにかえて、合宿の誘致（菅平のような）。環境もよいし、スポーツのメッカとして、市の整備をしたらどうか。
大町	女	70歳以上	家事専業	これからの大町はこのテーマ②が出来て、若い人が育ち、仕事があり、そこから新しい町に向かうと思う。郷土愛、誇りの前にまずはここで暮らしていける産業、生活があってこそだと思う。
大町	女	50～59歳	その他の職業	県外に出た子どもたちが戻って来れ、働く場を作ってほしい。大学・専門学校等を作ってほしい。
常盤	男	60～69歳	学生・無職	サントリーができるが、その中にクラフトの売り場を作ってほしい。
平	男	70歳以上	建設業	水資源は豊かといえど水工場ばかりの産業はいかがなものかと思う。
大町	男	40～49歳	工業（製造業）	企業の誘致が良いが、地元の人、定住する人を採用して頂かないと人口は減っていくと思う。
大町	女	60～69歳	その他のサービス業	自分の力を出せる地域とし、学校を卒業しても働ける町づくり、外に出て行かないまちづくりを目指して欲しい。
平	男	30～39歳	工業（製造業）	土地の有効活用。
平	男	50～59歳	その他のサービス業	創業者、移住者に補助金があるが定着率はどうなのか。既存の事業をしている方にも少額でもいいので助成していただきたい。
大町	男	70歳以上	その他の職業	高速道路を一刻も早くつくるように。県や国を頼るばかり。
常盤	女	70歳以上	学生・無職	雇用の確保に繋がるような施設展開を望む。
常盤	女	70歳以上	—	交流の場をつくる。
社	男	60～69歳	商業（卸小売業・飲食業）	市外からの人たちをあたたかく受け入れられる人脈であってほしい。
平	男	50～59歳	商業（卸小売業・飲食業）	大町の唯一無二とはなんなのか。
常盤	女	70歳以上	家事専業	働く場所を多く誘致し、市民の人口が減少しないように努力したい。

常盤	女	60～69 歳	家事専業	若者の働く場がほしい。また 60 代以上でも働く意思がある人は沢山いるので働くところがほしい。
大町	男	40～49 歳	その他のサービス業	働く場の確保は確実に必要だが、若者のニーズに応じた職場の誘致も必要では。また若者が集える（遊び場）も必要ではと思う。
大町	男	30～39 歳	公務員	市民や地域団体に頼る（活用する）。
平	男	40～49 歳	その他の職業	地域資源や文化資源を活用して価値を出すことが下手（商売方法が古い）。外国人、都会の人が何を求め、お金を使うのかは田舎の考えではできない。その欲求を研究することが大切。また新しいことを否定し、否定に賛同し足を引っ張る風土を変え、チャレンジを受け入れる風土にしないと未来はこない。
常盤	男	70 歳以上	農林水産業	地域資源や文化資源を活用して産業振興することも大切だが、貴重な資源を守っていけるような条例制定が必要だと思う。
平	女	60～69 歳	その他のサービス業	大町は働く場所が少ない。それが、若者が他の場所へ行く原因だと思う。水の工場等作っても雇用者がいないならばどうにもならない。市だけでなく県全体でこの町の魅力、ブランドを作り出すことを真剣に考えるプロジェクトを作るべき。
平	女	30～39 歳	家事専業	産業の確保も大事だと思いますが大町には山、川、湖があるので資源を生かして福井県池田町にあるようなアドベンチャー施設、体験施設を市として行っていけないだろうか。
大町	女	60～69 歳	その他の職業	自然に親しむことのできる自転車道を作ってみてはと思う。空気の美味しさ、自然の風景、他県には無いと思います。初めて訪れた時、日本のアルプスだと感じ、移住のきっかけになった。
社	女	40～49 歳	建設業	商、農、工業のバランスを整え、連携による地域の活性化を目指してほしい
常盤	男	60～69 歳	工業（製造業）	サントリー、みすずコーポレーション等工場誘致をされたことに敬意を表するとともに今後も尽力していただきたい。
平	男	50～59 歳	農林水産業	グローバルな経済の限界が見えている中で、地域で循環できるものは地域で回していく政策。農林業の地産地消、エネルギー（自然）の創出など。
社	女	40～49 歳	その他のサービス業	美しい景色が活用されていない。コロナの影響もあって、キャンプとか自転車とか流行しているので、もっと観光に力を入れたらいいのではないかな。
社	女	20～29 歳	観光業	伝統工芸などで後継者がいない場合に市民が知れる機会を作ってほしい。
大町	女	70 歳以上	学生・無職	地域資源、文化資源は活かされていないと思う。ブランド力向上は必要ない。観光客もブランドを意識していない。あまり興味はないと思う。
大町	男	40～49 歳	商業（卸小売業・飲食業）	安曇野・白馬に比べ、ブランド化ができていない。安曇野・白馬に比べ大町には水、自然、観光、山など豊富な資源がある。普段の私たちには気づかないものでも都会の人には喜ばれるものがある。他県の人々に聞いて、活用していくことが大事だと思う。
大町	女	50～59 歳	公務員	「おおまびょん」のぬいぐるみを復活させてほしい。県外にいる知り合いが欲しがっていたので残念だった。
大町	女	70 歳以上	家事専業	ブルワリーができ、楽しみだったが気軽に行くには少し値段が高い。将来的にはもう少し工夫をして地域の空気にあった賑わいのスポットになってほしい。
大町	男	70 歳以上	その他の職業	何事も自分の所だけでまとめるのではなく、他の地区の状況をも見学し進めることは幅広くなり大切だと思う。
平	男	70 歳以上	その他の職業	外国人の流入は反対。治安が心配。
常盤	男	30～39 歳	公務員	高速道路がないことが痛い。場所を問わないネットワーク系企業の誘致はどうだろうか。例えば徳島県美波町は 17 社もの IT ベンチャー企業のサテライトオフィスがあるという。参考にしながら大町の自然でリフレッシュできることを売りにして誘致してほしい。
常盤	女	20～29 歳	学生・無職	英語を話せる人を雇えば国外から来ても安心なのではないかな。

社	女	30～39歳	その他の職業	住みたい町にならないとまず人口は増えない。補助や町並みの改革が必要。シャッター通りは人は来ない。
平	女	70歳以上	家事専業	成果が上がるととても良い。
八坂	男	50～59歳	建設業	大町の良いところを整備し、外部に伝えてほしい。おおまぴょんもかわいらしく、よいイメージキャラクターだと思う。
常盤	女	20～29歳	家事専業	大町といえばこれ、というものが無いと思う。増やしていきたい。
社	男	50～59歳	商業（卸小売業・飲食業）	水を取られる事業ばかりで本当に将来はどうなるのか。
八坂	女	40～49歳	その他の職業	野菜・米・お菓子・酒など何をブランドにするのか決まっていないのでどのように取り組んでいいか分からない。
常盤	女	40～49歳	工業（製造業）	スワンガーデンやイオンモールのように車を動かさずにランチしてウォーキングがてら雑貨屋を見てお茶ができる場所があると人が集まるのではないか。
大町	女	70歳以上	その他の職業	まだ土地があるので、新産業の誘致に力を入れ若者が安心して住めることが一番大事。
大町	女	70歳以上	学生・無職	北アルプスの麓の大地の景観、水、空気、自然の美しさを伝え、広く人々を集める活動を成果が上がるまでやってほしい。
八坂	男	60～69歳	その他の職業	Iターンなどへの企業支援を充実し、新しい感覚の仕事を広めてほしい。
大町	男	60～69歳	学生・無職	知識人の講演会（Webを含む）。
常盤	女	50～59歳	その他の職業	若者が活動しやすい支援・事業の補助など。新しい考えや取り組みについての協力。
常盤	男	70歳以上	農林水産業	まちのにぎわいを創出する政策とは何か。もう不可能だと思う。
大町	男	30～39歳	工業（製造業）	まずは外向けではなく市民が市内での観光やレジャーを楽しめるように広報活動や教育に織り交ぜたりするべき。
大町	男	60～69歳	公務員	産業で生産されたものが市民に提供されるなど工場の存在が実感できるものがよい。
常盤	男	40～49歳	建設業	水・農業・観光を中心に業種・年齢を越えた交流支援。
平	男	30～39歳	観光業	新産業の誘致を頑張ってもらいたい。観光施設でも商業施設でも工業施設でもできれば雇用が生まれ、人が集まると思う。
大町	女	50～59歳	商業（卸小売業・飲食業）	若い人たちが大町に残って働きたいと思う仕事があればいいと思う。
平	男	50～59歳	公務員	誘致の障壁となっている道路交通網、高速道路の誘致は急務。
平	男	70歳以上	農林水産業	松糸道路の早期完成が活力ある大町市になると思う。
大町	男	50～59歳	その他の職業	空き店舗を利用して若い人に起業してもらおう。何とか横町という名前の場所を作る。
大町	男	40～49歳	その他のサービス業	道路整備や高規格道路の推進を急いでほしい。
大町	女	30～39歳	家事専業	おおまぴょんグッズを大きくしてほしい。もう少しおしゃれなグッズを作ってもらいたい。
平	女	30～39歳	その他のサービス業	周知PRの為に地域のクリエイターを使い、多方面から情報発信をしてもらいたい。
常盤	男	70歳以上	家事専業	これからも引き続き強力に力を入れてください。

テーマ③ だれもが健康で安心して暮らせるまち

常盤	女	70歳以上	家事専業	異常気象が多く起こるようになった。そのことについて、子供や高齢者、障がい者を守っていただきたい。
社	女	60～69歳	工業（製造業）	老人ホーム、デイサービスなどの充実。
常盤	男	20～29歳	運輸・通信業	働きやすい環境を作り、誰もが心も健康に働ける環境にしてほしい（パワハラ、マタハラなどへの対策）。
平	女	40～49歳	その他の職業	自治会の役回りで健康推進委員になったが、正直、他の皆さんも各自自治会でただ単に役が回ってきただけと見受けられる。活動自体は良いことなのに、ただ保健師さんが忙しくなっているだけの現状だと思う。改善点かと。
大町	男	30～39歳	公務員	「地域医療体制の充実」については何も進んでいない。
大町	女	70歳以上	家事専業	毎日歩いているが、所々にベンチがあると嬉しい。
常盤	女	20～29歳	その他の職業	市民病院が当直医、月1でしかやらないというのはどうか。
大町	女	40～49歳	観光業	大町病院の医師の確保、医療体制の充実。市内に一つも産科病院がない事は大問題。近隣へ頼むのではなく、給料を増額してでも来てもらうべき。出産は少子化対策の根本の話。
平	女	50～59歳	その他のサービス業	病院に対しての不安がある。「大町病院はね…」が人々の口癖になっており、安曇野市や松本市の病院へ行きがちになってしまう。安心して過ごせるためには病院はとても大切なことだ。
常盤	女	40～49歳	—	施策展開がどうなっているのか不明。
常盤	女	50～59歳	商業（卸小売業・飲食業）	高齢者や障がい者等、生活弱者が安心して避難できる施設が少ないと思う。
平	男	70歳以上	農林水産業	よりきめ細かく、もれなく実施することが必要。
大町	女	70歳以上	家事専業	免許証を返納したら通院など不便になる。タクシー券の無料配布を再度お願いしたい。
常盤	男	40～49歳	農林水産業	市民病院を維持して欲しい。
大町	男	70歳以上	学生・無職	新型コロナウイルス禍では行動が制限され、会話の少ない生活となり、孤独化が進行し、精神疾患が増えると考え。行政はその対策に積極的に行動して欲しい。家族では解決できない。
常盤	女	60～69歳	農林水産業	健康についていろいろな人達が呼びかけ、努力してくださり、有り難く思っている。
大町	女	60～69歳	観光業	元気なうちからウォーキングをして体力をつけたい。安心して歩けるウォーキングコースが欲しい。
社	女	40～49歳	その他のサービス業	産科がなくなってしまったので、子育てに不安があると思う。何とか復活させて欲しい。医師が不足しているので、充実させて欲しい。
大町	女	70歳以上	家事専業	核家族化しないよう、働く場所を増やして欲しい。
大町	男	40～49歳	その他のサービス業	幸福感や充実感を高める機会を提供し、やりがい、生きがいを作る。
常盤	男	60～69歳	公務員	大町病院の産婦人科（特に産科）を充実させ、地元（大北）で子どもが産める環境をつくる。安心して産み育てることができるよう急務の課題とすべき。産科→小児科→内科と広げていき、その分野に特化させることで、安曇病院との差別化をはかり、2つの病院がそれぞれに得意なところをもって互いに協力していける環境をつくる。
社	女	70歳以上	工業（製造業）	本当にありがたく感謝。

平	男	40～49歳	運輸・通信業	大町病院を、さらに良い病院にしてほしい。
平	男	50～59歳	運輸・通信業	大町病院の充実。
大町	女	70歳以上	農林水産業	市民一人ひとりが自分のためと思って、健康で暮らせるよう努力すること（検診）。
美麻	女	40～49歳	学生・無職	地域医療体制に不安がある。
平	男	70歳以上	観光業	大町市も益々高齢化社会になっていき、高齢者の免許返納も多くなる。買い物・病院・外出時の公共的な交通機関の確保を多くして、今よりも自由に外出できるように望む。
常盤	女	60～69歳	家事専業	当事者の声をしっかり聞いて、施策を進めてほしい。当事者の声を聴くことができるような対策がされているのかわからない。
常盤	男	70歳以上	学生・無職	安心して暮らせるように頑張ってもらいたい。
平	男	30～39歳	その他の職業	健康の要は、食事と運動。健康的な食を提供する食と農の連携、気軽に運動に取り組める場や機会の創出。未然に病気を防ぐための施策と、誰もが安心して暮らすために多様性を尊重する姿勢を打ち出してほしい。
大町	男	70歳以上	公務員	市立大町病院のありがたさは、身に染みている。これを基盤として充実した医療体制を整えてほしい。耳鼻科・眼科の毎日の診療体制。
常盤	男	50～59歳	観光業	災害時、子ども・高齢者・障がい者と一緒に避難所に避難するのはナンセンス。健常者中心の防災訓練から、弱者保護中心の防災訓練・避難対策を望む。
美麻	男	40～49歳	工業（製造業）	未病のため、安心安全な食材が気軽に手に入る施策を望む。また病院が高齢者の集いの場になっているため、代替えとなる場所作りをしてほしい。
大町	男	30～39歳	その他の職業	医療従事者が、十年後に何人就業しているのか、把握しているか。
平	女	50～59歳	その他のサービス業	近年一人暮らしの高齢者が多い中、買い物・雪かき等の支援はボランティアではなく、国からの支援で事業者任せにするなど、検討してほしい（ボランティアでは、なかなか人が集まらない）。
大町	男	50～59歳	学生・無職	災害時の避難場所が把握されていない（公民館・文化会館等）。
大町	女	60～69歳	—	保健予防をもっと充実させてほしい。
常盤	男	60～69歳	学生・無職	ぜひ施策を進めてほしい。
常盤	男	30～39歳	学生・無職	展開する側に、当事者（特に子ども）を置いてほしい。
常盤	男	70歳以上	学生・無職	少子化のため子育て支援は特に重要だと思うが、思いきった施策により市内への移住者が増えることも期待したい。また高齢者介護が大きな負担となることが予想されるので、福祉施設などの一層の充実が必要。
常盤	女	40～49歳	その他の職業	福祉の町・大町。
大町	女	40～49歳	その他のサービス業	市内の交通網の充実。高齢者への無料パスなど、運転免許がなくても暮らせるように望む。
八坂	女	70歳以上	その他のサービス業	専門職への教育（役所の中においてデータを集めるだけでなく、もっと積極的に地域へ出向き、個々の問題を掘り下げ支援してほしい）。
大町	女	60～69歳	家事専業	産科医の確保。
八坂	女	50～59歳	農林水産業	大町市は、都会に比べてとても健康的だと思う。ピンピンコロリ、うまくいっていると思う。
大町	男	70歳以上	学生・無職	健康寿命を少しでも長くするように、基礎的な体力を伸ばすようにする施策。
大町	女	70歳以上	家事専業	健康推進員を2年間やったことがあるが、大変良い経験だったと思う。沢山の方に推進員をやってもらいたいと思う。

八坂	女	50～59歳	その他の職業	大町市全体、平等に支援してもらいたい。
大町	男	70歳以上	その他の職業	是非進めてほしい。
大町	女	40～49歳	その他のサービス業	子育て支援の充実化。病院の充実化、安心できる医療体制に。
常盤	男	60～69歳	運輸・通信業	老人介護施設が足りない。何年も待つようでは今後ますます不安。
常盤	女	30～39歳	家事専業	支援などは具体的に発表するべき。届けたい人に届かなければ無駄。HPに載せていても、おおまちに載せても、見ない人は沢山いる。知っている人が得するだけでなく、必要な人が受け入れるものであって欲しい。福祉に特化した街にするなら徹底的に。
大町	女	50～59歳	観光業	日ごろからもっと声を掛けて、身体が不自由な人、お年寄り、子育てしている人に親身になってほしい。そうすると防災もうまくいく。
大町	女	30～39歳	運輸・通信業	高齢者が多い大町市は気軽に高齢者がいける場所作りをして欲しい。
大町	男	70歳以上	その他の職業	老人ばかりの家族が増えて楽しくない。
美麻	男	70歳以上	農林水産業	充実させて欲しい。
常盤	女	40～49歳	その他の職業	インフルエンザの予防接種を無料で出来るようにする。医療費、安全無料化。
平	女	50～59歳	家事専業	言っているだけに聞こえる。現実はどうか、安心して子どもを産む病院もない。
大町	女	70歳以上	家事専業	賛成。
大町	男	70歳以上	その他の職業	今進めている市の健康診断、大変にいいと思う。もっと市民の皆さんに積極的に参加してほしい。
社	女	60～69歳	その他の職業	高齢者の車両は良く見るようになったが子育ての車両を大きく宣伝して欲しい。
平	男	20～29歳	その他のサービス業	災害時の避難場所の整備強化。ダムの決壊時、どの範囲が被害にあう予想か、どこに避難すればいいか情報発信して欲しい。
大町	女	50～59歳	学生・無職	機能回復訓練が受けられる老人ホームなどが増加するといいと思う。
常盤	女	70歳以上	学生・無職	年と共に体の衰え、若い時のように積極的に行動することが出来なくなってきた。
平	女	70歳以上	農林水産業	大変な事ですが努力し頑張ってほしい。
大町	女	70歳以上	学生・無職	自分本位の人が多い。
平	男	30～39歳	観光業	親族におばが1人で住んでいる。現状を見ると支援が足りていないように感じる。働く現役世代が高齢者につきっきりになるのは難しいので、もう少し支援を増やしてほしい。
平	男	60～69歳	観光業	住みたくなる大町にして欲しい。
大町	女	60～69歳	家事専業	高齢化の中、福祉によく取り組んでいると思う。障がい者も街中で良く集団で散歩していて素晴らしいと思う。
大町	男	60～69歳	商業（卸小売業・飲食業）	がん検診の充実。夜間診療時間の延長（24時まで）。
大町	男	40～49歳	運輸・通信業	市立大町総合病院の治療費が他の病院と比べて高い気がする。
八坂	男	60～69歳	建設業	説明不足。
平	女	30～39歳	家事専業	子育てはしやすいと思う。雨の日に子どもが遊べる場所が欲しい。児童センターのほかに市民プールみたいなところ、身体を動かせる所。

大町	男	70歳以上	その他の職業	定住者増の為には一番重要な施策、頑張っ取り組んでほしい。
社	男	50～59歳	公務員	大町HPを核として健康づくりに役立つような発信を。
大町	男	20～29歳	工業（製造業）	大町病院の健全運営をお願いします。医師の確保。
大町	女	40～49歳	その他の職業	大町病院をできる限り存続できるようにして頂けたらと思う。
平	女	50～59歳	その他のサービス業	大町病院があるのに大町市民は行かない。いい先生がいれば行くのに。
八坂	女	20～29歳	その他のサービス業	自然を守りながらもバリアフリーの推進を進めて多くの人々が安心して楽しめるまちづくりになるといい。
常盤	男	40～49歳	工業（製造業）	コロナ感染者において素早い対応、PCR検査の充実、障がい者、福祉、高齢支援（特に買い物弱者、受診による交通問題）。
常盤	男	60～69歳	学生・無職	スポーツ施設の充実。楽しみながら健康をはぐくむ施設がほしい。
大町	女	50～59歳	その他の職業	予防接種、小中高は学校で接種して欲しい。他の予防接種も予約制でなかなか時間が合わず行けないから。
大町	男	50～59歳	工業（製造業）	先読みしたそれぞれの対応が望まれる。
大町	女	70歳以上	家事専業	健康予防に繋がるものに力を入れる。
大町	女	70歳以上	その他のサービス業	健康体操教室など支援を頂いて感謝している。高齢化により移手段など困難。公民館に来られる人にも限りを感じる。
大町	男	70歳以上	学生・無職	高齢者が増える将来に向けて安心して大町に住み続けることのできる大町を希望。
大町	男	30～39歳	運輸・通信業	市内でお産ができないのは、子育て支援を進める上でやはり問題がある。大町病院の経営が厳しいことは理解しているが、なんとか産科医の確保を含め、対応して欲しい。
美麻	女	60～69歳	家事専業	今は安心してこの土地が好きで過ごしているが、将来、運転免許証を返納したときに、公共交通機関が少ない土地でどうやって暮らしていくのが不安になるので元気なうちに早めに他の土地に移り住んだ方がなじめかもしれないと思ったりもする。今は75歳で返納したいと考えているが、もう少しは大丈夫と運転を続けてしまうかもしれないので、判断力のある内に返納できる生活環境であるように希望する。
美麻	女	60～69歳	公務員	災害が起きた場合、まず近所の地区の人々で助け合う為に地区ごとの防災のシミュレーションを年に何回か訓練等できないかと思っている。
常盤	男	70歳以上	学生・無職	病院も土曜日の午前だけでもいいので診察できるようにしてほしい。
社	男	20～29歳	公務員	市民や現場の人にも分かりやすい保育サービスの構築、質の高い保育ができるようになるための支援。
平	女	70歳以上	商業（卸小売業・飲食業）	障がい者支援はとても素晴らしい。
大町	女	70歳以上	家事専業	大町病院の医師確保に力を入れてほしい。
大町	男	50～59歳	その他のサービス業	お願いしたい。
美麻	男	60～69歳	家事専業	ある程度、展開していると思う。
大町	男	70歳以上	その他のサービス業	産婦人科医の欠員は子育て支援からも早期の補充をお願いしたい。県との連携も密にして大町市、県、民間、公共施設が一体となって取り組んでほしい。
平	女	60～69歳	家事専業	特別養護老人ホームの充実、安心して老人を預けられる施設等、移住者も安心して働きながら介護ができるのを目的として移住する人も出てくるのではないかな。

大町	女	70歳以上	学生・無職	防災マップの提供や掲示板の作成をしてほしい。高齢者の介護施設を充実できれば、人口減少も少しは減ると思う。
大町	男	40～49歳	運輸・通信業	5年後どうなっているか、結果をみないと分からない。やってみて駄目だったら改善してほしい。
大町	女	50～59歳	その他の職業	大町病院でお産ができないことは心配だ。
常盤	男	40～49歳	工業（製造業）	近隣の市町村に比べ、子育て、医療、福祉への市からの支援が頼りない。もっと充実したものにして人口増加につなげてほしい。
平	男	60～69歳	学生・無職	医療負担を抑える為の健康づくりの施設を増やし、充実させる。交通弱者に対する公共交通の充実。
八坂	男	40～49歳	商業（卸小売業・飲食業）	内陸直下型地震に対する具体的な対策案はあるのか。
常盤	女	70歳以上	家事専業	保健師の派遣など、回数を制限しないでもらいたい。
大町	女	40～49歳	運輸・通信業	高齢者支援とはデイサービスの場を増やすこと、老人ホームを増やすことで終わりか。団塊の世代を介護する世代は就職難の頃だった。今のままではサービスを受けることも自分で介護をすることもできない。
八坂	女	70歳以上	家事専業	子供達が楽しく遊べる場所。
常盤	男	70歳以上	学生・無職	人生100年時代と言われている中、市では健康を守る健康予防活動等の支援の施策に取り組んでおり、市民が進んで人間ドック等の受診が今以上に向上するよう努力を望む。
常盤	男	40～49歳	公務員	大町病院の指定管理化。JA厚生連等へ経営を委託。
常盤	男	70歳以上	農林水産業	市立大町病院から患者の足が遠のき、池田の総合病院に患者等が集中している傾向が数年間続いており、こうした傾向が続けば市民病院としての存続が問われかねない。このことについて開設者は説明をして欲しい。
社	女	40～49歳	観光業	ただでさえ賃金が低いうえに子供が病気になって仕事を休めば収入が減るが、生活費として出ているお金は変わらないので毎日経済的心労は絶えません。冬の屋内の子供の遊び場を充実してほしい。
大町	女	70歳以上	家事専業	良いと思う。
社	女	60～69歳	家事専業	よくと取り組んでいただいている気がする。
平	男	70歳以上	学生・無職	私が生活をしていて家で異常が発生した場合に子供も仕事の関係でほとんど家に居ないので何か連絡をするいい方法を考えてほしい。
大町	男	60～69歳	その他の職業	大町病院のさらなる充実を望む。
大町	男	70歳以上	学生・無職	健康で暮らせるまちにしてほしい。
平	男	70歳以上	建設業	高齢者、障がい者への対応は本当に大切。一般の人の中から取り組みに対する意見を言える場を作ってほしい。
平	女	30～39歳	家事専業	大町病院の産科がなくなってしまう事がほんとうに残念です、また戻して欲しい。
平	女	50～59歳	観光業	子育て支援は充実していると思う。福祉、特に高齢者支援に力を入れてほしい。
常盤	女	70歳以上	学生・無職	一番重要な施策であると考えている。
大町	女	20～29歳	工業（製造業）	一人暮らしの高齢者などの孤独死を防ぐため、役所の人などが定期的に自宅を訪問し、困りごとが無いかを聞いてほしい。
常盤	女	70歳以上	—	大切な事だと思う。
社	男	60～69歳	商業（卸小売業・飲食業）	検診は受けているが金銭的に治療が続かない。
大町	男	70歳以上	その他の職業	大町病院を自由に行ける病院にしてほしい。
社	女	70歳以上	家事専業	健康で安心して暮らせるまちづくりに力を入れてほしい。
常盤	女	60～69歳	家事専業	高齢者、障がい者等の福祉支援とかあるようだが、知らない人が多い。

大町	女	50～59歳	その他の職業	大町病院のあり方、姿勢について。
大町	女	50～59歳	その他の職業	健康増進員について、各自治会から毎年「女性」が選出されているが、メリットがわからない。会議に出ても委員しか勉強になっておらず、勉強していることが町に反映されていないしその機会もない。
大町	男	40～49歳	その他のサービス業	大町病院の維持にさらなる検討を頂き、充実している病院でいてほしい。
大町	男	30～39歳	公務員	健康寿命を延ばす。体力アップなどの取り組み。結果的に医療費の削減につながるとよいと思う。
常盤	女	70歳以上	家事専業	市立大町病院の充実、整備。
平	男	40～49歳	その他の職業	大町病院の安定存続。大町市民、特に市の職員が積極的に利用する。例えば、人間ドックを市外の私立病院でするのは論外、職員が利用率を下げるPRをしている。日本の人口減少により大北以外のお客は来ないし、全体のお客は減少する。お客はいないので大町市民や職員が利用して、利用率を上げ、足りない分は市や長野県が補填するしかない。
常盤	男	70歳以上	農林水産業	大町病院とあづみ病院の関係、地域医療の在り方等について検討していると思うが深まっているのか大町病院の再生を含める中で知らせてほしい。
大町	男	60～69歳	学生・無職	防災放送の内容が聞き取れないことがある。
平	女	60～69歳	その他のサービス業	引き続き進めてほしい。市民病院は絶対必要（産婦人科も）。
平	女	30～39歳	家事専業	子育て支援をもっと充実させてほしい。未満児の一時保育を利用したことがあるが、渋々といった感じで良くなかった。病院の産科が再開してほしい。
大町	女	60～69歳	その他の職業	移住を決めたのは、大町病院が駅の近くにあるのが一つだ。病院内でのリクエスト改善なり、市民から声を聴くためにアンケートを取ってみてはと思う（地元の病院に特にいかない人の声を）。
美麻	女	60～69歳	その他のサービス業	災害後の対策や整備をもっと早く進めてほしい。
社	女	40～49歳	その他のサービス業	園開放や公民館の子育て支援を使わせてもらっている。もっと気軽に子どものことを相談できると思う。子どもの発達に不安があったが、保育園に入るまで相談することが出来なかった。一人で悩んでいた。
大町	女	70歳以上	学生・無職	防災対策は備蓄倉庫があるだけでトイレの心配等がされていない。
大町	男	40～49歳	商業（卸小売業・飲食業）	0歳からでも預けられる仕組み（保育料を安く）が大町に住んでいる人に限ってほしい。
大町	女	50～59歳	公務員	地域医療体制の充実に努めているとは思えない。本当に取り組んでいるのなら病院赤字の負担を病院職員にだけさせるのではなく、市長はじめ、市の職員、議員も皆で負担するところから始めてはどうか。基本給を大きく削減されて激務で、士気は維持できない。
大町	女	70歳以上	家事専業	医療体制の充実に力を入れてほしい。以前怪我をして大町病院へ運ばれたが平日なのに専門医がおらず、あづみ病院へ搬送され、その後の通院が大変だった。産科医不足の状態も改善してほしい。芸術祭よりもこちらに税金を使ってほしい。
大町	男	70歳以上	その他の職業	誰もがとあるが、全員が管理されることはとても大切だ。
平	男	70歳以上	その他の職業	子育て支援に力を入れてほしい。まず病院の産科の再開。
常盤	女	60～69歳	その他の職業	小福祉ネットワークは各地域で活動するが、65歳までは仕事、65歳からは親の介護、70歳くらいになれば活動はできても役員はできない。結局女性の代表は決まらなかった。市が地域に丸投げでは困る。

常盤	男	30～39歳	公務員	高齢化は避けられないが、誰もが老人ホームを利用できるわけでもない。そのため、運動療法や認知症予防になる活動ができるような取り組みを行政が中心となって行うべき。
社	男	40～49歳	工業（製造業）	歯科検診も定期健康診断に含めてほしい。
平	女	30～39歳	その他の職業	大町病院での出産体制を整備してほしい。子育て支援と併せて不妊治療助成金の見直し、改正。
社	女	30～39歳	その他の職業	医師や医療関係者の育成を補助していかないといけない。
常盤	女	70歳以上	家事専業	夕方から早朝にかけて急に具合が悪くなったときに安心して診てもらえる病院であればよいと思う。高齢になるほど死と隣り合わせで不安だ。
八坂	男	50～59歳	建設業	良く取り組んでいる。
常盤	女	20～29歳	家事専業	子育て支援が遅れている。保育園のコロナの影響でどうなるか分からないときの連絡が遅い。保育士の危機管理の甘さ（マスク無し、大声で話す）、勉強不足（障がいを持つ子への対応）、行事の連絡が遅すぎる等子育てに不安が残る不安が残る町。子どもが遊べる場所を増やしてほしい。
常盤	女	30～39歳	その他の職業	常盤地区に暮らす高齢者で免許返納した人は買い物がしづらい。
八坂	女	40～49歳	その他の職業	防災対策として地域での日中・朝・夕方の年3回くらいの避難訓練。
大町	女	70歳以上	その他の職業	四季折々たまには栄養面で注意することや献立を広報おおまちに載せてほしい。
平	男	20～29歳	その他の職業	在宅でいられる人がどれだけなのか。独居の高齢者が増加するであろう未来に安心して暮らせるサービスの充実をお願いしたい。
八坂	男	60～69歳	その他の職業	大規模地震や豪雨災害に備えた道路や河川整備や水道などの安定供給に向けた働きかけをしてほしい。
大町	男	60～69歳	学生・無職	防災・災害時の市の助けが必要。市役所職員は防災・災害救助の意識が低いと思う。積極的な推進組織が必要。
常盤	女	50～59歳	その他の職業	子育てが大変だった。医療費助成の充実が近隣地域より支援が悪かった。高齢者支援については独居・高齢世帯への支援が充実していないと感じた。
常盤	男	70歳以上	農林水産業	市立病院の充実を「あづみ病院」との連携・住み分けをして、実現してほしい。これだけの人口で2つの大病院の併合は不可能だと思う。
大町	男	30～39歳	工業（製造業）	自家用車が無くても不便なく生活できる環境作り。
大町	男	60～69歳	公務員	大町病院があづみ病院や相澤病院のようになるとよい。
常盤	男	40～49歳	建設業	大きな災害に耐える川・道などの整備と安定した医療体制の確保が重要。
平	男	50～59歳	公務員	大町病院の充実なくして大町市の医療充実はあり得ない。
大町	男	70歳以上	建設業	自治体がまとまることを考えていく。
大町	男	50～59歳	その他の職業	防犯カメラを町中に設置。個人医院の外科、整形が少ない。
大町	男	40～49歳	その他のサービス業	大町病院の立て直しが必要だと思う。
平	女	30～39歳	その他のサービス業	さまざまな分野の先生に見てもらえるような医療体制をしてほしい。例えば、長野市や松本市との連携。
常盤	女	70歳以上	その他のサービス業	子育てに関しては実施のみであとのフォローが無い。フォローがあつてこそ実感できる支援を頼みたい。
常盤	男	70歳以上	家事専業	健康第一。もっと力を入れてほしい。

テーマ④ 豊かな自然を守り快適に生活できるまち

※判読できなかった文字は「●●」と表示してあります。

平	女	40～49歳	その他の職業	旭町の交差点から旧アップルランドへ向かう陸橋の電線が邪魔。北アルプスが壮大に見える目を惹き付ける景色なのにもったいないといつも思う。
大町	男	70歳以上	学生・無職	自然湖の仁科三湖は大変な財産。周辺を整備し、誰もが一度は観光に来てみたいと思えるようなものにできないか。
常盤	女	20～29歳	その他の職業	県外者が多くなる長期休みなどに特に道のゴミが目立つ。そんな時こそきれいな町づくりができた方がよいと思う。
大町	女	40～49歳	観光業	ふれあいバスをもっと利用しやすく。利用客が少ないからバスの本数を減らすのではなく、バスを小型に。木崎湖方面に行きたいのにバスが来ない時間帯がある。
平	女	50～59歳	その他のサービス業	大町、松川公園ができて、いろいろなイベントがあり、イベントがない時でも癒やされるスポットになっているので助かる。本通りを歩いてもいってもちょっと足を止めてホッとする場所があり嬉しい。もう少しお店があればよいのだが。
常盤	男	60～69歳	公務員	山岳文化を大切に。トレッキングコースの整備や山小屋の支援を。
常盤	女	40～49歳	—	観光産業にすべき。
常盤	女	50～59歳	商業（卸小売業・飲食業）	自然が豊かな所なので、気軽に散歩したりサイクリングしたりできる公園が町の中にあってもいいと思う。
平	男	70歳以上	農林水産業	施策実現を期待する。
常盤	男	60～69歳	建設業	細かい所に目を向けて欲しい。
大町	女	70歳以上	学生・無職	水、山を活かすにはどのようなやり方、イベントがあるか、市民にも考えてもらえたらと思う。水が美味しいと、お酒が美味しい、酒粕が美味しい、酒粕入りラーメンや味噌汁が美味しくなるそう。美味しいごはんやわんこそばの食べ比べのイベントなどもいいのでは。
大町	男	70歳以上	学生・無職	田園風景が町中から消え、太陽光パネルで自然景観が壊れた。電柱の地中化も難しいのか？移住者が増えると思うが、大町市としてのデザインを提示して欲しい。
常盤	女	60～69歳	農林水産業	サルやクマによる農作物の被害があちこちで見受けられる。生息数を減らすなど対策を講じ快適な生活ができるといい。
大町	女	60～69歳	観光業	雄大な北アルプスが展望できる鷹狩山を観光スポットにして欲しい。木崎湖にも遊覧船を運行させ集客して欲しい。
社	女	40～49歳	その他のサービス業	道路脇の木が伸び切っていたり、道がでこぼこだったり整備されていない道路が多いように感じる。景観を守る事も大切。
大町	男	40～49歳	その他のサービス業	ウォーキング、ジョギング、自転車のためのコースを整備し、森林の下で楽しめる場所を提供する。
大町	女	60～69歳	その他の職業	町として自然エネルギーの地産地消を積極的に考え、取り組み、その姿勢をアピールしていけたら、町の評価が高まるのではと考える。
平	男	40～49歳	運輸・通信業	何もないことが自然と思いませんか。観光につながるものがあれば良いが、それもない。
平	男	50～59歳	運輸・通信業	水源を大切にする。
美麻	女	40～49歳	学生・無職	美しい自然を守り、温暖化対策も進めてほしい（役場でも書類の紙を減らすなどしてはどうか）。
大町	女	50～59歳	商業（卸小売業・飲食業）	継続し、次世代にもつなげてほしい。

常盤	女	60～69歳	家事専業	「人が澄む」という素晴らしいポスター企画があり、大町の魅力にあふれたインパクトのある写真だった。他県での掲示や様々な情報で発信をして、大町の多様な魅力をアピールしてほしい。
常盤	男	70歳以上	学生・無職	雄大な自然に惹かれて大町に住んでいる。岳都大町を生かした施策を期待する。
平	男	30～39歳	その他の職業	元々ある自然は素晴らしいものだが、それらにアクセスする機会・場に乏しい。森林に踏み入るための作業道の整備・拡充、湖や川で遊ぶための公園・パブリックスペースの創出、自転車で快適に走れる専用道路などを検討してほしい。また気候変動などの地球規模の環境問題に率先して取り組む意思を表明してほしい。
大町	男	70歳以上	公務員	地盤を固める社会の基本、家族であり、隣組であり、町内自治会である。市内でも自治会未加入者が多い。災害・火災・経験者の心がわかれば、みんなで町づくりをと思わないのか。
社	女	70歳以上	学生・無職	鷹狩山を通年の観光拠点に（ロープウェイ・冬季除雪も）。観光資源があるので、撮影しやすいようにテラスやベンチの設置（仁科三湖・高瀬ダム・観音橋した・農具川）。
美麻	男	40～49歳	工業（製造業）	豊かな自然の恵みを手軽に手に入れられる仕組みをつくってほしい。それにより、豊かな自然環境に配慮した農林業が潤うようになれば良い。
大町	男	30～39歳	その他の職業	良いと思う。
大町	男	50～59歳	学生・無職	松枯れが池田町まできている。大町市にくるのも時間の問題。伐採しても、大雨時は大変なことになるような気がして心配。
常盤	男	60～69歳	学生・無職	啓発活動も重要だと思う。
常盤	男	30～39歳	学生・無職	ぜひ施策を進めて行ってほしい。
平	男	60～69歳	その他の職業	地下水供給の制限を決める。
常盤	男	70歳以上	学生・無職	市街地の小河川について、U字溝から自然の河川に戻すことも良いと思う。観光客にも、水から豊かな自然を感じてもらえることができると思う。
常盤	女	40～49歳	その他の職業	実は大町は虹の町である。発現率も高く、虹のふもとを見ることができる（市内に住んでいると気がつかないかと思うが）。
大町	女	40～49歳	その他のサービス業	成功しているまちを、手本（参考）にすればよい。
大町	女	60～69歳	家事専業	鷹狩山山頂から、北アルプス～大町市の眺めは素晴らしいものがある。もっと多くの人にその場所へ行って（高齢者・子どもでも手軽に行かれる方法を考えてほしい）、眺めてほしい。東山をもっと開発整備してほしい。
大町	男	70歳以上	学生・無職	自然に生かされていることを大切に、共存共栄することが大切。
大町	男	70歳以上	その他の職業	是非進めてほしい。
大町	女	40～49歳	その他のサービス業	大町ならではの自然を取り入れて展開して欲しい。アルプス公園など大町市の子供からはお金を取ることはないと思う。もっと子供たちに利用してもらえらる支援をすれば大人も自然と利用する。
大町	女	60～69歳	その他のサービス業	山からクマやイノシシが町に出てこられないような山を豊かにしたらいい街になると思う。
大町	女	50～59歳	観光業	都市のまねではなく、独自の快適なところを話し合っしてほしい。
大町	男	70歳以上	その他の職業	施策を実行して欲しい。
平	女	30～39歳	家事専業	県外企業によるソーラーパネルの設置を増やさないで欲しい。せっかくの景観が台無しになり市内の土地なのに市外へのお金が流れてしまう。

平	女	50～59歳	家事専業	自然豊かな街を自然の良さを活かしつつ野生動物の事故がないようにしていくことが大事。現状はサルで大変に困っている。山でなどにとどまらせる工夫をして欲しい。とても快適に人が暮らせるような感じではない。
大町	女	70歳以上	家事専業	賛成
大町	男	70歳以上	その他の職業	鷹狩山の景色がとてもいいのもっと県外の人に大町の美しい自然を宣伝して欲しい。山頂の整備の検討。
社	女	60～69歳	その他の職業	大町の夏もエアコンが必要となってきた今、高齢者の住宅に金額の一部を補助するような具体策があればいいと思う。太陽光のパネルが増えている一步、規制を掛けてほしい。
平	男	20～29歳	その他のサービス業	クマが怖く出歩けない。
平	女	70歳以上	農林水産業	仁科三湖の観光利用は考えられないか。
常盤	女	70歳以上	学生・無職	水と空気を汚さない。自然環境を続けてほしい。
大町	女	70歳以上	家事専業	県外から嫁いできた私は、大自然の素晴らしさに感動した。水や空気の美味しさ、この素晴らしい自然をこれからも守り続けてほしい。
平	女	70歳以上	農林水産業	温暖化で自然に消滅する所もあるだろうが、個々の守という意識が必要だと思う。
平	男	70歳以上	建設業	空き家、耕作放棄地の草刈りの対応。電柱、景観を考慮せずに建っています。北アルプスを意識した位置への移動を望む。
平	男	30～39歳	観光業	暮らしやすさでいうと県の市の中では低い。穂高のようにそこに買い物へ行くという選択肢の少なさが不便を感じる要因の1つだと思う。
平	男	60～69歳	観光業	ぜひお願いしたい。
大町	女	60～69歳	家事専業	暮らしやすさは感じていない。自然は素晴らしいけど●●が独特で自分たちでまちづくりを壊していると思う。
大町	男	60～69歳	商業（卸小売業・飲食業）	コンパクトシティの推進。
大町	男	40～49歳	運輸・通信業	自然と不似合いなソーラーパネルの規制と将来的な跡地の利用方法。空き家、空き地前の除雪の問題、利用など。市街地の狭い道路の解消。
八坂	男	60～69歳	建設業	説明不足。
社	男	50～59歳	公務員	自然があってもその自然を生かしていない。どう活かし、活性化につなげるか。
社	男	60～69歳	農林水産業	ごみの分別を辞める。
八坂	女	20～29歳	その他のサービス業	外国の方々にも参加しやすいまちづくりが必要になっていると。
常盤	男	40～49歳	工業（製造業）	素晴らしい豊かな自然は絶対に守っていききたい。大町の大切な財産。
常盤	男	60～69歳	学生・無職	もっと自然と楽しむ地域型のイベントは出来ないか。
大町	男	30～39歳	金融・保険業	自然を守ることは大切だが、取り壊さないように観光に力を入れてほしい。道路の整備等。
大町	男	50～59歳	工業（製造業）	取り組むテーマについて損なわれていることがないか、レビューも必要かと。
平	女	70歳以上	家事専業	水源を変な業者に渡さないように管理して欲しい。
大町	女	40～49歳	その他のサービス業	「豊かな自然」と「快適」はなかなかイコールにはならないと思う。多少不便でも「豊かな自然を守る」ことを優先してほしい。

美麻	女	60～69歳	家事専業	あちこちに太陽光パネルがならんでいるが、10、20年後はどうなるのか。使用耐久期間はどのくらいなのか。原子力よりましと思いき、太陽光には期待をしてはいるが。森林資源が活かされていないと聞くが、森林税があり、森林整備が行われていても、伐採した木は何に使われているのか。地元で何か活用はできないのか。水資源を生かした企業誘致が進んでいるが、そんなに地下水を汲み上げても大丈夫なのか。
大町	女	70歳以上	商業（卸小売業・飲食業）	コロナの関係でテレワークができるようになったので都会から大町へ移って仕事がしたくなる様な空き家情報や公営住宅をネットで出す。
常盤	男	70歳以上	学生・無職	空き家の周りの樹木が手入れをされずにいる為に景観がよくない。市で考えてほしい。
平	女	70歳以上	商業（卸小売業・飲食業）	国道やバイパスの雑草が気になる。
大町	女	70歳以上	家事専業	図書館やプール等、街の中心、駅の近くにもってきてほしい。
大町	男	50～59歳	その他のサービス業	お願いしたい。
美麻	男	60～69歳	家事専業	大町市内に空き家があるために整備が遅れている。
大町	男	70歳以上	その他のサービス業	一つの市に3つの湖がある場所はない。CMにも映る豊かな自然を守り、生かして、まちづくりの成果を全国へ発信することで市民のスキルを高揚してほしい。
平	女	60～69歳	家事専業	街中の閑散とした風景、日曜は特に店はしまり、食事をする場所も無く、リュックを背負った観光客はウロウロするばかりで本当に恥ずかしい。自然と街中は別だと思ふ。
大町	男	40～49歳	運輸・通信業	5年後どうなっているか、結果をみないと分からない。やってみて駄目だったら改善してほしい。
平	男	60～69歳	学生・無職	自然や環境を守り、公共施設や集客施設等はコンパクトに集約。歩道や自転車道の拡張整備、ネットワーク化による都市基盤の充実を図る。
八坂	男	40～49歳	商業（卸小売業・飲食業）	現状のままでいいと思う。
大町	女	40～49歳	運輸・通信業	駅前商店街はもちろんだが、合庁の通りなどの歩道の草とりなどを行い、見た目をよくしてほしい。
大町	女	40～49歳	学生・無職	大自然は魅力的だと思うが、町中に活気が感じられない。買物が不便になった。
大町	男	50～59歳	工業（製造業）	害獣が増える事で農業の耕作放棄地が増えてしまう。これでは豊かな自然を守る事も出来ない。害獣駆除を実施してほしい。
大町	女	70歳以上	家事専業	良いと思う。
常盤	男	60～69歳	学生・無職	サイクリングにもっと力を入れる。
大町	男	70歳以上	その他の職業	大町の一番いけないことは雪が降ると「雪を川に投げ込まないようにしてください」という放送だ。恥ずかしい。
常盤	女	70歳以上	学生・無職	空き家対策を望む。
常盤	女	70歳以上	—	花を道路に植える。
平	男	50～59歳	商業（卸小売業・飲食業）	自然保護と観光推進。
社	女	70歳以上	家事専業	豊かな自然を守り快適に生活できるよう強く望む。
常盤	女	60～69歳	家事専業	あぜ草焼きも有線で流れていても朝から火をたく人もいる。
大町	男	40～49歳	その他のサービス業	空き家対策、倒壊家屋の解体等は早急に行ったほうが良い災害対策にもなるのでは。

大町	男	30～39歳	公務員	豊かな自然を活用したアクティビティを増やす。サイクリングロード整備、トライアスロン大会の開催など。
常盤	女	70歳以上	家事専業	工場などによる景観破壊、公害ゼロを重視してほしい。
平	男	40～49歳	その他の職業	里山の整備、有害獣駆除をしてコントロールする。山岳都市を目指す。
平	女	30～39歳	家事専業	空き家の活用や休耕田の活用を進めてほしい。綺麗な山、川、湖を守っていけるよう活動してほしい。
大町	女	60～69歳	その他の職業	この美しい山川に対して、地元の人にはあって当たり前で寒さに対する不満ばかりよく聞く。他県の人になぜ長野を選ぶのか、もっと知ってもらいたい。もったいない。
社	女	40～49歳	建設業	架空線の埋設化。リスクもあるが景観を重視したいような地域は投資する意味はあるような気がする。
平	男	50～59歳	農林水産業	白馬村で取り組み始めている電線の地中化や景観を意識したまちづくりを積極的に行う。
社	女	40～49歳	その他のサービス業	子どもの頃から恵まれた環境で生活できているのだということを教える。学校や家庭で学ぶことで大人になっても地元の良さを理解し、また次の世代にも伝わると思う。
社	女	20～29歳	観光業	地元産の木材を使った住宅づくりを進めてほしい。
大町	女	70歳以上	学生・無職	豊かな自然があってもうまく利用できていない。市の職員で草刈りをするのはどうだろうか。
大町	女	50～59歳	公務員	これだけ地震が多発する中、大町市が管理するダム施設を守ってくださる職員に敬意を表する。
大町	女	70歳以上	家事専業	鷹狩山の標識が整備され、道もよくなり、登るのが楽しくなった。
大町	男	70歳以上	その他の職業	豊かな自然を守る…とあるが全員登録されているか。
平	男	70歳以上	その他の職業	豊かな自然に北アルプス芸術祭は景観を悪くしている、合わない。見たい人だけみられるように室内にしてほしい。
常盤	男	30～39歳	公務員	太陽光パネルから自然の景観を守ってほしい。
社	男	40～49歳	工業（製造業）	温泉施設やアルプス公園の利用に市民割引を作してほしい。
平	女	30～39歳	その他の職業	信号機や歩道が無駄に増やしすぎ。もっと自然の保全や整備に使って観光客を増やし、市民に還元してほしい。
社	女	30～39歳	その他の職業	何をしているのかわからない。もっと市民に何をしているか明確に伝えるべきだ。
常盤	女	20～29歳	家事専業	通学路の川に簡易的な柵しかなく危険。文化会館のトイレやいくつかの駅が不衛生で異臭がする。和式トイレは使いにくい。
社	男	50～59歳	商業（卸小売業・飲食業）	実際の作業を見ると環境に優しいことと逆のことをしている。
大町	女	60～69歳	その他の職業	松川の「りんりんパーク」のような子ども達が安全に遊べる公園が欲しい。
八坂	女	40～49歳	その他の職業	猿被害、農業への取り組み、太陽光にしても大町のメリットなど何があるかわからない。対策してほしい。バスも早朝、夕、土がなく快適でない。
大町	女	70歳以上	その他の職業	自然周辺の美化と標示は大きめに立ててほしい。
社	女	70歳以上	家事専業	どこか具体的なまちづくりの模範となることを示してほしい。大町は個性がないと思う。
美麻	男	40～49歳	その他のサービス業	終バスをもっと遅くしてほしい。
八坂	男	60～69歳	その他の職業	大型の太陽光発電所などが景観に合わない。北アルプスの景観や農山村の風景を守るためにも規制ができるように条例化をしてほしい。
大町	男	60～69歳	学生・無職	自然環境の保全、太陽光発電等を秩序を保って行うべき。

常盤	男	70歳以上	農林水産業	「まち」ではなく「むら」づくりをとという観点で施策を進めてほしい。
大町	男	60～69歳	公務員	「水」が売りなので、それを生かした過ごしやすさの具体が豊かになるとよいと思う。
常盤	男	40～49歳	建設業	景観向上だけでなく、災害時にも強い、市街地の電線・電柱の地中化を進めてほしい。
平	男	30～39歳	観光業	交通の便の向上をこれからも高速道路は必要だと思う。観光で生きていくには交通が悪い。大町、白馬に高速を。
八坂	男	70歳以上	農林水産業	都市と同じような市政ではまちづくりはしないしてほしい。
平	男	50～59歳	公務員	仁科三湖の充実。森の子村わっぱらんの充実。
大町	男	50～59歳	その他の職業	豊かな水を利用しての町づくりをしてもらいたい。
大町	女	30～39歳	家事専業	登山や湖のアクティビティなどでの仕事をもっと増やして欲しい。
平	女	30～39歳	その他のサービス業	農作放棄地などをソーラーパネル置き場にしない施策をお願いしたい。
常盤	女	70歳以上	その他のサービス業	大町の自然財産を守る努力をして欲しい。
常盤	男	70歳以上	家事専業	仁科三湖があるのに活かされていない。もっと多くの観光客が来るように整備してほしい。

テーマ⑤ 市民の参画と協働でつくるまち

平	女	40～49歳	その他の職業	どこで、どうやって市民ニーズを問うているのか、不明。
平	女	50～59歳	その他のサービス業	リモートの時代となり都会の人が田舎に目を向ける時代が来ていると思う。先日TVで空き家を利用して移住を勧めたり、パソコンで仕事のできるリラックスした場所を作ったりと、新しい取り組みをしている市町村が増えてきていることを知り、やはり大町は遅れていると思った。
常盤	女	40～49歳	—	何をどう行っているのか不明。
常盤	女	50～59歳	商業（卸小売業・飲食業）	情報があまり伝わってこないのもっといろいろな発信の仕方一人でひとりに情報が伝わるようにしてほしい。
平	男	70歳以上	農林水産業	思いやりに満ちた施策を願う。
常盤	男	60～69歳	建設業	どうやって参画すると良いのかを知りたい。
大町	男	70歳以上	学生・無職	欲張らず、一步一步大切な自然を守る気持ちが大切。シルバーの力をもっと活用すべき。
社	女	40～49歳	その他のサービス業	地域、会社、学校などの単位で参画を促し、幅広い意見の収集、そして行動が必要だと思う。
大町	女	40～49歳	その他の職業	①～⑤のテーマは立派であるが、具体的に何を行うのかわからない。いつ、誰が、何を行っているのか不明。
大町	男	40～49歳	その他のサービス業	参画、協働のためには個人の体力、特に歩く力が大切。
平	男	40～49歳	運輸・通信業	中小企業に勤めている人にとって、市政に参画する機会があるのか。
美麻	女	40～49歳	学生・無職	選挙権を18歳からもつようになり、子どものうちから市政に参画したり、勉強する機会があると良い。
常盤	女	60～69歳	家事専業	市民のニーズを取り上げることは大切だが、多様化をきちんと整理して有効な、また実現可能な施策を行ってほしい。
常盤	男	70歳以上	学生・無職	住みやすい大町にするために、参加しやすい情報提供を望む。
平	男	30～39歳	その他の職業	市民の声が反映される市政には大賛成。松糸道路の建設に絡む問題に、いかに市民の声が反映されるかが、その試金石になる。
大町	男	70歳以上	公務員	自治会未加入者の考えをいかに変えるか。全員で参加する悲しみ、喜びを分かち合える体制をいかにしたらつくれるか。
美麻	男	40～49歳	工業（製造業）	行政側が「市民と協働」というと、「市民を人件費ゼロの人財」として扱おうとする雰囲気が出る。十分配慮の上、いろいろな施策を進めてほしい。
大町	男	30～39歳	その他の職業	まちづくりより人づくり、一部が楽しいは、その他大勢が面白くない。市としてやるならば、全員に役割を与え、もれがないように配慮してほしい。
大町	男	50～59歳	学生・無職	若者が働ける工場がすくなくすぎる。都会の大学を卒業後、戻る人は少ない。専門学校等を北校の跡地に誘致する等、若者を増やし空き家も寮にかえていく、といった対策をすればどうか。
大町	女	60～69歳	—	本当に行っているのか？不十分ではないか。
常盤	男	60～69歳	学生・無職	ぜひ施策を進めて行ってほしい。
常盤	男	30～39歳	学生・無職	「主役となる」など、テーマを設定するには表現が文学的過ぎる。
平	男	60～69歳	その他の職業	人口減少・高齢化による公民館活動の縮小（高齢での役員は大変）。

大町	男	70歳以上	学生・無職	協働のまちづくりというが、市民に浸透していない。テーマ①から⑤まで、具体的にこの4年間でどんな施策を展開したのかわからないため、どう答えたらよいかわからない。
常盤	男	70歳以上	学生・無職	市民の多くに、市政への参画・協働の意識を持ってもらうことは重要であり、難しい問題であると思う。行政の末端である自治会への加入も思うように進まない。
八坂	女	70歳以上	その他のサービス業	もっと具体的に、市民（世帯主や有力者だけでなく）のニーズを吸い上げる機会を設けることを望む。お題目や抽象的なことばかりでは、進まない。
八坂	女	50～59歳	農林水産業	頑張ってもらいたい。
大町	男	70歳以上	学生・無職	補完しあう人とのつながりを大切に、町全体がつながることにより大きくするようになれば良い。
八坂	女	50～59歳	その他の職業	色々な情報が入ってこない。ごく一部の人たちで色々なことが進んでいるように思う。
大町	男	70歳以上	その他の職業	同感。協力していきたい。
常盤	男	60～69歳	運輸・通信業	具体的に市民に伝わってこない。
常盤	女	30～39歳	家事専業	地域のお祭り、消防などが少ないので、同じ人に偏りがち。一人の負担が大きいと地域の活動離れが進む。
大町	女	50～59歳	観光業	沢山の人の意見を聞いて欲しい。
大町	男	70歳以上	その他の職業	ボランティアグループ、老人クラブなどもっと活躍して、町内行事など大勢の出席を望みたい。
平	女	50～59歳	家事専業	具体的に見える施策ならありがたい。今年どのような施策により、どのように変わったか見ていきたいと思う。
大町	女	70歳以上	家事専業	賛成
社	女	60～69歳	その他の職業	このテーマで取り組んでいることは知らなかった。新聞などでも探すように今後していきたい。関心が持てるいい機会だった。
平	女	70歳以上	農林水産業	もっと進めるべきだと思う。
常盤	女	70歳以上	学生・無職	具体的にどんなことがあるか知らせて欲しい。高齢者にも出来ることがあれば紹介して欲しい。
平	女	70歳以上	農林水産業	市民の参画に強制が入ってしまうとかえって身を引いてしまうのでは。
平	男	30～39歳	観光業	こういった調査があれば参加しているかなという気には多少なるが、ない人は意識がないと思う。もっと市民の意見を言える場が増えれば良いと思う。
平	男	60～69歳	観光業	子どもや女性が安心して生活できる大町が良い。
大町	女	60～69歳	家事専業	衰退していくのをどう止めるかで市民一人ひとり、行政と共に工夫していくことが大事。
大町	男	60～69歳	商業（卸小売業・飲食業）	市民の声が届けられる仕組み、システム。
大町	男	40～49歳	運輸・通信業	地域とのつながりを作らない人が増えていると思う。自治会に参加しなくても生活に不自由する事はないが、自治会に入るメリットを説明することが出来ないのかと思う。
大町	男	50～59歳	工業（製造業）	市政と市民との溝を埋めるには。
大町	男	60～69歳	公務員	テーマは素晴らしいと思う。そこへ向かう手段、予算、人材はどうか。
八坂	男	60～69歳	建設業	説明不足。
大町	男	70歳以上	その他の職業	協働という言葉が良く理解されていない。もっとアピールを。

常盤	男	40～49歳	工業（製造業）	ケーブルテレビ網の整備もいいと思うがなかなか見たりする人も少ない。市の広報のお知らせも聞き取りづらい。何か言っているくらいしか聞き取れない。各家庭に有線のように設置して欲しい（希望者）高齢になると分かりやすい情報が欲しい。視力も弱り耳からの情報が分かりやすい。
大町	男	50～59歳	工業（製造業）	市民一人ひとりも年齢を重ねたり、災害時で生活が一変すればニーズも変化があります。市民に寄り添ってきめ細かいニーズをすくい上げて展開して欲しい。
大町	女	70歳以上	家事専業	各種委員会のメンバー構成の工夫。20代から50代の委員を増やす。開会時間等の工夫。
大町	女	70歳以上	その他のサービス業	高齢になり自分で行きたい場所に行くのも大変になるのでタクシー券やバスはありがたい。
大町	男	30～39歳	運輸・通信業	ICTの活用等も行っていて欲しい。オンラインも含め市政への市民参画がより容易となるようにしてほしい。
美麻	女	60～69歳	家事専業	疑問に思っている事だが、協働という言葉で、市民がボランティアをしている事は素晴らしいが、市民がボランティアで休みをとっている時に市の職員は仕事として関わってはいないか。全てとは言わないが市の職員も休みをとってボランティアで活動してはどうか。
大町	女	70歳以上	商業（卸小売業・飲食業）	市会議員がもっと市民の声に耳を傾ける。
常盤	男	50～59歳	公務員	市政を行政、議会に加え広く一般参加できて協働して、企画、計画、推進していけるシステム作りが必要ではないか。
大町	男	50～59歳	その他のサービス業	お願いしたい。
美麻	男	60～69歳	家事専業	しっかり展開してほしい。
大町	男	50～59歳	その他のサービス業	自治会組織は大切なはずだが、行政側の人間が率先して自治会を退める、あるいはそういう傾向になっているのは残念です。行政として職員と関係者に厳格なペナルティを架すなどの対策を考えてほしい。
大町	男	70歳以上	その他のサービス業	身近な隣組、自治会活動、スポーツ仲間、文化芸術仲間など、身近な活動が活発にならないと、協働によるまちづくりの推進は難しいと思う。人脈が大切なので市民が市職員一人一人を知る信頼する努力も必要だと思う。
平	女	60～69歳	家事専業	仏を作って、魂を入れずにならないようにお願いしたい。
大町	男	40～49歳	運輸・通信業	5年後どうなっているか、結果をみないと分からない。やってみて駄目だったら改善してほしい。
大町	女	50～59歳	その他の職業	市民が自分の意思を持って協働に参加する事はいいと思うが、何でもボランティアに頼って進める事は好ましくない。
平	男	60～69歳	学生・無職	協働を強調、行政が責任逃れをしない事。
大町	男	60～69歳	その他の職業	近隣で自治会からの脱退者が非常に増えている。市から自治会への支援を増やす等の施策を期待。
八坂	男	40～49歳	商業（卸小売業・飲食業）	参加したい人だけ参加すればいいと思う。強制されても困る。
平	女	60～69歳	家事専業	全く新しい発想がないと人口移動は止まらないと思う。高校などを卒業すると大町を出て行ってしまふ。市政が機能していないのではないか。多種多様な職種のある地に人は出て行ってしまふ。
常盤	男	70歳以上	農林水産業	①～⑤その通りだ。しっかり取り組んでほしい。
常盤	女	70歳以上	家事専業	市職員、県職員が地域へのイベントなどに参加し、その地域（自分の住んでいる地域も含め）の良さや改善点等を把握して市政、県政に反映させてもらえたらいい。もちろん仕事の一環として。

八坂	女	70歳以上	家事専業	小さな地区、部落ごとで花見や小旅行など、お楽しみの機会を作ること もしてみては。
平	女	40～49歳	学生・無職	市政に興味を持つ人が増えなければ、市民の参画と協働でつくるまちづくりは難しいと思う。
社	女	60～69歳	農林水産業	サルやイノシシなどの害獣による作物被害が多く困っている。捕獲する等の手だてはないのか。千国街道沿いには、空き家や耕作放棄され荒れた畑があり、観光客が通っても見苦しい所がある。地域の住民などで協力して整備する等の方法はないものかと思う。
常盤	男	60～69歳	学生・無職	感心がない。
八坂	女	50～59歳	運輸・通信業	もっとネット、SNS等の活用。
常盤	女	70歳以上	学生・無職	行政が主体となって参画すべきと思う。市民はマニフェストの内容を幾つかの重点施策に絞った方がいい。
大町	男	70歳以上	農林水産業	そのためにも各自治会組織とそのあり方の見直しが必要ではないでしょうか。
常盤	女	70歳以上	—	そうであればいい。
大町	男	40～49歳	その他のサービス業	今の市民は協調性に欠けている人が多い。住みよい大町にしてもちょっとしたことでも人任せである。自治会についても同じように思える。何とかして昔の助け合いの気持ちを向上させる活動がないかと思う。
大町	男	30～39歳	公務員	市民に頼る（活用する）。自分たちが街づくりをしている自覚を得られる。
平	男	40～49歳	その他の職業	市職員がボランティア活動、サークル活動、自治会に参加しながら市民からの要求を気軽に聞く習慣や相談、職員一人ひとりが窓口となる。
平	女	30～39歳	家事専業	市長へのメールもとても良いが、市民の声を集める機会を増やしてほしい。それに対する返答もほしい。市民が参加できる企画を作してほしい。
社	女	40～49歳	その他のサービス業	公民協力してイベントを開催する。子ども向け高齢者向けを同時にやって集客をはかる。楽しければ参加者は増えるし、輪は広がる。一般市民は市政にあまり関心がないと思うので、その場でアンケートや意見を聞く。
大町	女	70歳以上	学生・無職	市政にどう参画すればいいのかわからない。
社	男	40～49歳	その他のサービス業	労働者協同組合の活用。
大町	女	70歳以上	家事専業	詳細があまり見えてこない。
大町	男	70歳以上	その他の職業	進めてほしい。
社	男	70歳以上	工業（製造業）	自治会の活動への助力を充実させたいと思う。
社	女	30～39歳	その他の職業	市外へ通勤している人も多いので市政が寂れていっていると思う。
八坂	男	50～59歳	建設業	現在の協働は住民に対して都合よく使われている気がする。住民をボランティア等で使用するための協働のような感じでよくしようとは感じられない。
常盤	女	20～29歳	家事専業	市民の声をもっと聴いてほしい。できるだけ早急に反映してほしい
社	男	50～59歳	商業（卸小売業・飲食業）	柔らかい考えや取り組みが必要。
八坂	女	40～49歳	その他の職業	将来のまちづくりとして仕事がない。
大町	女	70歳以上	その他の職業	人任せの傾向にある。行政のリーダーシップに期待。

美麻	男	40～49歳	その他のサービス業	参加しているのは特定の一部の人間だけ。もっと多くの人に参加できるようになると良い。
大町	男	60～69歳	学生・無職	Webを活用して市民参加を推進してほしい。
常盤	男	70歳以上	農林水産業	多様化する市民ニーズには焦点を絞るしかないと思う。市にそんなに財政力があるとは思えない。
大町	男	30～39歳	工業（製造業）	マイノリティの人々も暮らしや子育てがしやすい制度作りや環境作り。
大町	男	60～69歳	公務員	自治会・隣組のやらなくてはいけないことが多く、役員になることが嫌がられている。自治会をぬけていくと楽という声がよく聞かれる。負担を減らす方向で。
常盤	男	40～49歳	建設業	多様化する市民ニーズを考えすぎず、基本的なこと、最低限のサービスを続けられるよう考えてほしい。
八坂	男	70歳以上	農林水産業	Uターンも増えるし、今までの市民の考えと違うので難しい。
平	男	50～59歳	公務員	子ども会議、各自治会の市議会参加。
大町	男	50～59歳	その他の職業	会議等、昼間の行事は辞めてほしい。
大町	男	40～49歳	その他のサービス業	市政に対し、知らない事やわからない事が多すぎる。
平	女	30～39歳	その他のサービス業	市民の活動資金の充実をお願いしたい。
常盤	男	70歳以上	家事専業	いまいちぱっとしない感じがする。

まちづくりへの提言

その他意見欄から

各設問の自由記述欄に回答者から多数のご意見・ご要望等をいただきました。原則として、原文どおり掲載しましたが、一部、原文を尊重しながら加筆修正して掲載したご意見もあります。また、判読できなかった文字は「●●」と表示してあります。

● 設問ごとの記述式による意見・要望

問1 ⑦ あなたが大町市にお住まいになった主な理由について、該当するすべての（ ）に○を記入してください。

／8（ ）その他（具体的にお書きください）

常盤	男	20～29歳	運輸・通信業	家を建てたため。
大町	男	70歳以上	学生・無職	次女が大町市の人と結婚。母親の定年を待って大町市に移住。
大町	女	70歳以上	家事専業	友人が大町の会社に勤めていて、呼ばれたので。
大町	女	50～59歳	その他の職業	配偶者が大町が好きなので。
社	女	40～49歳	その他のサービス業	3才の時父が亡くなり、母の実家の大町に戻るようになったため。
常盤	男	60～69歳	運輸・通信業	転居時、子供が大町市内に通学していたため。
大町	女	50～59歳	その他の職業	家業のため。
常盤	男	60～69歳	学生・無職	職場が大町市内、親兄弟・友人とあまり離れたくなかった。
美麻	男	40～49歳	工業(製造業)	移住した当時は、積極的に移住者の受け入れ政策を行っていたため。
大町	男	60～69歳	その他のサービス業	歯科医院開業のため。
大町	男	30～39歳	その他の職業	生まれは県外だが、親の開業に伴い幼少期から市内在住。20歳頃から進学のため県内他市へ、親元に就職のため戻る。
常盤	男	60～69歳	学生・無職	個人的な目的のため。地方に行けば行くほど、いろいろな経験を積めることから帰郷。
常盤	女	40～49歳	公務員	親が生まれた所だから。
常盤	男	30～39歳	学生・無職	仕事を辞め、一人暮らしが困難になったため。
美麻	女	40～49歳	その他の職業	子どもの教育環境。
大町	女	70歳以上	観光業	勤務先が北安曇郡で、通勤できる距離だったため。
大町	女	70歳以上	家事専業	夫が生まれた所、親と一緒に住むため帰ってきた。
大町	男	70歳以上	学生・無職	市内に家があったため、移り住んだ。
八坂	女	50～59歳	農林水産業	たまたまIターン雑誌に載っていたため。
大町	男	70歳以上	学生・無職	転地療養のため。
大町	男	70歳以上	その他の職業	両親を看取る為に戻ってきた。
常盤	女	30～39歳	その他の職業	職場に通いやすい。
大町	女	50～59歳	家事専業	主人がアルプスが見えるところに住みたかったから。
大町	女	70歳以上	家事専業	広く空気も清々しい。人情もある人たちに近所の皆様も譲り合いの心あり。
大町	男	40～49歳	学生・無職	病気になってから現在までカトレヤに入所。
大町	男	70歳以上	その他の職業	美しい自然と美味しい水、災害のない郷土に愛着がある。

社	女	60～69歳	その他の職業	両親が大町だったため戻ってきた。
大町	女	60～69歳	家事専業	都会より移住してきた。
常盤	女	70歳以上	学生・無職	自然は世界一。
大町	男	60～69歳	家事専業	家族がそれぞれで暮らしていたがいつかは大町に戻らないといけないことが分かっていたから。
大町	男	70歳以上	学生・無職	病院通院の為。
大町	男	20～29歳	工業(製造業)	長男だから仕方がなく。
大町	男	70歳以上	その他のサービス業	親の自営業が大町市内で仕事を手伝うため。
大町	女	40～49歳	その他の職業	白馬村よりも保育園に入りやすかったみたいだったので。行きたい所に。白馬村よりも公園がある。
大町	女	40～49歳	その他のサービス業	母が大町の出身なので、小さい頃からよく大町を訪れていた。街中から眺める北アルプスが本当に綺麗で、子供だったが感動した。
大町	男	30～39歳	工業(製造業)	嫁の実家が大町で出産を機に移住。
常盤	女	60～69歳	金融・保険業	親の生まれたところで親戚の紹介。
八坂	女	50～59歳	その他の職業	小学校に魅力を感じたため。
平	男	50～59歳	建設業	子育てをするのに良い環境だと思ったため。
大町	女	30～39歳	商業(卸小売業・飲食業)	住みたい賃貸があったため(中古の一軒屋)。
社	女	40～49歳	観光業	リゾートバイトで大町温泉郷に来て、こちらで結婚。
大町	女	70歳以上	商業(卸小売業・飲食業)	父親の転勤の為。
大町	男	60～69歳	建設業	家庭の事情で世帯分離をした。
社	女	30～39歳	家事専業	結婚相手が大町市を気に入ってしまったから。
大町	女	50～59歳	工業(製造業)	夫の転勤。
大町	女	70歳以上	—	妹、姉がいたから。
常盤	男	50～59歳	建設業	定年後の移住計画を前倒した。自身は単身赴任。
大町	女	60～69歳	家事専業	他県より季節アルバイト(山関係・スキー場)を経て、大町にて結婚し定住する。
大町	女	50～59歳	公務員	子どもを大町市内の保育園に入園させるため(その後自分たちも大町市に定住になるため、親御さん含め子ども同士顔見知りになりたかったから)。
大町	女	70歳以上	家事専業	娘の小学校で悩んでいた時(30年前)に通知表がない大町西小学校を知り、入学させようと思ったから。しかし実際は保護者の要望で復活していて迷ったが、校庭で待っていた娘の手に赤とんぼが止まった体験から自然が好きで娘が入学したいと希望し、さらに担当の先生からの熱心なお手紙を頂いたから。
大町	男	40～49歳	—	立地。
常盤	女	50～59歳	その他の職業	地震により移住。
常盤	女	60～69歳	その他のサービス業	家が代々続く農家であるから。
大町	女	70歳以上	家事専業	親がダム工事関係者だったから。

社	男	50～59歳	商業(卸小売業・飲食業)	雇用促進住宅があったから。
八坂	女	40～49歳	その他の職業	義両親の病気、兄弟の来やすさ(大きい大学病院が1時間以内にある、東京へのアクセスが良い、自然が多い)。
美麻	男	40～49歳	その他のサービス業	白馬が近いから。
社	女	50～59歳	工業(製造業)	主人の祖母が1人で暮らしていたため。
美麻	女	40～49歳	その他の職業	父が美麻を気に入っていたから。
八坂	女	50～59歳	その他のサービス業	知人に勧められて。
大町	男	40～49歳	その他のサービス業	職場も大町市だったため、結婚を機に家賃が安い大町へ移った。
大町	男	40～49歳	その他のサービス業	スノーボードがしたかったから。
大町	女	50～59歳	商業(卸小売業・飲食業)	スキーをするため。
大町	女	30～39歳	家事専業	スノーボードで白馬に来てから。
常盤	女	30～39歳	その他の職業	父親が大町におり、家族と色々あったため。すぐに帰るつもりだった。
平	女	30～39歳	その他のサービス業	夫の出身地が長野なので、長野県内で子育てしやすい地域と思い選んだ。

問3 大町市は、あなたにとって住みよいところだと思いますか。次の中から該当する項目を1つ選んで、その()に○を記入してください。4・5を選んだ人は、その理由を記入してください。
 /「4()やや住みにくい」、「5()大変住みにくい」(理由:)

社	女	60～69歳	工業(製造業)	私の住んでいる所は他に比べると封建的で住みにくいと感じている。
平	女	50～59歳	商業(卸小売業・飲食業)	自家用車のない人が住みにくい。
大町	男	30～39歳	公務員	やることなく、つまらない。
常盤	女	20～29歳	その他の職業	マイナスなイメージが多く、住みにくい。
大町	女	70歳以上	家事専業	数年前から異臭に悩まされている。戸を開ける事もできないし、夜において目が覚める事がある。 家の隣に太陽光を設置され、景観が悪くなり不愉快。何処でも許可せず、規制をしてほしい。
常盤	女	40～49歳	—	市民税が高い。その割に地域が衰退している。
社	女	50～59歳	その他のサービス業	公共交通が不便。
大町	女	70歳以上	家事専業	まだ隣組組織が残っている。助け合い、清掃活動など。

平	男	60～69歳	農林水産業	高齢化している。また鳥獣被害が多すぎる。
大町	女	50～59歳	その他の職業	働く環境、交通面、医療等が不安。
平	男	50～59歳	工業（製造業）	冬の寒さ、公共交通の乏しさ、緊急医療での不安。
常盤	男	60～69歳	公務員	時として、閉鎖的な雰囲気を感じることもある。
大町	男	60～69歳	その他のサービス業	自治会の人間関係が悪い（抜きたいと考えている）。
平	男	40～49歳	運輸・通信業	高速道路が通っていない。
社	女	70歳以上	学生・無職	老後のバリアフリー・交通機関。
美麻	男	60～69歳	その他の職業	買い物・通勤不便（店や職場がない）。他家庭に干渉しすぎる。
常盤	男	50～59歳	観光業	常盤に在住。大町に合併しないほうが良かったかも（松川が生き生きしている）。大町市中心部はよいかもしれないが、常盤・八坂・美麻・平はアウェー感が強い。
大町	男	50～59歳	学生・無職	交通の不便さ、働く場所がない、冬の雪と寒さ。
常盤	男	40～49歳	その他の職業	自治会が煩わしい。
美麻	女	40～49歳	その他の職業	移住者に優しくない。
大町	女	30～39歳	家事専業	不便すぎる。店がない。
平	男	60～69歳	その他の職業	自治会の不参加者が多すぎる。
常盤	女	40～49歳	その他の職業	商業施設が少なく、日頃の日用品を購入する店の選択ができない。
大町	男	50～59歳	その他の職業	仕事先を見つけにくい。
八坂	女	50～59歳	その他の職業	道路整備が悪くなった。除雪も遅くなった。停電も多くなった。
大町	男	70歳以上	その他の職業	若い者が相変わらず市から出ていく。教育の問題もあるが、仕事がないのでリターンも出来ていない。
常盤	男	60～69歳	運輸・通信業	交通網が不便。商店が活気ない。
常盤	女	30～39歳	家事専業	人付き合いが苦手なので地域に溶け込めない。
大町	女	50～59歳	観光業	身体が不自由になって今住みづらい。働くところが限られている。
常盤	女	30～39歳	その他の職業	カーブミラーや外灯が少なくて危ない。
大町	女	60～69歳	その他の職業	全てが不便。
常盤	男	60～69歳	学生・無職	地域の役を複数年やらないといけないから（苦手な役、やりたくない役）。
常盤	女	40～49歳	その他の職業	就職先があまりない。
常盤	女	60～69歳	その他の職業	子育てしにくい。お互いに助け合いがない。
平	女	50～59歳	家事専業	観光地なのに歩道がない。自転車も走れない。サルに庭や畑を荒らされて花も野菜も取られてしまう。温泉郷から帰る人、蓮華大橋に出る道に信号がないので時間が掛かる。観光の町なのに帰るお客様に優しくない。信号機も付けられない町。

大町	男	40～49歳	学生・無職	小学校でいじめにあった。病院で看護師にいじめられた。
大町	女	70歳以上	家事専業	雪が積もるから。
平	男	30～39歳	その他のサービス業	子育て支援が少なく、他の市町村に比べて魅力が薄い。
大町	女	40～49歳	工業（製造業）	雪の季節道路が狭く見通しが悪い所が沢山ある。
平	女	20～29歳	その他のサービス業	お店が少なく買い物が不便。
大町	男	70歳以上	家事専業	政治、行政、市民に共通して温かみが足りない。
大町	男	40～49歳	運輸・通信業	仕事の関係で施設サービスの受付時間に利用することが難しい。市街地の道が狭いため、冬季の通勤が不安な時がある。
大町	男	50～59歳	工業（製造業）	他の市の方が住みやすそうに見える、感じるから。
常盤	女	70歳以上	家事専業	将来的には店や医者が遠くて行きにくい。
大町	男	20～29歳	工業（製造業）	自治会のわずらわしさ。魅力的なお店がない。
常盤	男	60～69歳	学生・無職	世間体ばかり気にする人が多いと感じる。コロナ禍の思いやりもない。
大町	男	30～39歳	金融・保険業	交通の便が悪い。働く場所が少ない。
大町	男	70歳以上	学生・無職	自然に囲まれ特に水に感謝していること。
大町	女	50～59歳	その他の職業	交通が不便。
大町	男	70歳以上	学生・無職	人口減少が続き大町市の将来が心配。
平	女	50～59歳	観光業	降雪量が多い。
美麻	女	60～69歳	その他の職業	空が狭い、寒い、自治会等の役員が直ぐに回ってくる。害獣、害虫（特にカメムシ）が多すぎる。
平	女	70歳以上	商業（卸小売業・飲食業）	冬の屋根裏の雪を降ろすのさえなければ、最高の市だ。
常盤	男	20～29歳	工業（製造業）	これからの若者等に向けた公共施設等が少ない為。
美麻	男	60～69歳	家事専業	美麻に来る市役所正規職員の質が悪い。市役所、公務員の自己中・市民の為に働いているという自覚を持ってほしい。責任を取りたくないという気質。
大町	男	40～49歳	運輸・通信業	コロナの犯人探しをする人間性。
平	男	60～69歳	学生・無職	公共交通機関の不便さ、公共施設及び商業施設等が点在する所。
平	女	60～69歳	家事専業	自然は良いが、働く場所が少なく、人間性に閉鎖的な所がある。弱者には住みにくい。弱みを見せられない感じがある。
常盤	男	30～39歳	商業（卸小売業・飲食業）	市内に主だった産業がない。
社	女	70歳以上	学生・無職	冬の雪道。（通学路でないと除雪が遅いか無い）
大町	女	70歳以上	家事専業	全国的には観光地で売っているが、観光地例えば木崎湖、温泉郷に人が集う、施設・店等時間をつぶす所が全くない。
大町	男	70歳以上	学生・無職	医療が不十分。

社	女	30～39歳	家事専業	仕事が選べない。
美麻	女	70歳以上	家事専業	交通の便が悪い。
平	男	30～39歳	工業（製造業）	交通機関が不便。
大町	男	20～29歳	工業（製造業）	子供用のお店が少なく、交通の便が悪い。
大町	男	70歳以上	その他の職業	芸能、芸術に触れたくても、遠くまで出かけなくてはならない。
八坂	女	50～59歳	運輸・通信業	交通機関等の少なさ。買物等の不便。
大町	女	70歳以上	家事専業	洋服類が置いてある店が無く、南方の店を利用しなければならない。バスの時間がうまくいかない。
社	男	60～69歳	商業（卸小売業・飲食業）	学校、職場で地元の人との人間関係が良くない。
大町	女	60～69歳	商業（卸小売業・飲食業）	交通のアクセスが悪い。
平	女	70歳以上	学生・無職	自分勝手な人が多い。
常盤	女	60～69歳	家事専業	職場が少ない（仕事が選べない）。年々人が減っている。
社	男	40～49歳	学生・無職	社地区山下～宮本はコンビニすらなく買い物に不便。
大町	女	50～59歳	その他の職業	寒さが厳しい。除雪がうまくされず、生活に支障が出る。
大町	女	60～69歳	家事専業	交通の便が悪い（高速がない）。JR・特急が止まらない。
大町	女	60～69歳	その他の職業	高齢化による交通の不便さと病気に対する不安（不便さで病院選びができない）。
美麻	女	60～69歳	その他のサービス業	会社が少ない。若者が離れていく。活気がない。
大町	女	70歳以上	学生・無職	交通の便が悪い。
大町	男	40～49歳	商業（卸小売業・飲食業）	水道代がやや高い。子育てにもう少し尽力を。
大町	女	50～59歳	公務員	交通の利便性（車がないと目的地に行きづらい）。
大町	女	70歳以上	家事専業	自然は素晴らしいし人も親切だが、留守をすると必ず見ている人がいて、時には行先を聞かれたりするから。
大町	女	40～49歳	家事専業	観光化、イベント等で年々人が増え、騒がしくなっている。
大町	男	30～39歳	建設業	安曇野インターからのアクセスが悪い。若者が集まる店がない。
常盤	男	40～49歳	工業（製造業）	働く場所、商業施設が少ない。
平	男	70歳以上	その他の職業	高齢によりもっと年を取ったときや自分が先に逝ったときに冬、雪が降ると大変困る。
常盤	男	40～49歳	その他のサービス業	出かけると必ず知り合いがいる状況に全く慣れない。
常盤	女	40～49歳	工業（製造業）	車がないと生活できない。私道の雪かきが一人ではできないので常盤も中心市街地のように道の雪を溶かしてほしい。
平	男	50～59歳	建設業	買い物が不便。働く場所がない。
社	女	50～59歳	工業（製造業）	大町に移り住んだ時に大町の人によそ者扱いをされて嫌な気分になった。
平	男	20～29歳	その他の職業	外部にばかり税金をばらまき、市民に何の得もない。

平	男	70歳以上	商業（卸小売業・飲食業）	大町の人は協力性がなく人の足を引っ張る。
八坂	男	60～69歳	その他の職業	人口減少、高齢化により、村役の負担が多い。若者がいない。
美麻	女	40～49歳	その他の職業	車がないと移動できないし、冬は雪で運転が怖い。
大町	男	70歳以上	学生・無職	交通の便が悪い。
常盤	女	50～59歳	家事専業	交通機関が少ない。
八坂	男	70歳以上	農林水産業	もともと住んでいる住民には手厚く、移住者には冷たく感じる。
大町	女	70歳以上	家事専業	田舎の人とがっちり組んで、都会の人は受け入れない感じです。
八坂	女	50～59歳	その他のサービス業	教育、医療、福祉など現場の方がすごく頑張っているのは感じるが市民として、そのサービスを使いにくかったり、わかりにくい。必要な事をずれていたりして困っている。
常盤	女	30～39歳	その他の職業	少しつまらない。商店街？がさびしい。
常盤	女	70歳以上	その他のサービス業	税金は高いし、交通が不便。

問 4 あなたは、これからもずっと大町市に住んでいたいと思われますか。次の中から該当するものを1つ選んで、その（ ）に○を記入してください。また、3・4を選んだ人は、その理由を記入してください。

／「3（ ）できれば他へ移りたいと思う」、「4（ ）将来は他へ移りたいと思う」（理由：）

大町	男	70歳以上	学生・無職	生まれた所へ帰りたい。
社	女	60～69歳	工業（製造業）	隣近所の付き合い方が難しい。
平	女	50～59歳	商業（卸小売業・飲食業）	猿がでること。運転しなくなった時、不便。
平	女	50～59歳	工業（製造業）	子供がひとりになるから。
美麻	女	70歳以上	家事専業	店がないから。
大町	女	70歳以上	家事専業	雪が降るから。
大町	女	50～59歳	その他の職業	老後の不安。
常盤	男	50～59歳	工業（製造業）	雪かきが大変だから。
大町	女	40～49歳	その他の職業	大町に将来性を感じないため。
大町	男	60～69歳	その他のサービス業	親が亡くなれば一人になってしまうので、兄弟のいる町へ行きたい。
平	男	40～49歳	運輸・通信業	不便だから。
平	男	50～59歳	運輸・通信業	冬の降雪、雪かき。

大町	男	50～59歳	公務員	寒く雪が多い。活断層上にある。
大町	女	20～29歳	工業（製造業）	給料が少ないので、遠くに住み働きたい。
美麻	男	60～69歳	その他の職業	何をすることも不便（降雪時は特に）。温かい場所に移住したい。
常盤	男	50～59歳	観光業	限界集落化している。若い世代が住めるまちづくりを、真剣に考えるべき。
大町	男	50～59歳	学生・無職	寒さと雪かき等大変、交通の不便さ。
大町	男	60～69歳	その他のサービス業	積雪と寒さ。
常盤	女	40～49歳	公務員	雪が降らない所へ行きたい。
常盤	男	30～39歳	学生・無職	嫌な思い出しかないため。
常盤	男	40～49歳	その他の職業	環境・人情があたたかい場所に住みたい。
大町	男	60～69歳	建設業	社会保障が充実した地域へ行きたい。
大町	女	30～39歳	家事専業	年をとったら住めない不便さを感じる。
平	男	50～59歳	その他のサービス業	生活環境や医療福祉環境に不備を感じる。
平	男	60～69歳	工業（製造業）	雪が多く寒い。
平	男	60～69歳	その他の職業	行政に不満。一般と比べると、職員が優遇されすぎている。
社	女	70歳以上	農林水産業	年と共に雪対策が大変、また雪道での運転・移動が大変。
大町	男	70歳以上	学生・無職	雪かきが大変、高齢なので雪の少ない地方へ移りたい。
平	男	40～49歳	その他の職業	不便なため。
大町	女	40～49歳	その他のサービス業	雪が多く、寒い。
大町	女	60～69歳	家事専業	車がないと不便なため。
社	女	20～29歳	公務員	結婚のため。
大町	男	70歳以上	その他の職業	人間関係が難しい。
大町	女	60～69歳	その他の職業	色々不便、雪かきが大変
平	女	50～59歳	家事専業	老後、車に乗らずバスと思っても電車の時間が合わないし不便。
平	男	30～39歳	その他のサービス業	他の市町村のほうが子育て支援が厚いから。
大町	女	40～49歳	工業（製造業）	雪が降るから。
大町	女	60～69歳	その他のサービス業	高齢になった時の雪かきへの不安。車の運転ができなくなったとき買い物、受診等の不安。
常盤	女	70歳以上	学生・無職	臭い為できれば移りたい気もする。
大町	男	60～69歳	家事専業	母の実家、祖先からの畑墓の整備をして次の時代に少しでも生かせる形にするため。

大町	男	40～49歳	運輸・通信業	通勤時間が掛かるため。買い物など生活に不便な時がある。
大町	男	40～49歳	その他の職業	就職先が少ない。田舎のわりに物価が高い。
社	男	50～59歳	公務員	就職先がない。
大町	男	20～29歳	工業（製造業）	子どもが少なく将来性がない。
八坂	女	20～29歳	その他のサービス業	仕事がない。
常盤	男	60～69歳	学生・無職	大町発展の見込みがないから。
大町	女	50～59歳	その他の職業	どこに行くにも遠すぎる。
大町	女	20～29歳	学生・無職	外国に行きたいから。
常盤	男	40～49歳	その他の職業	家賃が高い。
大町	男	30～39歳	工業（製造業）	両親が大阪にいる為に引越し。
大町	男	50～59歳	その他のサービス業	保守的で閉鎖的な地域性が嫌い。
大町	女	30～39歳	商業（卸小売業・飲食業）	隣町で土地を購入したため。
平	男	60～69歳	学生・無職	老後は都会の方が便利。
大町	男	50～59歳	建設業	高齢者に優しい市であってほしい。
平	女	60～69歳	家事専業	田畑、先祖代々の土地があるが人間関係を考えるといまいな所がある。
平	女	60～69歳	建設業	冬、雪が多く寒い。
常盤	男	60～69歳	公務員	雪かき等、余計な事が大変。穂高等まで買い物に行かなければならない。
大町	男	60～69歳	その他の職業	人口が少なすぎる。交通の便が悪すぎる。
大町	男	70歳以上	学生・無職	活気が無い。
社	女	30～39歳	家事専業	収入が上がるなら他へ移りたい。
平	女	50～59歳	観光業	年をとった時に福祉が充実してないから不安。
大町	男	50～59歳	公務員	魅力がない。
大町	男	70歳以上	その他の職業	老齢になれば車を使わなくても、見たり聞いたり、楽しめるところに行きたい。
平	女	40～49歳	その他の職業	子供が少ない。将来、就職幅も限られてしまう。
八坂	女	50～59歳	運輸・通信業	不便だらけ。
大町	男	30～39歳	公務員	より働きやすい職場を考えて。
大町	女	20～29歳	工業（製造業）	積雪が多く、雪かきが億劫なため。
社	男	60～69歳	商業（卸小売業・飲食業）	団地、アパートの家賃が高いが引越し代が無い。
大町	女	70歳以上	—	活気が無い。

常盤	女	60～69歳	その他の職業	市民税が高すぎる。
平	女	70歳以上	学生・無職	雪が解けるのが遅い。
大町	女	50～59歳	その他の職業	冬は住みにくいので除雪がしっかりされれば住みたい。
大町	男	70歳以上	家事専業	自立できなくなれば東京の息子宅へ行く。
平	女	70歳以上	—	年を取ったら運転が難しくなるから。
大町	—	20～29歳	その他のサービス業	何もないから。
平	女	40～49歳	商業（卸小売業・飲食業）	温暖化で雪がなくなれば他へ移る。
大町	女	60～69歳	家事専業	交通に不便で通勤しにくい。
大町	女	70歳以上	家事専業	大町には身寄りがいないので、子どもの近くに住みたいと思う。
常盤	男	40～49歳	その他のサービス業	衰退していくというのでいずれかのタイミングで故郷に帰ろうと思っている。
社	女	30～39歳	その他の職業	医療等しっかりして税金も高くないところへ行きたい。
社	男	50～59歳	商業（卸小売業・飲食業）	交通、移動が不便になるため松本市へ。
常盤	女	40～49歳	工業（製造業）	老後の生活が心配。車がないと買い物に行けない。私道の雪かきができない。
平	男	50～59歳	建設業	老後の買い物が便利な場所へ。
社	女	50～59歳	工業（製造業）	他県から来た人を受け入れない。
平	男	70歳以上	商業（卸小売業・飲食業）	冬は寒く、灯油代もばかにならない。
大町	男	40～49歳	その他のサービス業	冬が寒いから。
美麻	男	50～59歳	建設業	車が塩化カルシウムにより錆びる。
常盤	男	—	その他の職業	高齢になるにつれて、移動や自由がなくなり公共交通機関がなくなる。人口減少しているから全てにおいて負担が大きくなる。
大町	男	40～49歳	その他のサービス業	医療体制が不十分。
常盤	女	70歳以上	その他のサービス業	近隣のトラブル。

問 5 あなたは、大町市がこれからどのような「まち」になることを期待されますか。次の項目の中から、あなたが最も期待する将来の大町市の姿を優先順に3つ選んで、その番号を（ ）に記入してください。

／14 その他（具体的にお書きください）

平	女	40～49歳	その他の職業	大手企業を誘致して雇用を増やし、税収も増やしてほしい。
---	---	--------	--------	-----------------------------

大町	女	60～69歳	学生・無職	大勢の人が働ける場を作ってほしい。
八坂	男	60～69歳	その他の職業	移住定住促進。
社	女	60～69歳	建設業	若者がいきいきと生活・仕事ができるまち。
大町	男	30～39歳	その他の職業	市から若者が離れていく理由を追求し、市を形成する人々が20年後どんな形を望むのかを考えてほしい。老いを楽しみながら、若者が集まる「まち」を目指すべき。安直な娯楽が足りない。青少年育成条例を厳しくしても、他へ移動するだけだと思う。
平	女	40～49歳	その他のサービス業	有機農業を促進する都市。
常盤	男	30～39歳	学生・無職	複数の価値観を尊重しあえる「思想都市」。
大町	女	40～49歳	その他のサービス業	他人同士でも助け合えるまち、ボランティアの充実したまち、草刈りや雪かきなど。
大町	男	70歳以上	その他の職業	つくば市の様な魅力ある学問都市を構築してもらいたい。この影響で、子どもたちに学問の大切さを認識させるとともに、礼節の大切さも感じ取ってもらえればと思う。
常盤	女	30～39歳	家事専業	何も期待していない。期待できない。
大町	女	70歳以上	家事専業	観光をもう少しアピールしたらいい。
平	女	30～39歳	家事専業	自然環境の保全を大切にするといいとしても、行政主導の頭でっかちな政策に従う形は絶対嫌だ。環境保全は押し付けられるものではなく、一人一人がそれぞれを大切に思う気持ちが必要だと思うので、ゆっくりそういう思いが醸造されるような気持ちのいいベース作りをして欲しい。
平	男	30～39歳	その他のサービス業	コロナで休校中の対応が不満。学校と教育委員会の意思疎通ができないことが明白だった。
常盤	女	70歳以上	学生・無職	過去のようにイベントを多くしてほしい。花火大会や競馬会など。
平	男	30～39歳	観光業	自然を残しつつ、若者が住みたいと思えるまちを作るため、同じような施設を建設するのではなく、跡地にアミューズメント関係の施設を作ったりしてほしい。若者が大町で遊ぶ施設が皆無に近い。
大町	男	40～49歳	その他の職業	どれも時間とお金が必要で今の市にそんな余裕があるのかと思う。
大町	男	60～69歳	公務員	人が住むには仕事があること。工業産業の発展、誘致を。
平	女	70歳以上	家事専業	若者の働く場所が少ない。
大町	女	40～49歳	その他のサービス業	自然と調和し、本当に住みやすい「まち」になれば、人は求めて集まってくると思う。ITが発達しどこにいても仕事や交流ができるようになった現代なので、「住」と「食」の質を求めるのがこれからの日本の社会だと思う。
美麻	男	60～69歳	家事専業	小さな拠点作り。自分の事だけを考えないで日本や世界全体の事を考える。
平	女	60～69歳	家事専業	今までの常識を全部入れ替えて発想を変えてほしい。企業、無税にするなど。大町では、地方公務員が金持ちで、それは代々続き、一般の若い人は居たくても居られない。
常盤	男	30～39歳	商業(卸小売業・飲食業)	高齢者福祉に特化した終の住み家を提供する。国際高齢福祉都市を目指すべきでその為には「年金ビザ」等の特例を政府に申請する。
大町	男	70歳以上	学生・無職	大町への企業誘致を進めてほしい。外に出ないと生活できない大町では情けない。
大町	男	50～59歳	工業(製造業)	片寄りのないバランスのとれたまち。
大町	女	70歳以上	家事専業	どれを選んでよいかわからない。若者達が定着できるような働くところ、観光等で集まるようなまちであってほしいと思う。空き家が多くなって寂しい。

大町	男	20～29歳	工業(製造業)	小さい子どもでも遊べるようなゲームセンターなどの設立。高速道路、映画館がほしい。
常盤	男	30～39歳	公務員	芸術都市。
社	男	40～49歳	工業(製造業)	エリアごとに特徴を生かし、文化施設などを統合して高規格なものにしてほしい。
八坂	男	60～69歳	その他の職業	Iターン・Uターン者や若者が子育てをしながら生活できる活気あるまち。

問6 生活基盤整備等について、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。次の中から3つ選んで、その()に○を記入してください。

／14 () その他(具体的にお書きください)

平	女	60～69歳	家事専業	就職、就業の場の確保。特に成人した子ども世代。地方都市、松本、長野などに就職してしまう現実。
大町	女	70歳以上	家事専業	歩道がでこぼこして歩いて歩くのが大変。直して欲しい。
大町	女	60～69歳	その他の職業	冬に除雪した際、雪のために道が狭くなってしまう。夜、街灯が少なく自転車が危ない。
大町	男	60～69歳	公務員	豊かな水を利用した自分で(近隣で)つくった電力で、自分や近隣が賄える制度をつくる。
平	男	30～39歳	その他の職業	信濃大町駅、あるいは商店街から歩いていけるコミュニティースペース。図書館機能や会議・イベント・カフェなどがあり、観光客も地域住民も利用・交流できる場所。
社	女	60～69歳	建設業	全般的に力を入れてほしい。
大町	男	60～69歳	その他のサービス業	コンパクトシティを目指す。
大町	男	30～39歳	その他の職業	大町市に企業が自然に集まる環境を整え、雇用を増やす。その賃金を市内で消費してもらうための誘致・招致を積極的に行い、税収を増やす。現状では、来る近未来の介護不足に対応できない。若者が集まるまちづくりを期待。
平	女	40～49歳	その他のサービス業	小中学校の合併時は、次世代を担う子ども達への教育を改革してほしい。
社	女	40～49歳	その他の職業	道の駅等、大町の特産品・観光をPRできる場所。
常盤	男	30～39歳	学生・無職	どのような悩みも、ワンストップで受け付ける窓口の設置。
大町	男	70歳以上	学生・無職	北高校生が市街地を歩かなくなって、人の流れがなくなった。北高校の利用をもっと考えるべき。また近々小中学校の統合がなされるようだが、市役所周辺に集めてしまうと人の流れが全くなくなるので、もっと考えるべき。
常盤	女	40～49歳	その他の職業	除雪は、十分にしてもらっていると思う。ありがたい。
大町	女	40～49歳	公務員	新たな宅地開発よりも、放置されたままの空き家対策をしたほうが良い。
大町	男	70歳以上	その他の職業	高瀬の整備により、散歩、夏にはキャンプ、水遊びできるように希望。今進めている藻木の除去による洪水、氾濫の防止を早急に。害獣の駆除を早急に。
大町	女	50～59歳	観光業	冬、家の前が雪により水があふれるため用水路の整備をして欲しい。
平	女	30～39歳	家事専業	自然エネルギーが豊かなことからソーラー建設も多いが県外の業者が自己利益の為にソーラーを建設する流れは一部の人の利益にしかならず在り方として美しくない。やるなら県内にとってプラスになるやり方を。

常盤	女	60～69歳	その他の職業	川の景観が良くない。川沿いに木が茂っていて遠くが見えない。川に水が大量に来た時に溢れる気がする。
平	男	30～39歳	その他のサービス業	美麻や八坂の山を切り開いて道を作ってほしい。
大町	男	50～59歳	工業(製造業)	人口にあった中心市街地の集約。
大町	男	20～29歳	工業(製造業)	松糸道路を早く完成して欲しい。
八坂	男	20～29歳	工業(製造業)	空き家の撤去または再利用。
大町	女	50～59歳	観光業	冬の雪道が不便。除雪が不可欠、常に走りやすい道を確保して欲しい。
美麻	女	60～69歳	家事専業	季節によって、サルや熊などの出没が多くて、ウォーキングができない事がストレス。里山環境の対策を考えてもらいたい。
平	男	70歳以上	その他の職業	超高齢社会の中、施設に入れられない貧困者が多くなると思うので、貧困者が困らない様な受け入れ態勢を取ってほしい。
大町	男	70歳以上	学生・無職	散歩道、サイクリング道路、ウォーキング専用道路の整備や充実。
八坂	女	50～59歳	その他の職業	土日のバスの運行再開、空き家や古い家屋を独立電源にする。太陽光パネルを消去(農地をパネル置き場にしない)し、農家世帯にベーシックインカムを導入。
常盤	男	50～59歳	公務員	生活の礎となる働く場所の確保。
美麻	男	60～69歳	家事専業	その土地の人。人を大切にする気持ち。
大町	男	50～59歳	その他のサービス業	ポケットパークの様な、街の隙間に設営する公園はユニークすぎるので、近隣町村にあるような広々とした公園が欲しい。
大町	男	50～59歳	工業(製造業)	どんな人でも安心安全に暮らせる空間のある市にしてほしい。
平	男	60～69歳	学生・無職	自転車道路ネットワーク整備、駐輪場整備。
大町	男	50～59歳	建設業	高齢者に見合う統合生活空間作りと中高生の学習統合空間作り。
平	女	60～69歳	家事専業	公園等の施設があっても、草が伸び国道沿いでは大変みにくいので「大町は綺麗なところだね」と思われる様になってほしい。大自然も人の手入れが無いとただの荒地だ。予算がないのならボランティアを募ってはどうか。
常盤	男	30～39歳	商業(卸小売業・飲食業)	豊かな水源を活かした水道を整備すべき。
常盤	男	70歳以上	農林水産業	山岳への道の整備。(特に槍に登山のために)
大町	男	40～49歳	その他のサービス業	災害対策。(風水害、地震など)
大町	女	70歳以上	農林水産業	町の近くに荒れた雑木林があり、マイマイガ、風で折れた枝、太い木が田んぼの中に倒れていて困っている。農作業の機械も大型になり枝が移動の妨げとなる事がある。良い解決策はあるのか。
大町	女	70歳以上	家事専業	駅前、しかり国営公園というより町中公園、大人も子どもも集う・利用できる公園があれば災害時も大町の人口くらい避難する事もできると思う。
大町	男	30～39歳	公務員	空き家の活用、整備。
大町	女	50～59歳	その他の職業	衣料品店が少なく、十分に買い物できず、安曇野や松本まで出かけなければならない。せめてユニクロなどあってほしい。
平	男	40～49歳	その他の職業	中心市街地の再開発、本通り商店街の閉鎖。その後道路・河川・水路・公園や緑地・景観づくりや街並み・駐車場・駐輪場・優良宅地の開発。
平	男	50～59歳	農林水産業	ゼロカーボン。積極的に環境を意識したまちづくりをアピール。
大町	女	70歳以上	家事専業	電線の地中化が実現しなかったのは残念。

社	男	70歳以上	工業(製造業)	旧村部の買い物難民や通院等の交通機関の整備。
社	男	40～49歳	工業(製造業)	部分的な電線の地中化。
常盤	女	60～69歳	その他のサービス業	車社会のため、大町にインターを作してほしい。
八坂	男	50～59歳	建設業	大町に移り住む人の働く場所の誘致・整備・確保。
常盤	女	40～49歳	工業(製造業)	スーパーを増やしてほしい。
大町	女	70歳以上	その他の職業	駅にエレベーターがほしい。
平	男	70歳以上	商業(卸小売業・飲食業)	下水道を大町全体で早急に対応してほしい。
平	男	70歳以上	家事専業	豊かな観光資源があるのに生かされていない。電線の地中化。景観条例により不要な建物の撤去。
常盤	男	40～49歳	建設業	災害に強い施設(河川、道路、ダム)。特に大地震対策。

問7 大町市の人口は、令和2年4月1日現在で27,006人(住民基本台帳)です。国全体でも人口が減少しており、大町市においても、今後さらに人口減少が進むことが予想されます。あなたは、将来(10年後くらい)の大町市の人口についてどのようにお考えですか。あなたのお考えに最も近いものを1つ選んで、その()に○を記入してください。

／5 () その他(具体的にお書きください)

大町	女	70歳以上	家事専業	働く場所があれば若い人の人口も増えてくるのではないかと。
平	男	70歳以上	農林水産業	福祉、子育て支援の充実に一層の努力を。
大町	男	70歳以上	学生・無職	安曇野は異常気象の影響を地理的に受けにくい環境にあり、今後移住者が増えると考えられる。よって若者が住みやすい環境を整えるべき。
大町	女	40～49歳	その他の職業	人口減少は全国的に仕方がないこと。そのような中で大町に人口増加ができるのか。
大町	女	70歳以上	家事専業	物価、子育て、医療、ネットワークなど、住みよい町とアピールしていくべき。
社	女	70歳以上	工業(製造業)	都会に出た子供達のUターンを進めてほしい。
大町	男	60～69歳	その他のサービス業	他市町村(特に富士見町のような)の良い所を見習ってほしい。
大町	女	70歳以上	学生・無職	ICTを活用し、都会から移住できる体制を確立すべき。
大町	男	20～29歳	その他のサービス業	若者が遊ぶ場所さえほとんどない。人口が増えるとは思えない。
常盤	男	50～59歳	観光業	少子高齢化対策を何かやっているのか。中信地区内で増加している市町村もある。魅力がないので、若者が移住してこないのでは。
大町	男	70歳以上	農林水産業	全体の人口が減る中、自分の自治体だけの増加を考えるのではなく、ここに住む人がいて充実した生活を送るためにどんな社会が必要かを考えることが大切。
大町	男	30～39歳	その他の職業	現在の住民を大切にすること(何に期待し、不足を感じているのか解消)と、招くことに重点を置いた政策が必要。

常盤	女	70歳以上	家事専業	産科の医師を確保し、市立病院でいつでも出産できるようにする。出産手当を出せば、子どもの数が増えると思う。
常盤	男	30～39歳	学生・無職	市町村といった枠で見ると、「人口減少」という問題が大町市だけの問題として見えてくる。
社	男	70歳以上	学生・無職	各地域の人口の取り合いではないかと思う。
平	男	60～69歳	その他の職業	松川・豊科などへ移住していく人が多い、働く場所を多くすることが必要。
社	女	70歳以上	農林水産業	下條村のように、子どもを産み育てやすい村にする。また住宅・仕事面など働ける場所をつくる等、思い切った工夫を望む。
平	男	40～49歳	その他の職業	全国的に人口が減少している中、大町市だけ人口が増えても仕方がない。
大町	女	40～49歳	公務員	減少は仕方ない。良質な教育が受けられ、美しい景観が保全され、一人ひとりが心豊かに幸せに暮らせることが大事。
大町	女	60～69歳	商業(卸小売業・飲食業)	働く場所が少ないため、人口がどんどん減っていく傾向にある。工場等を増やし、働く場所を確保してほしい。
常盤	女	30～39歳	家事専業	行政だけで考えるべきではない。もっと民間を主にして行政が支えるような対策ではどうか。
大町	女	50～59歳	観光業	住民票が大町にない人が沢山いるのでしっかり大町に住民票を移してほしい。
常盤	女	30～39歳	その他の職業	今までの行政の施策で人口減少になっているため同じ施策だと難しいと思う。
大町	女	70歳以上	家事専業	温泉郷が西側にできたことが寂しいのでは。
平	女	60～69歳	その他のサービス業	市民、行政共に大町市にいて良かったと思える市作りをした方がいいと思う。
平	女	30～39歳	家事専業	インフラ整備を考えると緩やかな増減が望ましい。若い人を増やすならIターン、Uターンしたいと思うまち作りを。ソーラーだけのところに誰も来たいと思わない。
平	男	30～39歳	その他のサービス業	市長がこの問題に取り組む気があるのか不明。対抗馬がないから何もやる気がないのだと思う。
大町	女	60～69歳	家事専業	若い人が働ける企業の環境作り、企業を大町に呼び込む様に行政が働きかける。
大町	女	70歳以上	家事専業	大自然に恵まれた素晴らしい所だ。人間の言葉使いも優しくなって穏やかなまちになってきた。若い人が住みやすい方向へ向かったらいいと思う。
平	男	30～39歳	観光業	色々な媒体に露出していき、移住して住んでみたいと思える努力をすべきだと思う。
大町	男	70歳以上	家事専業	10年後20、30年後を想定してそれに対応してコンパクトですぞ野の広いまちをいかに作るかの戦略が必要。未来都市のグランドデザイン出来る人はいるのか。
大町	男	50～59歳	工業(製造業)	他の地域と比べて目立つ特徴がなければ人口は減少するのみ。施策が他のまねで中途半端。
大町	男	40～49歳	その他の職業	物価が高いのに給与は少ない、生活は苦しくなるから家族での移動が始まると思う。
八坂	男	60～69歳	建設業	行政政策と住民相着地政策により努力し、人口減少を抑えるべき。
大町	女	20～29歳	学生・無職	大町の自然や環境が好きです。でも人口が増加すると保つことが出来なくなりそう。
大町	女	70歳以上	その他のサービス業	I・Uターン、移住対策への働きかけで大町を宣伝し大町の良い所をアピールして欲しい。
社	男	70歳以上	農林水産業	人口の増加を望むだけで、結婚について行政の努力は出来ないのか。

八坂	女	50～59歳	その他の職業	住みたい、暮らしたいと思うまちになるように発想を転換してほしい。
美麻	男	60～69歳	家事専業	そこに住む人、一人一人を大切にしていってほしい。
常盤	男	50～59歳	その他のサービス業	市職員が市外ではなく、市内に住んでほしい。
大町	男	50～59歳	その他のサービス業	一家の大黒柱が働く環境の確保、企業誘致、都会を結ぶような交通手段としてのインフラの確保し、人口の増加も可能かと思う。
大町	男	50～59歳	建設業	人口減少を食い止める為の大町発信の工業または商業の発信。官民一体のまちづくり。
平	女	60～69歳	家事専業	大学、高校を出ても、働く所が無く仕方が無く大町を出て行く人は多い。人の生活の持続性が無く、金銭面での生活保障に不安がある。
常盤	男	30～39歳	商業(卸小売業・飲食業)	移民を受け入れるべき。特に特定技能実習生を活用すべき。南佐久、川上村のように高原野菜の生産になり手が必須。
常盤	男	70歳以上	農林水産業	官民一体となり働く場所の確保。
大町	女	40～49歳	運輸・通信業	年配の人を支える(金銭的に、税金など)、(医療、福祉で支える人材の確保)年代の人々の増加を目標とすべきで、子供ばかり増やすのが良いとは思わない。
八坂	女	70歳以上	家事専業	大町に住みたい人を作り出す。
大町	女	70歳以上	家事専業	生活基盤の場がなく、若者の流出が増えています。今のままだと収入がなく動けなくなる気がする。
大町	男	70歳以上	学生・無職	企業誘致を進める。
大町	女	70歳以上	学生・無職	若い人達の働き場所が少ないので、若い人の働き場所を作ってほしい。
平	男	30～39歳	工業(製造業)	大学等を誘致し、若い世代を多くし、観光業に力を入れるべき。
社	男	60～69歳	商業(卸小売業・飲食業)	住みやすければ結婚し定住し子どもも増える。地元の人々との関係が悪いので出て行きたくなる。
平	男	50～59歳	農林水産業	人口が減少するのは仕方ないが、若い人口を増やす工夫をし、活気ある町にしてほしい。
大町	女	70歳以上	学生・無職	公営住宅、市営住宅が少なく、他の町へ行かざるを得ない市では他の町への斡旋がある。
大町	—	20～29歳	その他のサービス業	交通の便が悪いので住む所を考えてしまう。
常盤	男	40～49歳	その他のサービス業	増減に関わらず健全な人口ピラミッドに近づけるべき。
平	女	30～39歳	その他の職業	少子化を懸念している。子育てに対して他の市町村のような助成金はしているのか。不妊治療をしている人への助成金が少ないのは行政施策をしているとは言えない。
常盤	女	20～29歳	家事専業	高齢者のことばかり考え、子育てには向いていない。そのため子育てしやすい環境に引っ越す人が増えれば、やむを得ないのでは。
八坂	女	40～49歳	その他の職業	子どもの人数減少は仕事と子育ての両立が難しいことと仕事がないことが原因では。子育てと仕事に対する施策を重点にしてほしい。
社	女	70歳以上	家事専業	全国的に人口減少しているのではありません。少ない人口でも充実したまちづくりをすべきだ。
平	男	20～29歳	その他の職業	移住者の定住にお金をかける前に地元住民の流出を抑えるのが先だ。大町病院の再建ができない限り若者も高齢者も流出してしまう。税金の用途次第である。

社	女	60～69 歳	学生・無職	都会から若い農業就労者を呼び寄せるべきだ。空き家対策と一緒に検討するべきだ。農業をやりたい人は多いと思う。生活支援と共に自給率を上げるべきだ。
八坂	男	70 歳以上	農林水産業	赤ちゃん、子どもを増やす策を練ってほしい。
大町	女	50～59 歳	商業(卸小売業・飲食業)	若者の人口を増やす。

問 9 今後も施設整備が必要だと思われる公共施設はどれですか。次の中から 5 つ選んで、その () に ○ を記入してください。

／19 () その他 (具体的にお書きください)

平	女	30～39 歳	農林水産業	道の駅や生産物直売所 (観光客向けの)。
大町	女	40～49 歳	観光業	松川のように高齢者の健康寿命を伸ばす為の施設整備 (プール他) を有効活用できるようにしてください。洋式トイレ、手摺を付ける等。
大町	女	70 歳以上	家事専業	税金の無駄遣いにならないように吟味してほしい。
常盤	男	60～69 歳	公務員	箱物ではなく、人的な充実。ネットワークの構築。
平	女	50～59 歳	その他のサービス業	ハード面よりもソフト面が重要と思う。
大町	男	70 歳以上	学生・無職	合併の関係で利用されていない公共施設が多く、経費の無駄。公営住宅の管理が悪く、掃除もいきとどいていない。
大町	女	70 歳以上	家事専業	施設がいろいろあっても利用しない人はしない。一人暮らしの高齢者などをいかに自宅から出させて交流させるかが重要。
大町	女	60～69 歳	その他の職業	施設整備よりそこで働く人のレベルアップ。
平	男	50～59 歳	工業 (製造業)	自転車、ランニングコースの充実 (整備)、休憩スポットの設置。
大町	女	20～29 歳	その他のサービス業	塩尻のエンパークのように、あちらこちらにあるのではなく 1 つの施設にしてほしい。移動でとても大変。
大町	女	50～59 歳	その他のサービス業	保護猫・犬の施設。
大町	女	70 歳以上	農林水産業	西公園の機関車のリフォーム (ペンキ塗り)。子どもの喜ぶ玩具、大切に扱ってほしい。
大町	女	60～69 歳	家事専業	マラソンを趣味としているが、市内には 10 キロのコースがなく松本市 (スカイパーク) まで行っている。5 キロ位でよいので、マラソン・散歩コースと駐車場をつくってほしい。
大町	男	70 歳以上	公務員	高齢者が一日ゆっくりできるお茶飲み場 (ワンコイン)。気軽に立ち寄って、雑談で一日もしくは半日が暮らせる場。ワンコインで昼食がとれる清潔な環境。上原の湯を平地に、旧市内にほしい。
大町	男	20～29 歳	その他のサービス業	公共施設は十分かと思うので、商業施設や娯楽施設を誘致すべき。
社	女	70 歳以上	学生・無職	美術館・個人グループ発表の場が少ない (北安曇郡以北も)。ギャラリーいいずらは、階段昇降が狭い。大町駅東口の自由通路・道の駅も整備要。

美麻	男	40～49 歳	工業（製造業）	施設は、目的を定めず柔軟な運用によって、福祉・生涯学習・市民交流・文化活動等ができるよう工夫するべき。最初から、利用目的の限定された施設を整備するのは、いかがかと思う。
大町	男	30～39 歳	その他の職業	市内の医院の先生方は皆さん高齢、ご勇退後の受け皿等を市として考えてほしい。公共施設に投資するより、民間施設を増やす。公営住宅は減らし、空き家を買ひ上げ、市が定住促進につなげるべき（仮住まいを増やすことは、定住促進につながらない）。
社	女	40～49 歳	その他の職業	道の駅。
常盤	女	40～49 歳	公務員	避難所。
常盤	男	30～39 歳	学生・無職	いつでも誰でも足を運べ、お互いの話を否定せず話し合い、聴きあえる場所。気軽に法律に触れられる場所。
大町	男	60～69 歳	建設業	行政目線の施設より、今後大町市が世界情勢にマッチした発展を目指すべき、施設の整備を進めるべきだ（自然エネルギー活用・自給自足生活・テレワーク等情報社会への対応など）。
社	女	70 歳以上	農林水産業	雨天時に、子ども達が遊ぶ場所（公園のように自由に入出りできる所、現在空いている体育館等を利用するなど）。
大町	男	70 歳以上	学生・無職	人の流れを考えた、公共施設の設置が必要。
大町	男	70 歳以上	その他の職業	長野県の市の中で美術館のないのは大町のみ、市たる面目も考慮すると美術館を創立すべき。
常盤	女	30～39 歳	家事専業	どの施設にもほとんど行ったこともないのでよくわからない。
大町	女	50～59 歳	観光業	ゴルフ練習場。
大町	男	70 歳以上	学生・無職	9 に関して、もう大型施設は要らない。入場者数 200 人くらいで舞台と音響設備が整った、いす席の小規模施設が欲しい。使用回数の多い安曇野穂高、松川村、池田町を参考に。新しい建物でなく今ある施設の整備。文化会館も 1200 人では 200 人の企画で使用しにくい。
平	女	30～39 歳	家事専業	美術館、技術専門学校。
大町	男	60～69 歳	家事専業	災害対策に関連する施設整備の充実、健康保険、医療、教育、文化、災害時のリスク軽減が行政に求められる使命の一つだと思う。
大町	女	70 歳以上	家事専業	今あるものを活用して欲しい。特別養護老人ホームの待機者がいるので作ってほしい。自分もお世話になるかもしれないので。
平	女	70 歳以上	農林水産業	廃校になった校舎、その後の利用があるのか。取り壊さないのか（思い出のある者はやり切れない）住宅でも同じことが言える。
大町	男	70 歳以上	家事専業	道の駅。
大町	男	40～49 歳	その他の職業	建物よりも中身。大町は国道や県道に公衆トイレが何か所かある。大町はそういうところに気が付かないのが不思議だと思う。
社	男	60～69 歳	農林水産業	美術館。
大町	女	70 歳以上	家事専業	市立病院の整形外科医師を早く充実して欲しい。
社	男	50～59 歳	工業（製造業）	市営野球場の整備。陸上競技場の整備→大学、高校の合宿誘致になる。収益確保（ホテル、飲食店）
大町	女	40～49 歳	その他のサービス業	駅前から北に延びる商店街のアーケードが、雨漏りしていたり、電球が切れていたり、時計が止まったままのものが多く、街中図書館も何ヶ月も同じ状態なら、どこか一ヶ所にまとめるか撤去された方がいいと思う。
大町	男	70 歳以上	学生・無職	老人が散歩、ウォーキング出来る公園、道路。
常盤	男	20～29 歳	工業（製造業）	若者が集まって遊べるような施設（アウトレット）的な所。
八坂	女	50～59 歳	その他の職業	大町病院産婦人科でお産が出来なくなったのは痛手。明日香荘は地域住民の手で再建すべき。公営住宅が老朽化しているが、住み替えができないので他の市町村に頼るしかない。公共施設を自由に使用出来るように規約を緩め、温泉の料金を安くしてほしい。
常盤	男	50～59 歳	公務員	高齢福祉、介護施設の拡充→これを市政の目玉として、市外、県外からの移住、雇用の増加に繋げるべき。

大町	男	50～59歳	その他のサービス業	観光地なので河川敷や山間部等の景観整備。
大町	男	50～59歳	その他のサービス業	ポケットパークではなく、普通の公園を作ってほしい。
大町	男	40～49歳	運輸・通信業	道路が狭いので広い道が必要だと思う。
大町	男	50～59歳	建設業	医療関係の行政の縦割りを止め、病院、保健センター、福祉を統合してほしい。
平	女	60～69歳	家事専業	健康作りの為の施設の充実、リハビリや病院を一つの施設で揃えられる様にしてほしい。プールや温泉も県外、市外からも受け入れ可能にして収入税を考えられないか。連泊型で、夏冬のリゾートも楽しめる様にして中高年やリハビリを必要とする人をターゲットとする。整備は物から始めるのではなく、人から始めてほしい。
常盤	男	30～39歳	商業(卸小売業・飲食業)	野菜、果物の共選所。薬物野菜や果物などを効率的に都市部へ出荷する施設。
大町	女	40～49歳	運輸・通信業	箱ものが必要なのではなく、そこで何を行うかの方を考えるのが先。人口が減少しているのに、施設ばかりが増えても何もならないばかりか税金等の無駄になってしまうと思う。
大町	男	50～59歳	学生・無職	文化財等々の大町の歴史を収蔵、展示する所があまり無いと思います。山博やちょうじやの様にテーマに沿った展示はあるが、とおしで見ることが難しい。文化財も、ただ放置されている様に見える、もったいない。
八坂	女	70歳以上	家事専業	「高齢化」時代、人々が自分の足で目的が果たせるように巡回送迎などの回数を増やす。
大町	女	40～49歳	その他のサービス業	エンパークのような施設があると良い。
大町	男	70歳以上	学生・無職	観光施設が各所に点在しているので一か所にできないか。
大町	女	70歳以上	学生・無職	地域の住民、特に元気な高齢者が多いので日中活用できる施設。
大町	男	70歳以上	その他の職業	融雪など雪を処理する施設。療育センター。
大町	男	70歳以上	その他の職業	大町病院は自由に行ける施設にしてほしい。
大町	男	50～59歳	工業(製造業)	大人も小人も一緒に楽しめる施設。
大町	女	50～59歳	その他の職業	施設設備というより施設整理を考えた方が良いと思う。今後撤去した方が良い建物ならある。
常盤	女	50～59歳	農林水産業	今のままで良い。施設整備にお金をかけない方が良い。今ある施設をどのように使うかが問題。
平	男	50～59歳	農林水産業	公共施設は確かに重要だが、ものよりヒトに投資するのが良い。
平	男	50～59歳	学生・無職	サイクリングコース。ランニングコース。
大町	女	70歳以上	学生・無職	喫茶店などが無くなってきていて、人が集まり、話ができる場所が無い。例えばスーパーなどにも喫茶スペースがほしい。
社	男	40～49歳	その他のサービス業	まちづくりのための拠点、居場所。
常盤	男	60～69歳	建設業	歩いて通える小学校や中学校がない所には住みたいと思えない。人口を増やしたい田舎に小中学校を復活させてほしい。
平	男	70歳以上	その他の職業	今後新しい施設は作らない。不要施設は廃止。道路も新しいものは作らない方向で。税収は減っていくし、現在の維持費だけでも大変だと思う。

常盤	男	40～49 歳	その他のサービス業	箱モノはそれほど求めていない。
常盤	男	30～39 歳	公務員	木崎湖、青木湖周辺の歩道及び道路。特に木崎湖周辺はコロナ禍によりウォーキングやサイクリングをする人が増えたため。青木湖は浜辺にある水路？のようなものが景観を損ねている。また太陽光パネルをこれ以上増やさないでほしい。自然の景観を大いに損ねている。このまま増え続けるようなら移住も検討する。
常盤	女	20～29 歳	学生・無職	夜の駅の電灯に集まる虫が多く、死骸も有り気持ち悪い。LED にするなどしてほしい。安曇沓掛駅付近の線路に柵がなく、農家の方がまたいで事故になりそう。対策をお願いしたい。
社	男	40～49 歳	工業（製造業）	ロードバイクが増えているので道路の拡張かサイクリングロードを作る。
八坂	男	50～59 歳	建設業	現状の施設をきちんと運営・管理・整備し、利用拡大を図ることが大切。
社	男	50～59 歳	商業（卸小売業・飲食業）	災害避難所。
大町	女	60～69 歳	その他の職業	松川の「すずの音ホール」、穂高町の「みらい」などの使用しやすい広さのホールが必要。
八坂	女	40～49 歳	その他の職業	施設は整っているが、活用方法がうまくいっていない。
大町	女	70 歳以上	学生・無職	公立の美術資料常設館設立は必要。
平	女	60～69 歳	観光業	木崎湖遊歩道、サイクリングロード、駐車場。
社	女	30～39 歳	その他の職業	安曇野市から白馬の間に立ち寄れる、公園やレストランもある大型の道の駅。
大町	男	30～39 歳	工業（製造業）	自転車道の整備。
平	男	30～39 歳	観光業	公共ではないかもしれないが、安曇野 IC よりも北に大町、白馬への高速道路、長野方面への鉄道。車ありきの生活では人々は増えないと思う。
大町	男	40～49 歳	その他のサービス業	市内に大町市をアピール出来るような道の駅、大町市までのプロセスとなる道路整備。
八坂	女	50～59 歳	その他のサービス業	施設を整備したり、新しく施設を作るよりも、今ある施設を有効活用する施策が重要だと思う。
常盤	女	70 歳以上	その他のサービス業	40 歳を過ぎたら気楽に使用できる運動施設があると良い。

問 11 大町市の今後の商業のあり方について、あなたのお考えをお尋ねします。市の商業振興について、あなたのお考えに近いものを次の中から 3 つ選んで、その（ ）に○を記入してください。

／11（ ）その他（具体的にお書きください）

平	女	30～39 歳	農林水産業	一時的に安価で商売をしたい人に貸し、一定期間が過ぎたら正規賃料をとるなど、次の店が出店しやすいようにする。
常盤	男	60～69 歳	公務員	若者の発想や力が生きる商店街づくり。
常盤	女	40～49 歳	—	経営能力のない自営業者から土地回収を進め、近代化していく。
常盤	男	40～49 歳	農林水産業	貸店舗などを補助し、人気店を呼びやすくする。

大町	男	70歳以上	学生・無職	企業努力がない。
大町	女	40～49歳	その他の職業	商店も企業努力すべき。店に魅力を感じない。
平	男	50～59歳	工業(製造業)	飲食店の紹介やマップの作成。
大町	男	70歳以上	学生・無職	商店街に大型店を誘致し、その廻りに集客できるようにする。
大町	女	60～69歳	家事専業	仕方がない。
大町	男	70歳以上	商業(卸小売業・飲食業)	日曜日の閉店が多すぎる。
大町	男	20～29歳	その他のサービス業	ギャラリー等にするのは論外、そういったものでは活性化できない。旧アップルランドの建屋活用にも不満、もっとうまく使えるはず。
常盤	男	50～59歳	観光業	中心市街地でも魅力ある店にはいくが、大多数の店には足を運ばない。駐車しづらいこともある。
社	女	60～69歳	建設業	起業する人に手厚い助成金を渡す。
大町	男	60～69歳	その他のサービス業	商店街にやる気を感じない。駅前個人商店を集めてほしい。
大町	男	30～39歳	その他の職業	消費者を取り合うという考えを捨ててほしい。商店街を守るのではなく、消費者が住みよいまちにするべき。
常盤	男	30～39歳	学生・無職	よくわからないが、行きたいと思える店がない。
常盤	男	40～49歳	その他の職業	日曜日にシャッターを閉めているようでは、何も期待できない。
大町	男	60～69歳	建設業	土日に休業する商店街の意識を変えるべき。特色を出さなければ、大型店に対処できない。
美麻	男	70歳以上	農林水産業	いろいろと南部に集中し、北東部には何もなくて不公平と感じる。
大町	男	40～49歳	建設業	中心市街地にこだわる必要はないのではないか。八坂・美麻地区等の商業活性でも良いのでは。
常盤	女	40～49歳	その他の職業	昔、大型商業施設があった時のほうが、まちへ行ったと思う。
八坂	女	50～59歳	農林水産業	中央商店街、誰も歩いていない。買い物したい店もない。
大町	男	20～29歳	公務員	9のようにしても意味がないと思う。空き店舗を商業に進出したい人に提供するとかも考えてほしい。
大町	男	60～69歳	家事専業	人の住んでいない商店街に客が来ないのは東京も同じ。人が歩いているまちでないと商店街は成立しない。
平	男	30～39歳	観光業	中心市街地が過疎化しているのは人口減少もあると思うが、駐車するスペースがない等の不便さが要因の一つであると考える。
大町	男	70歳以上	家事専業	中心市街地の再活性化は必要。不可能。旧市街地に投資すべきでない。
大町	男	40～49歳	運輸・通信業	問3とほぼ同じ。最近できたホテルの宿泊者の方が食事と買い物に不便しているのを見かける。
大町	男	40～49歳	その他の職業	過去の市政の結果をしっかり受け止めてほしい。
大町	女	50～59歳	運輸・通信業	他県から来た人にもっとわかりやすく。開店しているお店の情報など。
八坂	男	20～29歳	工業(製造業)	近隣市町村から人を集めることが出来る商業施設が必要。
常盤	男	60～69歳	学生・無職	大町で開催するイベントの推進。
大町	女	20～29歳	学生・無職	商店街を大幅に変化させてほしい。若者のユーモアなアイデア活用。
大町	女	40～49歳	その他の職業	町中に駐車場があれば歩きやすいと思う。

大町	男	30～39歳	運輸・通信業	コンセプトを持ちただの商業空間ではない、それ自体が観光客などからも「来たい場所」として認知されるような独自性のあるまちにするよう知恵を絞って出し合っていくべき。
平	女	50～59歳	観光業	商店街の公園を利用している人を見たことが無い。別の事に有効利用すべきだと思う。
美麻	女	60～69歳	その他の職業	中心市街地の事ばかりでなく、買い物弱者の事を考えてほしい。
大町	男	60～69歳	その他のサービス業	大型店の進出により、雇用が生まれる事を望む。
大町	男	70歳以上	学生・無職	個人商店は個人に任せる。
大町	男	50～59歳	その他のサービス業	扇沢や七倉、高瀬、木崎等、景観整備し、誘客。それに伴いまちも変わるのではないか。
美麻	男	60～69歳	家事専業	商店がやる気になってほしい。
大町	男	50～59歳	その他のサービス業	商店街の再開発は不可能。スクラップビルド型にするのならスクラップにした方がベター。
大町	男	40～49歳	運輸・通信業	時代の流れに反対なやり方ではお金を無駄に使うので、今必要な事に使ってほしい。
大町	女	50～59歳	その他の職業	市外からも人が訪れたいくなるような魅力ある商店街になってほしい。
大町	男	50～59歳	建設業	人が集まる革新的なまち作り。
常盤	女	70歳以上	家事専業	団体で食事が出来る場所。その周辺にお土産や地産の売場など。
大町	男	70歳以上	その他の職業	外からの援助が必要でテナントを入れて店を開けるように財政支援が必要。
大町	女	70歳以上	家事専業	スケールの大きい市内の商店が潤うようにしてほしい。
大町	女	50～59歳	その他の職業	商店街の活性化は無理だと思う。コツな店主が居て話を聞かない。
平	男	40～49歳	その他の職業	商店街全体の再開発。
大町	男	60～69歳	学生・無職	残念ながら良い考えは浮かばない。車社会では大型店には敵わないと思う。
社	男	40～49歳	その他のサービス業	中心市街地のショッピングパーク化。本通りを駐車場として利用。
常盤	男	60～69歳	建設業	営業時間や週末営業など個々の商店の努力不足が目立ち、衰退している商店を整備しても経営者の怠慢を招くだけではないか。駐車場の場所が分からず、買い物に行きにくい。すべてにおいて努力不足のように感じる。
平	男	70歳以上	その他の職業	補助金を出しても商店主が努力しているか疑問。
常盤	男	40～49歳	その他のサービス業	無理に商店街を活性化させる必要はない。
常盤	男	30～39歳	公務員	大型店を増やしてほしい。
常盤	女	60～69歳	その他のサービス業	駅前ビル（旧デリシア）を活かしてほしい。
八坂	男	50～59歳	建設業	複合施設にテナントを入れる。
社	男	50～59歳	商業（卸小売業・飲食業）	商業ウレタンではなく、市として将来をどう作るかを設定し取り組む。
八坂	女	40～49歳	その他の職業	人が集まらないと活性化しない。人が集まるイベントを全体で協力して他県から呼び込む。

社	女	50～59歳	工業(製造業)	東洋紡のあった場所を使用し、アウトレットを入れる。
八坂	男	60～69歳	その他の職業	土日祝日に買い物ができる仕組みづくりが必要。
大町	男	40～49歳	その他のサービス業	空き店舗や空き家を有効活用するため、無料・安価で貸し出す。
大町	男	30～39歳	工業(製造業)	出店したい人と空き店舗の貸主との橋渡しの役目を行政に協力してほしい。家賃補助も。
平	男	30～39歳	観光業	大型店の誘致。
大町	女	50～59歳	商業(卸小売業・飲食業)	空き店舗の有効活用。行きたくなるような店が早く入って欲しい。
八坂	女	50～59歳	その他のサービス業	個々の商店が連携し、お客が利用しやすい様に調整する。

問 12 大町市の今後の観光のあり方について、あなたのお考えをお尋ねします。あなたは、市の観光振興のためには何に力を入れていけばよいと思われますか。あなたのお考えに近いものを次の中から3つ選んで、その()に○を記入してください。

／13 () その他(具体的にお書きください)

大町	男	70歳以上	—	それぞれに営業している農産物直売所を統合して、ひとつの大きな「道の駅」にし、年間を通しての誘客につなげる。
平	男	50～59歳	工業(製造業)	各種アウトドア・スポーツ、バーベキュー施設の整備。
大町	男	40～49歳	その他のサービス業	中心市街地は”穏やか”だから、各キーポイントで芸術文化のギャラリーなどにする。
大町	男	20～29歳	学生・無職	イオンモールを建てたほうが良い。
八坂	男	60～69歳	その他の職業	旧北高の空き地を活用し、道の駅をつくる。
大町	女	60～69歳	家事専業	交通を便利にしてほしい。
大町	男	30～39歳	その他の職業	大町市には魅力が沢山あるが、若者の買い物・遊ぶ場所がなく、何度も来てみたいと思える要素が薄く、万人向けではない。大町ブランドを何か考えるべき。
平	女	40～49歳	その他のサービス業	湧水の街・大町として、このテーマで土産品開発・観光ルートづくり・商店街づくりをしたら良い。大町は良い所が沢山あるのに、認知度が低すぎる。
常盤	男	30～39歳	学生・無職	「仁科氏」を作品化して、人気を呼ぶ。
大町	男	60～69歳	建設業	黒四頼みの観光から脱却すべき。
大町	女	70歳以上	家事専業	自然環境をつぶさないで、活かした観光。
大町	男	40～49歳	建設業	道の駅のような施設をつくる。
大町	男	60～69歳	その他のサービス業	公式レースが出来るように、自転車ロードコースをつくる。
大町	男	70歳以上	その他の職業	観光資源を見直し整備するのは当然。大町しか持ち得ないものの地区をおくるなど工夫をすべし。

平	女	50～59歳	家事専業	観光=土台をまず整えなければ、見切り発車のような考えばかりで呆れる。観光に来たお客様が大町に来て温泉郷や宿などからコンビニにも歩いて行けず、歩道もない。冬は雪で歩くスペースもない。土台をしっかりさせてそのあとだ。
大町	男	20～29歳	公務員	過去に行った国際芸術祭のようにお金を掛けても大したことはないものではなく、若年層の意見をもっと取り入れて観光を進めてほしい。
大町	男	60～69歳	家事専業	市の観光復興のために何を選べばいいかわからない。観光復興は誰にでも利益をもたらすのか。
平	男	30～39歳	観光業	他県や他の市町村をよく見て大町に来なければ手に入らないものや体験を考えて観光誘致をして欲しい。
大町	男	40～49歳	運輸・通信業	旧デリシアの空き店舗にビジターセンターを開設してはどうか、特産物の販売、イベントの拠点として。
大町	女	20～29歳	学生・無職	ねぶた祭りのように1つでも有名な行事を作成する。
平	女	70歳以上	家事専業	大町を印象付ける目玉がない。
大町	女	40～49歳	その他の職業	今ある魅力を見つめ直して欲しい。
美麻	男	60～69歳	家事専業	当の本人が本気になってやる。
平	男	60～69歳	学生・無職	サイクルロードの整備。
大町	男	50～59歳	建設業	レジャー、観光、温泉の統合した一つのまち作り。
常盤	女	70歳以上	家事専業	松糸道路開通を見越して計画を立てること。
常盤	男	70歳以上	農林水産業	将来の総人口増のため、体験型修学旅行の誘致に力を入れる。
大町	女	70歳以上	学生・無職	コマーシャルで大町の美しい景気（アルプスを含め）を取り入れた映像を作り、放映したらいいと思う。
平	男	50～59歳	その他のサービス業	観光資源は沢山あるが利用されていない。外国人を受け入れられる体制づくり、英、中国語表記、対応。キャッシュレスの促進。
大町	男	70歳以上	その他の職業	1～12までの全てに力を入れてほしい。
常盤	女	70歳以上	学生・無職	観光は水ものであてにならない。
社	男	60～69歳	商業(卸小売業・飲食業)	良い温泉があるので安く入りたい。
平	女	70歳以上	—	若一王子の子どもヤブサメを全国的に知ってもらうようにする。
大町	男	40～49歳	商業(卸小売業・飲食業)	トライアスロンとかもできるので活用していく。
社	男	40～49歳	その他のサービス業	観光施設の整備、充実化。
常盤	男	60～69歳	建設業	たった一度の旅行でまた大町市に訪れたいと思ってくれるのだろうか。一通り見て回ったら2度目はない施設に投資は必要ないと思う。季節をかけてまた来たくところへ投資してほしい。白馬や安曇野などと周遊するルートは必須。
大町	男	70歳以上	その他の職業	大町になる数百年前から神社仏閣に対して観光面から何の施策もしてこなかった。原因は人材・財源不足。優秀な人材を登用し、一刻も早く施策を考え実行すべき。
大町	女	70歳以上	家事専業	以前友人が駅の観光案内所で間違った案内をされたことがある(その案内所は市直営ではなかったらしいが)。仕事に熱心で常に新しい情報を仕入れ、親切に対応できる人を配置してほしいと思う。
平	男	70歳以上	その他の職業	サイクリングコースやトレッキングコース、山岳を利用した観光の推進。
常盤	男	40～49歳	その他のサービス業	山岳関係者の理論に頼りすぎではないか。もっと北アルプスを活用すべき。

大町	男	70歳以上	学生・無職	資源があるのに活用されていない。
常盤	女	50～59歳	その他の職業	地域の魅力をよく知るガイドの育成でさらなる発信を。
常盤	女	60～69歳	その他のサービス業	池田、松川のように目玉となる観光施設を作ってほしい。小さい直売所を統一して駐車場完備の道の駅を作るのはどうか。
常盤	女	70歳以上	家事専業	小布施のような、ある一角の場所でいいからあのようなまちが作れたらと思う。
常盤	女	50～59歳	家事専業	大北地域での連携。白馬～大町の観光ルート。
八坂	男	60～69歳	その他の職業	黒部ダムに依存しない国際芸術祭などを通じた地域住民と交流ができる観光の仕組み作り。
社	女	60～69歳	学生・無職	農業と体験学習を一体にし、宿泊施設等を完備し、農業従事者を育成する。
大町	男	30～39歳	工業（製造業）	グランピング施設や登山者向けの宿泊施設（登山用品のレンタル、高速バスの停留、登山口への送迎）。
大町	男	40～49歳	その他のサービス業	松糸道路の整備や観光客が来やすい場所にする事。

問 13 大町市の今後の工業のあり方について、あなたのお考えをお尋ねします。あなたは、市の工業振興のためには何に力を入れていけばよいと思われますか。あなたのお考えに最も近いものを次の中から1つ選んで、その（ ）に○を記入してください。

／4（ ）その他（具体的にお書きください）

大町	男	70歳以上	—	若い人が就職でき、採用数の多い企業を誘致する。今の大町市は活気がない。働く場所がないから人口が流出している。
大町	女	50～59歳	その他の職業	工場だけでなく、商業施設等も誘致して欲しい。
平	男	50～59歳	工業（製造業）	交通の便が悪い大町では通常の企業の誘致は困難。ICT環境を整備して、規模は小さくても働き場所にとらわれないIT企業の誘致を目指すべき。
大町	男	40～49歳	その他のサービス業	農業をベースにしなが、社会人、企業人として生活できるように、若いも若きも人間教育を行う（リカレント教育）。
大町	女	60～69歳	学生・無職	早く高速道路並みの（松糸道路）道路がないと、企業は来ないと思う。
大町	男	70歳以上	観光業	企業誘致は遅きに失した。景観や大町独自の水と温泉を生かした、ほっとする空間とそこにマッチした商業地域をつくる。
常盤	女	60～69歳	家事専業	企業バランスを考え、経済基盤を強化する。
大町	男	20～29歳	その他のサービス業	サントリーの工場ができるのは、素晴らしい。
常盤	男	30～39歳	建設業	高速道路整備をし、アクセス等しやすい環境づくりが必要。
社	女	70歳以上	学生・無職	高速道路網から取り残され、陸の孤島となっている。いい景色を見ながら、IT企業等や研究所の誘致。大町市の企業は何をつくっているのか、駅・バス停近辺に紹介スペースがあると良い。
大町	男	30～39歳	その他の職業	働く人々が、衣食住と娯楽に対してどのように感じているかに向き合うべき。工場ありきではなく、働く人々ベースで。過度の誘致は不要。
平	女	40～49歳	その他のサービス業	白馬村には、アウトドアブランドが複数出店している。大町の水の良さ（ウォーターアクティビティ）をアピールできるような企業に、出店してもらおうと良い。

大町	女	60～69歳	—	工場を誘致しても、社員採用が少ないので良くない。
常盤	女	70歳以上	家事専業	西山地区には、いくつかの企業・国営公園がある。ぜひ市内の若者を採用するように働きかけてほしい。
常盤	男	30～39歳	学生・無職	経営者に教育を望む。
大町	男	60～69歳	建設業	輸送コストが低く付加価値の高い企業・地元雇用が多い企業の誘致。
平	男	60～69歳	その他の職業	旧アップルランド・北高等学校跡地・その他広く草だらけの空き地が市内に沢山ある。一等地を、いつまでそのままにするのか。有効利用を考えてほしい。
社	女	70歳以上	農林水産業	交通網の整備によりアクセスを良くすると、企業も自然と集まるのではないか。
大町	男	70歳以上	その他の職業	大きな場の誘致は現代において、コロナ禍でテレワークという現象が発生した。これから働き方自体が変わることが明らかになった。こういう現象が大町という地域が適しているという事をアピールするべき。
平	女	30～39歳	家事専業	工業での成長は長期的に見て限界がある。現状維持かゆるやかに縮小。自然資源を活用するのであれば製材所はあるといいと思う。
平	女	50～59歳	家事専業	同時に色々やって何一つ成し遂げられないよりもまず、工業は現状のまま、観光のまちなら、まずそれを。
大町	女	70歳以上	家事専業	若者に働く場所が欲しい。
大町	男	60～69歳	家事専業	専門性の高い工業分野に従事する人の育成。
大町	男	70歳以上	家事専業	物より情報を扱う仕事を確保するIT中心。その場合工業用地は必要なく周囲の24Hの生活環境の提供が重要。スポーツ、散歩、飲食、娯楽。
大町	女	60～69歳	家事専業	コロナ禍で現状維持が精一杯の中、しばらくは様子を見た方がいいと思う。
美麻	女	60～69歳	公務員	工業、企業誘致を進めるには、高速道路等の整備ができないとなかなか厳しいのではと思います。
美麻	男	60～69歳	家事専業	「地元の人が起業する」、そんな若者を育てる人が大切。
大町	男	50～59歳	建設業	新しい商業・観光・温泉のまち作り。
平	女	60～69歳	家事専業	市内の企業、一つ一つを細かく紹介、表示し、HPを作り、市外企業との連携を出来やすくする。全国的に展開する。
常盤	男	30～39歳	商業（卸小売業・飲食業）	水資源は無尽蔵ではない。特に発電用水利権には特に注意が必要。東京電力と協議してより効率的な発電機と交換し、少ない流量でも同程度の発電が行える様にする。
常盤	女	70歳以上	家事専業	公害の出ないようにしてほしい。
八坂	女	70歳以上	学生・無職	外へ出ないので何かわからない。
大町	男	70歳以上	学生・無職	広い業種での企業誘致を進め、特色の有る大町ならではの産業進出をお願いしたい。
大町	男	70歳以上	その他の職業	高速道路を1日も早く作って、工業都市と手を結び、企業誘致をしてほしい。
常盤	女	70歳以上	家事専業	企業による環境悪化、工場排水、空気の汚染、風景の破壊が見られるので防いでほしい。また若者の雇用を計ってほしい。
大町	男	60～69歳	その他のサービス業	地場産業の育成。
大町	女	60～69歳	その他の職業	若者達が生活できる収入、子どもを育てて成人するまでのルートが見えるようにしてほしい。
常盤	男	60～69歳	建設業	企業誘致しても市外の大手ゼネコンが工事を受注したのでは本末転倒。今ある企業の底上げをして、振興のために誘致を進める方向へ。
大町	男	70歳以上	その他の職業	市が努力して企業誘致等の施策を推進してきたが、高速交通網が走っていないので無理があり、立ち遅れてしまった。
大町	女	70歳以上	家事専業	駅に近い空き店舗を改装し、IT企業を誘致する。同時に徒歩か自転車で通勤可能な地域に公営住宅を作る（現フレスポ大町の西側など）。住宅は狭くても庭付きにする（庭のない住宅では都会と変わらない）。

大町	男	30～39 歳	建設業	企業誘致を進め、その企業に勤める家族ごと移住できるようにさせる。その際、移住家族には住宅の斡旋や補助金など手当を厚くして移住してくれるようにする。これにより人口増、商店街発展につながるのではないか。
大町	男	70 歳以上	その他のサービス業	大町の持つ資源を活かした企業、起業を育成する。
美麻	男	40～49 歳	その他のサービス業	環境に配慮する企業のみ誘致を推進する(環境に配慮しない企業には今後融資は降りなくなるから)。
八坂	男	60～69 歳	その他の職業	若者が働ける企業の誘致により、地区外への流出を防ぐ。
八坂	女	50～59 歳	その他のサービス業	自然環境を活かした新時代の工業の育成。その一方で自然環境を保護するための条例も必要ではないか。何らかの歯止めの条例があったらいいと思う。

問 14 大町市の今後の農業のあり方について、あなたのお考えをお尋ねします。非農家の人も消費者の立場でお答えください。将来の農業についてどのようにお考えですか。あなたのお考えに近いものを次の中から3つ選んで、その()に○を記入してください。

／13 () その他 (具体的にお書きください)

社	女	60～69 歳	工業(製造業)	米を作っているが、私達ができなくなったら終わりと考えている。
平	女	30～39 歳	農林水産業	有機、無農薬とよく聞くが、きちんと定義を知らずに言っている人が多い。日本の定義はEU諸国のそれとは全くクオリティが違い、外国人に同じものとして勧められない。大町市というブランド化のような事ができなければ、収入をみんなが確保するのは難しい。
常盤	男	60～69 歳	公務員	小規模でも協同化し、みんなで助け合って農業が続けられるようにしてほしい。また少量の農産物でも販売できるような場を作ってほしい。
常盤	女	40～49 歳	—	農協の高コスト体質から抜け出す。コスト圧縮により流通後の売価も下げられる。戦える農業をつくる。ホームセンター等の流通ノウハウを取り入れる。
大町	男	70 歳以上	学生・無職	水、ワイン、イワナ、くだものなどを楽しめる観光企画。
大町	男	70 歳以上	—	年々高齢化し、営農できない農家が増加すると思う。都会には農業を希望する人がいると思うので、募集して農業体験ツアーを企画する。
大町	男	40～49 歳	その他のサービス業	できる人は自給自足のレベルを目指す。高齢者で農作業のできない人は土地を他者に貸し、オール大町としてアメリカ並みの大規模農業化を行う。
社	男	70 歳以上	農林水産業	中規模経営を拡大し、個人で農業を出来るようにする。
社	女	70 歳以上	工業(製造業)	どのような仕事をして、仕事となれば大変。時代の流れは移り変わり、高齢になり初めて考えさせられた。米作り 58 年、我が家の機械も古く、止まれば動かない。健康第一を考え、動けるうちは頑張って働く。
大町	女	20～29 歳	その他のサービス業	自然をいかして何かできないか。
八坂	男	60～69 歳	その他の職業	直売所の充実。
平	男	70 歳以上	観光業	現在の農業を行って、生計を立てる・収入を得ることは非常に難しい。
常盤	女	60～69 歳	家事専業	IT化時代への対応、今から将来化を見据えて、研修(人材育成)・試行・整備をする。

大町	女	60～69 歳	家事専業	農業に携わる人の高齢化が特に問題、後継ぎもいない。
常盤	男	30～39 歳	建設業	大町の気候、風土に合った農産物のブランド化。
美麻	男	40～49 歳	工業（製造業）	有機農業への転換を、もっと積極的に進めてほしい。
大町	男	30～39 歳	その他の職業	富裕層向けに農業ごっこをしてもらい、遠隔で農業をしてもらう。ブランド・娯楽としての農業戦略が必要。過度の優遇は路線変更に向かないため、行うべきではない。
平	女	40～49 歳	その他のサービス業	移住者は自給自足など、家と共に農地を購入したい人が多くいるが、実際には購入時に様々なハードルがある。もっとハードルを下げて、「自給自足ができる大町」「有機農の町」として PR する事で、農地の活用はできないものか。
常盤	男	30～39 歳	学生・無職	困っている人が困らないようにする程度で充分。
常盤	男	40～49 歳	その他の職業	後継者もないのに、どうしたら良いのか。
社	女	70 歳以上	農林水産業	花でも果実でも、人を呼ぶことで農家にも環境客にも利点があるのではないか。
美麻	男	70 歳以上	農林水産業	動物（サル・イノシシ・シカ・クマ・タヌキ・ハクビシン・カラス・ヒヨドリ他）が大量に出没し、農業ができない。
常盤	女	40～49 歳	その他の職業	ネット販売の手続き・指南があると、農家の方も売りやすいのではないか。
八坂	女	50～59 歳	農林水産業	サル・イノシシ・シカの対策をしてほしい。このままでは、農業ができなくなるし、若い世代もやらなくなる。市として、農業でも加工品でも新しくやりたい人達に協力・サポートしてほしい。
大町	男	70 歳以上	その他の職業	高齢化が進み、農業をやること自体厳しい中、農業を請け負う業者の誘致か、育成を進めることが義務。自然に頼るばかりではなく、企業に委ねるのにも必要。
大町	女	70 歳以上	家事専業	何をしても若い人たちが県外へ。どこの家庭も年寄りばかり。
平	女	30～39 歳	家事専業	コロナの中、自給率を下げないよう農業復興は必須。農家には頑張ってもらいたい。農家個人の努力だけでなく農家が安定して暮らしていけるような仕組みが大切。
平	女	50～59 歳	家事専業	有機・オーガニックに力を入れ市民が大町のオーガニックな野菜や果物、コメ、麦を食べて健康ですとアピールしてそれを観光に繋げる。
大町	女	60～69 歳	家事専業	東京では長野の農産物をあまり目にすることがなく、こちらに来て米、野菜、フルーツなど美味しく、もっとアピールなど流通させたほうがいいと思う。
大町	女	70 歳以上	家事専業	都会の方に大町の取れたた野菜を送ってあげるなど。
平	男	30～39 歳	観光業	農業に可能性があると思う。
大町	男	40～49 歳	運輸・通信業	継続的な農営をする方も減り、荒廃農地も多数見られます。農道や水路整備はかなりの計画性を持って行って欲しい。
大町	男	60～69 歳	公務員	休耕地、休田が目立つ。春など水を張ってそこに映る北アルプスとはとてもきれいだ。休耕地をまとめて会社組織のようにし、安定した農業ができる仲間を共に●していける。高齢化しているし農業●になっているので教えてほしい。
平	女	70 歳以上	家事専業	道の駅がない。道の駅で特産物販売して知名度を上げる。大町を印象付ける特色のある道の駅を。
大町	女	70 歳以上	その他のサービス業	休耕地など沢山の荒れ地が気になる。高齢化が進み後継者がいない。米の値段が安いなど重なった理由からではないか。地主に代わって農業ができる方をお願いできると嬉しい。
平	女	50～59 歳	観光業	クマ、サルを退治してくれないのなら農業縮小かもしれない。電気柵を付けても壊されてしまう。
大町	男	70 歳以上	学生・無職	農業の担い手がいない。
大町	女	40～49 歳	その他の職業	暮らしに根ざした農ある地域。

大町	女	40～49歳	その他のサービス業	地産地消、その土地で作られた安全なものが食べたい。海外のマルシェのようなものも。スローフードで良いと思う。
平	男	70歳以上	その他の職業	米作りの場合、個人でやっている人は機械が壊れたら新たに購入してまで米作りをやろうとは思わないので機械の格安リースを検討してほしい。
大町	男	60～69歳	その他のサービス業	農業をやる若い人が減るので、宅地化が望ましい。
大町	男	50～59歳	その他のサービス業	余計な所に金を使わず、今、生まれてくる方への支援、発展、販売、良いものを作れば売れると思う。
美麻	男	60～69歳	家事専業	ぶどうや気候の変化で生産する物を変えていく。
平	男	50～59歳	建設業	農業の直販ルートの開拓支援やIT活用支援。
常盤	男	30～39歳	商業（卸小売業・飲食業）	特に一次劣化品の販路拡大を真剣に考えてほしい。
大町	男	70歳以上	学生・無職	大町の土地に適した農作物を選定して売り出してほしい。
常盤	男	60～69歳	学生・無職	美麻二重地の農地を県で改地したが無駄だと思う。
平	男	50～59歳	その他のサービス業	兼業農家でも生計が成り立つよう就労場所も含めて考えて頂きたい。
大町	男	70歳以上	その他の職業	他所にないものを、農協を中心に開発するように市も補助をして、商品化するには研究し磨きをかけ、全国に宣伝しなくてはならない。
常盤	女	70歳以上	学生・無職	既に衰退産業だ。
大町	男	60～69歳	農林水産業	猿、鹿、猪などの被害対策を強力に進めてほしい。被害がひどくて家庭菜園などについてやる気を失う。
大町	男	30～39歳	公務員	「大町といえば〇〇」といった農産物（日本では珍しい農産物で気候や風土にあったもの）を開拓する。
常盤	女	50～59歳	農林水産業	後継者たちが小中規模の農家でも離農せず、農地を守ろうとする意欲が出る程度の農業所得を考えてほしい。現在の法人も認定農業者も将来的には後継者不足になり、土地が放置されてしまうと思う。
平	男	40～49歳	その他の職業	独自販売ルート拡充の支援。
大町	男	60～69歳	学生・無職	大町市民に呼びかけ、地産地消の協力をお願いする。
大町	一	20～29歳	その他のサービス業	農家が一生懸命でも、それを発信して手伝う市がない限り高齢化でできなくなるし、魅力がない。
常盤	男	60～69歳	建設業	波田のスイカ・安曇野の玉ねぎのように大町の気候・風土に合う作物を発掘し、ブランド化。戦略的に売れる農業・儲かる農業を推進してほしい。有機などは生産者の苦勞の割に収入につながりにくい。
大町	男	70歳以上	その他のサービス業	特産品の研究開発。
平	男	70歳以上	その他の職業	自分もあと2～3年で農業を辞めるが、田畑を荒廢地にしたくない。若者が生活できるような農業の在り方を考えてほしい。
常盤	男	40～49歳	その他のサービス業	「業」として振興させるには大規模化が必須ではないか。
社	男	40～49歳	工業（製造業）	農産物に付加価値を与え、県外（国外）に販売を広げる。

常盤	女	60～69 歳	その他のサービス業	大町の農業はお米とりんご。今の従事者は高齢者ばかりで亡くなったら、現在の景観もなくなるのではないかと心配。若い従事者の育成が大切。
八坂	男	50～59 歳	建設業	大規模消費会社（セブンイレブン等）との提携など営業力の強化。
大町	男	50～59 歳	公務員	農作物のブランド化。
平	男	50～59 歳	建設業	大町特産物を売る。道の駅を作る。
八坂	男	60～69 歳	その他の職業	農業後継者の確保と育成が急務。
常盤	男	70 歳以上	農林水産業	小規模農家の振興を図る。
大町	男	40～49 歳	その他のサービス業	大町市の特産物を考える。品種改良などを行った大町ならではの農産物があればいい。

問 15 市では、林業の経営安定や林業後継者の確保のため、森林の持つ公益性、多面的機能が発揮できるよう、長期的・広域的な展望に立った森林整備や、間伐等への支援を行っていますが、適正な森林施業が推進されていると思われませんか。次の中から1つ選んで、その（ ）に○を記入してください。

／6（ ）その他（具体的にお書きください）

常盤	女	20～29 歳	その他の職業	実際にどのような支援を行ってきたのかが分からない為、推進されているのか不明。
常盤	男	40～49 歳	農林水産業	樹木も大きくなり手遅れだったりするので、間伐するよりも皆伐して植えていく方が良いと思う。
大町	男	70 歳以上	—	そもそも林業について市民は関心がないのでは。山に囲まれた所に住んでいて、私自身も話題にしたことがない。
大町	女	70 歳以上	家事専業	先祖伝来の森林で固定資産税を支払うだけで首をしめられている。市で買取り整備してもらえないものか。
大町	女	60～69 歳	家事専業	クマが出るのが怖い。サルもシカも増えた。
美麻	男	40～49 歳	工業（製造業）	日照問題の解消、保水能力保持のための間伐・伐った木材の地域内での利活用を積極的に進めてほしい。
平	男	60～69 歳	その他の職業	材木の利用度がゼロ、山林へ投資する考えがないと思う。
社	女	70 歳以上	農林水産業	間伐等あちらこちらで行われているが、数年するとまた雑木などに覆われているのを目にするがどうなのか。
美麻	男	70 歳以上	農林水産業	林産物加工と工場の建設。
平	女	30～39 歳	家事専業	事業者レベルでは食べていけても所有者レベルは食べていくことは困難。炭素固定や水源涵養の面からも森林の価値がもっと評価されるべき。
平	女	50～59 歳	家事専業	何のために川沿いの木をほとんど切ってしまったのか。切った木はどうなったのか。
大町	男	40～49 歳	運輸・通信業	間伐作業の仮設道で山の環境が悪くなった印象を受ける。復旧するなどして欲しい。
大町	男	50～59 歳	工業（製造業）	もっと市街地の道路わきの間伐をした方がいい。
大町	男	60～69 歳	公務員	獣と人との境が無くなり、どんどん里へ入り込むのでしっかり対策すべき。
大町	女	40～49 歳	その他の職業	安全な暮らしを守るために森林の整備をして欲しい。

大町	男	50～59 歳	その他のサービス業	景観や目に映るものは重要だが予算がない。扇沢への路線や河川敷が汚い。
美麻	男	60～69 歳	家事専業	若者の仕事に対する報酬を増やしてあげる。
常盤	男	30～39 歳	商業(卸小売業・飲食業)	中間間伐材の燃料利用はできなのか。赤松など通常、薪に利用できない木でも燃やせるようなボイラーを温泉郷に設置してほしい。
常盤	女	70 歳以上	家事専業	通行する道路から見える場所はきれいになっている所が見うけられるが、山の中はどうなっているか。植林した木材が後に利用出来るのか(外伐などの為) 野生動物との共存の為にしてはいることはあるのか。
大町	男	70 歳以上	学生・無職	山岳地大町では規模が大きく、私有地、国有地とさまざま。市の力だけでは不足と考える。県と国を巻き込んだ森林施業が望ましいと思う。
常盤	女	70 歳以上	学生・無職	既に産業として成立していない。
平	男	50～59 歳	農林水産業	適正に森林を管理するため、現状の把握と民有林の意見集約を行う。
大町	女	70 歳以上	学生・無職	森林整備されているところは見たことがない。
平	男	70 歳以上	その他の職業	森林整備の予算があれば良いが、それよりも道路に出ている木や道路横何メートルかを伐採してほしい。
常盤	女	60～69 歳	その他の職業	松くい虫の被害を止めてほしい。
常盤	男	50～59 歳	その他の職業	推進されるように希望する。
平	男	20～29 歳	その他の職業	森林整備といいながら集約した山林を伐採し、安価でしか売れないことの穴埋めに税金が補填されているように思う。治山事業に力を入れることが最も効果的。
八坂	男	60～69 歳	その他の職業	一部の地区では進んでいるように見えるが手のついていない地区もある。
八坂	女	50～59 歳	その他のサービス業	森林整備のためなのか木を伐採するとサルが住宅へ出てくるようになった。害獣対策を踏まえた計画的な整備を望む。
平	男	30～39 歳	観光業	もっと推進されるべき。
八坂	女	50～59 歳	その他のサービス業	市で行っている林業政策が一般市民からみて何を目標しているのかわからない。

問 16 大町市では、平成 28 年 4 月に「信濃大町ブランド戦略」を策定し、信濃大町のまちのイメージ向上を図ることを目的に、信濃大町の魅力を磨き、ブランド化への取り組みを推進しています。

【 1 】 信濃大町のイメージ向上は進んでいると思いますか。

／6 () その他(具体的にお書きください)

常盤	女	40～49 歳	—	進んでいない。ブランドをつくる以前に大町市としての土台作りができていない。環境整備(中心地への誘致)が急務。
大町	男	70 歳以上	—	行政は取り組んでいても市民の間に浸透していないと思う。
大町	女	70 歳以上	家事専業	何をもちいてブランド化というのか分からない。まず市民の意識改革が必要と思う。
大町	男	40～49 歳	その他のサービス業	成長のためには知識と体験、つまり教育が必要だと思う。少し時間がかかっても教育を粘り強く行っていく。
大町	男	—	その他の職業	信濃大町市としたら、大町を離れて暮らしている人は喜ぶと思う。

大町	女	20～29 歳	工業（製造業）	どのような取り組みがされているか知らない。
大町	男	20～29 歳	その他のサービス業	イメージ向上のために、銅像等をつくっているのなら無駄。税金を適正に使ってほしい。
社	女	70 歳以上	学生・無職	何をやっているのかわからない、知らない。PR 不足。
美麻	男	40～49 歳	工業（製造業）	戦略内容を知らない。
大町	女	50～59 歳	商業（卸小売業・飲食業）	取り組んでいることを知らなかったため、よくわからない。
大町	男	30～39 歳	その他の職業	市民がわからなければ、外部の人にはもっとわからない。
八坂	女	50～59 歳	農林水産業	イメージだけ進んでも、中味はどうなのか。
大町	女	70 歳以上	家事専業	黒部ダムができたが大町へは帰らず富山のほうに行くと言った。
平	女	30～39 歳	家事専業	初めて聞いたレベルだし市自体が魅力を把握しているのか疑問。北アルプスのまちとか要点を絞って PR しないと見る側からは何が言いたいのかぼやけて伝わらない。仮に HP とかで PR してもわざわざ見に行かないし、情報は取りに来てもらえるものではなく届けるものなのでは。
平	女	50～59 歳	家事専業	どんなことが行われてきたか知らない。
大町	女	60～69 歳	家事専業	来る前は大町のことを知らず、いまだに関東の人は山好きな人以外分らないと思う。
大町	女	70 歳以上	家事専業	10 年先を見据えて頑張ってもらいたい。
平	男	30～39 歳	観光業	徐々に進んでいると思うがまだ足りていないと思う。隣の白馬村の知名度やブランド力からするとまだ弱い気がする。
大町	男	70 歳以上	家事専業	ブランドとは何か、について勉強して欲しい。明確に説明出来る人はいるか。
大町	男	60～69 歳	公務員	住民自体が関心、興味がなく知らないのも無理だと思う。
常盤	男	50～59 歳	公務員	市民が策定内容を理解していない。
美麻	男	60～69 歳	家事専業	大町市駅前の店がシャッターでしまっているのでイメージアップにはならない。
平	女	60～69 歳	家事専業	イメージばかり進めていても、中身を充実させなければ、イメージダウンに繋がり恥ずかしいです。
大町	男	60～69 歳	学生・無職	必要なし。
大町	女	40～49 歳	運輸・通信業	知らなかった。もっと発信されているべき。
大町	女	60～69 歳	学生・無職	具体的にどのような事をしているのかわからない。
美麻	女	70 歳以上	家事専業	ブランド戦略そのものがよく分からないので答えられない。
常盤	男	60～69 歳	建設業	そもそも「信濃大町のまちのイメージ」とは何か。向上を図るには漠然としていて分からない。目標としている理想像、ブランド化したい魅力を念頭において、そこに邁進しなければ戦略とはいえないのではないだろうか。
大町	女	40～49 歳	家事専業	ブランド化してほしくない。
常盤	男	50～59 歳	その他の職業	このアンケートで知った。何をやっているのか。
常盤	男	30～39 歳	工業（製造業）	そんな戦略を知らなかった。
大町	男	50～59 歳	公務員	大町といたら「これ」というものがほしい。
社	男	50～59 歳	建設業	「大町市」「信濃大町」のブランド力よりも「Hakuba Valley」「北アルプス」を推進する方が良い。

大町	男	40～49 歳	その他のサービス業	県外から移住したが、白馬村は知っているが大町市は知らなかった。周りも誰も知らないと思う。
社	男	60～69 歳	農林水産業	戦略内容を承知していない。
大町	男	40～49 歳	その他のサービス業	ブランド戦略の効果は発揮出来ているのかの実感が無い。
八坂	女	50～59 歳	その他のサービス業	おおまびょん以外は分からない。

【 2 】信濃大町ブランド戦略の統一的な発信のため、信濃大町ブランドキャッチフレーズ及びロゴマークを制定していますが、ご存知ですか。次の中から1つ選んで、その（ ）に○を記入してください。

／4（ ）その他（具体的にお書きください）

大町	女	70 歳以上	家事専業	もっと宣伝した方がいい。
常盤	男	40～49 歳	農林水産業	白馬の隣というフレーズを入れると面白いし分かりやすい。
常盤	女	60～69 歳	家事専業	ロゴマークの水玉が大きすぎる気がする。
平	男	30～39 歳	観光業	見たことはあるが、あまり印象に残らない。水が生まれるというフレーズは、ん？となってしまう。
大町	男	70 歳以上	家事専業	大町ブランド戦略であるべきものがなぜ説明もなく信濃大町という駅名がブランドになるのか。ゼロから作り直した方がいい。
大町	男	70 歳以上	学生・無職	何をしようとしているのか不明。
大町	男	70 歳以上	その他のサービス業	もっと、周知徹底をお願いしたい。インバウンド用に英語や中国語、韓国語くらいでのマーク制作も可能であれば念頭に入れて頂きたい。
常盤	男	30～39 歳	商業（卸小売業・飲食業）	水は無尽蔵ではない。
大町	男	70 歳以上	学生・無職	信濃大町ブランドがあるのかがわかりづらい。ブランド戦略もわからないし、もう少し市民全体にわかるようにお願いしたい。
大町	男	70 歳以上	その他の職業	見たことはあるが中身は知らない。
大町	男	40～49 歳	商業（卸小売業・飲食業）	白馬村が1つのブランドとして成功している。大町市には素晴らしい資源があるのにブランド化ができていない。その点では失敗しているのではないか。
常盤	男	50～59 歳	その他の職業	今まで何をやったのか。市税の無駄遣いはやめてほしい。
常盤	女	60～69 歳	その他のサービス業	せっかくおおまびょんが定着してきたので一つに絞った方が良い。
八坂	男	50～59 歳	建設業	制定したことに満足して発信や活用ができていない。

問 17 高齢化社会において、住みなれた地域で、健康で安心して安全に暮らすには、社会福祉法人等の育成や支援、ボランティア活動の育成など、公的なサービス以外に、地域特性やニーズに対応した地域福祉が必要です。地域福祉は、お互いが地域で支え合い、助け合うという意識が大切ですが、市民意識は高まっていると思われますか。次の中から1つ選んで、その（ ）に○を記入してください。

／6（ ）その他（具体的にお書きください）

常盤	女	40～49歳	—	人口ピラミッドが逆三角形の状況で現在のニーズに対応した公共事業は手遅れ。20～50年先を見据えた対策が必要。
大町	女	70歳以上	家事専業	一人暮らしの高齢者が倒れていたり、亡くなっていたりすることがあると思うが、民生委員さんがどこまで介入してよいかは、問題になると思う。
平	男	50～59歳	工業（製造業）	自治会に加入しない人達が増えている。共助意識のない人達が増えているのでは。
社	女	60～69歳	建設業	介護士等、仕事として高齢者に接する人には手厚いが、地域となるとそうではない気がする。
大町	男	30～39歳	その他の職業	相互扶助ができる程、豊かではない。人がいない。市民意識改革よりも優先事項があり、それは行政が求めることではない。
常盤	男	30～39歳	学生・無職	他の人の意識など、分かってはくはない。
常盤	男	40～49歳	その他の職業	自治会に押し付けているだけだと思うので、不要。
大町	男	70歳以上	その他の職業	全てクリアしていると思う。
平	女	50～59歳	家事専業	他県のニュースなど見てうらやましく思うことは沢山あるけど。
大町	男	70歳以上	その他のサービス業	市内には多くの民間福祉施設があり、公共福祉施設も充実しているので施設間の連携も密に発展をお願いしたい。
常盤	女	70歳以上	家事専業	地域包括支援センターの設置により活発に活動しているが、住民がそれにどれだけ関心を持って参加しているかによって地域ごとに活発、不活発なところが出てくる。声掛けの出来る地域はそれなりに助け合いは広まっていると感じる。
大町	女	60～69歳	その他の職業	あまりにもボランティアに頼りすぎに見える。年齢層が高く、一挙に不足を招くと思うので、今のうちに対策をしないと途切れてしまう。
常盤	男	40～49歳	その他のサービス業	高齢者より子どもの育成に力を入れるべき。
社	女	30～39歳	その他の職業	支え合いが出来ている町だと思っていたが、コロナ後、支え合いができない町であることがわかり残念。
八坂	女	50～59歳	その他のサービス業	高齢世帯の割合が多く、元気な人は男女とも勤めに出ていると思うし、在宅の人は自分の家族の介護や育児をしている人が多いと思う。

問 18 高齢化社会に対応し安心して住めるまちづくりを進めるためには、何に力を入れて取り組む必要があるとお考えですか。あなたが必要と思われることを次の中から3つ選んで、その（ ）に○を記入してください。

／13（ ）その他（具体的にお書きください）

大町	男	70歳以上	学生・無職	自治会に入っていない人も、同じに見守ってほしい。
----	---	-------	-------	--------------------------

常盤	女	60～69歳	その他のサービス業	出来る事なら、在宅で過ごしたいと思っている方が多いと思う。施設は嫌。
大町	男	—	その他の職業	市立病院は、各科があちこちにバラバラで大変。一棟に集中して診察室を並べ、後ろでスタッフが自由に行き来できるようにしたり、番号札で電子掲示板を使用したりすればバタバタしないが良いのでは。千曲中央病院を参考にしてみしてほしい。
大町	女	60～69歳	家事専業	高齢者や介護をしている人が、困った時に気軽に相談できる場所があるとよい。
社	女	60～69歳	建設業	全般的に必要。
大町	男	30～39歳	その他の職業	施設単位ではなく、働く人々に焦点を当てるべき。何年までにどれくらいの人数が必要か、計算してほしい。場所は、再利用などで市税を節約してほしい。
常盤	女	70歳以上	家事専業	認知症の100歳の義母を先日看取ったが、家での介護には限界がある。できるだけ多くの人に、老人ホームの入所を望む。
常盤	男	30～39歳	学生・無職	「理想の最期」について、積極的に考えられる意識づくり。
常盤	男	40～49歳	その他の職業	市立病院には、何も期待できない。
大町	男	70歳以上	学生・無職	国民年金生活者が安心して入れる施設の整備が必要。費用がなく、入りたくても入れない。
大町	女	40～49歳	その他のサービス業	高齢者福祉センターを新設するのではなく、小中学校の統合により空いた建物を使ったらどうか。子どもは減少し、高齢者は増加している。
大町	男	70歳以上	その他の職業	全てクリアしていると思う。
大町	女	50～59歳	観光業	コロナで自粛中、お年寄りや体の不自由な人にもっと声をかけるべき。美麻ではラジオ体操をして頑張っていたのに大町市内は何も活動してくれなかったのか。
平	女	50～59歳	家事専業	在宅での看取りが出来るように県外では進んでいる。そういったことが大町では聞いたことがないのが残念。
美麻	男	60～69歳	家事専業	お金を出せば高齢者を支援してくれる事業。
常盤	女	70歳以上	家事専業	いつまでも自宅で過ごしたい人の為に訪問ヘルパー、看護師、医師の確保。
大町	女	40～49歳	運輸・通信業	デイサービスに通うようになる前、今の団塊の世代くらいからの健康寿命をのばす方法について、考えてほしい。今のままではデイサービスもいっぱい寝たきりの老老介護者ばかりになってしまうと思う。
大町	女	70歳以上	家事専業	家族で介護サービスを受けています。市も相談所もデイサービスも様々な助けて頂きありがたいと思う。
平	男	50～59歳	その他のサービス業	施設充実の支援だけでなく、健康で年を重ねられるような支援を望む。
大町	男	30～39歳	公務員	高齢者が安心して暮らせる環境は大事だが、今後増え続ける高齢者を支える若者を支援する環境整備が長い目で見て大切かと思う。
美麻	女	50～59歳	その他の職業	高齢者にボランティアをというが、経験者で信頼関係がないと不安になるだけだ。物心ついた年齢になったら、身体的な介助ができるよう教育現場に福祉の授業を取り入れるべきだ。
大町	女	30～39歳	家事専業	福祉に関わる人達の仕事の待遇を良くして、高齢者も満足できる環境になればいい。

問 19 近年出生率が低下しています。この少子化傾向は将来に向け大きな問題です。市では、子どもを
 生み育てる環境づくりのための施策を検討しています。子育てに関する支援策として特に必要と
 思われる施策を次の中から3つ選んで、その（ ）に○を記入してください。

／13（ ）その他（具体的にお書きください）

大町	男	50～59歳	建設業	子どもを生む病院がない。
平	女	30～39歳	農林水産業	子どもを育てる環境が整っていないから出生率が下がっている訳ではないと思う。子供を生み育てる年代が少なかったり、そのような状況ではないから子どもが生まれないと思う。
平	女	50～59歳	その他のサービス業	親が働いている時、体調の悪いお子さんを見てくれる場所があると、もう少し親も社会に出やすいのでは。
常盤	男	60～69歳	公務員	学校統廃合は絶対にだめ。地域で暖かく子どもを育てていくことが少子化をくい止める大きな力となる。
常盤	女	40～49歳	—	世帯年収、特に子育て世代に目を向ける事が必要。理由が明確で誰でも理解できる。
大町	女	60～69歳	その他の職業	私の子ども二人は地元で能力を発揮できる職場がないため、他県で働いています。大町では高学歴の者ほど働く場所がない。
常盤	男	60～69歳	公務員	産科・小児科の充実～安心して子どもを産み育てることができるような環境づくり。
大町	女	60～69歳	学生・無職	契約社員やパートが多く、給料が少ない・結婚もできない・子どもも産めないため、人口が減るばかり。どうしようもない、政治が悪い。
大町	男	—	その他の職業	若い人が大町に住んでくれると良い。
常盤	女	60～69歳	家事専業	子どもへの教育が将来の大町市を支える礎。教育への理解と予算化等、あらゆる方面から対応してほしい。大町病院での病児への対応などはありがたい。
大町	女	60～69歳	家事専業	経済的支援。
大町	男	60～69歳	建設業	まずは、勤務先の確保。
社	女	60～69歳	建設業	確認していないが、高校までの授業料・給食費・医療の無料化。
大町	男	30～39歳	その他の職業	育児に特化した企業の招致、出産祝い等を積極的に行う。妊婦を雇用していた企業にも祝い金を出す。
平	女	40～49歳	その他のサービス業	出生率の低下は、やむを得ない。それよりも小中学校の改革を行い、魅力ある教育方針をもつ学校には多くの移住者が集まるというふうに、子連れ移住を促進させるほうが良い。
常盤	女	30～39歳	学生・無職	保健センターを、もっと気軽に行けるようにしてほしい。予約→担当手が空いていない→あおぞらに相談→折り返しTELとなり、あんなに大勢人がいるのにと疑問を感じる。
常盤	女	70歳以上	家事専業	教育に費用がかかりすぎる。大学卒業までの支援が必要。
常盤	男	30～39歳	学生・無職	子どもや親に特化して考えているようでは、何も始まらない。ここに住み続けたい、と多様な人に思ってもらえるような環境を、あらゆる面から整えていくことが肝心。
常盤	男	40～49歳	その他の職業	市立病院の産科の問題を取り上げないこと自体、責任放棄だと思う。
美麻	女	40～49歳	その他の職業	市立病院の産科継続のため、医師の確保。
社	女	70歳以上	農林水産業	選択肢 9.10 の内容の条件整備が整っているのにもかかわらず、実際は退職を迫られたり退職せざるを得なかったりして、子ども一人を育てるのが精いっぱい。何とかしてほしい。
大町	男	50～59歳	その他の職業	市立病院の出産施設の充実。

大町	女	40～49 歳	その他のサービス業	少子化傾向なのに、もっと子どもたち、子育てへの支援を充実してほしい。大町病院産婦人科がなくなったり、これからの若い人達は何が良くて大町に住みたいと感じるか。どんどん大町から去っていく時代になると思う。
常盤	女	30～39 歳	家事専業	上記以外全部。不妊治療に対する援助など。
大町	女	50～59 歳	観光業	子どもを預けやすいように工夫するべき。家で引きこもって子育てしている人は沢山いる。その SOS をもっと聞いて欲しい。
平	女	30～39 歳	家事専業	育児希望の家庭へのベーシックインカムを導入。
平	女	50～59 歳	家事専業	3歳まで親が育てることができる街なら素敵なまちだと思う。大町市は3歳まで子育てできるまちと言って欲しい。
八坂	女	60～69 歳	その他の職業	就職場所。
大町	男	20～29 歳	公務員	子どもを産んだ後に対する施策はあるが、実際子どもを産む前はそういう事を調べてから子供を作ろうとは思わない気がする。衣食住充実していれば子どもが欲しいとか、将来に対する不安が少なくなるし子どもも欲しいという気持ちが出ると思う。若年夫婦の住宅手当など充実して欲しい。
大町	男	40～49 歳	その他の職業	答えがない。生活安定がなければ子どもは産めない。バックアップが充実しても少子化は進んでいくと思う。
大町	男	60～69 歳	公務員	働く場所の充実、収入の安定。
大町	男	20～29 歳	工業(製造業)	大町病院の産婦人科の再開、子供医療費の無償化、出産前の母親の病院受診料の無償化または減額、出産祝い金の増額。
大町	女	60～69 歳	その他の職業	子どもが小さいときは母親が働けずに日々大変だと思うので、支援は必要だと思う。子どもが少ないから産んで、ではなく安心して子育てができることではないだろうか。若者が大町に対して魅力を産みだしてくれること、お金で全て解決せずにもう少し子育てというものをサポートして欲しい。
大町	女	20～29 歳	学生・無職	スウェーデンの子どもを産み育てる環境がとても整っているので参考にしたい。
大町	女	50～59 歳	観光業	地域に産婦人科が必要。近くの病院で出産できる、できないは若い方々には切実な問題。
大町	女	40～49 歳	その他の職業	幼児教育が学べる事。親子交流の場を増やす。(室内) お祝い金など。
常盤	男	50～59 歳	公務員	大町病院の産婦人科の開設。
美麻	男	60～69 歳	家事専業	子どもを産める若者世帯を起業なども含めて、70～80歳以上の人が支援する。
大町	男	50～59 歳	その他のサービス業	経済的な余裕、育児休暇の社会全体への浸透。育てながら働きやすい環境づくりをテーマに取り組んでほしい。
大町	男	40～49 歳	運輸・通信業	移住する人や老人に対する補助金を出して、他県の人、家族を大町に住んでもらう様にする。
常盤	女	70 歳以上	家事専業	若い人が住み続けられる環境(仕事)づくり。今の若い人は(私達の時代も含めて)自分が生活を大切に思っているので、子どもの事で仕事が出来ない事はノー(収入も)。環境として子どもを生んでほしいと言えない事。若い人の集まりで「将来は皆さんには子どもを生んでほしい」と言いたい市の幹部さんもおられる事でしょう。
八坂	女	70 歳以上	家事専業	八坂を愛し、住み続けたいためカップル誕生を積極的に押しすすめる。
大町	女	70 歳以上	家事専業	出産できる場所が一番必要だと思う。
大町	男	70 歳以上	学生・無職	なぜ、結婚しないのか、なぜ結婚できないのかをもう少し掘り下げて対象をしぼってアンケートを進めてほしい。
平	男	50～59 歳	その他のサービス業	2世代以上での生活者への支援があっても良いと思う。
大町	男	30～39 歳	公務員	大町病院で出産できなくなったことは、大町離れをより進めると思う。

平	女	70歳以上	学生・無職	働く場所がないから人口が減る。子育て支援は後回し。
美麻	男	50～59歳	観光業	出産できる医療体制を整備してほしい。
大町	男	40～49歳	商業(卸小売業・飲食業)	全てが理由になっていると思う。住んでみて良い条件なら人は集まる。大町病院に限り、大町市民の子どもは無償化すべき。子どものいる世帯には何か負担軽減できるようにすべきだ。
大町	女	50～59歳	公務員	企業・工場の誘致。
社	男	40～49歳	その他のサービス業	祖母祖父が孫の面倒を見られる環境作り。高齢者が子どもを預かる、子どもが家事を手伝うなど。
大町	男	70歳以上	その他の職業	子どもが生まれた家庭にまず100万円を支給する。0歳から小学校6年まで所得に応じて教育費の補助金1か月2万円以上を補助する。
社	男	70歳以上	工業(製造業)	出産から育児を一貫してできる体制・サービスが必要。
平	男	70歳以上	その他の職業	病院産科の再開。産科医への優遇等。
常盤	男	30～39歳	公務員	仕事がないと若者は定住しない。非正規雇用の拡大が結婚へのハードルを上げている。安定した職に就く安心感や自信が必要。企業誘致と正規雇用の拡大を望む。
平	女	30～39歳	その他の職業	子を望む人の不妊治療への助成金が少なすぎる。松本市や安曇野市の6分の1程度では足しにならない。
常盤	女	60～69歳	その他のサービス業	子育て支援の前に若者がいない。働く場所が無いからではないか。企業援助や魅力がある町なら留まるはずだ。近隣の町で家を買う人が多いと聞く。
常盤	女	70歳以上	家事専業	結婚したい気持ちのある人達がかもっと気楽に集まれる場所が多くあれば良いと思う。
美麻	男	40～49歳	その他のサービス業	大町病院の産科医の確保のため、産科医の給与を大幅に上げる。そのために大して何もしなくても給与の出るような病院内の役職を廃止する。
平	男	20～29歳	その他の職業	そもそも子どもを産む場所がない。
社	女	30～39歳	その他の職業	小さい子どもが雨の日でも遊べる室内施設が欲しい。
大町	男	30～39歳	工業(製造業)	同性カップルでも子どもを育てられるようにパートナーシップ制度を設けたり、市民へのPRを進める。
平	男	30～39歳	観光業	外部から人を定住させて出生率を上げることを狙いにするべき。そのためには職を増やすべき。
大町	男	40～49歳	その他のサービス業	働く場所が少ない。企業誘致に力を入れて、人口を増やす基盤の整備が必要。子どもを産む為の産婦人科の立て直しをしなければならない。
平	女	30～39歳	その他のサービス業	出産に関する支援や情報が少なすぎるので充実させてほしい。
常盤	女	70歳以上	その他のサービス業	配偶者の理解、協力を促すような講座が必要。母や妻に金銭的な不安を与えない。
大町	男	60～69歳	家事専業	働く場の充実から結婚から人口増へ続いてほしい。

問 20 市では、都市計画に基づき、市街地では地域資源を活かした住環境の整備を推進していますが、調和のとれた秩序ある市街地の形成が進められていると思われませんか。次の中から1つ選んで、その()に○を記入してください。

／6 () その他(具体的にお書きください)

社	女	60～69歳	建設業	今のままでよい。
---	---	--------	-----	----------

大町	男	30～39歳	その他の職業	人が歩いていない。
常盤	男	30～39歳	学生・無職	「計画的な市街地」が設定されているなら、それと現状を見比べればわかることだと思う。
大町	男	70歳以上	学生・無職	人が集まるのはイベント時のみで残念。人が歩くことを考えるべき。
大町	男	70歳以上	その他の職業	全てクリアしていると思う。
大町	女	70歳以上	家事専業	どのあたりがそうなのか気が付いていない。
美麻	男	60～69歳	家事専業	ゴーストタウン化している大町駅前の整備。
大町	男	70歳以上	その他のサービス業	市街地やポケットパーク等の整備が進んでいるが、一人歩きの為、調和の観点からは生かされていない気がする。
大町	男	40～49歳	運輸・通信業	伝わってこない。
平	男	60～69歳	学生・無職	そもそも基となる計画が調和したものでないと思う。道路網計画も愚策。
常盤	女	70歳以上	家事専業	農村部に住んでいると町中のポケットパーク等へは行かない。
大町	女	60～69歳	学生・無職	どの地域をどのようにしたのかがわからない。
大町	男	70歳以上	その他の職業	用途地域とか都市計画の具体的内容を知らない人が多い。
大町	男	40～49歳	運輸・通信業	目標が見えない。
常盤	男	60～69歳	建設業	市街地にこれ以上無駄にお金をかけないでほしい。
八坂	男	60～69歳	その他の職業	大型の太陽光発電所の建設など地域になじまない施設が無計画で作られている。

問 21 市では、地上デジタル放送が受信できない地域の解消と、すべての市民がテレビを使って情報を得ることができる環境を整えるためケーブルテレビ網を整備し、自主チャンネル放送により地域の情報を発信しています。あなたは、どのような情報の発信を希望されますか。いくつでも結構ですので、次の中から選んで、その（ ）に○を記入してください。

／13（ ）その他（具体的にお書きください）

平	女	70歳以上	学生・無職	お悔やみ
大町	女	70歳以上	家事専業	ケーブルテレビの取り付けをまた無償でやってほしい。
常盤	男	40～49歳	農林水産業	今はテレビよりもよいものが今はあると思う。
平	男	50～59歳	工業（製造業）	存在すら知らない。ケーブルテレビではなく、ウェブで十分なのは。
大町	女	60～69歳	家事専業	携帯電話が繋がらない所がある（美麻火葬場）。
大町	男	70歳以上	公務員	ケーブルテレビの受信料が高い。無料化を望む。特に高齢者世帯は即実施すべき。
大町	男	20～29歳	その他のサービス業	今時地デジは見ない。
社	女	70歳以上	学生・無職	鷹狩山にTVカメラのライブ放送。テレビ東京。ケーブルTV（家庭に光ケーブル配線）。防災無線のハウリングが気になる。
社	女	60～69歳	家事専業	全ネット配信が良い。
社	女	60～69歳	建設業	全市民にパソコンの設置をする。

大町	男	60～69 歳	その他のサービス業	ケーブルテレビは必要なのか。
平	女	40～49 歳	その他のサービス業	保育園などのイベント（運動会・発表会）を、保護者の許可なしにケーブルテレビで放送するのは疑問に感じる。
常盤	男	40～49 歳	その他の職業	ケーブルテレビは希望しない。
大町	男	60～69 歳	建設業	特に利用しない。
大町	女	40～49 歳	その他のサービス業	ケーブルテレビは費用がかかるため、やめたほうが良い。この時代、もっと他の方法があると思う。
大町	男	50～59 歳	工業（製造業）	必要なし（インターネットがあるため）。
大町	男	60～69 歳	その他のサービス業	電波がまともに受信できない地区が多い。
八坂	女	50～59 歳	その他の職業	通行止めや除雪状況の情報発信。
常盤	女	60～69 歳	その他のサービス業	ケーブルテレビを使用していないのでスマホなどでもっと情報発信ができればいいと思う。
常盤	女	30～39 歳	家事専業	ケーブルテレビがどうやったら見られるか分からない。
大町	女	50～59 歳	観光業	もう少し入りやすくしてほしい。勧めてくれないので入れない。
平	女	30～39 歳	家事専業	今年に入ってテレビや YouTube をよく見るようになった。見たいと思う魅力的な内容を。
平	女	50～59 歳	家事専業	どのくらいの市民がケーブルテレビを使用しているのか。
大町	男	70 歳以上	家事専業	日々の情報発信にこだわりすぎている。大町の文化、歴史、対談など考えるべき。
大町	男	60～69 歳	建設業	事故など身近なニュース。
社	男	50～59 歳	工業（製造業）	地震等の情報がない。
大町	男	70 歳以上	学生・無職	重要な情報は公報でお願いしたい。90 歳を超えると機械を持たなくなるのでお隣からでも情報を聞く。
大町	女	50～59 歳	その他の職業	無料にして誰でもが見られるようにしてほしい。
大町	女	20～29 歳	学生・無職	あまりテレビで情報を見ない。
大町	女	60～69 歳	家事専業	インターネットを出来る公的通信網の整備
大町	男	70 歳以上	その他のサービス業	若い世代の活動を積極的に放映したり、婚活に繋がるようなイベントやニュースも楽しいと思う。活気あふれる市内でのイベントや情景を放映して、心の蘇りをはかりたい。
大町	男	60～69 歳	学生・無職	必要なし。
大町	男	60～69 歳	学生・無職	ない。（料金が高いケーブルテレビ）
平	男	50～59 歳	その他のサービス業	難視聴地域の為にケーブルテレビはありがたい。
平	男	40～49 歳	その他の職業	ケーブルテレビ廃止、別システムでの情報発信。
社	女	40～49 歳	建設業	青ボタンがお悔やみとなっているがいつも何も情報がない。大系タイムス等と連携してぜひ有効に活用してほしい。
社	男	40～49 歳	その他のサービス業	キー局（首都圏）の放送などチャンネルの充実。
常盤	男	60～69 歳	建設業	ケーブルテレビのない家庭との情報格差をなくすため、一切不要。

大町	男	20～29 歳	工業（製造業）	スマートフォン。
常盤	女	30～39 歳	その他の職業	不要。地上デジタル放送の受信までよい。
社	男	40～49 歳	工業（製造業）	Web などで情報が得られればテレビの情報はいらぬ。
常盤	女	20～29 歳	家事専業	大町市内のお店の紹介があってもよい。
社	男	50～59 歳	建設業	放送事業にこだわっている時代ではないのでは。全戸、特に高齢者家庭の通信環境の充実を。
平	男	50～59 歳	建設業	地元企業が行っているサービスの紹介（大町市民のみ）。
美麻	男	40～49 歳	その他のサービス業	ネットですぐに見つかるような情報はいらぬ（天気予報など）。
八坂	男	60～69 歳	その他の職業	自主放送はもっと積極的に行ってほしいが BS 放送や CS 放送は選択して受信できる仕組みを作ってほしい。
常盤	男	70 歳以上	農林水産業	最近加入したが内容がお粗末でがっかりした。一週間に一回しかニュースの制作をしないのにはあきれた。有線のほうがしっかりやっている。
平	男	30～39 歳	観光業	必要な人もいるかもしれない。
大町	男	60～69 歳	観光業	ケーブルテレビ網から外れて視聴できない地域をなくしてほしい。

問 22 生活環境を保全するために、行政が今後どのようなことに力を入れていく必要があるとお考えですか。あなたが、行政に望むことを次の中から 3 つ選んで、その（ ）に○を記入してください。
 /14（ ）その他（具体的にお書きください）

大町	男	40～49 歳	その他のサービス業	ある程度家庭や学校で教育をしてベースをつくる。
大町	男	70 歳以上	公務員	トイレの悪臭が地域に広がるため、高齢者宅の援助で水洗化を。
常盤	女	70 歳以上	家事専業	アクセス道路沿いは、拾っても次の日に大量のゴミあり。中身を見ると、県外からのトラックの人が、定期的に家庭ごみを長野県に捨てているようだ。
大町	女	50～59 歳	観光業	年寄りや体の不自由な人はごみの分別が大変。空き家も多くなってくるので、家の中を片付けしてあげる、分別の手伝いをしてあげる。
平	女	50～59 歳	家事専業	他県では野焼きを禁止しているが市ではどう考えているか。
大町	男	40～49 歳	運輸・通信業	資源ごみの回収場所を市街地に設置して欲しい。日曜もごみの回収を開けてほしい。
大町	男	20～29 歳	工業（製造業）	野良猫の保護、鳥フンの被害対策。
大町	女	70 歳以上	家事専業	インフラの老朽化対策が急務。
美麻	女	60～69 歳	その他の職業	家の近所で生活ゴミを燃やしている人がいて臭いが洗濯物等につきそうで迷惑している。トラブルになるのが嫌なので何も言えないが、何かいい案はあるのでしたら教えてほしい。
常盤	男	50～59 歳	公務員	野良猫対策。
美麻	男	60～69 歳	家事専業	鳥獣被害。
大町	男	40～49 歳	運輸・通信業	書いてある事全てが必要なので選べない。
大町	男	70 歳以上	学生・無職	この頃、家庭でのゴミ焼かが増えている、徹底をお願いしたい。
平	男	50～59 歳	その他のサービス業	鳥獣対策駆除。

常盤	男	30～39 歳	公務員	太陽光パネルがこれ以上増えないようにする働きかけ。
平	女	30～39 歳	その他の職業	子育て支援。子育て世代が安心して子どもを産み育てられるような金銭的・環境的支援。
八坂	女	40～49 歳	その他の職業	サル被害。

問 23 大町市の直下を南北に走る「糸魚川-静岡構造線断層帯」による内陸直下型地震が、近い将来高い確率で発生すると言われております。地震を始めとする自然災害に備えての防災、減災対策についてどのようにお考えですか。重要であると思われるものを、次の中から3つ選んで、その()に○を記入してください。

／14 () その他(具体的にお書きください)

常盤	女	40～49 歳	—	高い確率で起きる事に対しては全て即準備すべき。
大町	男	70 歳以上	—	屋外スピーカーが聞き取れない。
大町	男	20～29 歳	学生・無職	具体的に避難できる場所を決め、避難経路等を定めたほうが良い。
常盤	女	60～69 歳	家事専業	各家庭・自治会・市としての防災減災対策が必要。選択肢すべて重要。自治会が力を発揮するためには、日頃からの地域のつながりをいかに育てていくかが課題。
大町	男	70 歳以上	公務員	現在の屋外スピーカーでは、一部地域のみしか聞き取れない。
常盤	男	30～39 歳	建設業	災害時、物資搬入・受け入れが滞りなくできるように道路整備をする。
大町	男	30～39 歳	その他の職業	災害時の医療機関との連携網・方法の確立、近隣市町村・姉妹都市からの応援。
大町	女	70 歳以上	—	屋外スピーカーは、風に流されてほとんど聞こえない。
常盤	男	30～39 歳	学生・無職	家を建てて住むという文化自体が、もう通用しないのかもしれない。
大町	男	60～69 歳	建設業	過去の災害例から、主要拠点への防災用品・機器の備蓄。
美麻	男	70 歳以上	農林水産業	台風・大雨・強風等の際、防災無線から情報が何も流れてこないのを、流してほしい。
大町	男	60～69 歳	その他のサービス業	防災準備基金を設けて、他の県・自治体が災害時の救済に活用する。多数の自治体が加入するように進める。
常盤	女	30～39 歳	家事専業	防災マップを新しくしてほしい。紙ベースは 22 年に配布予定だが、ネット配信されている情報が古い。アクセスに時間が掛かる。
大町	女	70 歳以上	学生・無職	屋外スピーカーの場合ははっきり聞き取れないことがある。
大町	男	70 歳以上	家事専業	具体的な避難所と別途、仕切り板などプライバシーや人間の尊厳が守れる設備の十分な量の確保。
平	女	70 歳以上	家事専業	大町市の避難場所が全く分からない。市内全体を地図化して年 1 回は意識するよう知らせてほしい。
大町	女	70 歳以上	その他のサービス業	防災無線のお知らせが場所によって聞き取りにくい。
大町	女	40～49 歳	その他の職業	ハザードマップ。
美麻	男	60～69 歳	家事専業	神城地震の際、すぐに現場に行く事なく、会議をしていた事の無いようにしてほしい。
大町	男	40～49 歳	運輸・通信業	災害が起きた後の行政の行動力だ。
常盤	女	70 歳以上	家事専業	風害、水害など事前に分かるものは備えや避難は出来るが、地震は急で規模も未知なのが不安でどのように備えていいのか迷う。

大町	男	40～49 歳	その他のサービス業	自治会加入率の向上、隣近所の横のつながりを強固にし、災害に強いまちづくりをすすめる。
大町	男	70 歳以上	学生・無職	ダムが決壊時のシミュレーションを実施してほしい。
大町	男	70 歳以上	その他の職業	マップを全戸に配り、避難場所を一戸一戸確認しておくようにしてほしい。
常盤	男	60～69 歳	建設業	スピーカーに近い家は一切お金がかからないのに、少し離れた家は数万円かけて「防災行政無線戸別受信機」の取り付けをするのは不公平だ。他の市町村は無料でやってくれている。
大町	女	70 歳以上	家事専業	各自治体の避難所以外に（コロナで人数が制限された場合など）学校などの教室を割り振っておく。
社	男	70 歳以上	工業（製造業）	各自治体ごとに複数の避難所の設定とマップ作成。
平	男	70 歳以上	その他の職業	食糧より消火装置、停電時の照明等の充実をしてほしい。
平	女	30～39 歳	その他の職業	防災行政無線について放送が聞こえにくい。
平	男	70 歳以上	家事専業	現在のスピーカー配信は全く聞き取れない。メール配信の方が良い。
常盤	男	70 歳以上	農林水産業	現在ある有線放送の拡充を図る。よく聞こえない防災無線に金をかけるより、有線の充実に補助金を出して欲しい。
大町	男	40～49 歳	その他のサービス業	障がい者、高齢者のいわゆる生活弱者への避難時サポートを考える。
八坂	女	50～59 歳	その他のサービス業	ホテルなどの宿泊施設を避難所として使用できるようにする。

問 24 合併後の新市の一体性を形成するため、地域のまちづくり活動や文化などの地域情報を紹介すると共に、交流事業を展開して市民の相互理解を図ってきましたが、新市の一体性は形成できたと思われますか。次の中から 1 つ選んで、その（ ）に○を記入してください。

／5（ ）形成できなかったと思う（その理由を具体的にお書きください。）

平	女	50～59 歳	商業（卸小売業・飲食業）	距離感を感じる。一体性とは？
常盤	女	30～39 歳	家事専業	美麻、八坂の情報は一つ一つ不明。
常盤	女	40～49 歳	—	見える化されていない。何も変わっていない。変えるときは一気に全て変えるべき。スピード感がまったくない。
大町	女	70 歳以上	学生・無職	地域が活性化していない。
大町	男	70 歳以上	—	一体感を考えたことがない。
大町	男	70 歳以上	学生・無職	山村と町の格差がひどい。
大町	男	—	その他の職業	大町市中心部に住んでいるため、八坂・美麻の事はよくわからない。
美麻	男	40～49 歳	工業（製造業）	一体性を形成するより、その地域らしさを残すことに注力してほしい。
社	女	60～69 歳	建設業	一体性は必要なかった。
平	男	60～69 歳	その他の職業	人口減少。
八坂	女	70 歳以上	その他のサービス業	旧市民の優越意識が、いろいろな所で抜けていない場面がある。

大町	男	40～49 歳	運輸・通信業	実感があまりなく交流事業に参加していないため。
常盤	女	70 歳以上	家事専業	美麻、八坂は不便になったような気がする。
大町	男	60～69 歳	学生・無職	田舎で遅れている。
平	男	50～59 歳	その他のサービス業	旧大町市でも広すぎて、全地区がわからないのに増して八坂美麻地区まではよくわからない。
大町	男	70 歳以上	その他の職業	地域条件の格差が大きい為、一体化は無理だし、最近は個人主義の割合が大きくなって、一緒にやるのが「めんどうだ」という人が多い。「市民の相互理解を図ってきましたが」とあるが、動きが見られない。
大町	女	20～29 歳	学生・無職	何をしているのか不明。
大町	女	50～59 歳	公務員	地形もあると思うが大町・美麻・八坂と今もそれぞれ独立しているイメージしかない。山でほぼ囲まれているせいか、大町に住んでいても美麻・八坂の存在は感じない。
常盤	女	60～69 歳	その他のサービス業	そもそも一体化する必要はあるのか。山と旧市内では環境が違いすぎる。特性を生かすべき。
常盤	男	70 歳以上	農林水産業	無理に合併することなかったのではないか。美麻・八坂の独自性が失われてきているのではないか。
社	女	20～29 歳	工業（製造業）	大町市の負担が増えただけでメリットが無いと思う。

問 25 人口減少や少子化、高齢化など様々な課題に対応するとともに、市民のための効率的な行政運営をしていくために、市の行財政改革が重要な課題となっています。あなたが特に重要だと思われる改革について、次の中から5つ選んで、その（ ）に○を記入してください。

／14（ ）その他（行政改革について、ご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください）

大町	男	50～59 歳	工業（製造業）	月に一回ぐらいは日曜日に市役所を利用できるようにしてほしい。
常盤	男	60～69 歳	公務員	箱物を作るより市の職員を増やし、市民の力を活用できるよう、さらに頑張してほしい。財政が大変なら国際芸術祭はやめるべき。
常盤	女	40～49 歳	—	効率的とは優先順位を付けること。高齢化に今目を向けても遅い。少子化には即刻対策を立てるべき。
大町	男	70 歳以上	—	市の職員にアイデアを出すなどして積極的に動いて欲しい。
平	男	40～49 歳	建設業	人口減少のため、市職員議員さんはそんなにいないと思う。
大町	男	60～69 歳	公務員	市が運行する交通手段を充実させた上で、支所の廃止・文化会館体育館の統合・学校や保育園の統合の実施。
大町	男	—	その他の職業	ホームページ等、高齢者にはわからないことが多い。
常盤	女	60～69 歳	家事専業	財政改革といって職員・給料・公共施設等の削減は、市民としてのモチベーションを下げることになり、長い目で見たら良くない。財政を豊かにするためのプラスの対策に、知恵を出し合いたい。
大町	女	60～69 歳	家事専業	ふるさと納税などでの資金集め、大町市への PR。
常盤	男	50～59 歳	観光業	市役所は遠く、ガソリン代もかかるため、支所でも行政手続きができるように望む。中心部との不公平感がある。常盤村へ戻るほうが得策。
大町	男	30～39 歳	その他の職業	金銭の動きよりも、第三者による各課評価点の導入を行い、年度ごとの評価・必要人数や予算の見直しの提言を受ける。無駄な助成制度は中止すべき。
常盤	男	70 歳以上	学生・無職	市職員の退職者などを積極的に採用し、地域活動（環境保全推進等）を支援、あるいは市が受託していく。地域に委託している役職、及び業務内容の見直しを行い、負担を軽減する。

八坂	女	70歳以上	その他のサービス業	議会議員の定数を減らすとともに、議会を休日・夜間に開催する。
八坂	女	50～59歳	その他の職業	職員の数の無駄がともあると思う。仕事内容の見直し、何の仕事をしているのかが分からない職員がいる。
大町	女	50～59歳	観光業	市の仕事をしたくても募集時期を2期に分けてほしい。もっと働く場所を設けてほしい。
大町	女	70歳以上	学生・無職	若い人たちが働く場所の誘致が必要。
平	女	30～39歳	家事専業	項目のことをやったところで改革が進むとは思えない。
社	女	60～69歳	その他の職業	市会議員を減らす。
平	男	20～29歳	その他のサービス業	肩書だけ偉くなった無能な職員の見直し、削減。
大町	女	70歳以上	家事専業	市役所の方は市民の税金で給料が成り立っている。民間へ委託するときは市役所の方の給料に近い給料を出してあげてほしい。
大町	女	60～69歳	その他の職業	データ処理をもう少し効率的にすると人でも時間も減らせるのでは。1人1台のPCをどのように利用しているのか。
大町	女	20～29歳	学生・無職	大町の活性化にどのくらい時間やお金が掛かるなど計画をしっかりとる。
美麻	男	60～69歳	家事専業	大町市役所の職員が威張っている。市の職員が大町市民でいてほしい。
大町	男	50～59歳	その他のサービス業	デジタル庁の創設に伴って、結果的に職員数は減るとは思うが、それに伴って出た余剰人員をどう活かすのか、が大きな問題だと思う。
大町	男	40～49歳	運輸・通信業	現状のままで満足だ。
常盤	男	30～39歳	商業(卸小売業・飲食業)	大きな負担になっている水道事業について、世帯年収累進料金に変更してはどうですか。水道は全ての市民が必要で多国籍企業にも任せられないならば仕方ない。
常盤	女	70歳以上	家事専業	市職員の市民への声掛けが少ない、もしくは無い。
八坂	女	70歳以上	家事専業	高齢者から見た現在の市政について激励とかの参考意見を聞いてほしい。
常盤	男	70歳以上	農林水産業	民営化等を含めた市立病院のあり方の検討。
大町	男	70歳以上	学生・無職	企業の情報を取り入れ、充実した組織運営を実施願いたい。そのうえで職員数を減らしてほしい。
大町	男	60～69歳	学生・無職	市役所の職員が多すぎる。会報も6ヶ月で1回でいい。
大町	男	70歳以上	その他の職業	あまり市役所の職員の地域での活動の姿が見られない。
常盤	男	40～49歳	工業(製造業)	自治会の運営が過去のを継続するのみで発展性がない。自治会の枠組みを無くして、市で運営できるように強化をしてほしい。
大町	女	50～59歳	その他の職業	市議会議員を減らす。
大町	男	30～39歳	公務員	行政の方々は頑張ってくれている。そこへの負担増はよい結果に繋がらないと思うので、各分野で得意とする団体や人に委嘱するのも良いと思う。
平	男	40～49歳	その他の職業	市役所の仕事の整理、合理化、職員の能力向上のための研修会を充実させる。市職員が大町の施設を積極的に利用する。
大町	女	70歳以上	学生・無職	市の職員が多すぎる。デスクワークばかりで現場に出ていないのではないか。
大町	—	20～29歳	その他のサービス業	市の職員が福祉の講座にも出ていない。

大町	女	50～59歳	公務員	市の行財政改革が重要な課題ならば「北アルプス芸術祭」を中止してほしい。どうして芸術祭に何億円も使うのか。大赤字を抱える病院を所有する市がやることとは思えない。
社	男	70歳以上	工業(製造業)	縦割り行政ではなく各部署が一体となった動きが必要。例えば子育てに関して、教育委員会の中の生涯学習課、学校教育課、民生部の子育て支援課等が情報共有と一つになった活動が必要ではないか。
常盤	男	30～39歳	公務員	実際の内情は分からないが、その年の予算を使い切らなければならないから何としてでも使い切る、というような予算の使い方はしないでほしい。本当に必要なことに予算を使ってほしい。
社	男	40～49歳	工業(製造業)	SNSの活用。クマの情報や交通規制等。
八坂	男	50～59歳	建設業	公務員の基本原則である「全体の奉仕者」という原点を忘れていて、又は知らない職員が多いように感じる。市民の利益のために働く姿勢が見えない。
常盤	女	20～29歳	家事専業	委員を市民から選任することも大切とは思いますが、時間が取れない人も多いため、会場に行かなくても声を届けられる機会や方法があると嬉しい。
社	男	50～59歳	商業(卸小売業・飲食業)	印刷物が多すぎて無駄。
八坂	女	40～49歳	その他の職業	具体的に何がどのようにプラスやマイナスだったのか、他の市町村で改革が成功したところと照らし合わせていくのが良いと思う。
美麻	男	40～49歳	その他のサービス業	公僕とは何かをよく考え、コンプライアンスを重視する(コンプラとは法令尊守だけではない)。
社	女	30～39歳	その他の職業	この調査も回収後、人が集計すると思うが、時代に合わせてネットから入力するか、ラインですか、変えて良いと思う。
大町	男	70歳以上	学生・無職	「市役所の仕事や公共施設の管理を民間へ委託」することは市職員の定年後の天下り先になる。
大町	男	40～49歳	その他のサービス業	人口3万人に満たない市役所に受付を設けている意味が分からない。市役所の無駄な人員を減らすべき。仕事をしていない人が多すぎる。仕事が少ないわりに対応が遅すぎる。民間で勉強した方が良い。
社	男	60～69歳	農林水産業	急激な人口減と高齢化、行財政のスリム化など身の丈に合った運営をして欲しい。
大町	男	60～69歳	家事専業	水資源のアピールに特化した施設を計画的、継続的に実施。

問 26 市では、市民、団体、企業、行政が一体となった「市民参加と協働のまちづくり」を推進していますが、今後の市政運営に市民が参画し、共にまちづくりを進めていくことが必要だと思われませんか。次の中から1つ選んで、その()に○を記入してください。

／6 () その他(具体的にお書きください)

常盤	女	40～49歳	—	正しい行政運営がされていれば人は集まる。
大町	男	70歳以上	観光業	大町在住の経験以外の人(他地域で仕事をしてきた人)の意見を行政に反映することも必要。
大町	男	30～39歳	その他の職業	「まちづくり」とは、何を目的としているのか。「人づくり」ではダメなのか。市政は能力のある人々で行うべきで、全市民が参加すべきではない。
平	女	30～39歳	家事専業	あまり協働のまちづくりをしていると感じたことがない。
大町	男	70歳以上	家事専業	協働が役所からの上意下達の一方向的な協力要請になっている。市民からの提案も協働で実現されなくてはならない。

大町	女	60～69 歳	家事専業	高齢化や地域力の低下が進む中、協働まちづくりは難しい。別の方法を考え、若い世代が活躍できる場を積極的に作る。
大町	男	50～59 歳	その他のサービス業	市の目指している、市民参加や協働の内容が曖昧で抽象的過ぎるので、具体的に意味の分かるスローガンを掲げてほしい。
大町	男	70 歳以上	その他のサービス業	行政がイニシアチブを取らずしてまちづくりはできないと思う。
大町	男	70 歳以上	家事専業	市民参加と思っても、若者の参加が少なく自己中心の考えの人が多い。
大町	女	70 歳以上	学生・無職	何のために市の職員がいるのか、頭を使える人が多くいるはずだ。
大町	—	20～29 歳	その他のサービス業	まず市職員がやることではないのか。
大町	男	30～39 歳	建設業	大切だとは思いますが、市職員が全員で同じ方向を向く必要がある。
常盤	男	50～59 歳	その他の職業	初めて知った。今は何をやっているのか。
八坂	男	50～59 歳	建設業	まず市職員が率先して参加する姿を見せてほしい。
常盤	女	20～29 歳	家事専業	市民の声にしっかり耳を傾けてくれるのならば大切だと思う。
八坂	女	50～59 歳	その他のサービス業	市民がまちづくりに参加するのは良いことだと思うが、公共が担うべき事を市民に任せるような考えは良くないと思う。

問 27 市では、市民によるまちづくり活動促進のための支援をしていますが、市民参加による協働のまちづくりが進んでいると思われますか。次の中から1つ選んで、その（ ）に○を記入してください。

／6（ ） その他（具体的にお書きください）

大町	女	70 歳以上	学生・無職	まちづくりの支援が活かされていない。続いていない。
大町	男	70 歳以上	観光業	市民の中心が、この市しか知らないので、革新的な考えが出てこない。
大町	男	70 歳以上	農 林 水 産 業	市民参加の定義が不透明。そこにいれば良いと考えているように見受けられる。
平	男	30～39 歳	観光業	何がどのように進んでいるか全く分からないので、参加しているという感覚がない。
大町	男	70 歳以上	家事専業	協働とは何か、言葉だけで内容について深く考えていないと思う。
平	男	60～69 歳	学生・無職	一部の団体等に偏っているのではないか。広く市民に公平に支援をしてほしい。
常盤	女	70 歳以上	家事専業	地域によってまちまち。
大町	女	60～69 歳	その他の職業	具体的にどのような支援が行われているのか分からない。
常盤	男	60～69 歳	学生・無職	必要ない。
大町	男	30～39 歳	公務員	どんな団体がどんな形で活動しているのか知らない（一部のみ）。
常盤	男	50～59 歳	その他の職業	初めて知った。

問 28 これからの地方自治は、市民の皆様と行政が相互理解と共通認識のうえに立って、多くの皆様の参画による、協働のまちづくりの推進が必要です。それを実現するためには何が必要とお考えですか。特に必要と思われるものを次の中から3つ選んで、その（ ）に○を記入してください。
 /9（ ）その他（具体的にお書きください）

大町	男	40～49歳	その他のサービス業	ある程度の反対は仕方ない。できるだけ多くの人を巻き込みながら丁寧にメリットの有効性を説明し続ける。
常盤	女	60～69歳	家事専業	将来のために若い世代に委ねる、意見を聞くことが必要。
大町	男	20～29歳	その他のサービス業	古い考えをなくし、新しい事を恐れない。
大町	男	30～39歳	その他の職業	「協働のまちづくりが必要」と断定する根拠が不明。設問自体がよくわからない。
常盤	男	30～39歳	学生・無職	何割かに必ず障がい者・子どもなどの社会的弱者が含まれるように、規定を設ける。
常盤	女	30～39歳	その他の職業	自治会がどのような働きをしているか分からないので解答できない。
平	女	30～39歳	家事専業	どの項目でも拾い上げた意見がちゃんと活かされることが大切。声を上げて反映されなければ時間を割いて意見を述べようとは思わない。
大町	男	50～59歳	その他のサービス業	今の市長にはもっとしっかりして欲しい。
平	女	50～59歳	家事専業	時代に合った市長と市民との意見交換を。
大町	男	50～59歳	工業（製造業）	市職員と市民との溝がある。
大町	男	60～69歳	公務員	市議会の下に市民による年代別の組織を作る。
大町	男	70歳以上	学生・無職	協働のまちづくりをもっと具体的にお願したい。
美麻	男	60～69歳	家事専業	市役所職員の意識改革。
大町	男	50～59歳	その他のサービス業	パブリックコメントを募集している事を市民にもわかるようにしてほしい。
大町	男	40～49歳	運輸・通信業	協働のまちづくりは必要だが、庶民にはお金と時間はない。持っている人達の偏った町にはしてほしい。
常盤	男	30～39歳	商業（卸小売業・飲食業）	大町市は北安曇の一員なので、8で「市長が直接市内の各所に」と記載がありますが、近隣の自治体と協力して運営する事はできないのか。例えば、病院や図書館の統廃合は市町村のかきねを越えて論じられても良いと思う。
大町	女	40～49歳	運輸・通信業	自主ばかりを求めてもムダ。皆、自分のため、家族のために働いている中から時間を分けてもらうためには何をすべきか、を考える必要があると思う。
常盤	男	40～49歳	公務員	審議会等、夜間及び休日の開催し、20代～30代の若い世代の市民の声を反映させる。
大町	男	30～39歳	公務員	予算の確保。
大町	男	70歳以上	家事専業	市の職員でありながら隣組も抜け、協力態勢に無い人がいることを耳にする。お祭り等老人だけでするまちもあり大変と聞く。
社	男	40～49歳	その他のサービス業	市職員の教育。
大町	女	50～59歳	公務員	市長が直接出向き、住民から意見を聞く機会を設けるということは現市長が初当選したときにやっていたが、やってみてどのような評価がなされたのか。意見を聞いただけで終わらせていたら、本当に無意味だと思う。
大町	男	40～49歳	—	インターネットの活用。
平	男	70歳以上	その他の職業	市民の意見を聞くのも良いが全部聞いていると予算がない。市全体を見て判断し責任を持って仕事をする人材が必要。

平	女	30～39歳	その他のサービス業	まちづくりに意欲のある市民がボランティアではなく、活動によって利益を得られる仕組み作り。
---	---	--------	-----------	--

問 29 価値観の多様化により、地域の「つながり」が希薄になって市民生活に影響が出ないよう、地域コミュニティの必要性や機能の周知を行うとともに、活動の支援をしています。自治会等の地域コミュニティ活動が強化されていると思われますか。次の中から1つ選んで、その()に○を記入してください。

／6 () その他 (具体的にお書きください)

常盤	男	40～49歳	その他の職業	むしろ面倒なだけなので、なくしてほしい。
大町	男	60～69歳	建設業	各自治会等の活動内容に差がある。市が自治会活動を指導等することは可能なのか。
大町	男	70歳以上	学生・無職	市民に活動を期待されても、その時の役員に負荷がかかり、なり手がなくなる。
常盤	男	70歳以上	学生・無職	地域活動は、高齢化などにより担い手が少なく、今後も厳しくなっていく。これからは、活動自体も縮小させ役員も減らしていかざるを得ない状態。とても、強化していくことが出来るとは思わない。
大町	男	70歳以上	その他の職業	人口減少、高齢化で自治会活動が困難。若者は仕事、他で忙しいことで参加が困難。
平	女	30～39歳	家事専業	多様な価値観を表明できる心理的安全の確保。
大町	男	70歳以上	家事専業	基本は参加自由とボランティア精神の実行だと考える。
大町	男	20～29歳	工業(製造業)	今後は自治会の活動は不要。若い人が少なくなっている中で若い人への押しつけが流行っている。自治会を見直してみんなが負担の少ないようにするべき。若い世代と古い世代の自治会に対する意識の差がある。
大町	女	60～69歳	家事専業	自治会に入っていない方が楽な場合が多い。入っていない方にペナルティを与えるべきである。そうしないと益々自治会に入らなくなる。
大町	女	40～49歳	その他の職業	地区によって違いが大きい。自治会に入らなくてもコミュニティに繋がる方法はないのか。
大町	男	70歳以上	学生・無職	高齢化の為か、自治会意識が危うく、地域に多くを求めるのは無理。
常盤	男	30～39歳	商業(卸小売業・飲食業)	コロナ禍の為にコミュニティ活動は壊滅的に打撃を受けていると思う。
大町	女	40～49歳	運輸・通信業	強化されていないばかりか、近所に知らない人が増えてきた。仕事柄、知り合うこともできたが、そうではない人たちはどうしているのか不安。自治会自体に入らない家もある。
八坂	女	70歳以上	家事専業	小さな部落での生活ではお互いの支援もあり、「老人だけ」の生活でも、お互いの声かけがあり助かっている。
大町	女	50～59歳	工業(製造業)	田舎特有の地域の「つながり」の強制で市民生活に影響が出ている。夜の会議などは強制で、家で小さな子どもだけで留守番させなければならない。祖父母や親戚など頼れる人がいない事を理由にはいけない地域性がある。
大町	女	50～59歳	公務員	自治会機能は低下しているので自治会の存在そのものの必要性に疑問がある。
大町	男	60～69歳	農林水産業	自治会役員が回ってくると、負担が大きすぎて大変。本当に必要なことに整理すべき。「高齢で引き受けられない」という人が多い。
常盤	女	70歳以上	学生・無職	自治会活動を行うことが負担になってきている。
大町	男	30～39歳	公務員	「支援をしている」とあるが、どれが支援されているものなのかを知らない。

平	女	30～39歳	家事専業	自治会という組織がすべて悪いわけではないが、価値観の多様化というのであれば、自治会を根本から見直してもよいのではないかと思う。現状のままでは若者は入らず、減るだけだと思う。
大町	男	70歳以上	家事専業	高齢者は自発的に外に出歩くことが少なく参加しないように思う。
大町	女	70歳以上	学生・無職	一部に周知しているだけ、一応支援をしているだけで、何が本当に必要なかを本人に投げかけていない。自治会等が周知しなければ誰も知らないことだ。
大町	女	50～59歳	公務員	自治会に入らない若者世代が増えているのではないか。小学校 PTA 役員が苦勞している話はだいぶ前から聞いている。都合の良い時だけ顔を出すのではなく、子どもがいるなら、なおさら自治会への加入を進めてほしい。
社	男	70歳以上	工業(製造業)	40代以下の世代が自治会活動に参加していない。必要性や「つながり」を面倒に思っているように見える。この世代に対してどんなアプローチが必要かを検討することが大切。
平	男	70歳以上	その他の職業	自治体の高齢化率が高く、今後自治会が成り立たなくなると思う。
社	女	70歳以上	家事専業	近所付き合いが苦手なのでそっとしておいてほしい。友人は沢山いるが強化されても変わらないと思う。

問 30 市では、個性と能力が十分発揮される社会の実現に向け、人権の啓発や男女があらゆる分野において協働して参画しあう意識の啓発に取り組んでいますが、人権尊重や男女共同参画の意識が高まっていると思われますか。質問ごとに1つ選んで、その()に○を記入してください。

【1】人権を尊重する意識が高まっていると思われますか。

／6 () その他(具体的にお書きください)

常盤	男	40～49歳	その他の職業	市役所職員に、個人情報をたれ流しにされた。
八坂	女	70歳以上	その他のサービス業	意識が高まってきていても、実践が伴っていないと思う。大町市は、役職・団体等の中で、女性の起用が極端に少ない。
社	女	60～69歳	その他の職業	新聞などに載っていると思うが、その取り組みがこの目的であることに繋がっていない。市民の意識、関心は低いと思う。
大町	女	40～49歳	家事専業	市が啓発に取り組んでいるとは思わないが、テレビで取り上げることが多いので個人的に意識は高まっている。
大町	男	70歳以上	家事専業	人の良心の問題であって、こういう風に問題を顕在化させるのはどうかと思う。
大町	女	60～69歳	その他の職業	昔からの確執が根付いていて、嫁と姑について若い人にとっては苦痛に思うことがある。もう少し相談する機会を増やして欲しい。
大町	男	70歳以上	その他のサービス業	市内でコロナウイルス感染症が発生した時の風評被害にはショックを受けたので、一部の市内には人権に対する意識が低いと感じた。今でも新しい行動や活動を起こそうとすれば風評(言葉)で足を引っ張る空気がある。
平	女	60～69歳	家事専業	来院時の対応、入院時の対応など、人権尊重等ない。市側からしっかり教育してもらいたい。
大町	女	40～49歳	運輸・通信業	都合の良い時だけ協働、啓発と言われているか、市役所の中でも窓口に行った時に女性、若い人に視線がむけられて仕方なくその人たちが対応してくれる状況では改善する見込みはない。
美麻	男	40～49歳	その他のサービス業	市役所職員が市民を見下すような発言をしていては人権啓発などできていない。

【2】男女共同参画の意識が高まっていると思われますか。

／6 () その他 (具体的にお書きください)

常盤	男	30～39歳	学生・無職	男女共同ではなく、男女対等という構造を肌で感じる。
大町	男	70歳以上	公務員	女性の市会議員の増加は、大いに評価する。益々の活躍を期待する。
大町	男	70歳以上	その他の職業	もっと地域で、職場で、女性が登用されるべき。
社	女	60～69歳	その他の職業	県レベルでは具体的な活動が報道されることがあるが、市は知らなかった。
大町	女	40～49歳	家事専業	性別による個性、役割は無視できない。同じ能力を発揮するには無理があるのでその辺を考慮してほしい。
社	男	60～69歳	農林水産業	必要ない。
大町	女	40～49歳	その他のサービス業	「男女」と分けている時点で、もう時代遅れだと思う。
大町	男	60～69歳	農林水産業	形式的で男女共同参画の必要性がわからない。

問 31 男女が互いに尊重し、個性と能力を十分に発揮することのできる男女共同参画社会づくりを進めるために、特に重要だと思われるものを3つ選んで、その()に○を記入してください。

／13 () その他 (具体的にお書きください)

常盤	男	50～59歳	建設業	女性の～、女性の～、等と題して何かをやっているうちは、何も進まない。
大町	女	60～69歳	家事専業	現在は、だいぶ男女の差がなくなっていると思う。
美麻	男	40～49歳	工業(製造業)	必要なのは、男性の教育だと思う。
大町	男	30～39歳	その他の職業	女性の雇用主が増える方法を模索するべき。もっとも男女差が大きい産業と小さい産業を比較し、理由を検討する。
常盤	男	30～39歳	学生・無職	「女性の・女性のための」はよく聞かすが、「男性のための」はあまり聞かない。例えば、保健師に男性が一人もいないというのはどういうことか。男性と接したくない女性がいるように、女性と接したくない男性もいるということが想定されていないことの現れだと思う。
大町	女	40～49歳	その他のサービス業	男女共同参画社会の推進を進める側の人たちへの、真の男女同権の教育をするべき。そこを理解できない人は、この事業にかかわるべきではないと思う。特に地方では、それほど根深い。
大町	女	50～59歳	観光業	職業相談など相談できる所を増やして欲しい。
社	女	60～69歳	その他の職業	建設業が多いので男女格差、給与などは当たり前になっている。企業から変わっていくことが大切。
大町	男	70歳以上	学生・無職	まず、市役所で積極的に女性を登用してみてはどうか。
常盤	女	70歳以上	家事専業	男女の体の構造上の違いをどうやって平等に持っていくかを教育の現場で教える。お互いを理解した上での平等でない平等を理解してもらおう。
大町	男	70歳以上	学生・無職	男性、女性共に性別の能力を自然に備えているので、これを無視して何でも平等とはいかないと思いますが、社会への女性の参入は大切だと考えます。この点を踏まえた上で社会づくりを考えるべき。

大町	男	70歳以上	その他の職業	女性でその分野で見識のある人がいるので、人事配置を適正にしてほしい。
常盤	男	40～49歳	工業（製造業）	若い世代はある程度尊重しあえていると思う。年配の方はなかなか考え方が変えられない為、時間が必要かと思われる。
大町	男	30～39歳	公務員	意識してできる男女平等の取り組みも大切だが、無意識のうちにしている差別意識を自覚することも大切なことだと思う。チラシを一枚広報にはさみこみ、チェックリストを入れるなど。LGBTについても同様に。
社	女	40～49歳	建設業	女性自身が積極的に社会参画できるような仕組み。また子どものうちから男女共同参画についての教育・実践。男女平等を勘違いしている（それぞれができることできないことを十分理解しあったうえでの平等など）場合がある。男女共同参画の字面だけが先行、一人歩きしないようにしてほしい。
常盤	男	40～49歳	その他のサービス業	なぜ女性だけの雇用、職業訓練、相談窓口なのか。男性が困ることはないのか。
常盤	女	20～29歳	学生・無職	家庭のことを女性がやるという、しきたりが残っているので改善が必要と思う。しかし、性別を男女の2つに分けるのも好きではないので、市民が性別の知識を身に着けることも大事だと思う。
社	男	40～49歳	工業（製造業）	自治会でも婦人部や女性部があるのはおかしい。
常盤	男	70歳以上	農林水産業	まず市長・市職員がその考え方を身に着け行動する。
八坂	女	50～59歳	その他のサービス業	自治会や公民館を通じての啓発、学習活動は効果が無いと思います（男女共同参画推進と名のついたイベントを行っているがあまり関係気がする）。
常盤	女	70歳以上	その他のサービス業	困ったときに見せかけの話を聞いただけで何の対応もしてくれなかった。

問 32 市では、平成 14 年 3 月に山岳がもたらす豊かな自然環境と、共生する独自の山岳文化を受け継ぎ次の世代に伝えていくため、山岳文化都市宣言をしました。市民の山岳文化への関心を高め、協働による登山道の整備や山岳景観ビューポイントの設定等を行い、山岳文化都市づくりを進めていることをご存知ですか。次の中から 1 つ選んで、その（ ）に○を記入してください
 / 4 （ ） その他（具体的にお書きください）

常盤	男	50～59歳	公務員	聞いたことはあるが、市民に届いてないと思う。
大町	男	50～59歳	その他のサービス業	市が力を入れているとは思わない。
大町	男	60～69歳	学生・無職	知ってはいるが詳しいことは分からない。
社	女	70歳以上	家事専業	もう山に登らないので関心がない。
平	男	70歳以上	家事専業	槍ヶ岳は大町市だが、大町からの登山ルートがない。登山道の整備は旧人やグループに頼ってできるものではない。

問 33 市では、地域消費を増加させて大町市を元気にし、持続可能な市を構築するため、芸術文化によるまちづくりに取り組んでいます。その一つとして、北アルプス国際芸術祭を2017年に開催した結果、市内外から5万4千人の観客にお越しいただき、市内の観光消費額は4億7千万円と推計されました。そこで、芸術文化によるまちづくりへの取り組みについてご意見をお聞きます。

【2】 あなたは、次回の芸術祭をどのような芸術祭にしたいと思いますか。いくつでも結構ですので、次の中から選んで、その（ ）に○を記入してください。

／7（ ）その他（具体的にお書きください）

大町	女	40～49歳	観光業	芸術祭は無駄。税金をそんなことに使うな。他に使うべき所は山ほどある。
大町	女	70歳以上	家事専業	税金の無駄遣いだと思う。高額を支払って海外から人を呼ぶのではなく、身近な所にいると思う。反対だ。
常盤	男	60～69歳	公務員	やめるべき。
常盤	女	40～49歳	—	不要。税金の無駄遣い。市内に落ちたお金はいくらか。
平	男	70歳以上	農林水産業	市政としては芸術に取り組む前に、福祉や子育てに関連する事業、観光資源の見直し整備、農林業の向上に力を入れるべきだと思う。
常盤	男	40～49歳	農林水産業	どうせやるなら芸術祭+α。もっと力のあるものにすべき。活気を感じなかった。
大町	男	70歳以上	学生・無職	未来に残る作品が望ましい。大町市の財産になるものが欲しい。
大町	男	70歳以上	—	経済効果が目に見えるものであって欲しい。芸術祭に対してはたしてどれだけの市民が興味を持っているのか。疑問視している市民が多数ではないか。
大町	女	50～59歳	その他の職業	芸術祭はやめて欲しい。
大町	女	70歳以上	家事専業	経済効果はある程度あったが、今後は今の状態を踏まえてコロナ対策、大町病院対策に力を注いでもらいたい。
大町	女	40～49歳	その他の職業	湯沢や瀬戸内芸術祭のように作品を残し、持続的な誘致につなげる。バス停や石板など作品が市民にも使えるもの、残るものを作っていたきたい。税金で作ったものが短期間で消えるのはもったいない。
大町	女	60～69歳	その他の職業	芸術祭に積極的に参加しているのは県外からの来訪者。地元の人には冷ややかに見ている。まちづくりのためには、地元の人達が「大町をこうしたい」と立ち上がっていかねばいけない。
大町	女	60～69歳	その他の職業	興味・関心がない。
常盤	女	60～69歳	その他のサービス業	あまりお金がかからず、毎年続けていけるものにしてほしい。
社	男	70歳以上	農林水産業	中止する。
大町	男	50～59歳	公務員	必要なし。
大町	男	60～69歳	公務員	インターネット上で芸術祭を行い、大町をPRしたい。
大町	男	70歳以上	観光業	各町には必ずいろいろな分野での経験者・実績者がいるので、それらの人を町として推薦し、市全体の芸術向上につなげるよう～資金面でも援助し、市民全体の芸術・文化に関心をもってもらうように～ボトムアップが必要（中央から呼ぶだけでなく）。
平	男	70歳以上	観光業	芸術祭の時だけの賑わいではなく、その後も賑わいが続くようにしていきたい。尚、芸術祭以外の場所に立ち寄って、荒らすことのないようにしたい。

常盤	男	60～69歳	学生・無職	芸術祭の取りやめ。
大町	女	60～69歳	家事専業	いまはコロナ感染で社会が不安定になっている。もう少し社会全体が落ち着いてきた際には、とても良いことだと思うが、いまは良くない。
大町	男	50～59歳	その他の職業	必要なし。
平	女	50～59歳	公務員	実施しなくてもよい。
大町	男	60～69歳	建設業	芸術祭に大金を使う必要はない。
社	女	70歳以上	学生・無職	バリアフリー対策を。前は、鷹狩山・八坂等不便だった。
社	女	60～69歳	家事専業	開催に反対。
常盤	男	50～59歳	観光業	収支はどうだったのか(民間はコスト優先だが、行政はコスト意識が低い)。職員がサクラで盛り上げていたような。一市民として、このイベントは不要。松川のようにアイデアの多いイベントを望む。
社	女	60～69歳	建設業	日頃から芸術に接する機会を増やさないと、市民も芸術に関心がない。
大町	男	50～59歳	学生・無職	続けての芸術祭は、税金の無駄。すべての飲食業は潤っていない。かわりに市民に商品券等を配布したほうが潤うと思う。
大町	女	40～49歳	その他のサービス業	望まない。
常盤	男	30～39歳	学生・無職	視覚に偏りすぎている。芸術という言葉の示す範囲を広げてほしい。
常盤	男	40～49歳	その他の職業	やめたらよいと思う。
大町	女	70歳以上	家事専業	地元の芸術家を、もっと市民に知ってもらえるものが良い。
平	男	60～69歳	その他の職業	市民が芸術祭に賛成しているのか、賛否を聞きたい。
大町	女	20～29歳	建設業	独創的なものより、より多くの人に興味・関心をもてるようなイベントが良い。クラフトフェアなど、体験ができ楽しめるようなイベントにしてほしい。
大町	男	50～59歳	その他の職業	コロナ禍でもあり、もっと他のことに予算を使ってほしい。
大町	女	40～49歳	その他のサービス業	会計の透明性を望む。
社	男	50～59歳	建設業	やらなくてよい、その他のやるべきところに予算を使ってほしい。
大町	女	60～69歳	家事専業	地元の芸術家すべてを参加させてほしい(知名度の低い人も)。地元にも、こんなに素晴らしい感性を持った人がいるということを、大勢の人に知ってほしい。
大町	女	70歳以上	家事専業	市民不参加の感があり、盛り上がりがない。芸術祭ありきで決定している感もあり、市民の声が反映されず不満の声も聞く。前回の反省と甘い評価で、外部からの参加者と市街地の対応に不満が多いように聞こえた。
大町	女	60～69歳	その他の職業	やらなくてもよい。前回あまり楽しくなかった。遠くまで歩いて行き、高齢者は大変。車で行っても近くまで行けない。
大町	男	60～69歳	その他の職業	開催する必要なし。
八坂	女	50～59歳	その他の職業	芸術祭に関して、色々な不信感がある。お金の流れがとても気になる。
大町	男	40～49歳	その他のサービス業	芸術祭自体反対。行うなら、大町地域の芸術家や芸能など中心に行うべき。得体の知れない芸術家を呼んでも意味がない。
大町	女	50～59歳	観光業	芸術家など偏ったものだけにお金を使用することを辞めてほしい。そのようなことで移住するとは思えない。

大町	女	50～59歳	家事専業	他の形で考えてほしい。理想ばかり大きいだけで正直内容が残念で人に勧められないしチケットもノルマで売っているようなもので少しもいいとは思わない。
平	女	30～39歳	家事専業	外からプロデューサーを呼ぶのではなく市内で出来る人に。北川フラムは大町に税金を落とすわけでも大町に定住するわけでもない。
大町	男	50～59歳	その他のサービス業	市民が参加していない丸投げの芸術祭はやる意味がない。
平	女	50～59歳	家事専業	反対している声も聴いたが、強制してまで市民1人1人の税金が使われている。強行することが恐ろしく感じた。大町市を出たくなった。
八坂	女	60～69歳	その他の職業	関心がない。
社	女	60～69歳	その他の職業	前衛的な芸術は高齢化の進む年代にはよくわからないしとつきにくい。昭和の歌謡曲が若い世代にも受け入れられる現在、過去の芸術にスポットを当ててほしい。
大町	女	60～69歳	その他のサービス業	コロナの中芸術祭にお金を掛けるより市民が市の商店で支出できることを考えてほしい。
大町	女	70歳以上	家事専業	前回の芸術祭は素晴らしかったが1つ残念なことは作品を壊してしまったことだ。子どもたちが大きくなった時に素晴らしい芸術が大町にあると知ってほしいのでぜひ残して欲しい。子どもたちの豊かな心を育てるためにもお願いしたい。
平	男	30～39歳	観光業	前回は沢山の人が来たが、市民にとって潤ったかと言われれば必ずしもそうとは言えない。市の知名度や移住や定住に繋がっていくものを増やしていかなければ開催している意義はあるのか。
平	男	60～69歳	観光業	大町に住みたいと思える芸術祭はどんな芸術祭なのか。まずは大町に住みたいと思える、住めると思う柱にした方がと思う。
大町	男	70歳以上	家事専業	丸投げ方式辞めて、自分たちでやる。大町にも自力で開催するだけの人材はいると思う。開催は賛成だが現在のやり方は反対。
大町	男	40～49歳	運輸・通信業	アニメとか花火とか分かりやすい出展が欲しい。
大町	男	50～59歳	工業（製造業）	何か違う気がする。
大町	男	40～49歳	その他の職業	必要性なし。
大町	男	60～69歳	公務員	必要がない。予算別の支出へ回したらよい。
大町	男	60～69歳	建設業	芸術祭はしなくてもいい。
社	男	60～69歳	農林水産業	止めるべき。
大町	女	60～69歳	その他の職業	せっかく大金を払っているのに芸術文化的なものになっていない。今の町に必要なものとは思えない。他県のようにその後の利用を考えた方がいいのではないか。実質的な観光消費の額を多様に見積もりすぎているのでは。コロナの中で本当に困っている人への援助を考えると無謀な行いだと思う。多額の支出をするなら、ほかの事へ住民を中心として考え、使うべき。
大町	女	20～29歳	学生・無職	芸術祭はとってもいいと思うが、去年の作品は高度で理解しにくい所もあったので一般市民もみんな楽しんでるものにしてほしい。
大町	女	60～69歳	家事専業	芸術祭についてやるのが前提であり、本問には回答不可。
大町	女	40～49歳	その他の職業	地元の芸術家や芸術好きの人が好きそうなものを探して発信。
常盤	男	70歳以上	—	大町にメリットが何もない。
大町	男	70歳以上	家事専業	止める方がいい。
大町	女	40～49歳	その他のサービス業	大町市に訪れて頂くいい機会ではあると思います。

大町	女	70歳以上	家事専業	前回2017年の国際芸術祭に同じ町内の人と3人で参加しました。生まれた時から80年近く大町に住んでいますが、霊松寺、鷹狩山、木崎湖、温泉郷などの高い場所、広い空間に展示される世界から参加した作家のユニークな作品は個性的で今まで余り見たことのない新鮮さで心が引き付けられました。
平	男	70歳以上	その他の職業	芸術作品は後に残るようなものに変えて、開催後に取り壊しをすると何をやったのかわからない為に、開催後も残る様にしてほしい。
大町	男	70歳以上	学生・無職	特に必要ない。
平	女	70歳以上	商業（卸小売業・飲食業）	品の良い作品や美しい作品、四季の北アルプスの写真や絵を飾るのはどうか。
常盤	男	50～59歳	公務員	一部地域の市民にはコンセプトや意義が伝わっているか不明確。
大町	男	50～59歳	その他のサービス業	芸術は良いと思うが、芸術と思えないものを展示してもしょうがないと思う。街全体に影響がない。物を作ったら作っただけになっている。
美麻	男	60～69歳	家事専業	芸術の方向性が偏らず、多様性に富むものにしてほしい。移住した人を寛大に受け入れる市民性が必要。
大町	男	50～59歳	その他のサービス業	市民のコンセンサスを確保したものにしてほしい。
大町	女	50～59歳	その他の職業	松本市のサイトウキネンのような取り組みには非常に憧れがある。
大町	男	50～59歳	建設業	大町市全体の活性化に繋がる（長い目で）世界から来てもらえる文化・芸術祭が望ましい。
大町	女	40～49歳	運輸・通信業	もっと品の良いもの、景観を損なわないもの、多くの人に理解できる作品をとり入れてほしい。前回良かったのは八坂の1つだけ。
大町	女	40～49歳	その他のサービス業	外部より芸術家を呼ぶのではなく、むしろ日本古来の作品に習った大町らしさを持ち出した方がいいのではないかと。単発ではなく日常的に芸術に親しむ環境を子どもたちのために作ってほしい。
大町	女	60～69歳	その他の職業	一時的な観光消費ではなく持続・継続的な観光消費につなげられるようにしたい。
常盤	男	60～69歳	学生・無職	必要ない。
平	男	60～69歳	その他のサービス業	中止した方がいいと思う。
社	女	30～39歳	家事専業	芸術祭を行うことをいいと思わない。
美麻	女	70歳以上	家事専業	よそから芸術家を呼ぶのではなく、市内に埋もれた芸術を掘り起こし長期的に展示出来る施設を作ったらどうか。
平	女	50～59歳	観光業	芸術祭は必要ないと思う。その分、福祉にお金をかけ、お年寄りに優しい街作りをしてほしい。
大町	女	50～59歳	公務員	市内の芸術家を補助して市内全域で市内の芸術家の発表の場をしても良い。大町に縁のある人に参加してもらって大町で開催する意味を付加して欲しい。
常盤	女	70歳以上	学生・無職	不必要だ。
大町	男	70歳以上	家事専業	市民の文化的活動はダム建設の時には他県の人が大町に来ていたので活発だったのに、今では若者も関心が薄れたので関心がないのではないかと。若者の定住者も少ないこともあり、昨年見学に行ったが、近所の高齢者には関心がなかった。
平	女	70歳以上	—	大町に住む芸術家がいるのに、「北アルプスの芸術家」のように外部の人を誘わなくてもいいのではないかと。
平	男	50～59歳	農林水産業	芸術祭は必要ない。運営方法が曖昧。
常盤	男	60～69歳	建設業	もっと地域の若者を起用した独自のイベントの開催をしてほしい。

大町	女	50～59歳	公務員	芸術祭をやめてほしい。「芸術」という不安定な要素に何億もの支出がされることにどうしても理解ができない。大町病院が抱える大赤字の負担を現役で働いている職員にさせておいて、市も議員も何も負担なしというのはどういうことか。北川フラムという人に支払うお金があったら病院の赤字補填に回してほしい。金の流れの不透明さが引っ掛かり、芸術祭に賛同できない。
大町	女	70歳以上	家事専業	1について、文化会館をもっと利用し、一流のコンサートや演劇に補助をして安く鑑賞できるようにする。2、3、5は一過性のもので、4は知名度が上がっても6の定住にはつながっていないと思う。6について、まず大町市に住んでみたいと思えることが大切で、そのためには医療などの充実など他を頑張るべきなのではないだろうか。
社	男	70歳以上	工業（製造業）	規模は小さくなくてもいいから、毎年継続して開催する。費用のかからない芸術祭。
平	男	70歳以上	その他の職業	自然豊かな大町に自然と著しくマッチしない芸術祭は中止してほしい。
常盤	男	40～49歳	その他のサービス業	芸術に興味はないので、好きにしたらよい。
常盤	男	30～39歳	公務員	若者が気軽に来られるように工夫してほしい。例えばインスタ映えスポットを用意しSNSで広報活動をするなど。
社	男	40～49歳	工業（製造業）	小さいころから文化に触れる機会を増やしてほしい。
平	女	30～39歳	その他の職業	大町出身どころか県内出身のアーティストがいなくて残念。地元枠で公募したらどうか。
常盤	男	30～39歳	工業（製造業）	もうやらなくてよい。
常盤	女	60～69歳	その他のサービス業	市民全体に浸透していない。もっと身近な近寄りやすい題材を集めるべき。
常盤	女	20～29歳	家事専業	コロナ禍では開催を控えてほしい。子どもから高齢者まで一緒に作り上げられるものがあれば良いと思う。
社	男	50～59歳	商業（卸小売業・飲食業）	違うことに税金を使うべきで今更、芸術祭ではない。
八坂	女	40～49歳	その他の職業	食をテーマにしたがあまり盛り上がっていなかった。地産として食を消費したり、知名店をあげたりしてもよい。
大町	女	20～29歳	家事専業	芸術祭には反対。
平	女	70歳以上	家事専業	今この時期にはいらない。
社	女	50～59歳	工業（製造業）	今はコロナでやる必要はないので希望はない。
平	男	20～29歳	その他の職業	木崎湖に浮いていたのはゴミのようで芸術には思えない。取り組みはいいはずなので内容の充実を。
平	男	70歳以上	家事専業	企画やセンスの無さ。
八坂	女	50～59歳	その他のサービス業	芸術祭は取りやめてほしい。
常盤	男	70歳以上	農林水産業	前回のよう到来訪者が食事をする場所がないようなことは市が率先して啓発をする。
平	男	70歳以上	学生・無職	早急に北川フラムと手を切って、大北地域の技術を優先して取り上げることが重要。
常盤	女	70歳以上	その他のサービス業	何のメリットも無いのでやめてもらいたい。

【4】あなたが芸術文化によるまちづくりについて、気がついたことがありましたら具体的にお書きください。

大町	女	50～59歳	その他のサービス業	良い案だと思ったが、市内の観光活性化にはなかなかつながらずにいたような気がした。
常盤	女	30～39歳	家事専業	情報が少ないため、見落とししてしまう場所などあること。芸術文化を楽しむためのバスの運行をしたらどうか（ピストンなど）。
平	女	30～39歳	農林水産業	人は来たかもしれないが、市民がそれによって潤ったり活気づいたりしなかったと思う。
大町	男	30～39歳	公務員	芸術祭を行ったが、いまいち関心が持てなかった。すごいとも思わなかった。
常盤	女	70歳以上	商業（卸小売業・飲食業）	一部、時間、費用がもったいないと思う作品があったと思う。有名であるなしに関わらず、後に役に立つか、心に残る事が大切だと思う。
常盤	男	30～39歳	その他の職業	経済効果がどれだけ市民生活に効果的かは不透明だが、観光資源のない大町市にとってはとても良いイベントと思う。もっと様々なイベントを企画し、経済効果を促進して欲しい。
常盤	女	20～29歳	その他の職業	2017年の芸術祭に行ってみたが、ただやっているだけで、意図が伝わってこなかった。
大町	男	40～49歳	工業（製造業）	大町市の町中でやっていてあまり関わり合う事がなかったので、次はもっと大町全体が関わり会えるイベントにしてもらいたい。
社	女	70歳以上	家事専業	移動しやすくして欲しい。
平	女	50～59歳	その他のサービス業	芸術祭は人口増加につながるとは思えない。どうせ行うなら、もっと一般市民にもわかりやすいものにして欲しい。
常盤	男	60～69歳	公務員	不透明。動員型。
平	女	50～59歳	その他のサービス業	展示場へは車でないと行けない。観光客が暑い中歩いているのを見たが、地元民からすれば「なんでこんな所を歩いているのだろう」という場所で、気の毒だった。
常盤	女	40～49歳	—	やめるべき。住民投票を行い反対多数の場合は主催者から返金させるべき。
常盤	女	50～59歳	商業（卸小売業・飲食業）	前回の時、各会場が離れていて移動が大変だった。
平	男	70歳以上	農林水産業	観光資源に恵まれた大町市らしさを高める事業を。
平	男	50～59歳	商業（卸小売業・飲食業）	必要ないと思う。経営の無駄。
大町	女	70歳以上	家事専業	一部市民だけが関わっているような気がする。
常盤	男	40～49歳	農林水産業	大町の自然、景観を活かせばいいと思う。
大町	女	40～49歳	金融・保険業	芸術祭を行って終わりではなく、それをその後の観光につなげて欲しい。大きな金額をかけて行うのなら、意味のあるものにしないといけない。
大町	男	70歳以上	学生・無職	作家との交流があまりできなかった。
大町	男	70歳以上	—	もっと市民を巻き込んで、大イベントとして成功するようなウェーブを起こしてほしい。
平	男	60～69歳	農林水産業	市民の理解が得られていない。

大町	女	50～59歳	その他の職業	芸術文化によるまちづくりが伝わってこない。
常盤	女	60～69歳	農林水産業	芸術祭はあまり希望しない。
社	女	40～49歳	その他のサービス業	年間を通して文化施設等が1ヶ所でもあれば良いと思う。
大町	女	70歳以上	家事専業	何を持って芸術というのか。知名度のある洗練さが欲しい。
大町	女	60～69歳	その他の職業	芸術祭入場チケット、大町市民、せめて高齢者だけでも無料にしてほしかった。
平	男	50～59歳	工業（製造業）	一過性の事業なので、安定性のある経済効果とはかけ離れている。別の事業に予算を使った方が良いのでは。
大町	男	40～49歳	その他のサービス業	中心市街地にキーポイントを設けて、芸術のギャラリーなどを作る。
常盤	男	60～69歳	公務員	そもそもなぜ芸術文化なのか、そこに多数のお金をかけることに大きな疑問を感じている。
大町	男	60～69歳	その他のサービス業	あまり費用がかからないようにして、人が沢山集まるようにしてほしい。
平	男	40～49歳	運輸・通信業	展示場所が遠すぎる。
大町	男	70歳以上	商業（卸小売業・飲食業）	開催・展示場所は、前は遠くわかりづらかったので、なるべく近くでできるように希望。
大町	女	60～69歳	学生・無職	あまり市内の経済活性化になっていない。お金の無駄遣いのように思える。
大町	女	20～29歳	学生・無職	芸術文化によるまちづくりの考えは良いが、チケットが高く、学生には手が出しにくいものだった。市内の小中学生には、少し安くする等したほうが良かった（大人も少し気になる程度だと来場しないと感じる）。
大町	男	20～29歳	学生・無職	観光客が増えた。
大町	男	70歳以上	観光業	身近な形から、メジャーに関連したものに。
平	男	70歳以上	観光業	芸術祭というものを、もっとわかりやすく説明し、市民全体が関心をもてるようにお願いしたい。
大町	女	20～29歳	工業（製造業）	観光客が増えた。街が活性化していた。
大町	女	60～69歳	家事専業	いまはコロナで良くない、もう少し時間が必要。
大町	男	70歳以上	公務員	地元の芸術家による発表会であってほしい。その中に国際的芸術家一人を加える程度で、企画等すべては市職員レベルでも良い。多額な出費は望まない。会計報告は、「広報おおまち」できちんと報告して当然のことと思う。
大町	男	60～69歳	建設業	他の方法を見つけてほしい。
常盤	男	40～49歳	農林水産業	前は国外・県外の芸術家ばかりだったので、せめて県内の芸術家を多くしてほしい。
社	女	70歳以上	学生・無職	本通りを歩行者天国に。
常盤	男	50～59歳	観光業	囲碁だ、芸術だと、とってつけたようなものばかり（頭が固い）。元々ないものを無理に引っ張ってくるのは違うのでは（安曇野市のように美術館なども少ない）。
美麻	男	40～49歳	工業（製造業）	いまの芸術祭は、特定の人による、特定の人のためのイベントという感がある。開催自体に反対ではないが、もっと他のことに予算を回してほしい。
大町	男	60～69歳	その他のサービス業	芸術祭の内容が、はたして格調高いものであったか疑問。あれが芸術なのか。

大町	男	30～39歳	その他の職業	助成金ありきの事業で、市税100パーセントならば反対する。
平	女	50～59歳	その他のサービス業	芸術文化によるまちづくりよりも、もっと有意義な予算の使い方を望む。
大町	男	50～59歳	学生・無職	それぞれの場所が離れすぎている。観光客の移動を考えると、一日では回り切れない。
大町	女	60～69歳	家事専業	理解できるものがなかった。
常盤	男	60～69歳	学生・無職	一般勤労者には、浸透度合いがうすく感じられた。もう少し、市民一体となってという意味表示がほしい。
常盤	女	70歳以上	家事専業	市内には、多くの芸術家が活躍しているが、「いいづら」には入らない作品があり、それらを展示できるスペース（駐車場もあり）がどこかにあるはずだと思う。
常盤	女	70歳以上	家事専業	初めて開催のため、善し悪しがわからない。いろいろな所を見て回ったが、正直あまり感心する所がなかった気がする。
常盤	男	40～49歳	その他の職業	海外のアーティストは、どのようにして日本に来るのかと思う。
大町	女	70歳以上	家事専業	感動する作品が少なかった。大きなお金を外の人にばかり出さず、地元の芸術家も育ててほしい。
平	男	60～69歳	その他の職業	日々の生活にいっぱい、芸術文化どころではない。
大町	男	70歳以上	学生・無職	月日がたっても見ることを希望する。
社	女	70歳以上	農林水産業	仁科町等のギャラリーなどで、時々絵画・写真等展示されているようだが、宣伝が小さくわかりづらい。常に鑑賞できる場所がほしい（芸術家でなくても市民作品で）。
常盤	男	70歳以上	学生・無職	身近に外国の方が来ることにより、国際化への意識づけができた。
大町	男	60～69歳	学生・無職	木崎湖の展示物は、周りの景観に適しているとは思わなかった。自然を大事にしてほしい。
八坂	女	70歳以上	その他のサービス業	前回は何が芸術かわからなかった。教育が必要？つまらないものに費用をかけすぎ、としか思えなかった。
大町	女	60～69歳	家事専業	大町らしさ、大町の空気・水・光から感じるものを表現する芸術家を選んでほしい。
大町	女	70歳以上	家事専業	市民の盛り上がりと不満が多い。私の周りでも、参加しない方が多かった。
大町	男	70歳以上	学生・無職	町全体が、芸術について、より深い関心をもっていけると良いと思う。
平	女	70歳以上	—	何をやっても毎回の繰り返しで、進歩がない。観客の多い他県町をみて、職員は勉強して欲しい。サポートがなさすぎ。
八坂	女	50～59歳	その他の職業	みんながみんな、興味があるとは思わないで欲しい。市職員に対してかなり強制しているのではないか。
大町	男	70歳以上	その他の職業	音楽、美術教育の充実化。教養を高めることは将来、必ず自分の為になる。
大町	女	60～69歳	その他のサービス業	他県の人にはいい芸術だった。地域全体は良くわからないうちに終わってしまった感じ。
大町	男	40～49歳	その他のサービス業	チケットのノルマ購入を辞めてほしい。そのようなイメージを付けなくて欲しい。
大町	女	50～59歳	観光業	身体が不自由な人にとってうまく歩けなかった。芸術祭は考えている人の偏りを感じるのでもっと違うことをすべき。
大町	女	50～59歳	家事専業	松本のクラフトフェアのほうがよっぽど芸術文化的で刺激もあるし、人にも興味を持ってもらえると思う。

平	女	60～69歳	その他のサービス業	多くの方を迎え入れるように思う気持ち、取り組みにしてもらわないとまた来たいと思ってもらえない。市民全体が盛り上がるやり方で進めてほしい。休憩所があってもテントだけでおもてなしがなかった。
美麻	男	70歳以上	農林水産業	市域全体に公平な施設を設けて地域の魅力を生かす取り組みをして欲しい。
大町	女	70歳以上	家事専業	観光客を呼ぶには有名な人の作品も必要だと思うが地元の人作品にもっと光が当たるようにするといい。
常盤	女	40～49歳	その他の職業	興味のない人からしてみると意味がない。
平	女	50～59歳	家事専業	それよりも道路、サイクリングロードを作してほしい。
大町	女	70歳以上	家事専業	赤字になるようなら辞めてほしい。最後まで残る証であればいいと思う。
常盤	女	70歳以上	農林水産業	前は広範囲で行く手段もないと聞いたが、最近紙面で掲載されていたので今度行ってみようと思った。
社	女	60～69歳	その他の職業	今まである大町の芸術や文化にさかのぼって掘り起こしていくのも文化活動にして欲しい。あまり大きく欲張らずに少しずつ。1年ごとにテーマを決めて。
大町	女	60～69歳	家事専業	大町の歴史や民話が多くあるのでアピールする。
平	男	20～29歳	その他のサービス業	誰にでもわかるような芸術作品を増やした方がいい。前回参加したが、あまり芸術性を感じることができなかった。魅力的に思えなかった。
平	女	70歳以上	農林水産業	芸術家は地元にもいると思うので声を掛けた方がいい。
大町	女	70歳以上	家事専業	将来、子どもたちに残して財産になるもの、そして夢があるもの大町出身で市内に住んでいる方はもちろん、知人や親せきの方など都会で活躍している方を見つけてきて欲しい。
平	女	70歳以上	農林水産業	抽象的過ぎて理解できないことが多い。
大町	女	70歳以上	学生・無職	大町に来てくれる人達の配慮があまりない。案内が不十分。
平	男	70歳以上	建設業	駐車場から遠く、坂道階段等歩行不十分な人への配慮が足りない。市外部から多くの人協力者が見えたのに本通はシャッターが閉まったままの店が多くてがっかりした。町の人たちは本当に活性化を望んでいるのか疑問に感じた。せめて灯をつけて感謝の気持ちを表したかった。
平	男	60～69歳	観光業	いまいちイメージが良く分からない。もっと他にやることがあると思う。福祉サービスの充実など公共施設のメンテナンスなど現場を市長は知っているのか。
大町	男	70歳以上	家事専業	芸術祭を中心にまちづくりなどできないと思う。経済力、ゆとりがあり、次に来るのが芸術。
大町	女	60～69歳	家事専業	お祭りで終わることがなく、そのあとに何が町で変化したかが大切。作品の片付けが大変という話も聞く。芸術を身近に感じ、まちづくりにどう反映されるかが課題。
大町	女	70歳以上	家事専業	前回の芸術祭は地元にはあまり利益がなく、他県から来た人に利益を持っていかれたと聞いた。今回は地元で多くの利益が出るようにして欲しい。
大町	男	40～49歳	運輸・通信業	出来れば利便化に重点を置いた祭典などして欲しい。
大町	男	50～59歳	工業（製造業）	今の市の方向が違う気がする。
大町	男	40～49歳	その他の職業	他にやることがある。
大町	男	60～69歳	公務員	多くの予算を注ぎ込むのだから、違うことを行ってほしい。
大町	男	60～69歳	その他のサービス業	期間限定ではなく後から見られる作品を。

大町	男	20～29歳	工業（製造業）	独特なものでいいと思う。
八坂	女	20～29歳	その他のサービス業	芸術祭後はまた同じ町に戻ってくる。関心のある市民が少ない。
常盤	男	40～49歳	工業（製造業）	作品がなるべく長く展示されているものであったらいいと思う。芸術の市になっているといいかも。壊してしまったり、無くなってしまわない作品であってほしい。
大町	女	60～69歳	その他の職業	もう少し作品の展示や作品の選定を重視して欲しい。
平	男	20～29歳	金融・保険業	お金の無駄使い。
大町	男	70歳以上	—	コロナの中でもう一度みんなに意見を聞いた方がいい。
大町	男	50～59歳	工業（製造業）	芸術祭に反対する議員もいて、市として一貫性がなく中途半端。もう少しお互い折り合いをつけて全体感を持つての開催が望ましい。
大町	女	20～29歳	学生・無職	難しい。
大町	男	70歳以上	学生・無職	国際芸術祭はその時だけで後に何も残らないでは大変な労力と費用を使ってやるべきか疑問だ。
大町	男	70歳以上	学生・無職	年齢的に無理。
大町	女	40～49歳	その他の職業	色々な人が来て思ったより楽しめた。すでにあるものの芸術性を見直した方がいい。
大町	女	40～49歳	その他のサービス業	大町に有名なアーティストやアトリエ、美術館が多数あるわけでもないのに、なぜ「芸術」なのかと疑問に思っています。
美麻	女	60～69歳	家事専業	芸術祭は、ある意味盛り上がったと思うのだが、一過性だったのではないだろうか。祭りの後の静けさばかり感じて、市民の中に何が残ったのかわからない。
美麻	女	60～69歳	公務員	他の市町村の方から、芸術祭の場所などの質問を受けた。分かりやすい案内などをお願いしたい。
美麻	女	60～69歳	その他の職業	芸術祭等の音が聞こえずに過ごしている人が多いのではないかな。自分を含め、もっと興味が持てたら良い。
大町	男	60～69歳	その他のサービス業	道路、防犯灯、歩道、建物の建設、保安等、条例を設けて芸術的な大町に進めていく。
常盤	女	30～39歳	公務員	芸術祭へは、参加（チケット購入）したが、とてもよかった。保存などに予算もかかると思うが、観光資源として保存、アピールをしていくといいと感じている。
常盤	男	70歳以上	学生・無職	芸術家が多く住み着く街になればいい。
大町	男	50～59歳	その他のサービス業	行政のひとりよがり。
美麻	男	60～69歳	家事専業	いろんな場所でやっていたが、メインは何なのかをはっきりしてほしい。プロデューサーがもっと考えてほしい。大町市独自の物をやってほしい。
大町	男	50～59歳	その他のサービス業	全国に成功事例があっても芸術をテーマにする事が先にありきでは大町市の特性にあったイベントはできないと思うので、市としてのグランドデザインを先に提示した上でテーマを決め、内容は市民のコンセンサスを十分に育むべきだと感じた。
大町	男	70歳以上	その他のサービス業	前回の芸術祭には多くのお客様が訪れたので、芸術祭期間中の「祭イン大町」を復活させて観光客にも見て頂きたい。何よりも市民を芸術祭でのイベントに参加していただく、協働の意味を分かち合うことが重要と考えている。

大町	男	40～49歳	運輸・通信業	囲碁の街大町は好意を持っている。なくさない様頑張してほしい。
大町	女	50～59歳	その他の職業	大勢の人が来てくれるのは良いが、もてなす体制（特に飲食）は物足りない。
大町	女	30～39歳	商業（卸小売業・飲食業）	芸術祭開催中は、街には人が溢れてとても活気があったが、終了とともにまた元の寂しい商店街に戻ってしまったことが残念だ。
平	男	60～69歳	学生・無職	文化や芸術は地域の特色により、それが基となり発生するものであり、特に行政の力でよそから持ってくるものではない。芸術祭だけあって、ただの「おまつり」で終わるのでは。
大町	男	50～59歳	建設業	誰もが（支援できる人）参加出来る芸術祭が良い。
平	女	60～69歳	家事専業	秋の文化祭と同時期にしてほしい。個人の出品、販売も行うと良いと思う。
常盤	女	70歳以上	家事専業	高齢の為、見学には行けますが、関わりは持てない。
大町	女	40～49歳	運輸・通信業	もともと芸術文化に関心を示してこなかったのに今さら、と思う。それによるまちづくりと言うなら、もっと市民が楽しめる、参加しやすいものとしてほしい。先回のものお金をとることばかりでつまらなかった。
八坂	女	70歳以上	家事専業	芸術祭とは、一般市民にいていねいに説明してほしい。市民が「そんなら、いってみるか」の意識に変えてほしい。
平	女	40～49歳	学生・無職	何がきっかけで美術祭を開催したのか気になった。
大町	女	70歳以上	学生・無職	アート作品ばかりでなく、大町の自然の美しさにとけこむ様なマッチした作品もあったらと希望する（屋外）。
常盤	男	60～69歳	公務員	地方で活動する人事との関わり方。お金を出してでもやっていただく様に大町からの芸術や文化を絶やささない様にしてほしい。
常盤	女	60～69歳	その他のサービス業	一般市民が知り、参加がしやすい、市民参加希望。
平	男	60～69歳	その他の職業	市民に対してのPRが全くない。市民全体を考慮していなく必要性を感じない。中止すべき。
常盤	男	60～69歳	学生・無職	長野県の人間のみを参加させ、プロデュースしている人はいらぬ。
美麻	女	70歳以上	家事専業	芸術は必要だが、もっと身近なものになるように普段から気安く芸術にふれる事ができるように考えて欲しい。巨額なお金が動くので一過性のものではなく長期的な物が良いと思う。
大町	男	40～49歳	工業（製造業）	芸術にくわしくない人、子ども等、いろんな人が楽しめるものにしてほしい。一部の人だけがわかるものではあまり広がらず、次へつながらぬ気がする。
大町	女	60～69歳	その他のサービス業	芸術祭が必要とは考えにくいと思っている。ムダな市民税を使っているようにしか思えない。
平	女	30～39歳	家事専業	前回の芸術祭開催時、もっと市民の意識が高まるアプローチが欲しかった。市内、保育園～高校生までの子どもたちの作った作品を希望者だけでなく全員にしてもよかった。芸術祭はとても誇らしい事なので、市民全体が感じられるイベントにしてほしかった。
大町	女	50～59歳	公務員	芸術祭にかける金額を他の芸術文化によるまちづくり活動にかけたらもっと有意義な事ができると思う。芸術文化も大切だがスポーツに対する活動にも同じくらいの金額をかけた方がいいと思う。
平	男	50～59歳	その他のサービス業	古典的な芸術、文化には理解できる。あまり美しいとは言えない物もアートだと言われても理解できない。
平	女	40～49歳	その他の職業	子どもがドキドキワクワクするような企画をお願いしたい。市民も参加をして作り上げられる様な生涯残る作品作り、何年後かに市民が再開できる等。

常盤	女	70歳以上	学生・無職	定住人口の増加や、少子化対策には繋がらないと思う。
大町	男	60～69歳	農林水産業	芸術は個人的嗜好に基づくものなので行政が音頭を取るべきではないと思う。芸術祭にかかるお金をもっと市民が緊急に必要な事に回すべきだと考える。
社	男	60～69歳	商業（卸小売業・飲食業）	前回は成功だったのか。今回、赤字なら次はやめた方がいい。
大町	男	30～39歳	公務員	芸術祭は話題性もあり、たくさんの方が全国から来たようだが、持続的なものかといわれると疑問。芸術の街＝大町市にしたいのか。そうであればもっと身近なものにしていく工夫が必要と感じる。商店街をアートギャラリーにして日本中の芸術家を誘う。
大町	男	70歳以上	学生・無職	芸術祭について、開催地にも関わらず、興味のない人も多く、市民一丸となって盛り上げられるものが必要ではないか。
大町	女	70歳以上	家事専業	見学に来る人達が自動車で来るとは限らないので、移動についても考えてほしい。
平	男	40～49歳	その他の職業	芸術の楽しみ方を知らない人が多い。
大町	男	60～69歳	その他のサービス業	住民の生活から目をそらさない。
平	女	30～39歳	家事専業	市職員をスタッフにして、職員の負担を増やしてはいけない（前回の文化祭）。
大町	男	70歳以上	家事専業	前回の文化芸術祭では外部の人が飲食店にも関わらず午後2時に店を閉め、食事もできなかったとの声もあり、もう少し外部からの人も大切にしてほしい。
社	女	40～49歳	建設業	出品するアーティストの方にもっと大町らしさ、大町の魅力を伝えてもらえるような作品を出品（出展）してほしい。
大町	女	70歳以上	学生・無職	大町市の参加人数より、県外からの参加人数のほうが多い気がする。市内の人が気軽に見に行っていない。誰を対象にしているのか分からない。観光消費額だけでみると大きいかもしれないが大町市の素の観光、道路（アルペンライン）が整備されていないので、観光に来た方の後のイメージ（また行きたい）にはなっていないような気がする。一部だけ交通が悪くて見に行けない。
常盤	男	60～69歳	建設業	くだらない。
大町	女	50～59歳	公務員	「芸術」とは誰がどこで判断しているのか。市内に作られたモノをみてゴミと言った人もいる。全員が芸術と思えないことをわかってほしい。「充実した医療・福祉によるまちづくり」に変えてほしい。
大町	男	70歳以上	農林水産業	芸術祭に多額の費用を投入するのではなく身近な課題に取り組むべきものと望む。
常盤	女	30～39歳	その他の職業	来訪者が農作業の邪魔にならないようお願いしたい。交通等で農道を使われるのは迷惑である。
社	男	70歳以上	工業（製造業）	規模は小さくなくても毎年継続して開催する方法。その場限りの出展物やイベントでは一時的な効果しかない。コーディネーターも公募して費用をかけない方法を。
常盤	男	40～49歳	工業（製造業）	あまり地域に浸透していない。
大町	男	70歳以上	その他のサービス業	子ども達による大きな作品があればよい。
平	男	70歳以上	その他の職業	このコロナ禍でどうして実行するのか。コロナ対策は良いが集客はどうするのか、前回の集客数は嘘ではないか。増収はどのくらいあったのか、もし失敗したらだれが責任をとるのか、市長や理事長が辞めても借金が残ってしまうのではないか。市の職員だけでも賛成反対の無記名投票をしたらどうか。

常盤	男	40～49歳	その他のサービス業	客観性のないものについて「よいものだろうか？」と問いかけられているようで、押し付けられているように感じる。静けさが好きで大町に来たので、賑やかすぎるのは嫌だ。押しつけと相まってこの施策は好きではない。
常盤	男	30～39歳	公務員	芸術文化を売りにしたいのに美術館がないのはどうなのだろうか。アーティストがギャラリーをもてるように財政補助をしたり、商店街の空き店舗をギャラリーとして貸すなど先行投資が必要。
常盤	女	20～29歳	学生・無職	芸術文化について知らない学生にアピールし、大町の魅力が伝わればよいと思う。
平	女	30～39歳	その他の職業	驚愕の税金を使っているのだからもう少し観光客が増えてもいいと思うが、芸術祭で変化したと思うことが一つもない。
大町	男	70歳以上	学生・無職	前回の芸術祭についても一部だけが盛り上がり、一般市民は蚊帳の外だった。土台ができておらず、意味が無い。
平	女	70歳以上	家事専業	終わっても残してほしいものもある。
常盤	女	50～59歳	その他の職業	地区ごとに市民を招待して（送迎含む）鑑賞できる日を設けてほしい。
常盤	男	30～39歳	工業（製造業）	やらない方がよい。
常盤	女	60～69歳	その他のサービス業	大町の元からある文化、和紙などを継承する。コロナ禍でわざわざ海外から人を呼ばなくてよい。大町の町並みや遺産を大事にしてほしい。
八坂	男	50～59歳	建設業	芸術文化祭を行い、人が来れば活性化する、滞在すればお金も使うことが分かった。現在は1日中楽しめる場所がないので作る必要はある。
大町	男	20～29歳	工業（製造業）	PRを増やす。
大町	男	50～59歳	公務員	自信をもって取り組んでほしい。
常盤	女	20～29歳	家事専業	芸術文化によるまちづくりを謳っているのに浸透していないのが残念。もっと知れる機会を増やした方がよい。
社	男	50～59歳	商業（卸小売業・飲食業）	他の地域の成功を見ていっても遅い。失敗が多いので行わない方がよい。
大町	女	60～69歳	その他の職業	音楽も取り入れたらどうか。
八坂	女	40～49歳	その他の職業	日曜日にバス等がなく困っている人がいたので改善してほしい。もっと地域や学校、子どもが関わって感心のいくまちづくりをしてほしい。
大町	女	70歳以上	その他の職業	作品選びが成功のカギ、期待する。
平	男	50～59歳	建設業	一時的なもので長くは続かない。消費（観光）が推進するようなものを考えるべき。芸術よりも温泉施設の有効化を願う。
社	女	70歳以上	家事専業	ここに住んでいれば到底見ることのできない芸術を味わうことがあればよい。
美麻	男	40～49歳	その他のサービス業	会計を明らかにしてほしい。
平	男	20～29歳	その他の職業	新しいものを取り入れる前に古くからあるものを有効活用できないか。
八坂	男	60～69歳	その他の職業	地域に設置されるアート作品に関わることで地域を見直す機会、郷土愛の醸造に繋げてほしい。
社	女	30～39歳	その他の職業	観光客が来ても、食事等含めて楽しめる場所が整っていない。「もう一度来たい。」と思える芸術祭でなければ作品がゴミになるだけで意味がない。
常盤	男	70歳以上	農林水産業	各地区平等となるよう取り組んでほしい。
大町	男	30～39歳	工業（製造業）	前回の芸術祭のグッズのデザインがイマイチだったので周りの意見を取り入れたものにしてほしい。アートをより身近に感じられるまちづくりをしてほしい。

八坂	男	70歳以上	農林水産業	後に何も利用されない。
平	男	70歳以上	学生・無職	外の人ばかり目を向けすぎ。
平	男	70歳以上	農林水産業	芸術文化よるまちづくりというものが本当にできるのか全く理解できない。
大町	男	50～59歳	その他の職業	広域すぎて、交通が不便。食事ができる場所や休憩できる場所が少ない。県外では成功しているかもしれないが大町では長続きしない。
大町	男	40～49歳	その他のサービス業	活気が出たとは思わない。
大町	女	30～39歳	家事専業	自分の周りの人達はあまり関心が無いような気がしました。その様な人達にも興味を持ってもらえる様なものがあつたらいいと思う。
八坂	女	50～59歳	その他のサービス業	芸術祭の企画プロデュースは市外の人がやっているが、市民の中から企画プロデュースができる人を育てるような施策があると良いと思う。
平	女	30～39歳	その他のサービス業	市民に対してのPRが薄く、地元の間人が置いてきぼりになっている様に感じる。皆を巻き込んで盛り上げるような空気が欲しい。
常盤	女	70歳以上	その他のサービス業	市民として何の楽しみもなかった。足の不自由な人の事も考えて欲しい。
大町	女	50～59歳	その他のサービス業	若い芸術家ではなく、知名度のある芸術家に作品を作ってもらい、市を活性化してもらいたい。

問 34 市では、さまざまな地域や外国との交流を通じて、広い視野と感覚を身につけるとともに、地域の活性化を図るための事業を推進していますが、交流事業の一つでもある都市と農村等の地域間交流が促進されていると思われますか。次の中から1つ選んで、その（ ）に○を記入してください。

／6（ ）その他（具体的にお書きください）

大町	男	70歳以上	—	情報が少ない。
社	女	70歳以上	学生・無職	姉妹都市の立川市・氷見市・インスブルクは、交流している人はいるが、関係者だけでとどまっているのでは。市役所内に紹介コーナーを望む（白馬村・小谷村にはあり）。
社	女	60～69歳	建設業	知らなかった。
常盤	男	30～39歳	学生・無職	目標が複合的なあまり、何を目指しているのか分かりにくい。
大町	女	50～59歳	観光業	白馬に比べて促進されていない。
大町	女	70歳以上	家事専業	どんな地域間交流があるか分からないので。
社	女	60～69歳	その他の職業	知らなかった。
大町	男	50～59歳	その他のサービス業	促進されているかを知りえる手段がない。
八坂	女	70歳以上	家事専業	市民にはわかりづらい。
大町	女	50～59歳	公務員	交流内容がわからない。
常盤	女	70歳以上	学生・無職	コロナ禍では困難。

大町	男	60～69歳	農林水産業	この事業で恩恵を受ける人は限られている。
平	男	70歳以上	その他の職業	交流はしてほしくない。
大町	女	70歳以上	家事専業	知らなかった。
大町	男	40～49歳	その他のサービス業	知らなかった。

問 35 あなたが、「広報おおまち」で特に知りたいと思われることや、取り上げてほしいと思われることはどのようなことですか。いくつでも結構ですので、次の中から選んで、その（ ）に○を記入してください。

／16（ ） その他（具体的にお書きください）

大町	男	70歳以上	学生・無職	新型コロナで全ての活動が自粛されているが、こんな時こそ広報の力が試される。人々に希望を与える事も必要。回数も多く。
社	女	40～49歳	その他のサービス業	市役所職員の紹介。
大町	男	30～39歳	その他の職業	当月の当番医・緊急時相談先など。
大町	女	40～49歳	その他のサービス業	広報おおまちの廃止。希望者のみ市から配布するなど、自治会から配布させるのはやめてもらいたい。ネットで見られる。
大町	女	50～59歳	観光業	簡単な地元の料理や季節に合った食べ物、保存方法など。
平	女	50～59歳	家事専業	市役所に用があった時だけ広報を見るが他はネットで見たらよいのか。
大町	女	60～69歳	その他のサービス業	自治会を抜けたら広報が来なくなったので分からない。
大町	男	70歳以上	家事専業	紙からIT化に方向を変えるべき。
大町	男	70歳以上	学生・無職	回覧板に頼らない。
美麻	女	60～69歳	その他の職業	簡単な料理を一品とかの方が主婦は嬉しいのではないか。
美麻	男	60～69歳	家事専業	議会が今行っている内容やこれから行おうとしている事を掲載し、市民の意見を求めるコーナー。
大町	男	50～59歳	その他のサービス業	表紙のデザインが良くない。
常盤	男	30～39歳	商業（卸小売業・飲食業）	大町市情報センターの市民講座の開催予定。
大町	女	40～49歳	運輸・通信業	今まで通りの休日の緊急医や、年末年始のゴミ出し情報は見やすく嬉しい。
大町	女	40～49歳	その他のサービス業	紙をつかうのをやめた方がいいと思う。
平	男	60～69歳	その他の職業	広報に使用されている紙が良すぎる。月一回で良いと思う。
常盤	男	60～69歳	学生・無職	広報おおまちはいらぬ。

常盤	女	70歳以上	学生・無職	自治会に配布させないで、ネット発信に切り替えてほしい。
大町	女	50～59歳	その他の職業	「市長への手紙」の市民からの内容⇄お答えが、たまに載っているがもっと載せてほしい。
大町	男	70歳以上	その他の職業	市町村との比較差を統計で表してほしい。
常盤	女	20～29歳	家事専業	医療やためになること（料理、栄養、体操など）がもう少しあると楽しそう。
八坂	女	40～49歳	その他の職業	すでに色々取り上げているのでよい。
大町	男	40～49歳	その他のサービス業	市長が掲げている政策、選挙で約束した事に対する政策の進行具合が知りたい。

問 36 市では、市民の意見・要望を市政に反映するため「市民意識調査」や「市長への手紙」、「地域懇談会」などを行っていますが、その結果が市政に反映されていると思われますか。次の中から1つ選んで、その（ ）に○を記入してください。

／6（ ）その他（具体的にお書きください）

大町	男	70歳以上	学生・無職	意識調査の実施は良いことだと思うが、質問が多く大変。もっと絞り込んで欲しい。
大町	女	60～69歳	家事専業	色々な人の意見を、どんどん聞いてほしい。
社	女	70歳以上	学生・無職	提案と改善されたこと・できないことの反映を。学級毎やスポーツ団体毎等、意見吸収方法の見直しを。
美麻	男	40～49歳	工業（製造業）	それらにより、どのような意見要望が出され、どのような対応をしたのかを、もっと情報発信してほしい。
大町	男	30～39歳	その他の職業	市民の声ありきの市政は、一部優遇となりやすいため、市長の判断第一で。
大町	男	70歳以上	学生・無職	以前手紙を出し、回答する専門部署から出来ない理由のみの返事をもらった。必ずしも私の意見が良いとは思わないが、見せかけの活動ならやめてほしい。
常盤	男	60～69歳	運輸・通信業	情報がないため分からない。
大町	女	60～69歳	その他のサービス業	市民の意見が分からない。
大町	女	20～29歳	学生・無職	この行いを知らなかった。
平	男	70歳以上	その他の職業	意見や要望がどのような事項が提案されているかが公表されていないので答え様がない。
美麻	男	60～69歳	家事専業	ごく一部、反映されていると思う。
大町	男	50～59歳	建設業	市長への手紙や要望を公開してどの様に反映したかを何らかの方法で公開してもらいたい。
大町	女	60～69歳	その他の職業	調査結果などの詳細を知らないため、そちらを知りたい。
平	男	40～49歳	その他の職業	反映されないとおかしい。
大町	男	70歳以上	その他の職業	意見してもその内容が分からないのか、関心もない。
大町	女	50～59歳	公務員	巨額な市財が動くのに、芸術祭への反対意見に聞く耳を持っていないから。

大町	男	40～49歳	—	市民意識調査も市長への手紙も地域懇談会の内容も知らないので分からない。
平	男	70歳以上	その他の職業	無記名でないかと正直なことがかけないのではないか。
常盤	男	50～59歳	その他の職業	市長への手紙はとても良いと思っている。
平	女	30～39歳	その他の職業	市長への手紙をメールで送ったが返答なし。
美麻	男	40～49歳	その他のサービス業	市長への手紙が記名式である限り、本当に困っている人は書けない。
八坂	女	50～59歳	その他のサービス業	反映の可否を誰がどのように決めるのか、結果はどのように市民に伝えられるのかがわからない。

問 37 新型コロナウイルス感染症に伴う影響についてお聞きします。

【1】 新型コロナウイルス感染症について、あなたが困っていること、心配に思われていることを次の中から3つ選んで、その（ ）に○を記入してください。

／ 10（ ） その他（具体的にお書きください）

大町	女	20～29歳	工業（製造業）	外出するのが怖く、遠くに行くのが億劫になる。
常盤	男	60～69歳	学生・無職	県外に住む家族が帰省できない。
大町	女	60～69歳	家事専業	経済の低迷。コロナウイルス感染も心配だが、社会全体がいろいろと悪い方に進んでしまうと思うと不安。
社	女	60～69歳	建設業	以前よりマスク着用者が少ない。
大町	男	30～39歳	その他の職業	ウイルスの全貌がわかるまで、子ども達が遊ぶ場所や気疲れはストレス。
常盤	男	30～39歳	学生・無職	7月当初よりこの感染症の報道内容が変わり、公的機関が嘘を広げているのではないかという心配がある。
美麻	男	70歳以上	農林水産業	市の検査で3万円は高すぎる。
大町	男	50～59歳	その他の職業	これからの冬場、インフルエンザ流行時に新型コロナウイルスが流行した時の医療や検査体制。
大町	男	50～59歳	工業（製造業）	コロナウイルスより、風評被害など人のほうが心配。
大町	女	50～59歳	公務員	経済が停滞していること。
平	女	30～39歳	家事専業	県外に行きづらくなった。
大町	女	70歳以上	家事専業	一日も早くコロナが世界中から消え去ることを望んでいる。
八坂	女	60～69歳	その他の職業	今後の感染が不安。
大町	男	40～49歳	その他の職業	感染リスクを少なくする以外、どうしようもない。
常盤	男	60～69歳	学生・無職	●●することは間違いなので感染症をもっと理解し、今後の対策をどうするか心配。
大町	女	50～59歳	観光業	収入が減っているのが先が心配。
大町	男	40～49歳	運輸・通信業	村意識が強すぎて自分が感染してしまったら大町には住んでいられないという恐怖があります。
平	男	60～69歳	学生・無職	勤務の変更により、人生設計が狂った。

大町	男	50～59歳	建設業	自分では関わっていないが、世の中全部当てはまると思う。
平	男	50～59歳	公務員	スポーツの大会の開催中止や感染対策（開催する場合）。
平	女	60～69歳	家事専業	食事をする店の対応が違うので心配になる。
大町	女	40～49歳	運輸・通信業	仕事が忙しいところに人手が足りてない。
大町	女	60～69歳	その他の職業	コロナ流行時において観光客減少で地域活性化が止まることは困るが、遠方から客が増えることで感染リスクが上がることも心配。
社	女	30～39歳	家事専業	人とかかわりが減って、メンタルがやられそう。
大町	女	50～59歳	その他の職業	消毒液が高価になったこと。
大町	男	30～39歳	公務員	実際に感染者が出たときのことを考えると差別、嫌がらせがひどい人権意識の低さが怖い。
大町	男	60～69歳	学生・無職	GoTo キャンペーンによる感染の拡大が心配。
平	男	50～59歳	学生・無職	仕事がない（現在無職）。
社	男	40～49歳	その他のサービス業	対策意識の低さ。
常盤	男	60～69歳	建設業	発生した場所を公にしない市の対応に不信感がある。
大町	女	70歳以上	家事専業	小中学校の休校について大町市独自の検討で期間を設定し、全国をまねる必要性は感じられなかった。
常盤	女	60～69歳	その他の職業	GoTo キャンペーンで都会から人が来ると陽性の人からの感染が心配。
常盤	男	50～59歳	その他の職業	GoTo トラベルで県外の人が入り放題でよいのか。旅行を控えているのに買い物に行けば県外ナンバーばかり。
常盤	男	40～49歳	その他のサービス業	感情的に恐怖があり、いつ終わるか分からず息苦しい。
社	男	40～49歳	工業（製造業）	困っていることはない。
常盤	女	20～29歳	家事専業	コロナ対策が疎かになっている人が目立ってきて不安。
美麻	男	40～49歳	その他のサービス業	結局何が正しいのか分からない。
八坂	女	50～59歳	その他のサービス業	自分が知らないうちに感染を広めてしまわないか不安。
大町	男	40～49歳	その他のサービス業	役所の対応が悪い。相談してもマニュアル通り、血が通っていない。もっと仕事をしてほしい。
大町	女	50～59歳	商業（卸小売業・飲食業）	学校行事や地域のお祭りなどが無くなっていて、子どもがどんどんやる気をなくしてしまっていること。

【2】 新型コロナウイルス感染症に関する支援策として、あなたが行政に望むことを次の中から3つ選んで、その（ ）に○を記入してください。

／9 （ ） その他（具体的にお書きください）

平	女	50～59歳	その他のサービス業	周りの市町村では各家庭に対して経済面の支援を行っているのに大町市では行っておらず、平等でない。今の状況に合ったやり方で、少しは市民の事を考えていただきたい。
---	---	--------	-----------	--

常盤	女	40～49歳	—	給付金の増額。大町市の行政が近隣市町村に比べ力がない（金がない）ことは明らか。
平	男	70歳以上	農林水産業	市外から人が来られる事は良いが、コロナウイルスは絶対に入れない方策を。PCR検査をスムーズに行い、個人負担は少なくして欲しい。
八坂	男	60～69歳	その他の職業	PCR検査費用を下げるための体制整備と補助金を導入し、誰でも安価で検査できるようにする（国・県への要望）。
常盤	女	60～69歳	家事専業	医療・介護従事者、流通を支える方を守る方策をしっかりと立てて、実施してほしい。未来を担う子ども達を守ってほしい。
大町	女	60～69歳	家事専業	PCR検査等、速やかに受けられると良い。安心して相談できる体制を望む。
常盤	男	70歳以上	学生・無職	病院等、医療施設への経済的支援。
常盤	男	50～59歳	観光業	条例で県外者の規制を。
社	女	60～69歳	建設業	個人で注意するしかない。
大町	男	30～39歳	その他の職業	銀行に5号セーフティネットの相談をしたが、取り合ってもらえず、市へ申請すらできなかった。支援が行き届かないケースも多々あると思うので、是正を望む。
常盤	男	30～39歳	学生・無職	過剰な意識や感染対策をなくしていく。
大町	男	50～59歳	その他の職業	これからの冬場、インフルエンザ流行時に新型コロナウイルスが流行した時の医療や検査体制。
大町	女	40～49歳	その他のサービス業	観光地の感染防止対策への支援・直接的な関わり。他の観光地では、大切な観光資源・観光客を守るため、市が前面に出て対策に乗り出して徹底していた。是非、視察に行してほしい（道後温泉は見事だった）。
大町	女	50～59歳	観光業	全部○。身体が不自由でアレルギーを持っているのでマスクを2時間以上つけると顔にぶつぶつが出来る。マスク不足の時は本当に苦労した。1日働いて4.5枚使うので困っている人に補助して欲しい。
大町	女	50～59歳	公務員	経済対策。
平	女	30～39歳	家事専業	県外への行き来への差別をなくしたい。
大町	男	70歳以上	家事専業	感染者が出た時の具体的な情報の提供。あいまいな情報しか提供しないから風評被害が出る。
大町	男	40～49歳	その他の職業	初めてのことで先が見えなかった。情報遅れがそのまま食対応に直結した。
大町	女	50～59歳	その他の職業	感染者とその家族を守ること。
大町	女	20～29歳	学生・無職	感染したら周りの目がとても怖い。呼びかけても差別や嫌がらせが無くならないので、呼びかけの前に徹底的に保護してほしい。特に大人の方が誹謗中傷があると思う。
大町	女	50～59歳	観光業	小さい子がいる家庭でなく、皆収入が減っているのでその面だけを取り上げるのではなくみてほしい。
大町	女	40～49歳	その他のサービス業	どこで誰が感染しても不思議でない状況にあると思うので、感染者増加を前提に医療機関の強化支援が必要だと思う。
平	男	70歳以上	その他の職業	防災無線で、コロナ対策予防でお知らせと言っているが、あれはお願いだと思う。
常盤	男	50～59歳	公務員	風評被害や差別、嫌がらせをしない様に呼びかけてほしいのと大町になぜ助成金などの支援策がないのか。
大町	女	40～49歳	運輸・通信業	仕事がない、減った。という人たちの他業種への応援サポート。
八坂	女	70歳以上	家事専業	感染防止策について●●●●した計画。日常生活の行動に変化を（マスク、手洗い）。
平	男	60～69歳	その他の職業	感染症の予防に必要な情報を提供してほしい。
大町	男	70歳以上	その他の職業	感染の有無が心配な時のPCR検査がすぐできる様に。クラスターがおきないように商店、飲食店などへの指導。
大町	男	30～39歳	公務員	withコロナの意識が高まってほしい。

社	男	40～49歳	その他のサービス業	帰省支援。
常盤	男	60～69歳	建設業	発生した場所の迅速な公開と不安な人への積極的な検査。
美麻	女	50～59歳	その他の職業	タイムリーに臨機応変に動いてほしい。選択肢すべてを行うことを望む。3つ選ぶ意味が分からない。
常盤	男	40～49歳	その他のサービス業	マスク、手洗い、うがい、換気以外の対策や、反応をすべて止めるよう呼び掛けてほしい。都会にある実家に未だ帰りにくい。
常盤	女	20～29歳	家事専業	マスク着用、ソーシャルディスタンスの確保を今一度徹底してほしい。入口などにあるポンプ式除菌スプレー等は皆触っていて意味無いと思うので自動で出るものに変えてほしい。
八坂	女	40～49歳	その他の職業	福祉が必要な方が2週間様子を見るとなると、どのようになってしまうのか不安。嫌がらせなどをした人は法的措置も必要。
平	男	70歳以上	商業(卸小売業・飲食業)	他の市町村ではもっと支援されているが大町はそこまでされていない。
平	男	70歳以上	家事専業	PCR検査が自由に無料で何日でも行えること。
大町	男	70歳以上	学生・無職	大町市独自のPCR検査の実施。
八坂	女	50～59歳	その他のサービス業	PCR検査を受けられる体制作り。
常盤	男	70歳以上	農林水産業	市立病院職員が安心して仕事ができるような対策。
大町	男	30～39歳	工業(製造業)	感染リスクの高い人達への手厚い支援。健康で重症化リスクの低い人達への経済活動の呼びかけ。

【 3 】 あなたが、新型コロナウイルス感染症の拡大などについて、気がついたことがありましたら具体的に書きください。

大町	女	50～59歳	その他のサービス業	商店や病院、また各役所など人が集まる場所ではアルコール消毒、マスク、ソーシャルディスタンスなど気をつけていると思うが、ついうっかり、随分会っていない人と偶然会ったとか、思いもしない時はつい密になって話していると思う。また家で一人感染した時のことを考えると、2週間は外に出ることができない。食事の買い物はどうするのか、家の中では別々にいることも難しい、など心配だ。
社	女	60～69歳	工業(製造業)	風評被害の大きさに驚いた。不確かな情報の拡散。
常盤	男	70歳以上	農林水産業	皆さん、マスク、手洗いなどよくできていると思う。
平	女	30～39歳	農林水産業	コロナだと言われたら困ると病院に行かない人がいる。本人の意識の問題。
常盤	女	70歳以上	商業(卸小売業・飲食業)	各自が防止に努める。
常盤	女	20～29歳	その他の職業	職業上コロナウイルスに自分がかかると大変な事が起きてしまうので徹底して予防しているが、マスクもしないで出歩いている人や、自分さえよければという考えの人が多いため、とても困る。
平	女	60～69歳	家事専業	GoTo トラベルが実施され、県外の方が大町に入ってきている中、差別、嫌がらせ等を危惧し、離れて住んでいる家族とも行き来ができない現実。私のみならず、友人も家族と感染症の拡大以来往来できなくて困惑している。

大町	男	40～49歳	工業（製造業）	スーパーなどに行くと県外ナンバーの自動車があり、その店に行くのがちょっと怖い気持ちになって辛い。
社	女	70歳以上	家事専業	今回、個人情報保護もなかった。
大町	女	40～49歳	観光業	連休中、地元住民はマスク着用しているが、県外からの観光客のほとんどがマスクをしていなかった。
平	女	50～59歳	その他のサービス業	スーパーで買い物中マスクをしないで長話をしている人がいる。また感染防止対策を行っていない飲食店もあった。
大町	女	70歳以上	家事専業	これから寒くなるとコロナ感染者が増えると言われている。気を緩めることなく、手洗い、消毒、マスクは必ずするよう習慣づける事が大切。
大町	男	50～59歳	その他の職業	コロナに感染した人の家族などへの嫌がらせがひどいようであり、それへの対応が必要。
大町	女	70歳以上	学生・無職	買い物の時、目的以外のものには触らない。
常盤	男	40～49歳	農林水産業	感染してしまった時、周りが感染してしまった時の対応の教育。
大町	女	70歳以上	家事専業	まだ感染者が増えているが、感染してしまった方の差別だけはしないで欲しい。
大町	男	70歳以上	学生・無職	公共施設での感染者チェックが甘い。体温の自動チェックなどの対策を。
大町	男	70歳以上	—	感染への心配から閉鎖的になっている。集会等もどこまでがOKで、どこからがダメなのかわからない。
大町	女	50～59歳	その他の職業	人が怖いと思った。
常盤	男	60～69歳	運輸・通信業	差別がないこと。
常盤	女	60～69歳	農林水産業	新型コロナによって病院、施設での出入りが制限され、会うことができない。何か良い方法があればと思う。
大町	女	60～69歳	観光業	感染したら怖いのが、恐れてばかりではいけないので、基本の手洗い、マスク、三密を避け、自らが気を付け行動するしかないと思う。
社	女	40～49歳	その他のサービス業	宴会の人数、店の営業時間、県外への移動などについて自粛の目安がわからない。感染者を守る事、また誹謗中傷をした人への警告などがあってもよかったと思う。
大町	女	40～49歳	その他の職業	対応、情報が遅い。
大町	女	70歳以上	家事専業	風評被害の恐ろしさを知った。正しい情報が欲しい。
大町	女	60～69歳	その他の職業	市内で感染者がでたことは、たとえ県外者からの感染だったとしても市民の意識、認識の低さだと思う。近隣の松川、池田、白馬では出ていないのだから。
八坂	女	60～69歳	その他のサービス業	全ての面において、今のままでは気持ちまでも萎える。人間関係も心配になる。
大町	男	40～49歳	その他のサービス業	手洗い、うがいを徹底し免疫力をあげる。
常盤	女	60～69歳	その他のサービス業	手洗い・外出時マスクをしっかりとる。
社	女	70歳以上	工業（製造業）	誰がいつどこで感染するのか、考えただけで怖い。決まりを守り、長生きしたい。
大町	男	60～69歳	その他のサービス業	多発している地域からの人の流入を、できるだけ抑える。
大町	女	20～29歳	その他のサービス業	ウイルス感染者以外の支援（周りの人）。
平	男	40～49歳	運輸・通信業	GoTo キャンペーン反対。PCR 検査 30,000 円は高すぎる。
大町	女	70歳以上	農林水産業	買い物に行っても市民の人々がマスクはもちろん3密を守って行動していたように思う。早い終息を願っている。
大町	男	60～69歳	公務員	正しく新しい情報が、あまり届かない。

平	男	70歳以上	観光業	コロナ感染への誹謗中傷が多い。もう少し労りの気持ちをもつことが必要。
大町	女	20～29歳	工業（製造業）	県外ナンバーの車が増えた。買い物するのも怖い。
常盤	女	60～69歳	家事専業	コロナ治療薬やワクチンが出来つつあり、3密を守る意識も高く、次の流行への備えができつつあると思う。一番気になるのは、風評被害・差別・嫌がらせ。子ども達への人権教育と、大人への人権意識を高める対策を、早急に継続的に行うことが必要。
美麻	男	60～69歳	学生・無職	情報の開示。
大町	女	60～69歳	家事専業	早く終息し、来年の東京オリンピックが開催されるとよいが、今はまだ不安。自分が出来る事をきちんとやって感染を防ぎたい。
常盤	男	70歳以上	学生・無職	医療従事者の皆様の奮闘に敬意をあらう。行政からの十分な支援が届くことを期待。
大町	男	70歳以上	公務員	飲食業・ホテル業等での営業の行き詰まり、日雇い労働者の生活費、その家族や学童の負担をいかに支援するか。経済生活での行き詰まりでの犯罪の増加、外国の留学生の生活等思うと大変である。
大町	男	60～69歳	建設業	ワクチンの早急な確保。
常盤	男	30～39歳	建設業	個々の意識が高まってきているのは良いが、過剰反応する人への当たり障りのない対応が必要。
社	女	70歳以上	学生・無職	感染者や家族への風評被害・差別が心配。
社	女	60～69歳	家事専業	先月、大町病院にて検査機器が導入され、検査可能になった。無症状でも自己負担（3万円）で検査可能のようだが、負担額をもう少し安くしてほしい。
常盤	男	50～59歳	観光業	感染者発生時は、迅速に行動範囲を市民に知らせてほしい。
美麻	男	40～49歳	工業（製造業）	大町に限ったことではないが、感染者に対する周囲の対応がひどすぎると感じた。
大町	女	50～59歳	商業（卸小売業・飲食業）	全国で感染拡大するにつれて、感染症に対しての意識が薄れているように思う。大町で感染拡大した時が怖い。
大町	男	30～39歳	その他の職業	医療用品はいまだに高額で、医療用グローブは2倍近い定価。助成金は、こうした額に釣り合ってなく、国の緊急包括支援はまだ届かない。市の助成金は、非常に迅速であったため、有能な人材が多いと感心している。
平	女	50～59歳	その他のサービス業	県外からの観光客が多く、感染が心配。
大町	男	50～59歳	学生・無職	9月の4連休に、感染者が最多の県外から来る観光客に苛立ちがあった。これで長野県や大町市に感染者が出たら大騒ぎになると心配した。
大町	女	70歳以上	—	お店等に入ってもかけない人がいると不安。
大町	女	60～69歳	—	今回の情報公開をしてくれたこと。
常盤	女	70歳以上	家事専業	田舎だから大丈夫と思っている人もいるようだが、誰でも感染する可能性があると思うので、気を引き締めていきたい。
常盤	男	30～39歳	学生・無職	科学的根拠を示さずに、命令だけするのは愚かだと思う。
社	男	70歳以上	学生・無職	ブレーキとアクセルを同時に踏むような政策は、やめてほしい。
常盤	男	50～59歳	その他のサービス業	高齢者・基礎疾患がある人は行動制限をし、若者は過剰に行動制限しないほうが良い。
社	女	70歳以上	農林水産業	人が動くとも感染が拡大するが、動かなければ経済が回らなく大変難しい。とにかく一人ひとりが気を抜く事なくマスク・手洗い・消毒等をする。一日も早く、安全なワクチンが開発されることを望む。
常盤	男	70歳以上	学生・無職	スーパー等の買い物時、入店時の手指消毒をしない人が特に高齢者に多くみられる。市内での感染が収まっていることもあり、自分も含めて気のゆるみがあると感じる。
大町	男	50～59歳	工業（製造業）	コロナウイルスより、人が怖い。

八坂	女	50～59歳	農林水産業	情報は、隠さないでほしい。どこの店で感染し、大町病院に何人入院したのか等。
大町	女	70歳以上	家事専業	感染しやすい高齢者への対応と防止。市での対応など、詳細マニュアルの作成（公共施設で、担当者により対応が異なる）。
大町	女	40～49歳	公務員	市内の感染者・その家族への心ない周囲の反応について、耳にした。誰もが感染する可能性があり、感染もある程度は仕方がないこと。差別・嫌がらせはあってはならないという事を、市長から再三の発信をお願いしたい。
大町	女	60～69歳	その他の職業	マスク・手洗い・県外へ行かない。
大町	女	60～69歳	商業（卸小売業・飲食業）	以前、市内で感染者が出た際、風評被害がすごかったと聞いた。二度とこのような事が起こらないよう、早めの対策が重要。
大町	男	60～69歳	その他のサービス業	①コロナ感染の初期対応が、プロ（病院）でも不十分 ②対策を100%で行うのか、50%で行うのかの判断が遅い。
大町	女	70歳以上	家事専業	個人々が感染対策をしっかり守ることが大事だと思う。
大町	男	70歳以上	その他の職業	都市部ほどコロナ感染の危機意識が薄くて、地方との格差が大きい。入込の制限が可能であれば実施してもらいたい。
大町	女	40～49歳	その他のサービス業	昔ながらの風評被害、差別がある。自分がコロナになるか分からないのに人のことばかり噂する人が多い。小さい町内の嫌なところ。手洗い、うがい自分たちの出来ることをやれば拡大せずに退治できる。
大町	女	60～69歳	その他のサービス業	買い物に行くと他県からのお客がマスクもせずに入ってきて買い物をしている。空気がきれいなのになぜマスクをするのかと言われた。コロナのことが良く分かっていないと思った。
大町	男	40～49歳	その他のサービス業	大町病院での発熱外来の対応。（受付が誰でも通行できるような検査体制）完全に別棟にするなどの工夫。
常盤	女	30～39歳	家事専業	市が決めることなので仕方がないが、保健所でのくくりが広すぎ。くくりが広すぎて外出しづらかった。
大町	女	50～59歳	観光業	もっと寄り添って欲しかった。マスクの為に働いているみたい。
美麻	女	70歳以上	家事専業	コロナが世界中から無くなるまで近所付き合いがないと思うと寂しい。
大町	女	30～39歳	運輸・通信業	コロナになってしまった人の家や職場が特定されないようにして欲しい。
大町	男	70歳以上	その他の職業	混雑を避ける、人ごみに入らない。
大町	女	70歳以上	家事専業	過敏になり行事が中止になっているのは益々元気がなくなる。注意しながらも行うようになるといい。検査が素早くできるようになるといい。
大町	男	70歳以上	学生・無職	経済活動も優先させながら病院等の支援をする。防疫を徹底するなら経済活動を感染が下火になるまで自制する。国の方針が中途半端。
大町	女	20～29歳	その他のサービス業	市独自の給付金があるとありがたい。お年寄りが多く一緒に暮らしている家族も大変。
平	女	50～59歳	家事専業	感染者を差別しないようにと呼び掛けてもなくなる。恐ろしくて感染しても病院など行かない人も出ると思う。
社	男	20～29歳	学生・無職	就職難。
大町	男	70歳以上	その他の職業	県外からのお客さんに対して消毒の徹底表示、各店・旅館・施設において直接に話して理解してもらおう。
社	女	60～69歳	その他の職業	大町での感染者の嫌がらせを知りとても驚いた。感染よりもそれが怖い。
平	男	20～29歳	その他のサービス業	クラスター発生後大きな広がりがなく落ち着いたことは良かった。正確で迅速な情報発信が必要。
大町	女	50～59歳	学生・無職	県外から持ち込まれてクラスター発生したので、より慎重に予防策を取る必要がある。
常盤	女	70歳以上	学生・無職	マスクをしての生活は苦しい。人との接触が苦しい。人間不信になる。
大町	女	70歳以上	家事専業	大町で感染者が出たとき、市長の対応は立派だった。

平	女	70歳以上	農林水産業	クラスターが発生したが拡大せずに留まったのが良かった。各個人の意識とお互いの協力が必要になると思う。
大町	女	70歳以上	学生・無職	心配する割には消毒等、実施ない。
平	男	30～39歳	観光業	スーパーやキャンプ場は個々で対策しているが、市は発表するだけで具体的になにかをして頂いたわけではないので、今後対策のスピード化、県との連絡をスムーズにしてほしい。
平	男	60～69歳	観光業	防災行政無線でマスクの着用を呼び掛けてほしい。
大町	女	60～69歳	家事専業	東京から来て感染者が出たことを聞いて、どう身を守ればいいのか、安心できない。
大町	女	70歳以上	家事専業	自分が掛かったときの世間の風評が恐ろしく思う。掛かってしまった人には思いやりの心で接して欲しい。
大町	男	40～49歳	運輸・通信業	図書館のトイレ内にも消毒液を設置して欲しい。
大町	男	60～69歳	公務員	一人ひとりの自覚。必要以上に恐れることはないと思う。
大町	男	50～59歳	家事専業	感染しないようにするしかない。
八坂	男	60～69歳	建設業	マスク、消毒など出来ることを行っている。
平	女	30～39歳	家事専業	感染拡大の恐れがある行動についてもっと強い強制力で禁止してほしい。飲み会禁止、感染流行地域からの往来禁止など。
大町	男	70歳以上	その他の職業	市民が頑張っていると思う。
大町	男	20～29歳	工業（製造業）	高齢者の人でマスク着用をしていない人がいることや県外から来た人が着用していないのが気になる。呼びかけが必要。
大町	女	50～59歳	運輸・通信業	差別がとても悲しいことだと思った。
大町	女	40～49歳	その他の職業	風評や差別的な発言をされる不安や周囲の理解をもう少し高めてほしい。
社	女	60～69歳	その他のサービス業	7～9月にかけて県外車がものすごく増えて、マスクもせずに大型店へ入ってくる。こと。
社	男	60～69歳	農林水産業	騒ぎすぎだと思う。
平	女	50～59歳	その他のサービス業	世の中がピリピリしていて疲れる。
常盤	男	40～49歳	工業（製造業）	風評被害、いやがらせが大町市でもあって驚いた。自分自身、家族が感染しそのような状況になったら怖い。
常盤	男	60～69歳	学生・無職	差別的な発言を耳にします。田舎にいと住みにくさを感じます。都会の方が優しい。
大町	男	50～59歳	工業（製造業）	感染が疑われる症状や感染者の退院基準など事態が進むにつれ見直しされてきていることがある。そういった情報をタイムリーに周知してもらえると事業者の社内対応に役立つ。
常盤	女	70歳以上	その他のサービス業	常時、最低のマナーは守ってほしい。全員が守っていればと強く思う。
大町	女	50～59歳	観光業	若者がクラスターとなったり、拡大の恐れが出た場合は行政の力でストップすべき。
大町	男	70歳以上	学生・無職	市から出た広報の感染防止対策が役に立った。
大町	男	70歳以上	学生・無職	特に若い人たちの3密を守ることを期待する。
常盤	男	30～39歳	工業（製造業）	買い物に行くとマスクをしている人はほとんどだが、若い世代より年配の方の予防（マスクしてる、してない）ソーシャルディスタンスが出来てないのが目立つ。外出も旅行も気をつけているけど、県外車が目立つとモヤモヤする。地元の人が気をつけていても外からウイルスを持ってこられたら、いくら予防をしても意味がない。
大町	女	70歳以上	家事専業	運悪く感染してしまった人には、そっとして早く治るよう見守ってあげる。

大町	男	60～69歳	—	地方が活性化するために、多くの人たちに大町市を訪れてほしいと思う。反面、人が動く事による感染症の不安があり、大変難しいところだ。
美麻	女	60～69歳	家事専業	コロナウイルスの影響で、行事を多くすれば街の活性化に繋がるとは思えない。
美麻	女	70歳以上	家事専業	コロナ感染も経済も大事な事。コロナに感染しない様に3密を避け、特に食事や話をする時は注意をする事。
平	男	70歳以上	その他の職業	コロナの予防対策を十分にすることが大切だと思う。
大町	女	70歳以上	商業（卸小売業・飲食業）	全ての店舗の入り口にアルコール消毒液が置ける様に無料で配布してほしい。
常盤	男	70歳以上	学生・無職	インフルエンザと新型コロナの対応が解らないので無症状の人がいたら不安。
平	女	70歳以上	商業（卸小売業・飲食業）	大町病院はコロナ患者の受け入れで頑張られたと存じる。大町市民で良かったと思う。
常盤	男	20～29歳	工業（製造業）	仮に自分が感染してしまい、周囲から差別や嫌がらせ、SNSでの誹謗中傷が多くみられる恐れと、今後の生活様式がどうなっていくのかが気になる。
常盤	男	50～59歳	公務員	風評、田舎ゆえの近隣との言葉意識。
大町	男	50～59歳	その他のサービス業	風評被害や人間の怖さ、国は国民に丸投げ。
美麻	男	50～59歳	建設業	手作りマスクの不安。
大町	男	70歳以上	その他のサービス業	社会構造は大きく変化していくと思う。すでにテレワークが進み、労働環境にも大きな変化が出ている。人と人のつながりや地域でのコミュニケーションのあり方も変わってくると思うので行政としてこれらの情報収集には敏感であってほしい。新型コロナウイルスに対する情報発信がまだまだ足りない。
大町	男	50～59歳	工業（製造業）	市内にマスクをしっかりと付けている人が多い。
平	女	60～69歳	家事専業	県外から車で観光に来られる方のマナーの向上を願う。
大町	女	70歳以上	学生・無職	大町病院に感染対策を改善してほしいと伝えたが徹底されていない。
平	男	60～69歳	学生・無職	県外車（者）に対する差別を口にする年配者が多いことに驚いた。
平	男	50～59歳	公務員	馴れからくる油断がありそう。
平	女	60～69歳	家事専業	コロナ発生時の情報をどこから聞いたのかを教えてもらいたい。
大町	男	60～69歳	その他のサービス業	ワクチンの早期実施。
常盤	男	30～39歳	商業（卸小売業・飲食業）	3才児がいる。両親共働き家庭以外は（どちらかが子どもをみられる家庭）は幼児保育の登園自粛が本当に大変だった。6月まで登園できず、妻は共働き家庭になる為だけの目的でパート職に就いた。
常盤	女	70歳以上	家事専業	地域の人だけの集まりは気楽にやりたい。
大町	女	40～49歳	運輸・通信業	最近マスクをしない人が増えており、そういう人に限って大声で長々と話しかくる。何とか啓発できないのか。
八坂	女	70歳以上	家事専業	身近で流行がなかったので特に無事に時間が過ぎた。
大町	女	40～49歳	学生・無職	市民全般に対策意識が低いような気がする。全員とは言わないが、一部の人が対象。
大町	女	70歳以上	家事専業	市の防止対策を守り実行すればいいと思う。
大町	女	70歳以上	学生・無職	PCR検査が手軽に安く受けられるようになってもらいたい。
大町	女	60～69歳	その他の職業	飲食店やスーパーなどへの感染防止対策の具体的方法の指導すべてが同様のクオリティの対策ができるといいと思う。
平	男	70歳以上	学生・無職	発生している地域にはなるべく行かずにマスク、手洗い等清潔にして生活するが無いです。

大町	女	70歳以上	商業（卸小売業・飲食業）	3月に上京（大学）した孫が帰省できずにいる。
大町	女	50～59歳	その他のサービス業	コロナ慣れからくる感染予防の緩み（店舗などへの入店時に手の消毒などをしない人を時々見かける）。
大町	女	70歳以上	学生・無職	参加したかった地域の運動教室が閉じられ参加できなかった。そのため歩く事が低下した。
平	男	60～69歳	その他の職業	地域によって差がある。統一した対応が必要。
大町	女	50～59歳	その他の職業	感染したら人にうつしてしまう事もあるのでいやがらせ等の話も聞くので、情報はながすのは心配な面がある。
大町	男	60～69歳	学生・無職	発生したら情報を公開してほしい。隠さないでほしい。
平	男	70歳以上	建設業	拡大する事のない様によりいっそうの安全な対応が出来る様な準備を行う事。
平	男	50～59歳	その他のサービス業	感染について一様に委縮しすぎだと思う。コロナで亡くなった方の人数より自殺者の方が多いのでそっちの方が問題ではないか。
平	女	40～49歳	その他の職業	TVの影響力がすごい。
常盤	男	40～49歳	工業（製造業）	差別、嫌がらせを警戒して情報が少ない。情報開示することで自身が感染しているかどうかの判断材料にもなるため情報開示の方法を検討してほしい。
平	女	50～59歳	商業（卸小売業・飲食業）	マスクをしてない人が多くなっている気がする。県外の人には来ないでほしい。
大町	女	20～29歳	工業（製造業）	大町市内でも県外ナンバーを見かけるが市在住なのかの区別がつかないので大変不安になる。目で見て大町の人なのかを区別できるようになってほしい。
常盤	女	70歳以上	—	マスクはいつもして欲しい。
社	男	60～69歳	商業（卸小売業・飲食業）	初めは不安だったが、現在は元の生活に近づかなければならない時。
社	男	40～49歳	学生・無職	他県者に過敏になっている。県外車への意識が強くなった気がする。
大町	男	60～69歳	学生・無職	情報を早く、変な噂が広まる前に入れてほしい。
常盤	女	50～59歳	農林水産業	感染者に対しての風評被害や嫌がらせのすごさを聞き、感染することよりも嫌がらせの心配の方が多いと思う。人のことでも悲しくなる。
大町	男	70歳以上	学生・無職	初期の対応としてマスクの購入に苦慮した。
大町	女	70歳以上	家事専業	感染者が少なくて良かった。子ども達は登校日数が例年より少なくてかわいそうに思う。
平	男	40～49歳	その他の職業	情報発信が速いので良い。
平	女	60～69歳	その他のサービス業	販売の窓口にいるが、都会からのお客様がマスクをしていないとやはり怖いと思う。GoTo トラベルは少し早すぎるのではないかと思う。
平	女	30～39歳	家事専業	濃厚接触者などになったとき、不安を解消するためにもPCR検査を受けさせてもらいたい。
平	女	60～69歳	家事専業	感染により、大町、職場、自宅から追われることのないような世の中になってほしい。
大町	男	40～49歳	商業（卸小売業・飲食業）	経済が一番ひどい状況の中で、宿泊キャンペーンは良い事業だと思う。2500円分で5000円の商品券も良いと思う。続けるべきだ（大町市民も買えるようにする）。
大町	女	50～59歳	公務員	大町市は新型コロナウイルスに対して、過敏すぎる面があり、感染した人への風評被害・噂・嫌がらせという行動が見られる。もう少し客観的、多少の楽観的に考えてもいいのではないか。
社	男	40～49歳	その他のサービス業	あらゆる施設・店舗に出入口だけでなく、至る所にアルコールを置くべき。

大町	男	70歳以上	その他の職業	行政は、①情報開示して感染拡大を防ぐ②具体的な行動をして●●●徹底を図ることにかけている。
大町	女	50～59歳	公務員	近所に買い物に行っても本当に市民の皆さんが感染防止に努めているということを目の当たりにする。個々に努力しているので大北圏内では新規感染者が出ていないのだと思う。
大町	女	70歳以上	家事専業	コロナウイルスとは共存の意識を持ち、正しく理解し、極端に怖がらないようにすべき。精神的耐性をつけ、免疫力を高めることなどに気を使えるようになると良いと思う。
大町	男	40～49歳	—	少数意見に左右される民意。
社	男	70歳以上	工業（製造業）	感染者探しや風評被害・差別が実際にあったこと。行事、会議が中止となり活性化が損なわれたこと。
常盤	女	60～69歳	その他の職業	最近マスクをしなかったり、飲み会をししたり、コロナ対策の意識が薄れているように思う。子ども達は我慢しているのに、大人はなぜ我慢しないのか。
常盤	男	50～59歳	その他の職業	県外移動をしないようにしている中、これだけ県外から人が来れば感染してしまう。今人が来て、大町で感染拡大すれば誰も来なくなってしまう。
常盤	男	40～49歳	その他のサービス業	大町の人や都会の人に対する冷たい態度が忘れられない。県外ナンバーへのネガティブな反応や県外の人や来店お断りなど、差別がましいことを平気でしててがっかりだ。都会の人に相談し「仕方ない」という人はだれ一人いないことは、残念ながら大町の人には理解しにくいのだろう。
常盤	男	30～39歳	公務員	感染者差別はもっとも愚かな行為だ。差別を恐れ病院へ行かないとさらに感染拡大する可能性も考えられる。様々な手段で市民へ伝え続けるべきだ。
社	男	40～49歳	工業（製造業）	地域外の人々への警戒や陽性者への個人攻撃がひどいと感じる。
社	女	30～39歳	その他の職業	衛生面や感染防止、予防の知識、意識レベルの一人ひとりの低さに加え、行政の市民への情報を拡散できていないので、感染対策は万全ではないと思う。
大町	男	70歳以上	学生・無職	スーパー等大勢で買い物に出かけている。観光業、飲食店はもちろんだが利用客も常識とルールを持って行動すべき（県外者含む）。
常盤	女	70歳以上	家事専業	密を避け、気を緩めず気を付けたほうが良い。
常盤	女	60～69歳	その他のサービス業	大人は新しい生活様式が当たり前になってきたが、子ども（無理もないが）は何か構わぬ様子。教育現場で徹底してほしい。
常盤	女	70歳以上	家事専業	熱が出て4日間は自宅待機といわれたが、かかりつけ医にすぐ診てもらった方が安心すると思う。
常盤	女	20～29歳	家事専業	気が抜けて感染対策マナーを守らない人が多いと思う。
社	男	50～59歳	商業（卸小売業・飲食業）	5月から6月は過剰反応だと思います。経済低調による自殺や生活苦のほうが怖い。
常盤	女	40～49歳	工業（製造業）	県外者の意識が低い。狭い店内で密集して並ぶ。店外で並べばよい。温泉の脱衣所でもくつろがず、早めに出てほしい。
平	男	50～59歳	運輸・通信業	スーパーやホームセンターで、大勢で買い物している。知り合いと固まって話している。
大町	女	70歳以上	その他の職業	大町で感染が広がらなかったのは市民一人ひとりの意識の賜物だと思う。
社	女	50～59歳	工業（製造業）	県内でコロナ感染が発生したとき、長野市の市長はテレビなどでコメントがあったのに、大町の市長は何もなかったことに不信感大。
平	男	20～29歳	その他の職業	県外者の往来があるため我々が自粛し続けている。それも万が一感染した場合の特定が恐ろしい。
八坂	男	60～69歳	その他の職業	検査体制の拡充。
大町	男	70歳以上	学生・無職	PCR検査の不足。

八坂	女	50～59歳	その他のサービス業	感染者差別や風評被害は人として恥ずかしいこと。親の影響で子どもが同様の行為をするのはとても悲しい。人として心の在り方をしっかりと考え、行動することを望む。
大町	男	40～49歳	その他のサービス業	PCR検査がいつでも受けられる体制がほしい。感染していないことがわかることで、安心して生活・仕事ができることにつながる。
常盤	女	50～59歳	その他の職業	風評被害、差別、嫌がらせなどが怖いと強く感じた。
常盤	男	70歳以上	農林水産業	経済との両立は無理。満喫クーポンなどを行っている場合ではない。市の補助金の尻拭いをするのは今後取られるであろう市民の税金である。
大町	男	30～39歳	工業（製造業）	感染することへの恐怖より、それに伴う風評被害が恐ろしく感じる。
大町	男	60～69歳	公務員	病院へ行っても門前払いされることがあると聞いたことがあるので、やめてほしい。
常盤	男	40～49歳	建設業	市内、大北地域で感染者が出た場合の対応策を学校・商業施設など、どこの店でも慌てず対応できるよう指導してほしい。
常盤	男	—	その他の職業	感染者を特定されること、噂やデマの情報など人権の問題に発展した。感染したら差別されるのが恐ろしい。田舎特有の情報網があるので嫌だ。
大町	男	40～49歳	その他のサービス業	役所の対応がひどすぎる。全く助けようという気が伝わらない。コロナでどれだけ収入が減っているのか把握しているのか。職員の給料を削減し、民間に合わせてほしい。
社	男	60～69歳	農林水産業	早めの情報提供。
大町	女	50～59歳	商業（卸小売業・飲食業）	外食した時、感染対策がしっかりできていて安心して外食できた。
平	男	70歳以上	農林水産業	子ども達は決められたことをよく守っていると思うが、大人にその意識がうすい。
大町	男	50～59歳	その他の職業	風評、差別、嫌がらせ等、SNSでの発信が気になる。
大町	男	70歳以上	農林水産業	市民が無料でいつでも検査が受けられる事。
大町	男	40～49歳	その他のサービス業	県外からの観光客が増加する中で、長野県や国に頼らず大町市として市長が拡大防止に対する対策を内外に発信する必要性を感じる。不安に感じる市民は多いと思う。
八坂	女	50～59歳	その他のサービス業	8月のクラスターがおさまって以来、大町ではコロナの拡大がなく、病院や高齢者施設、学校、図書館など公共施設で働く皆様のおかげだと思う。
常盤	女	30～39歳	その他の職業	田舎だからかバッシングがひどすぎる。
常盤	女	70歳以上	その他のサービス業	施設が濃密傾向になっている。

問 39 市の施策全般に対するご意見、ご要望、ご提案等がございましたら、ご自由にお書きください。

※判読できなかった文字は「●●」と表示してあります。

常盤	女	70 歳以上	家事専業	暫く大町を留守にしまして、帰ってきたら以前より住み良いと思うことがあり、嬉しく思っています。職員の方々にこれからも大町を市民が増加し、明るい市になりますよう、お願いします。
社	女	60～69 歳	工業（製造業）	質問が多すぎて回答するのが大変でした。市の行政には、全く関心がないので、わからない事が多かった。
平	女	50～59 歳	商業（卸小売業・飲食業）	どんどん人口が減っていく中で、大町市をキープしていくのはものすごく大変だと感じる。「住みやすい」って響きは良いけど、難しいテーマだと思う。
常盤	男	70 歳以上	農林水産業	もっと若い人に意見をお願いした方が良いと思います。お役所言葉で理解できない場所がありました。
平	女	40～49 歳	その他の職業	自分たちは生涯大町市で過ごすであろうとは思いますが、将来子どもたちが大町で暮らしていく事を思うと不安が大きいです。活性化とは難しい課題かと思いますが、行政に携わる皆様の健闘を祈ります。
平	女	30～39 歳	農林水産業	アンケートの項目が多すぎる。今、アンケート自体あまり意味がないので、大企業でも取り入れていない。市民の欲しい物（事）を知りたいければ、何にお金を使うかを調べれば良いし、市民が何をしてほしいか、何をしたいかを知りたいければ、何にお金を使いたいかを調べればよい。アンケートでは意見が散らばるだけで、大町市の今後のあり方はみえない。
大町	男	30～39 歳	公務員	大町市長が何をしたいのか分からない。
常盤	女	70 歳以上	商業（卸小売業・飲食業）	自分が一番心配なのは、何十年か先の水資源です。毎日昼夜問わず水を汲むのは、大町市に将来住んでいるであろう人達に水不足があるかもという事です。 ・問 15 について 八坂地区は良好、美麻地区をもっと推進。
常盤	男	30～39 歳	その他の職業	大町病院の立て直しはもはや不可能と思われまます。ただちに売却した方が良い。ハードを充実させてもソフトが良くなければ、市民や地域住民からは信頼されません。赤字経営であるなら賞与減などの無駄な支出を減らす努力をすべき。税金の無駄遣いです。地域にとって必要な病院であるなら尚更です。
常盤	女	20～29 歳	その他の職業	20 代前半や独身の女性に対する多方面の支援や政策も考えて欲しい。働いて税金を納めて市に貢献していると思うが、それが実際に支援に繋がっているとは思えない。 問 19 産休後に子供を預けられるところがなく、働きたいのに働けない。子育て支援と聞くと医療費無料や子ども手当ばかりに注目しがちだが、そもそも財源がないと子供すら産んで育てられない。子供だけに目を向けず、親がどんなことに困っているかなども注目し、支援することが大切だと思う。お金を貰えれば何とかなるわけではない。 夜中にバイク音がうるさい。警察と連携をとって改善してほしい。
大町	男	50～59 歳	工業（製造業）	大町は美しい景観があるので、大糸線にまた SL を走らせたい。
大町	男	40～49 歳	工業（製造業）	大町病院は昔に比べたら人が減少しているのに、市として何も考えていないようにしか見えない。もっとしっかり考えて欲しい。
大町	女	70 歳以上	家事専業	世代を問わず働く場所を確保し、生活しやすい環境を作り、大町市に定住できるように心がけてもらいたい。市長さんもっと頑張ってください！！
社	女	70 歳以上	家事専業	今回のクーポンは近隣の市町村の配布方法を参考に（改善）してほしい。大町市の考え方は市民に優しくないように思う。
平	女	50～59 歳	その他のサービス業	人口を増やす努力が足りないように思います。子育ての助成金が充実しているから大町を選んだ人もいますが、子どもたちは大きくなったら大町にはいたくない人もいます。

大町	男	50～59 歳	その他の職業	もっと福祉に力を入れてください。
大町	女	70 歳以上	家事専業	人口が減少しているのに、議員の数が多すぎる。
美麻	男	60～69 歳	その他の職業	コロナの終息を前提として 美麻コミュニティ・スクールの特色を活かす： ・島嶼部（山から海へ）または都市部（田舎から都会へ）との姉妹校制度 -交換留学（ホームステイ／家族間） -教員の交流・交換 ・交換留学とオンライン授業の組み合わせ -たとえば週1回実施 -元の学校のオンライン授業に留学先から参加 -不連続性を緩和 -復帰を容易に ・両地域での行政による観光支援 -宿泊費の補助 -父母同士の交流を容易に -住民レベルでの交流
常盤	男	60～69 歳	公務員	小学校の統合はやめていただきたい。
常盤	女	40～49 歳	—	なぜ問題を表に出さないのか。私利私欲での運営はやめて欲しい。いろいろなものはなくして欲しい。
常盤	女	50～59 歳	商業（卸小売業・飲食業）	市で今何をしようとしているのか、今後何をしたいのかがわからないのに市民に参画を求めても難しいと思います。
平	男	70 歳以上	農林水産業	働く場を増やし、豊かな自然を活用した田園都市大町市に。将来を背負う子ども達が伸び伸びと育つことのできる施策の充実を。
大町	男	70 歳以上	学生・無職	鹿島川～高瀬川が砂利で川が浅くなっているのが心配です。
常盤	男	60～69 歳	建設業	全体的にマンネリ化してないかと思います。
常盤	男	40～49 歳	農林水産業	市営の温泉+キャンプ場なんてどうでしょう？
大町	女	70 歳以上	学生・無職	・駅前公園のトイレが目前にあって良くない。風のあるときは臭いも感じます。前に薄い鉄板を置き、山や雷鳥などを描いたらいいのでは？ ・商店街の樹木は統一感を出したらいい。 ・商店街の中の「けんしん」の土地を買い上げて、誰でも入りやすいイベント場を作ったらいいのでは？ ・やまびこまつりも人手が少なくなってきました。マンネリでは飽きられてしまうので、変化していかないと。やまびこまつりを中心にして山やダムからの帰りに寄ってもらえるようなイベントを仕掛けてはどうでしょうか？ また市民が山の良さを発信していくことも大切。
大町	男	70 歳以上	学生・無職	大町市の自治会は共同で社会整備をすることが苦手なようです。もっと連携して共同で整備したり案を出したりするべき。特に防災などは普段から協調しておくことが大切。
大町	男	30～39 歳	工業（製造業）	市民意識調査を回答していく中で市の施策に関心を持ちました。以下の2点を要望します。 ・調査結果のフィードバックとそこから何が施策に反映されるのか？ ・大町市第5次総合計画の5つのテーマの具体的な目標、施策、進捗状況を定期的に知らせて欲しい。
大町	女	60～69 歳	観光業	質問が沢山ありすぎ。
社	女	40～49 歳	その他のサービス業	大町市のためにご尽力頂きありがとうございます。これからも大町市のために多方面に渡り、よろしくお願い致します。

大町	女	70歳以上	家事専業	職員の対応が悪い。覇気がなく、はつらつさに欠ける。いつ行っても怠慢さが目立つ。もっと自覚を持ってテキパキと行動してもらいたい。
大町	女	40～49歳	その他の職業	今回のコロナで、全世界で働き方や生活が変化しています。市政も慣例に囚われず、新しいものの見方をしていく良い機会ではないでしょうか？
平	男	40～49歳	建設業	屋根に登ったり、雨樋を壊したり、排泄物があったりとサルの被害が甚大です。夏は窓、玄関を開けられないぐらいです。市長さんは現場に来て見てみてください。
大町	女	70歳以上	家事専業	市の施設に聞いたことに対して答えられないような人を置かないで欲しい。退職してから長く天下りのいるのもどうかと思う。若い人材を入れて欲しい。
大町	女	60～69歳	その他の職業	・大町応援券はあまりお得感がない。1,000円券だけでは使い勝手が悪く、500円券も導入して欲しい。市内の入館料、温泉料金も安くない。 ・このアンケートは長過ぎる。あまりにも内容が多岐にわたり、全てを知っている者でないと正しく回答できない。
平	男	50～59歳	工業（製造業）	愛着を持った子ども達が育って、仕事があって、定住できる町づくりをして欲しい。また、嫁不足も喫緊の問題！このままでは自治会も維持できるか不安なので、目に見える対策を切望する。
大町	男	40～49歳	その他のサービス業	足腰の丈夫さ、健康が人生100年時代に人生を楽しむには大切。
社	男	70歳以上	農林水産業	市政への参加ができていないと思った。調査の内容がよくわからなかった所があった。
常盤	女	60～69歳	その他のサービス業	空き家・古民家の活用、人口を増やす。
社	女	70歳以上	工業（製造業）	農業ばかりで生きていた私には重いテーマばかりです。このテーマが少しでも前進出来ますよう、頑張りたい。
大町	男	60～69歳	その他のサービス業	市役所には、能力のない人材・無駄な人材が多いのではと思われる。普通の企業では？と思われる人もいると思う。もっと人材を選び、活動してほしい。また、市長の報酬が、他市町村に比べかなり多いと思う。それ以上の仕事をしているならよいが、そう思えない。
大町	女	20～29歳	その他のサービス業	大町の自然を生かし、ナチュラルでゆったりとしたリラックスできる町にしたい。
平	男	50～59歳	運輸・通信業	高齢化する社会に対して、手厚い支援をしてほしい。
大町	男	70歳以上	商業（卸小売業・飲食業）	水を主として販売する会社の誘致は、好ましくない。
大町	女	70歳以上	農林水産業	職員同士の結婚は、特別職以外は何年か二人で勤めても、その後はパートで働いてはどうか。自治体によっては、退職することが暗黙の了解だと聞いている。
大町	女	60～69歳	家事専業	国際芸術祭は、まわりの人たちがあまり興味がないように思う。再開するとは思わなかった。
大町	男	60～69歳	公務員	施策へのしたたかさが無い。それには「大町市」の名変（例えば北アルプス市、あづみ平市等々）で、各施策の名称・やまびこ祭などの名変・駅名変をこれにカバーさせる。また、実現しなくても検討しただけで、市の知名度アップ。市には野心を持ってほしい。
八坂	男	60～69歳	その他の職業	移住を促進するため、八坂美麻地区で進める定住促進住宅の整備を、積極的に実施してほしい。
平	男	70歳以上	観光業	今後、孤独な高齢者が多くなる。見回り・声かけ等今よりも多くなれば、一人暮らし世帯の孤独死回避・寂しさの紛らわしになり、張りのある生活が送れると思う。素晴らしい大町市になることを望む。

大町	男	70歳以上	その他の職業	第5次総合計画の進捗状況、今後の取り組み等をホームページ等で聞かせてほしい。
大町	女	20～29歳	工業（製造業）	市役所の人たちの対応が悪いのが気になる。
平	男	70歳以上	建設業	傷みが激しいため、村全体の道路を舗装してほしい。
常盤	女	60～69歳	家事専業	アンケートに答えられない箇所があり、市政について知らないことが多いと感じた。十分に周知されているのか、自分自身が知る努力をしていないのかわからない。年代別の意識について、結果を知りたい。
美麻	男	60～69歳	学生・無職	計画は素晴らしい。出来もしない計画をたてても、永遠に解決しない課題も多い。移住を推進しても、従前の市民ですら満足な就労の場が無いことを知るべき。
常盤	男	70歳以上	学生・無職	充実した教育環境の整備に注力してほしい。
大町	男	70歳以上	公務員	市民からの意見要望は、100%の回答ではなくてもよいので、現段階での早い対応と評価させる策を。一部でもよいので、状況を知らせることが大切。
大町	男	50～59歳	その他の職業	土日市役所を利用できるようにしてほしい。
社	女	70歳以上	学生・無職	道の駅：地場産野菜販売（信州新町のように）。トイレ：社、青島、北小近く、看板が薄い。トイレ案内がないので不便。冬季閉鎖の解消。
大町	女	60～69歳	その他の職業	本調査に、回答ポイントの提供を望む。
大町	女	50～59歳	その他のサービス業	質問が多すぎて、最後まで集中が続かなかった。もう少し簡単に回答できると良い。
平	女	60～69歳	工業（製造業）	市職員の方の対応が、良くない時がある（上から目線）。
常盤	男	50～59歳	観光業	北アルプスを背にしており湧水も豊富かとは思いますが、水は限りある資源。工場誘致も大切かもしれないが、水を汲み上げすぎるといつか枯渇する（安曇野市が例）。厳格な規制が必要。
美麻	男	40～49歳	工業（製造業）	いろいろな面において、市民とのコミュニケーションやスピードが不足していると感じる。決裁者が多すぎるのか。
大町	男	60～69歳	その他のサービス業	空き店舗・空き家・空地の整備、景観の美化を望む。費用や労力をかけ、このようなアンケートを実施しているのだから、しっかり分析してほしい。
大町	女	70歳以上	家事専業	障がい者・持病がある人：働けるのに、なかなか市政で雇用されないことが多い。もっと弱者に気を使ってほしい。
大町	男	30～39歳	その他の職業	一部の声より、市長の判断を最優先により良い市政を望む。
平	女	50～59歳	その他のサービス業	誰もが納得のいく税金の使い方を望む。子育て支援もそうだが、一人暮らしの高齢者の支援も望む。また、女性が働きやすいまちを望む。
平	女	40～49歳	その他のサービス業	コロナ禍をきっかけに、本当に必要なもの・ことは何かを精査し、不要なものはそぎ落として次世代へつなげていってほしい。大好きな大町が、今まで以上に魅力的なまちになるよう期待。
八坂	男	70歳以上	家事専業	市民全般の人の交通につき、矢野平線道路の見直し要望あり。
常盤	女	70歳以上	学生・無職	本アンケートの細部にわたる設問に、市政に対する熱意が伝わりました。ただ、あまりにも長くとても大変でした。
大町	男	50～59歳	学生・無職	芸術祭を何回もやるのは、何の意味もない。街にお金が落ちるのは、駅前だけだと思う。
常盤	女	70歳以上	家事専業	町の中心に遊ぶ場所（ボーリング・ゲームセンター等）があると良い。小さい子どもをもつ母親同士が、話し合ったり、遊べる場所を望む。
常盤	女	30～39歳	学生・無職	少子化のはずなのに、子育ての相談がとてもしにくく、基本的にほったらかしに感じる。職員は忙しく、担当者はいないのか。池田町との、対応の違いが大きすぎて残念。

常盤	男	30～39 歳	学生・無職	不満を抽出し、それを解消したいという意図はわかった。良い所にも目を向け、市政の向上に努めてほしい。
常盤	男	40～49 歳	その他の職業	何も期待していない。
社	男	70 歳以上	学生・無職	アンケートは厚く、途中で面倒になってきた。この三分の一位の内容で充分ではないかと思う。
大町	男	50～59 歳	建設業	木崎湖・青木湖でのウォータースポーツをするための駐車場、ビーチの整備を行ってほしい。
大町	女	70 歳以上	家事専業	どのテーマも大切な事ばかりである。今後、この計画が理想でなく現実になることを望む。
平	男	60～69 歳	その他の職業	市の財産区の空き地の有効利用。地域の駐車場へ自主管理（クイズ・トラロープ）、倒れたり切れたまま放置されている。
大町	女	20～29 歳	建設業	本アンケート：質問の文面をわかりやすくしてほしい。内容が難しく、よくわからないものが多かった。
社	女	70 歳以上	農林水産業	問 38 にしても、各部署毎には大変努力され実施されているが、わかりにくい。のぼり旗でも何でも、誰が見ても一目でわかる・言葉で覚えるような、今市政で取り組んでいることを大きくアピールする必要性を感じる。
美麻	男	70 歳以上	農林水産業	選挙の時に、今まであった投票所がなくなったため、投票ができない人が大勢いる。郵送等で出来るようにしてほしい。
大町	男	70 歳以上	学生・無職	活性化というが、市として一番やろうとしていることを市民に知らせてほしい。多くの事をやろうとしているのはわかるが、これだというものがない。まずこれを市民みんなでやろう、という呼びかけがない。
大町	男	70 歳以上	学生・無職	大町は観光の町という人は沢山いるが、例えば仁科三湖へ行っても駐車場や無料で休める場所もない。諏訪湖とは比べ物にならない考え方で、せっかくの観光地をだめにしていると思う。
大町	男	40～49 歳	建設業	水と空気がきれいな大町市だが、いまだに家庭残飯の廃棄・野焼きによる煙のひどさがある。朝、外気が煙たかったりする。それがなければ、とても良い町だと思う。
常盤	男	70 歳以上	学生・無職	今までは、様々な課題に対する活動のための組織づくりを中心として、施策を実施してきたように思うが、つくった組織が高齢化などにより機能しなくなってきている。ここで組織全般について、現状の把握と見直しを望む。
大町	男	50～59 歳	工業（製造業）	本アンケートの数が多すぎる、減らしたほうが良い。
八坂	女	70 歳以上	その他のサービス業	美辞麗句の 5 ヶ年計画だけにはならないように望む。
大町	女	60～69 歳	家事専業	印刷物を隣組単位で回覧する際、できるだけまとめて回せるようにしてほしい（1 枚ずつ毎日続けて回覧板がきたりすると大変）。
八坂	女	50～59 歳	農林水産業	サルを何とかしてほしい、襲われそうで怖い。
大町	女	70 歳以上	家事専業	いずれの市町村にも共通しているが、市の自治会加入者の減少・脱退が多い。高齢化により独居老人になり、隣組対応の難しさがある。自治会加入促進する現状、各町独自のテーマを提案し、自治会長会議等で徹底した検討をしてほしい（古い町ほど悲惨）。
社	女	70 歳以上	家事専業	本アンケートを記入するにあたり、市への意識が無かったことを恥ずかしく、痛感している。問 38 の 5 つのテーマが実現したら素晴らしい。人口が増え、若者が集まり、活気ある大町となるよう願っている。
大町	男	70 歳以上	家事専業	市議会議員の削減をお願いしたい。
大町	女	40～49 歳	その他のサービス業	市からは長い間、児童扶養手当を頂き感謝しています。私なりに恩返しをしていきたいと思っています。草刈りや雪かきくらいしか出来ませんが、ボランティアを募って頂けたら参加したいと思います。
八坂	女	50～59 歳	その他の職業	分からないこと、初めて聞く内容が多くてびっくりした。私だけでしょうか。

大町	男	70 歳以上	その他の職業	月 1 の町内ゴミ、資源物の収集廃止をお願いしたい。高齢化が進んでいること、天気次第では立ち合いが困難。
大町	女	40～49 歳	その他のサービス業	もっと観光に力を入れ、レジャー施設など山を活かした観光を目指してほしい。市民にも公園や温泉など安く利用してもらうなど大町に住むメリットを。近くの松川はすごく魅力があるから市である大町はもっと頑張れる。
大町	男	40～49 歳	その他のサービス業	仕事関係で市役所に行くが難しい事例になると丸投げ等の返答で終わるので親身になった回答が欲しい。
常盤	女	30～39 歳	家事専業	住んで 3 年ほど、仕事も自宅なので大町に行くことがほとんどない。市の施策でいいと思ったことはない。観光に力を入れているイメージもない。やっていることがお祭りなど一時的で魅力に感じない。自然はとてもしっかりのでもったいない。大町は何もない所も魅力だけけど便利でもなく、すさまじく不便でもない。押せる魅力が弱い。このアンケート時間が掛かりすぎて大変。
大町	女	50～59 歳	観光業	この調査は時間が掛かりすぎる。協力するので粗品をもらえたらいいと思った。
常盤	女	20～29 歳	運輸・通信業	質問が広範囲で良く分からない所があった。移住による人口増も良いが、U ターンにもっと力を入れた方がいい。
美麻	女	70 歳以上	家事専業	この調査をしてとても考えて書き、本当に時間が掛かりました。市の施策を意見するのに色々書きましたが、まず考えてほしいことを書きます。 ①大町病院のこと、大町病院で誤診され大変な思いをした。そんな人が何人もいる。一度怖い思いをすると今は大丈夫と言われても信用できない。不安になっている人は他の病院に通っていると思う。地域のことを考えて安全で大丈夫近くて行けるといふ安心になるための病院にして欲しい。赤字続きなら病院を買い取ってよいスタッフを働いてもらうことが町の発展になると思う。 ②コロナのこと、職を失って無職の時に市税、健康保険税が遅れているのを市の職員さんにすごくきつく払うように言われ精神的に病んでしまった。これからどうしていくかと悩んでいるときに追い詰められているような言い方をする人を働いてもらうのはおかしいと思う。それぞれの人の意見を先に聞いてもらってそれから対応して欲しかった。私たちは市の職員に点数をつけることはできません。でも公務員なのです。お金をもらって働いている以上もっと市民に対して寄り添ってもらいたい。市税の係の人も健康保険の係の人ももっと市民と接する場がある方たちは話をするのに穏やかに対応してもらいたい。一番心が折れているときにもっと言い方を考えてほしかった。穏やかに対応してもらえる方こそ窓口対応してもらった方が良く思う。沢山働いている人がおられますがもっと見極めて人事してもらうか(学習を職員にしてもらってください) 低所得の方を馬鹿にして見下しておられる。 ③大町発展について、温泉が沢山あります。松川はお風呂券 10 枚分が 1 世帯に配られる。今温泉は高くなっています。家族で出かけると 2 人家族なら 1500～2000 円。人数が多くなったら行けません。市民浴場も大人の値段が高くなっています。大町に住んでいる特典で何かこんなことにお金を掛けて取り組んでいるということをしてほしくない。温泉はお医者様からも良いと進められています。せめて大町の住民に地元の温泉を安く入れる券を出してもらいたい。そうしたら家族で行けるといふ。芸術祭も大事かわかりませんがもっと地域の人たちが取り組めるものをしてほしいと思う。 ④町の中心部で、1 年に一度地元の人が集まるように踊りをするなら全員が集まれるところで人に集まってもらって踊ったり、郡上八幡のように全員が参加して踊るお祭りをしたらいいのでは・・・ ⑤健康増進の為、色々なスポーツを 1 日体験できるようにしてほしい。入会は関係なくスポーツを楽しむことも大事。もちろん室内でするスポーツや音楽、料理、お茶、お花などもっと気軽に出来る場所が

				<p>あれば外に出て鬱になることがないと思う。また、ゴルフ場も他県は安くて市民が回れるからもっと安くしてほしい。</p> <p>⑥アウトレットの店を沢山持ってきたり、工場、場外馬券などの施設を設けると税金が入るために市が潤う。(ゆっくり考えてほしい)</p> <p>いろいろ意見を書きました。同じような内容でごめんなさい。ぜひ大町が良くなるようにしてください。いつまでも住めるように・・・凝り固まった考えの人がいると寂しい街になっていく、それだけ忘れずにして下さい。都会の意見に耳を傾けすぎないように。どうか大町に独自の●●●を出してもらえればと思います。(今見ていると東京のまねばかりです) 移住をしてくる人たちも田舎暮らしを求めてこられますが推進をするなら40代～50代くらいの方に来てもらえるようにする方が今後の為に良いと思いました。これからも推進する地域を東京からばかりにしないでくださいね。大町市の方が推進されるのなら関西、東海と全国に来てもらうことはやめてほしいし働く人も偏らないようにしてくださいね。良い街になるよう願っています。</p>
大町	女	50～59歳	家事専業	問38の施策の詳細が分からないのでこういったアンケートに明記しておけば1つの知る機会になると思う。ほかの問いもどのような施策をしているか、実際の事柄が書かれていない。アンケートに答えるのが大変なので、せめて知らせる機会として役立てばと思う。
大町	男	70歳以上	その他の職業	小地域ネットワークなどもっと活動して欲しい。
大町	男	70歳以上	学生・無職	市長の多選によって市職員に気のゆるみが出て、なあなあ仲間になりやすくなるように気を付けて市政運営に励んでください。過去に何度か今と同じような時期に2～3件あったことを思い出してください。
大町	女	70歳以上	家事専業	空地が多くなり太陽光パネル設置が目立ってきたが自然を守るため、景観もよくないので考えて設置して欲しい。
平	女	30～39歳	家事専業	アンケートに載っていた計画はどれも取り組んでいることを知らない内容ばかりで、情報発信がうまくいってないと思う。ちゃんと届くように発信ください。
平	女	50～59歳	家事専業	同じところで10年働いている若い人の安月給に驚いている。サービス業の10年働いている人たちの賃金の見直しをして欲しい。
社	男	20～29歳	学生・無職	コロナ禍での学生支援物資、大変ありがたかったです。ありがとうございました。
大町	女	70歳以上	家事専業	変わる店ができるより店が(お客で)うまるように。
平	男	30～39歳	その他のサービス業	子育て支援をして欲しい。松川や白馬のように。教育に力を入れてほしい。タブレット配給等。
社	女	60～69歳	その他の職業	芸術祭は反対。同じ路線ではなく違う角度からとか。もう少し絞ってほしい。
大町	女	60～69歳	家事専業	東京に比べて行政が見える町だと思う。対応が早く身近に感じる。去年は定住課の皆様にお世話になりありがとうございました。
大町	女	50～59歳	学生・無職	周りの市町村と協力して大町市が地域の要になるように発展していけばいいと思う。
大町	男	70歳以上	学生・無職	移住者を増やしたい
大町	女	60～69歳	その他のサービス業	前回の芸術祭、市役所の職員がチケットを自腹で購入し売りさばいていた。そこまでしないといけないのか？経済活動が大切なのはわかるが今は人命が大切。芸術祭の開催はいかがなものか？
常盤	女	70歳以上	学生・無職	大町の素晴らしい自然環境を大切にしてください。国営公園のところに新しい施設が水源を大切にするように、地域の人々に不便にならぬようお願いします。
大町	女	70歳以上	家事専業	夕方にオルゴールが流れるのがとっても癒されるので、早朝6時にも流して欲しい。そうすれば1日のスタートにもなっていると思う。

平	女	70歳以上	農林水産業	次世代に託す気持ちの方が強くなる。正直期待と不安が入り混じっています。
大町	女	70歳以上	学生・無職	市の職員が冷たい気がする。事務的な人材が多い。
平	男	70歳以上	建設業	自治会を抜ける人たちが相次いでいます。その人達には広報おおまち等、他の情報も個人宛に届けられます。外灯費用他個人負担も免れません。義務を果たさず、良い所取りの人たちに恩恵を与えることはないと思う。事情によっては脱会もしようがない場合もありますが、精査しての対応を望みます。
平	男	30～39歳	観光業	大町をもっと全国の人に知ってほしい。どんどん発信して行ってください！
八坂	女	70歳以上	家事専業	問いが多く老人には大変だった。
平	男	60～69歳	観光業	福祉や子育てに優しい大町に、大町に住みたいと思える市政をお願いします。
大町	女	60～69歳	家事専業	まちを歩いていると老人しか見かけなくなった。私が若いときに感じていた情の厚い市民気質はなくなり寂しい限りです。
大町	女	70歳以上	家事専業	大町には仁科三湖があり、雄大な北アルプスのふもと素晴らしい所です。この立地を活かして誘客したり、移住者を増やして欲しい。東山の開発にも力を入れてもいいと思う。これ以上人口が減らないように対策を考えてほしい。
大町	男	60～69歳	商業（卸小売業・飲食業）	夜間のパトカー巡回は犯罪の抑制力に大きな影響がある。警察と連動して更なる夜間パトロールの推進をお願いします。
大町	男	40～49歳	運輸・通信業	コロナでイベント中止で寂しい年でした。市民が集まらずに楽しめる打ち上げ花火の企画はどうでしょうか？
大町	男	50～59歳	工業（製造業）	公務員の人数と質を見直す必要があると思う。
大町	男	40～49歳	その他の職業	大町は大北地域のリーダーであるべき。企業誘致をして働く場を提供するとか、やるべき人がやるべきことをやるべき時にやらなかった結果が今の状況になってしまった。
常盤	男	60～69歳	公務員	安心安全な環境の確保、通学路や除草や市道の交差点の改善、市道の塗装改善を行って欲しい。
大町	男	60～69歳	公務員	浸透しておらず、行政の皆さんの満足で終わりがちです。市民も協力し共に発展に力を入れたいと思っています。
社	女	70歳以上	家事専業	高齢の為、日ごろから市民意識に関心のない私は申し訳なく思った。大町は環境は素晴らしいいい場所だと思います。ただ、冬の除雪は高齢者にとって大きな負担となります。経済的にも暖房費が掛かるのに暮らしにくい。大町での大型店は私たちに良いこともあります。市街地が寂れていくので寂しい。市街地の活性化に力を入れるべきだと思います。
大町	男	50～59歳	家事専業	新型コロナで全てのことが見直しが必要な時、出口がどこにあるのか市の政策に反映させて欲しい。大町はもっと山のまちであることをアピールした方がいい。地図では燕岳の山頂の西側が大町市平となっていたので。
八坂	男	60～69歳	建設業	行政職員が半分ほどサービス業である認識不足である様子が見かけられる思い。
大町	男	70歳以上	その他の職業	美しい自然をもっとアピールして観光客を増やすことが大切。
大町	男	20～29歳	工業（製造業）	大町に住んでいて良かったと思える施策をお願いします。住宅開発や商業施設の誘致など住みやすい環境作りをお願いします。家を建てたら補助金を増やして欲しい。松川の補助が良く人が流れているそうです。

大町	女	50～59 歳	運輸・通信業	大町の良い所を広く伝えるために毎年愛知県の人たちを招いてスポーツをしてきました。地産品を愛知へ持っていき、たくさんの人に買ってもらっています。一市民の私が何をしても市は協力してくれません。何もわかってくれない。市民のやることだからと軽く流されてしまうのが現状です。
大町	男	70 歳以上	学生・無職	大町病院の医者 of 充実をお願いします。
社	男	60～69 歳	農林水産業	市職員の数を減らす。
大町	女	60～69 歳	その他の職業	市職員をもう少し利用的に配置した方がいい。子どもたちの子育て課は専門的な学識を要するので年齢的に縛らず、長期にいてほしい。生活保護の指導をもう少し増やして無駄な支払いは減らして欲しい。
大町	男	30～39 歳	金融・保険業	現在、30代の私が50・60になった時に大町にいて良かったと思えるようにしてほしい。
大町	男	50～59 歳	工業（製造業）	計画実施後はレビュー公表して欲しい。何が達成できて達成できなかったのかできるだけ数字で効果が比較できると分かりやすい。
平	女	70 歳以上	家事専業	人口が少なくなっているから議員定数も減らした方がいい。
大町	女	60～69 歳	家事専業	本アンケートが多岐多問にわたり回答がどうしてもおざなりになる。もう少しポイントを絞ったアンケートを望む。
大町	女	70 歳以上	その他のサービス業	市役所の周辺が草でいっぱいになっている季節がとても気になる。人材センターなどの方をお願いしてこまめに草刈りが出来たらすっきりすると思う。
社	男	50～59 歳	工業（製造業）	冬期間の陸上競技場の利用禁止が条例であるそうですが現状の気候状況からも合致していないと思う。競技人口拡大の為にも見直しをお願いします。
大町	女	50～59 歳	観光業	人口減少は大きな問題だと思う。若い方も働く場がなく地元から出てしまう。少子化もあるが、まずはいる人を外に出さないための就職先を確保する。地元に残ってもらえたら次は住みやすい環境を作りが大切だと思う。
社	男	70 歳以上	農林水産業	スポーツ等でも力を入れてほしい。
大町	男	70 歳以上	学生・無職	大町市の人口が年々減少していますが、2万人をきるとどこかの市町村と合併するのでしょうか？
大町	女	40～49 歳	その他のサービス業	こういう調査をしているとは知りませんでした。とても良いことだと思います。ありがとうございます。
大町	男	60～69 歳	—	コロナに対策を取りながら、様々な施策を推進する事は関係する多くの市民にとっても苦しい判断を求められる場合があると思う。常にどちらかをとるかという立場に立たされるのが辛い。
平	女	50～59 歳	観光業	アルプスマラソンが開催され、37年経過しているのに市内に昼夜通して使用できるランニングコースが無く、ランナーがヘッドライトを点けて歩道を走っているのには矛盾を感じる。
美麻	女	60～69 歳	その他の職業	この調査での意見等、しっかりと受け止めて頂きたいです。「どうせ答えても聞いてもらえない」といつも思っていたのですが、今回は時間もかけてしっかりと考えて答えさせていただきます。期待しています。
大町	男	70 歳以上	学生・無職	毎週水曜日の危険物の収集があるが、毎週集める程の量はない。高齢化するとセンターへの持ち込むも大変なので月に一度、いろいろな種類の収集を考えてほしい。
常盤	女	30～39 歳	公務員	介護、育児をしていないので施策が解らない。いつ必要になっても、市民全てがわかるように広く施策を広めてほしい。
大町	女	70 歳以上	商業（卸小売業・飲食業）	来年、開催予定の「芸術祭」は、一部の人だけの利益になった気がする。特に東側の街中が潤ったり、賑やかになったとは思えません。この様な芸術が市民に理解できるとは思えません。
常盤	男	70 歳以上	学生・無職	空き家や鳥獣の増加対策を考えてほしいです。

平	女	70歳以上	商業（卸小売業・飲食業）	大町市民で本当に良かったと思います。しかし、冬の雪は箒で掃いて片付けられるくらいがありがたいです。
常盤	男	20～29歳	工業（製造業）	高齢者目線だけでなく、これからを担っていく若者に沿った事業を多くしてもらいたいのと色んな支援が足りなさすぎます。
常盤	男	50～59歳	公務員	駅前の広大な土地を社会のニーズに合った全国区の間として活用するアイデアを追求してほしい。大町の素晴らしい自然環境、生活環境を生かした、市づくり。大町＝終の街、なんていうコンセプトもいいかもしれません。
社	男	40～49歳	公務員	この調査は質問が多すぎて大変です。
美麻	男	60～69歳	家事専業	市長、議員、市役所の職員の自己改革。
常盤	男	50～59歳	その他のサービス業	職員の積極的な消防団員への参加
大町	男	50～59歳	その他のサービス業	大町市のHP上に目安箱を作り、スマホからアクセスできるようにURLを貼ったらどうですか。まだ、書き足りないです。パブリックコメントも敷居を低くしてほしいです。
大町	男	70歳以上	その他のサービス業	先日の折り込みに入っておりました「地域連携協議会」の案内等、その時々々のニーズに対応した施策を実施されている事は大変素晴らしいです。行政がニーズに応えるべく頑張っている姿勢や状況をもっと市民ひとりひとりに知っていただく感じて頂く事が重要と思います。
大町	男	50～59歳	工業（製造業）	お忙しいところありがとうございます。
大町	男	20～29歳	学生・無職	テーマ①～⑤で市職員は何課がどんな展開をしているのかを分かりやすく、市民に取り組みを教えてください。（調査書にお金をかけすぎです。）
平	女	60～69歳	家事専業	大町は色んな博物館が有り、公園、仁科三湖が独立していて、一度行ったら次は行かないといった感じで生かしきれっていません。食事場や遊べる場が無いのでお金も落ちません。特産品も無いので、お土産は豊科穂高で買う事になります。
大町	女	70歳以上	学生・無職	朝、順番待ちをしても、開館と同時に人が詰め寄ってしまい来た順に対応してもらえない上にソーシャルディスタンスが保てない。その為に早番等の対応をとって頂き整理券の配布をしていただきたいと何度も職員の方にお伝えしたのですが改善されないので早急に改善を希望します。
大町	男	40～49歳	運輸・通信業	工場などと共に生きていく所、観光の大町市だと思っています。違うなにかは大町市民にはできないと思うので納得できないと行政が思っているようならば提案をもっと市民に対してやってもらいたいです。
常盤	男	40～49歳	工業（製造業）	松糸道路の進捗が遅すぎです。早急な開通を目指して頂きたい。芸術祭はどうしてもやらなければならない政策ではない。もっと他に時間やお金をかけなければならない事が沢山あります。
平	男	60～69歳	学生・無職	市の名称を決めた先人や今の町人のセンスのなさが行政にも反映している。
常盤	男	30～39歳	商業（卸小売業・飲食業）	一番伝えたい事は市長が外（企業や近隣自治体、県）に対ししっかりと物が言える事。いくらアイデアを出しても対外的に弱腰では何の意味もない。トランプとまではいかななくても強いリーダーシップを持って下さい。
常盤	男	70歳以上	農林水産業	今より明日、頑張ってください。
常盤	女	70歳以上	家事専業	各自治会への入会が少なくなっているようですが退いても何も不便な事が無く、むしろ気楽に過ごせる事があるからです。何年か後には市直轄の状態になるのではないかと心配です。
大町	女	40～49歳	学生・無職	幹線道路と企業誘致に力を入れてほしい。この大自然を日本中にPRしてほしい。

大町	女	70 歳以上	学生・無職	市内の小学校が 2 つ、中学校が 1 つになってしまうようですが、だったら中学校 2 校共、新しくする必要があったのかと思います。小学校も中学校も使われなくなった校舎の利用方法が考えていますか。大町北高校の校舎はどうになってしまうのですか？
社	女	60～69 歳	家事専業	大町市の為に大変な努力、工夫をなさっている事はわかりましたが人口流出は現実的にはとまらず、高齢化は全国的な課題ですが、大町市には日本一の景観（北アルプス）があるのですから、それを生かした施策 PR をもっとお願いしたいです。
平	男	40～49 歳	その他の職業	駅前の駐車場で駅に用事がある人以外の長時間駐車のおかげで送迎の車が駐車できない。年配のサークルの集まり、食事に行く人は電車の到着時に駐車されていると非常に迷惑です。口頭で注意するだけのパフォーマンスは足りない。きちんと指導して実績を示してもらいたいです。
平	男	70 歳以上	学生・無職	設問 3 8 ～は残念。議会、議員の方々が「市政運営として考えてほしい問いかけ」と思い意見は省略します。市民の税金が歳費として使われている。
大町	女	60～69 歳	学生・無職	大町に住んで間もないうえに、コロナで外出も控えていて、全く様子がわからず、答えるのが難しかったです。安心して赤ちゃんが産めるよう産科医さんの不在を解消して下さい。
大町	女	70 歳以上	家事専業	生活基盤の充実を思います。
平	男	70 歳以上	学生・無職	テーマ③で記述した通り、異常が発生した場合、簡単な方法でどこかに連絡が出来る場所があればと考えております。
大町	女	50～59 歳	その他のサービス業	専門的な知識をお持ちの方々のアドバイス等を参考にしたり、市民の意見も取り入れて、市民全体で協力できる所は協力して活気のあるまちになる様に進めて頂きたい。
平	男	60～69 歳	その他の職業	市役所の土曜日は開庁してほしい。
八坂	男	30～39 歳	公務員	ふれあい市民バス、土曜が無くなって困ります。そもそも車をもっていない独居老人もいるでしょうから、何かしらの対策が有ればと思います。定住促進住宅の家賃減額対象年齢を高卒までにしてほしい。
常盤	男	60～69 歳	学生・無職	議員を減らしてほしい。道をなおしてほしい。
平	男	70 歳以上	建設業	芸術祭は本当に良かったのでしょうか。湖を汚し、費用の詳細も明かされていないので、明確な表示が必要と強く思います。何よりもこの際の詳細が知りたい。
一	男	50～59 歳	観光業	松糸道路の東ルートはいろいろメリットが有ると思うが、西ルートのメリットが思いつかない。大町市の自慢のアルプスを見せるため東ルートを検討していただきたい。西ルートでは山が見えない。それによってもっと大町に人が集まるのではないのでしょうか。
大町	女	60～69 歳	その他のサービス業	夫婦で市役所に働く人たち、大町市に住んでいない市の職員、おかしいと思います。
平	男	50～59 歳	その他のサービス業	移住者等、外部より移入することは必要だと思うし補助があっても良いと思うが、工場誘致も続けていただきたい。移住者だけでなく、ずっと生活している住民が他に行かないような支援も必要だと思う。
大町	男	50～59 歳	公務員	小熊山等のトレッキングコースや登山道が荒れていると他市の知人より聞きました。改善をお願いします。
八坂	女	50～59 歳	運輸・通信業	市街地での取り組み施策、山間地での取り組み施策を分けて考え、何をどの様に進めれば効果があるか検証する。山間地は山の整備をする事が必要で市街地は人が集まる施策をお願いします。
常盤	男	70 歳以上	家事専業	設問の量及び難題が多く、回答出来ません。
常盤	女	70 歳以上	学生・無職	守備範囲を狭めて、できるだけ平坦地の住宅地に住民を移動させるなど、コンパクトシティを目指してほしい。
大町	女	20～29 歳	学生・無職	高齢者向けのサービスに注力するばかりではなく、若者向けサービス、レジャー施設を考えていくべきだと思う。

大町	女	20～29 歳	工業（製造業）	団地から移住して下さいと言うが、全然引越し費用などを負担してくれず、大変憤慨しています。引越し費用ぐらい市の方で負担して欲しいです。
常盤	女	70 歳以上	—	1つ1つできればいい。
社	男	60～69 歳	商業（卸小売業・飲食業）	誰もが自分のことでいっぱい。外に目を向ける余裕が無いのでまわりに迷惑をかけないようにするしかない。
常盤	女	70 歳以上	家事専業	大町市も高齢者が多いので、情報を文書等で知らせたりしてほしい。
大町	女	60～69 歳	その他の職業	設問が多すぎます。今後この様な方法で調査するなら整理をして欲しい。この様なアンケートこそ行政改革が必要ではないですか。
常盤	男	50～59 歳	建設業	本調査の設問、回答選択肢が多い。1 設問中に複数の回答を求めている場合もあり、回答者が途中で疲弊してしまいます。返信までの期間も短い。設問を絞り込んで、簡素化すべきではないかと思います。
大町	男	50～59 歳	工業（製造業）	項目が多すぎて何のための調査かわからない。
常盤	女	60～69 歳	家事専業	隣組もやめてしまい広報とかもなく、有線で聞くのみで分からないことが多い。（ゴミ袋の件とか…広報の何月号のお知らせでとか言われるが）どうするかもわからない。
社	男	40～49 歳	学生・無職	山も水も自然豊かで素晴らしい町だと思う。これからの大町の発展に期待。
大町	男	60～69 歳	学生・無職	テレワークが広がる中、情報網の整備及び美しい自然の中での仕事ができるような環境の整備（空き家の活用等）。
大町	男	40～49 歳	その他のサービス業	除雪作業を請けているが、作業範囲の割り振りが悪すぎる。もっとまとめたほうが効率が良い路線が飛び飛びになると移動時間が増えるため、ロスが多い。
大町	男	30～39 歳	公務員	大町市に向かう方向を1つに絞って、徹底した取り組みをしていくくらいの大胆な方向転換が必要なときかと思う。（30年後を見越して）。自分は地元出身の人間だが I ターンの人達が大町を何とかしたいと考えたり活動してくれたりに対して、地元民の意識の低さが悲しい。
常盤	女	70 歳以上	家事専業	商店街の活性化と共に農村地域の高齢化による荒廃にも目を向けてほしい。
大町	女	70 歳以上	家事専業	立派なテーマに向かってご協力いただいていることを知った。周りの田園が年を取って、作れなくなったと草になっていくこと、空き家が多くなって、町の中心にもシャッターの多いこと、町の行事も人が少なくなったり年寄りばかりで大変なこと、見たり聞いたりしても私自身もその中の一人です。何でもできない。どうぞ役所の皆様のご協力に期待している。
平	男	40～49 歳	その他の職業	職員の考え方が古い。前例主義だとよくなならない。交渉が下手すぎる。もっと勉強してほしい。今の職員が変わらなければ、市民も変わらない。
大町	男	60～69 歳	その他のサービス業	基本的人権の守られるまちづくり。
大町	男	70 歳以上	学生・無職	働く場所を作る。移住、I ターン等をしやすくする。
平	女	30～39 歳	家事専業	各地区、各町内でまとまりがない気がする。大町市として市民が一つになれるようなイベントや集まりがあればいいと思う。大きなイベントではなく、小さくても長く続くものが良い。情報発信が非常に弱く感じる（市内と国内）。個々にはやっけていても大町市として個々の後押しや発信をしてほしい。
大町	女	60～69 歳	その他の職業	市の目指している方向性、テーマの計画内容を理解していないので、広報で表示してほしい。合わせて経過も知らせていただきたい。
大町	男	70 歳以上	家事専業	色々項目があるが、高齢者になると核家族の生活が多いので、よくわからないことばかり。若者の働く場所の確保、定年退職の人達をまた市役所で働かすのはおかしいと思う。ほかの若者の働く場所を見つけてやってほしい。

美麻	男	50～59 歳	観光業	出産ができるように大町病院に先生を入れてほしい。
社	女	40～49 歳	建設業	少子高齢化により、市の財政や産業の担い手不足は今後益々進んでいくと思う。広大な土地を抱える大町市が現在と同様の市民サービスを続けていくことは困難であることが容易に想像できます。これからはコンパクトシティなど大胆な方向転換が必要だと思う。
平	女	70 歳以上	—	最近高齢者の運転免許更新のため認知症検査を受けたが、会場が警察署の3階でエレベーターがなく登らなければならなかった。足腰の弱い人、歩けない人はどうするのか。
常盤	男	60～69 歳	工業（製造業）	費用対効果ばかり考えず将来に向けて長い目で見て進めてほしい。
平	男	50～59 歳	農林水産業	日本どこでもそうだが議員の構成が男性の年配者に偏っている。一概に悪いところではないが、どうしても保守的で現状の問題解決を先行してしまう。もっと若手や女性を登用できる仕組みを作り、将来に希望が持てる政策を展開して頂きたい。
美麻	女	60～69 歳	その他のサービス業	電線等にかぶさっている大枝を冬になる前に伐採してほしい。電線に木が倒れていてもそのままになっている。
社	女	40～49 歳	その他のサービス業	やしろ公園の駐車場の確保をお願いしたい。
大町	女	70 歳以上	学生・無職	これだけの職員がいたら大町をよくする案も出ると思うが、細く長くともみんな職員が引っ付いているように見える。市の職員がより大町市のことを思っ取り組んでいかないと市民は一つになれない。
大町	—	20～29 歳	その他のサービス業	大町市に魅力がない。
大町	男	40～49 歳	商業（卸小売業・飲食業）	観光に力を入れ、経済を活性化させてほしい。子育てに力を入れて、少子化を減らしてほしい。
大町	男	70 歳以上	その他の職業	庁舎内のサービス残業をやめてほしい。トップを変え、職員の意識改革をしてほしい。
大町	女	50～59 歳	公務員	政党や宗教等に偏った施策にならないようにお願いしたい。強い口調の人に弱い口調の人が飲まれてしまうような施策も困る。市民から出た意見などは、馬鹿にせず本当に聞いてほしい。また市役所で「すみません」と声をかけたら無視されたことが何度かあったので、きちんと対応してほしい。
大町	女	70 歳以上	家事専業	このようなアンケートは初めてだったがこれを機会により一層の市政への関心を高めていきたい。
大町	男	40～49 歳	—	市民が恩恵を感じられる行政の取り組みをお願いしたい。
平	女	40～49 歳	その他の職業	今回の意識調査での意見・要望等精査されよりよいまちづくりのために活用されることを希望する。
常盤	女	30～39 歳	その他の職業	書留の書類を直接市役所に持っていったら、記録が残らないから郵送でないと困ると断られた。記録は残せばよいし、税金で送料は賄われている。そんな職員の意識を変えてほしい。
社	男	70 歳以上	工業（製造業）	農業地域は人口減少・高齢化が進み、買い物弱者が増えたり、活性化が進まないことを踏まえたまちづくり施策を地域と一体になって検討してほしい。
大町	女	60～69 歳	商業（卸小売業・飲食業）	コロナ禍の中で経済活性化のために大町市外の人に対してクーポン券が出されたが、市民が市内で消費活性させるのが一番だと思う。他県の人が大勢いてワイワイしている所には入りづらくなる。居酒屋の人達も県外の人を断りたいが地元の人に来てくれないので仕方ないと言っていた。「水の町大町」で売り出すならばもっと水を大事にしたほうがいいと思う。タダ同然のように水の会社を誘致していて、もっと町中で親しめるまちづくりができたと思う。駅で降りた人が行くところがないと言っているのをよく聞く。姉妹都市の氷見市など川の中に忍者ハットリくんが出てきたりして楽しい。

平	男	70歳以上	その他の職業	広報おおまちは予算・手間がかかるので2か月に1回でよい。今回のアンケートは良かった。全戸に配ったほうが良い。北アルプス芸術祭も全戸でアンケートを取って決めたほうが良い。予算をもっと子育て支援に回してほしい。孫の代が心配だ。
常盤	男	50～59歳	その他の職業	Iターン、Uターン制度を悪用している人もいるので市税を無駄にしないでほしい。広報おおまちはやわらかいもので拡大してほしい。市の予算の使い方、各種統計資料、市の現在実施している事業や進捗情報の記事などは別紙の広報にしてほしい。
常盤	男	40～49歳	その他のサービス業	大町市が日本の中でどのような位置付けなのか、相対的な強み、弱みは何なのかをもっと市民が知る努力をすべきだし、役所が発信をし、市民の意思を高める方がよいと思う。問題意識を正しく持てないと良くならない。
常盤	男	30～39歳	工業（製造業）	新型コロナウイルスに対する市の独自支援又は給付金、減税を行ってほしい。このままだと自殺者がいつでもおかしくない。
常盤	男	30～39歳	公務員	大町市のガイドブックにあった人口ピラミッドの高齢者の多さに衝撃を受けた。このままでは助産師の件のように、人手不足が深刻化すると考える。大町市は世界に誇れる水と自然の町として発展し続けてほしい。そのためには抜本的に何かを早いスピードで変えなければいけないと思う。高齢者の意見も大切だが、新しい発想は若者や異なる視点を持つものからもたらされる。どうかそのような小さな声でも耳を傾け、思考停止せず、失敗を恐れず、よりよい行政運営を模索し続けてほしい。
平	女	30～39歳	その他の職業	早急に求めたいのは不妊治療助成金の増額。保育士の給与もなぜ大町市は委託保育士のボーナスが出ないのか。近隣の市と比べて改善してほしい。
社	女	30～39歳	その他の職業	まず市役所職員に同じアンケートを行ってほしい。職員の意識が低いところでは市民も同じ。
平	女	70歳以上	家事専業	5つのテーマそれぞれで成果をあげてほしい。
大町	女	70歳以上	家事専業	この先人口増加は見込めないので、自然環境を生かし工業や観光を充実させ発展することを行政や市民が話し合い、コンパクトなまちづくりをしてほしい。
常盤	女	60～69歳	その他のサービス業	項目が多すぎる。最後は漠然としていて何を書いたら良いか分からなかった。もう少し簡単に回数を分けて実施してほしい。海外アーティストを呼んだり、移住促進するより、足元を固め、今いる人を大切にしてほしい。
常盤	女	70歳以上	家事専業	主人が介護4で寝たきりでしたが市役所の福祉課によく行き、いつも親切に対応して頂きありがたかった。
八坂	男	50～59歳	建設業	市政を左右するのは職員だと思う。大町市のプロデューサーとして自覚と誇りをもって尽くしてほしい。大変優秀な方もいる。
常盤	女	20～29歳	家事専業	子どもがいる身としては子育てに関することが不安。これからの時代の子どもなので、通学路の安全確保、色々な個性を持った子（障がいなど）の理解をもっとしてほしい。子どもの遊べる場所が少ないので施設の開放や遊具の点検をしてほしい。
社	男	50～59歳	商業（卸小売業・飲食業）	調査が多くて答えるのが面倒。簡素化が必要。
社	男	50～59歳	建設業	コロナ禍によるテレワークの浸透に併せ、北アルプスを望む、例えば大町公園周辺に平地を拓き共同オフィスを設置、高速道路・高速通信網の整備をし、企業誘致・住民の移住を図ってほしい。
常盤	女	40～49歳	工業（製造業）	お水の工場が多いと感じる。将来的に水不足にならないか心配。
平	男	50～59歳	運輸・通信業	高齢化に伴う中山間地農業の活性化を図る取組を考えてほしい。このままだと原野地が進んでしまう。または土地の利用方法。
大町	女	70歳以上	その他の職業	テレビで議会の様子を見てみると市議会議員は行政の批判しかしておらず建設的な意見をいう人がいなくてがっかりした。もっと若くて市のためになる人がいてほしい。

社	女	70歳以上	家事専業	こんなに美しい町なのに生かされていない。テーマがない。どんな町にしたいのか分からない。
美麻	男	40～49歳	その他のサービス業	市職員のコンプライアンス意識の向上。いらぬ役職は減らす。観光ではまた来たいと思えるまちにする。日曜にやっていない飲食店など言語道断。
平	女	70歳以上	家事専業	このアンケートを80歳すぎの老人に送ってきちんと回答できると思うのか。ほかにやり方はないのか。市税の無駄だと思う。
平	男	20～29歳	その他の職業	市民に旨味のない施策は税金の無駄遣いだ。市民にとって一番有難いのは免税、補助金の交付、その他直接的に支援される何かであり、市の財政が潤うことではない。運営に関わる増収の恩恵を受けられていない市民が多くいることを分かってほしい。
平	男	70歳以上	商業（卸小売業・飲食業）	自治会を退会する人が多い。今後は強制的でも良い。退会反対。
社	女	30～39歳	その他の職業	大町病院の経営を見直すべきでは。税金を大切に使ってほしい。
大町	男	60～69歳	学生・無職	図書館が古い。周囲の池田町松川村、安曇野市等と同じように交流センターとして新築してほしい（国の補助を引き出してほしい）。
常盤	女	50～59歳	その他の職業	ふれあいバスの運転手さんの対応が悪く、辛い思いをしたという高齢者の話を何人も聞く。交通弱者に対する怒鳴りなどの対応は接遇を含め、教育の見直し等徹底してもらいたい。
常盤	男	70歳以上	農林水産業	市からくる文書に細かいミスが目立つ。職員は緊張感を持って仕事をしてほしい。
大町	男	30～39歳	工業（製造業）	移住者人口を増やしたと掲げる割には窓口の人が冷たく、やる気を感じられなかったと耳にした（特に八坂）。
大町	男	30～39歳	工業（製造業）	質問が長い。
常盤	男	40～49歳	建設業	個の意見が強い時代だが人口減少などから市の財政も厳しいと思うので、今以上のサービスより今のサービスを続けられるよう努力してほしい。
大町	男	40～49歳	その他のサービス業	県外から移住してきたが、役所の対応が悪すぎる。田舎だからと割り切っていたが、レベルが低すぎる。せつかくの資源（山・湖・自然）を全く生かしていかなくてもったいなさすぎる。
社	男	60～69歳	農林水産業	あまりにも抽象的な調査で何を求めているのか分からない。
大町	男	70歳以上	学生・無職	この調査は非常に有効だと思います。日ごろ意識していない項目に気を使いありがたく感じる。
平	男	70歳以上	農林水産業	以前、市役所に行った所、ただ机に座っているとされる職員の多いのにびっくりしました。又、窓口に行ってもすぐに対応に来ない係があったことには役所としては残念でした。
大町	男	50～59歳	その他の職業	市民の意見に耳を傾けてほしい。学校再編で空いた校舎を専門学校、短大等を誘致してもらいたい。
大町	女	70歳以上	家事専業	高齢者に対する福祉をもう少し充実して下さい。
大町	男	70歳以上	農林水産業	人口減少と高齢化社会の命題。
大町	男	40～49歳	その他のサービス業	市長の声が届かない。
常盤	女	30～39歳	その他の職業	若い人が少なくて町もさみしい。つまらない。商店街がもったいない。もっと賑やかになれば楽しい。古い考えを変えて次の世代へ。若い人に店舗の貸し出し等をしてほしいかもしれない。
常盤	女	70歳以上	その他のサービス業	調査結果を公表してほしいです。
常盤	男	70歳以上	家事専業	R147 上一北信号のところが混んでいる。手前から一本道を作り、車の流れをスムーズにしてほしい。